
「救急救命体制の整備・充実に
関する調査」
及び「メディカルコントロール体制等の
実態に関する調査」結果

報 告 書

令和8年3月
総務省 消防庁

目次

調査の概要	1
01. 調査目的	1
02. 調査項目等	1
I 都道府県消防防災主管部局 対象調査	4
01. 救急安心センター事業（#7119）の普及促進について	4
02. 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準について	9
03. 転院搬送ガイドラインについて	16
04. 外国人対応関連について	18
05. 衛生主管部局との連携について	21
06. 都道府県連携協議会の参画状況について	23
07. その他	24
II 都道府県衛生主管部局 対象調査	25
01. 救急安心センター事業（#7119）の普及促進について	25
02. 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準について	30
03. 転院搬送ガイドラインについて	37
04. 消防防災主管部局との連携について	39
05. 都道府県連携協議会の参画状況について	40
06. 選定療養費に関する取組について	41
07. その他	42
III 都道府県 MC 協議会 対象調査	43
01. 都道府県メディカルコントロール協議会の体制について	43
02. 協議会の開催状況について	49
03. オンラインメディカルコントロールについて	51
04. 事後検証について	52
05. 指導救命士について	55
06. 救急救命士の再教育について	68
07. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について	70
IV 地域 MC 協議会 対象調査	75
01. 地域メディカルコントロール協議会の体制について	75
02. 協議会の開催状況について	81
03. オンラインメディカルコントロールについて	84
04. 事後検証について	92
05. 評価指標を用いた PDCA の取組について	97
06. 指導救命士について	101
07. 救急救命士の再教育について	105
08. 通信指令員等への救急に係る教育について	110
09. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について	112
10. 転院搬送について	118
11. 安全管理について	121
V 消防本部 対象調査	122

01. 救急ワークステーションについて	122
02. 指導救命士について	124
03. 救急救命士の再教育について	140
04. 通信指令員への救急に係る教育・研修について	146
05. 口頭指導の事後検証について	147
06. AED 関係について.....	149
07. 応急手当の普及啓発について	150
08. 緊急度判定体系の普及のための取組について	160
09. 外国人傷病者への対応について	168
10. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について	173
11. 脳卒中・循環器疾患に対する対応について	182
12. 救急資器材について	192
13. 都道府県連携協議会の参画状況について	204
14. 労務管理について	205
15. 患者等搬送事業者について	208
16. 転院搬送について	211
17. 感染症（感染防止対策用資器材の備蓄状況・新型インフルエンザ対応）について.....	214
18. 救急隊の体制について	216
19. 在宅医療との連携について	236

調査の概要

01. 調査目的

本調査は、今後も見込まれる救急需要の増大や救急業務のあり方全般について、その諸課題を検討するための基礎調査として実施した。

02. 調査項目等

本調査は、以下に示す調査項目等について、令和7年8月1日時点における状況を回答したものである。

	調査名	調査項目	回収数 (回収率)
1	都道府県消防防災 主管部局対象調査	01 救急安心センター事業（#7119）の普及促進について 02 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準について 03 転院搬送ガイドラインについて 04 外国人対応関連について 05 衛生主管部局との連携について 06 都道府県連携協議会の参画状況について 07 その他	47 都道府県 (100%)
2	都道府県衛生主管 部局対象調査	01 救急安心センター事業（#7119）の普及促進について 02 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準について 03 転院搬送ガイドラインについて 04 消防防災主管部局との連携について 05 都道府県連携協議会の参画状況について 06 選定療養費に関する取組について 07 その他	47 都道府県 (100%)
3	都道府県 MC 協議会 対象調査	01 都道府県メディカルコントロール協議会の体制について 02 協議会の開催状況について 03 オンラインメディカルコントロールについて 04 事後検証について 05 指導救命士について 06 救急救命士の再教育について 07 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について	47 都道府県 (100%)

	調査名	調査項目	回収数 (回収率)
4	地域 MC 協議会対象 調査	01 地域メディカルコントロール協議会の体制について 02 協議会の開催状況について 03 オンラインメディカルコントロールについて 04 事後検証について 05 評価指標を用いた PDCA の取組について 06 指導救命士について 07 救急救命士の再教育について 08 通信指令員等への救急に係る教育について 09 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の 実施について 10 転院搬送について 11 安全管理について	251 団体 (100%)
5	消防本部対象調査	01 救急ワークステーションについて 02 指導救命士について 03 救急救命士の再教育について 04 通信指令員への救急に係る教育・研修について 05 口頭指導の事後検証について 06 AED 関係について 07 応急手当の普及啓発について 08 緊急度判定体系の普及のための取組について 09 外国人傷病者への対応について 10 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の 実施について 11 脳卒中・循環器疾患に対する対応について 12 救急資器材について 13 都道府県連携協議会の参画状況について 14 労務管理について 15 患者等搬送事業者について 16 転院搬送について 17 感染症（感染防止対策用資機材の備蓄状況・新型イン フルエンザ対応）について 18 救急隊の体制について 19 在宅医療との連携について	720 本部 (100%)

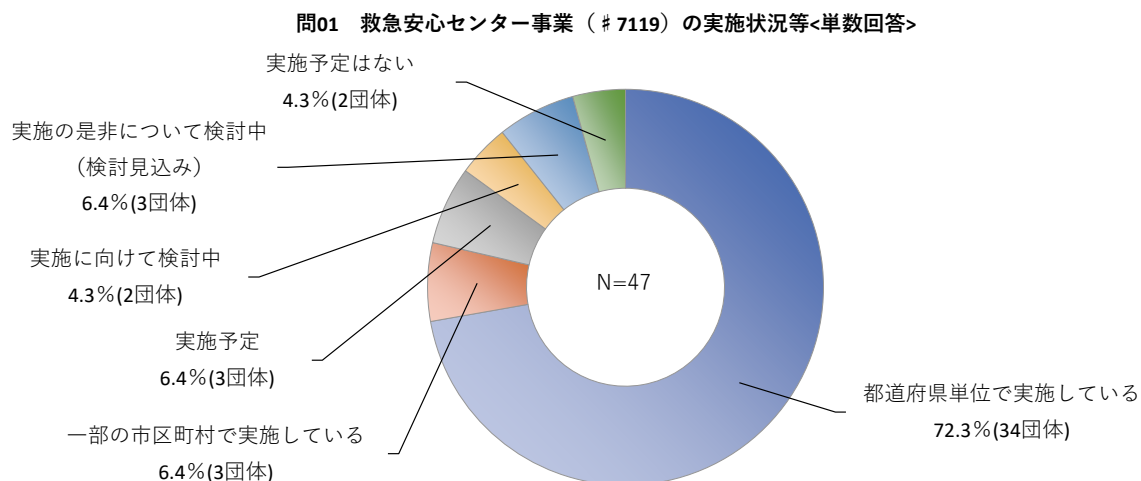
報告書の見方

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示している。
- 本文中の「単数回答」、「複数回答」、「数量回答」は以下の略称となる。
 - 単数回答：選択肢の中から1つを選択
 - 複数回答：選択肢の中から複数を選択
 - 数量回答：数値を回答欄に記述

I 都道府県消防防災主管部局 対象調査

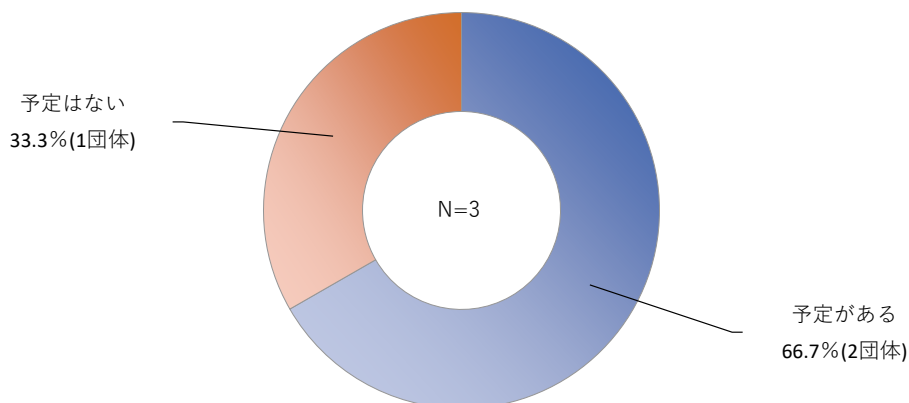
01. 救急安心センター事業（#7119）の普及促進について

問 01 救急安心センター事業（#7119）の実施状況等は、次のうちどれですか。1つ選んでください。



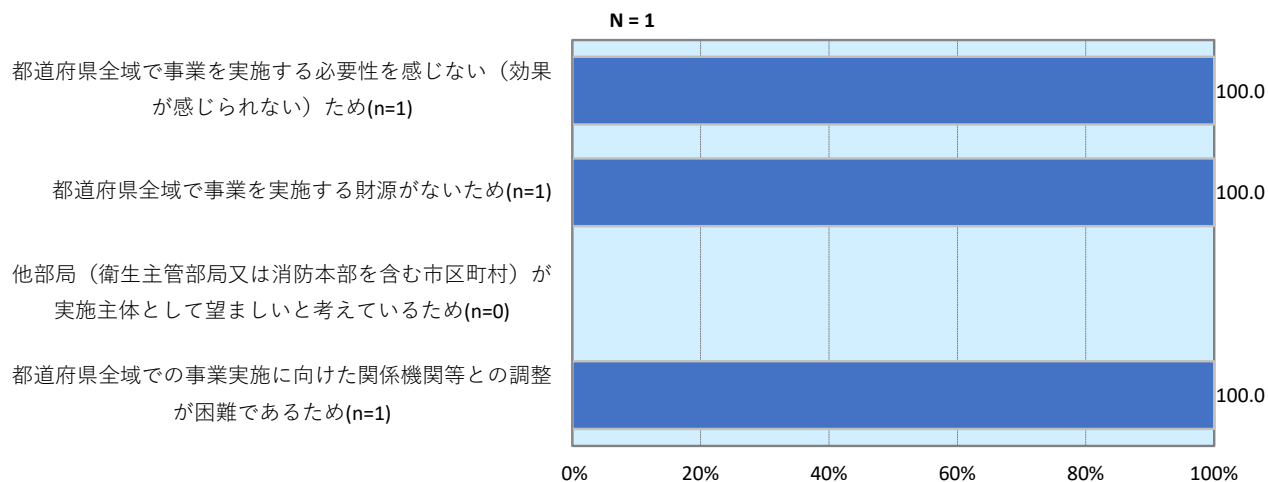
問 01-01 問 01 で「2. 一部自治体で実施している」を選択した方にお聞きします。今後、都道府県全域での実施に向けた検討を実施する予定はありますか。1つ選んでください。

問01-01 今後、都道府県全域での実施に向けた検討を実施する予定はあるか<単数回答>



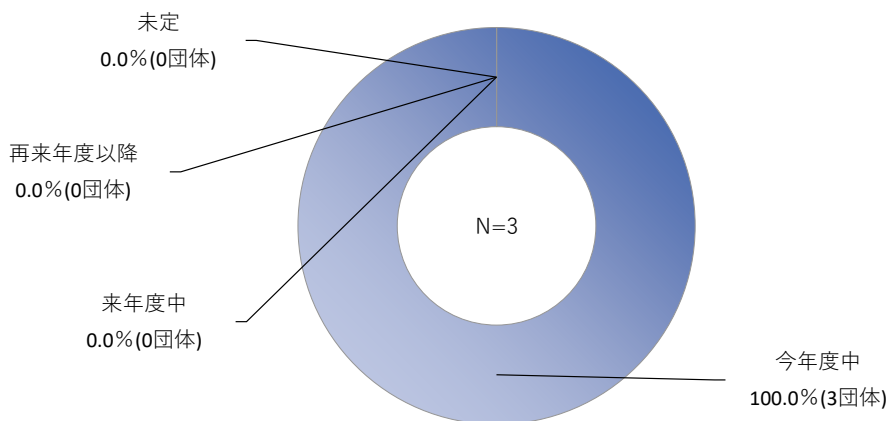
問 01-02 問 01-01 で「2. 予定はない」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

問01-02 都道府県全域での実施に向けた検討を実施する予定がない理由<複数回答>



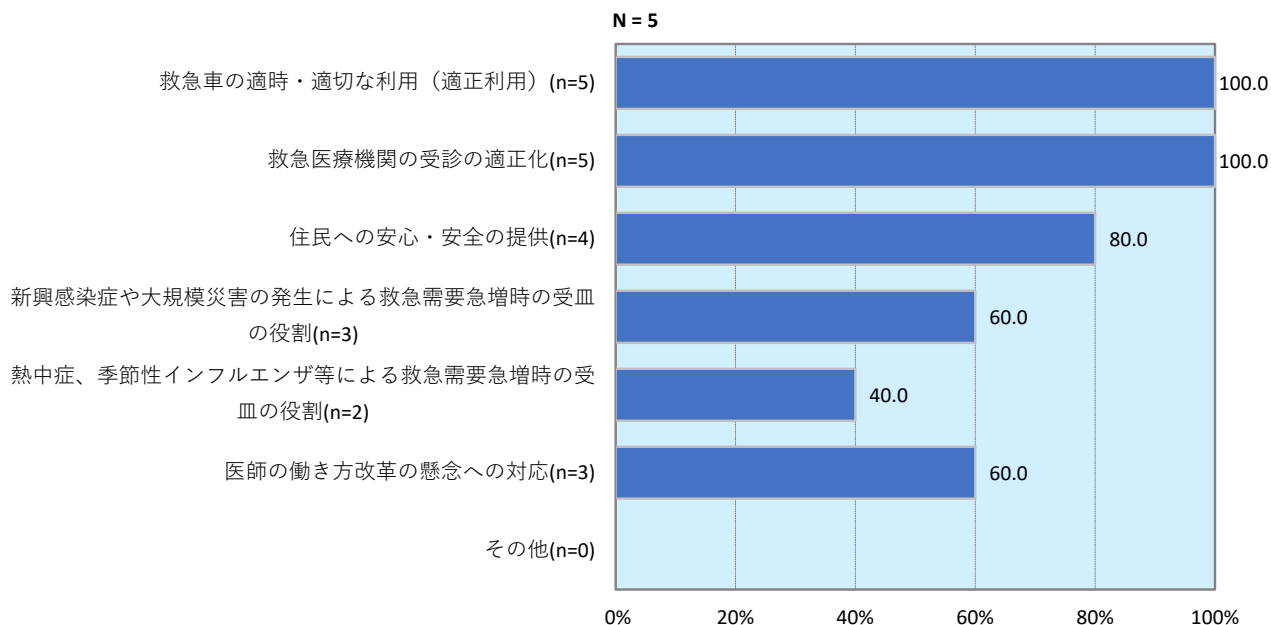
問 01-03 問 01 で「3. 実施予定」を選択した方にお聞きします。実施予定はいつ頃ですか。1つ選んでください。

問01-03 # 7119の実施予定時期<単数回答>



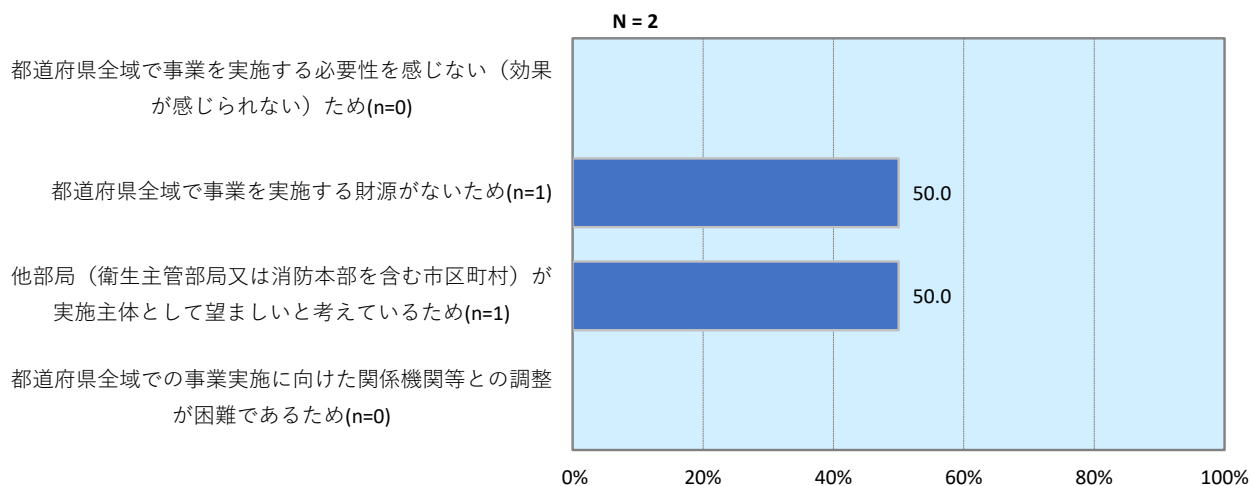
問 01-04 問 01 で「4. 実施に向けて検討中」もしくは「5. 実施の是非について検討中（検討見込み）」を選択した方にお聞きします。#7119 に期待する効果は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

問01-04 #7119に期待する効果<複数回答>



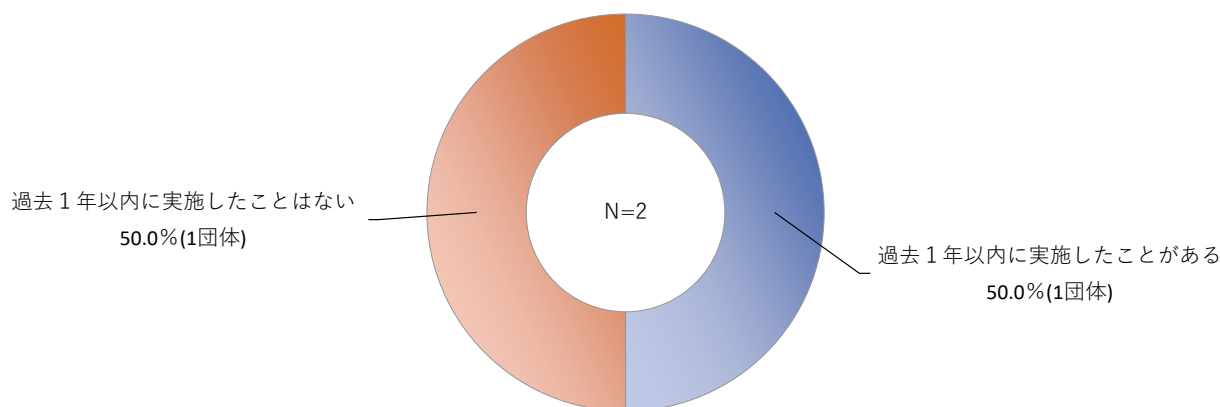
問 01-05 問 01 で「6. 実施予定はない」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

問01-05 #7119実施の予定がない理由<複数回答>



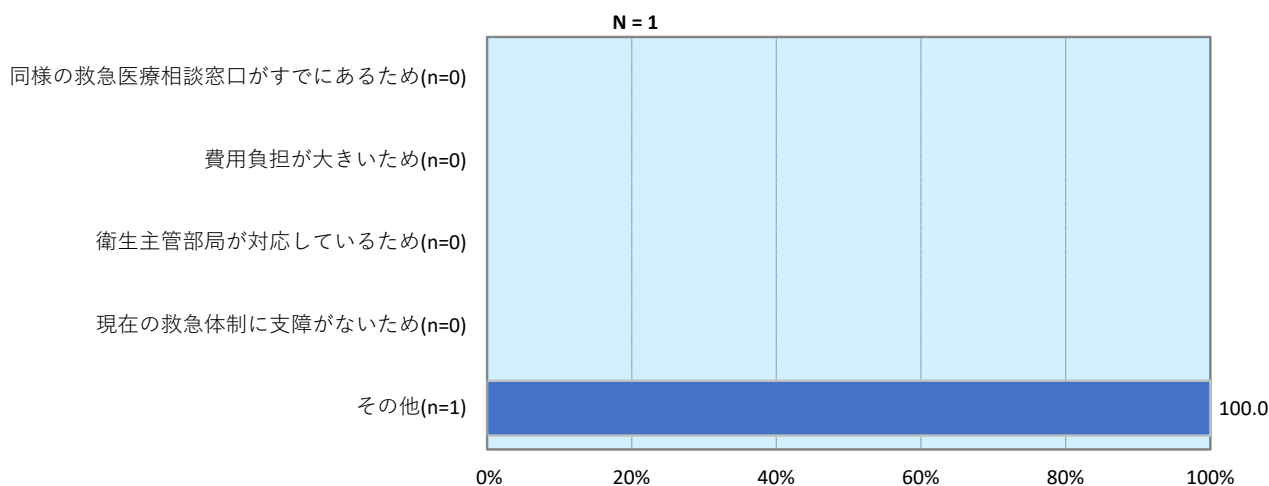
問 01-06 問 01 で「6. 実施予定はない」を選択した方にお聞きします。実施に向けた検討を過去 1 年以内に実施したことがありますか。1 つ選んでください。

問01-06 # 7119の実施に向けた検討を過去 1 年以内に実施したことがあるか<単数回答>



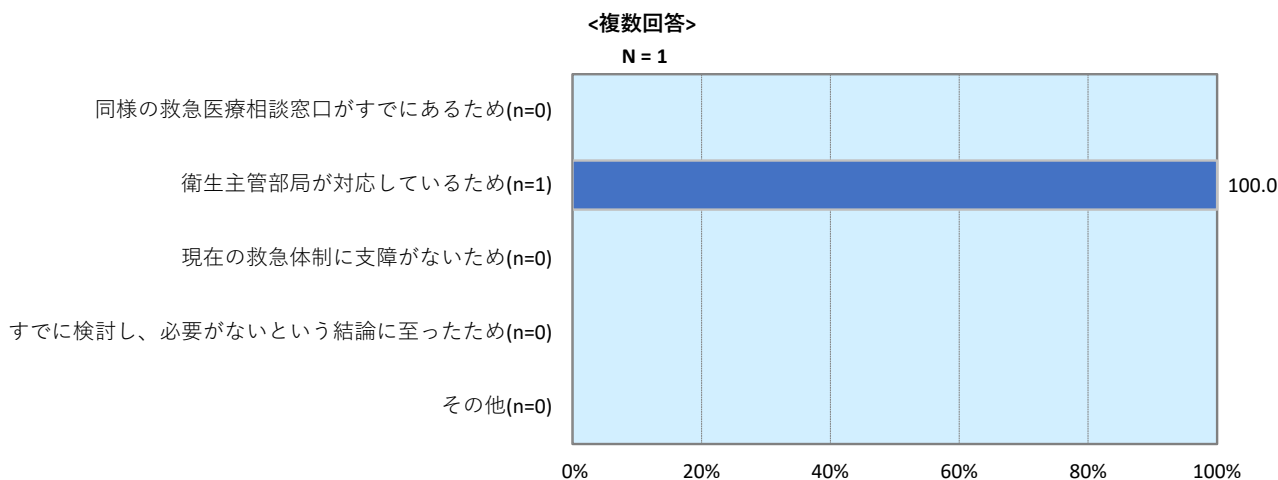
問 01-07 問 01-06 で「1. 過去 1 年以内に実施したことがある」を選択した方にお聞きします。検討した結果、実施されない理由について、近いものをすべて選んでください。

問01-07 # 7119を検討した結果、実施されない理由<複数回答>



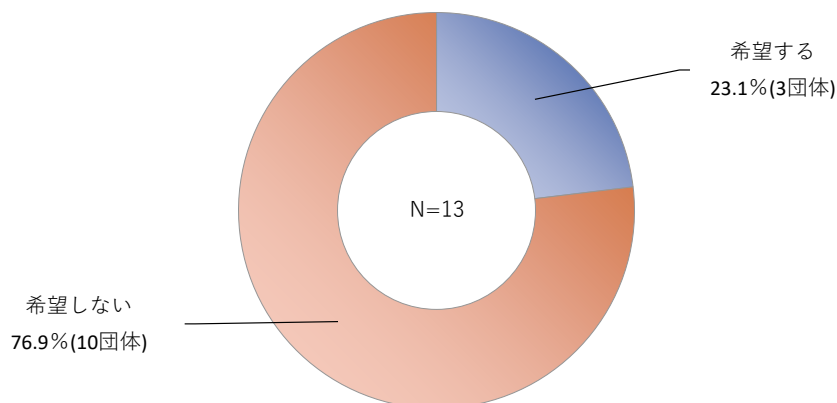
問 01-08 問 01-06 で「2. 過去 1 年以内に実施したことはない」を選択した方にお聞きします。消防防災主管部局の視点から、その理由として近いものをすべて選んでください。

問01-08 #7119を過去1年以内に検討したことがない理由（消防防災主管部局の視点から）



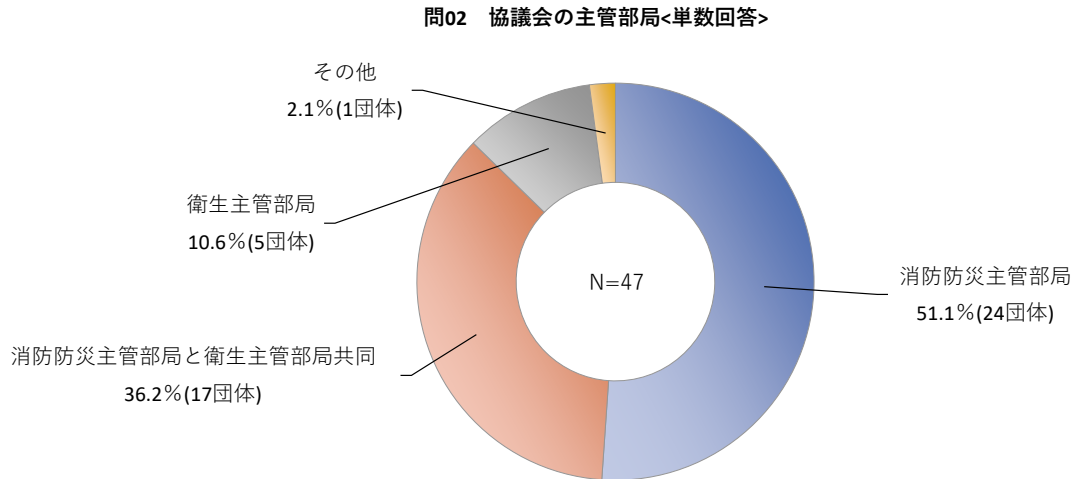
問 01-09 問 01 で「1. 都道府県単位で実施している」以外を選択した方（都道府県単位における実施に至っていない方）にお聞きします。消防庁では平成 29 年 5 月に「救急安心センター事業（#7119）普及促進アドバイザー制度」を創設し、アドバイザー派遣を実施しています。今後、アドバイザーの派遣を希望しますか。1 つ選んでください。

問01-09 #7119普及促進アドバイザーの派遣を希望するか<単数回答>

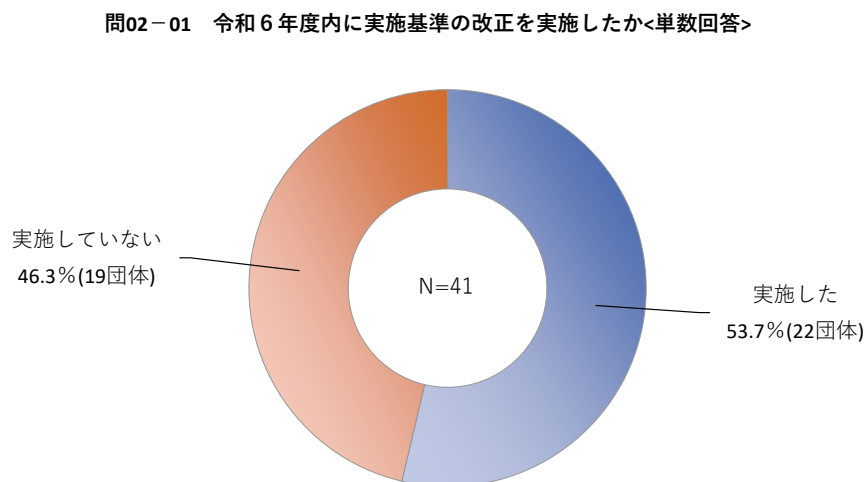


02. 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準について

問 02 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準（（消防法第 35 条の 5）以下、「実施基準」という。）策定のための協議会の設置（消防法第 35 条の 8）についてお聞きします。貴都道府県において、協議会の主管部局は次のうちどれですか。1つ選んでください。



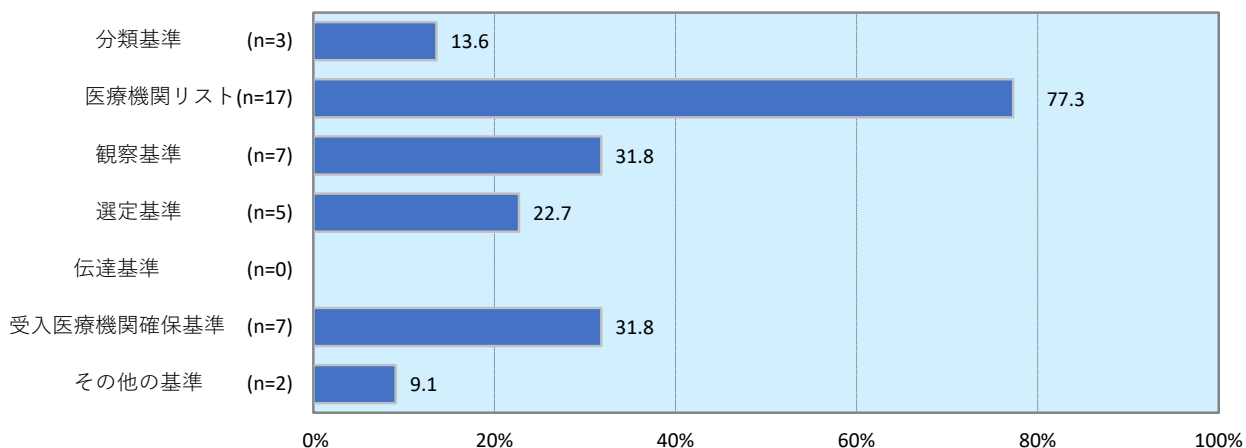
問 02-01 問 02 で「1. 消防防災主管部局」もしくは「2. 消防防災主管部局と衛生主管部局共同」を選択した方にお聞きします。貴都道府県では、令和 6 年度内に実施基準の改正を実施しましたか。1つ選んでください。



問 02-02 問 02-01 で「1. 実施した」を選択した方にお聞きします。どのような内容について改正を実施しましたか。該当するものをすべて選んでください。

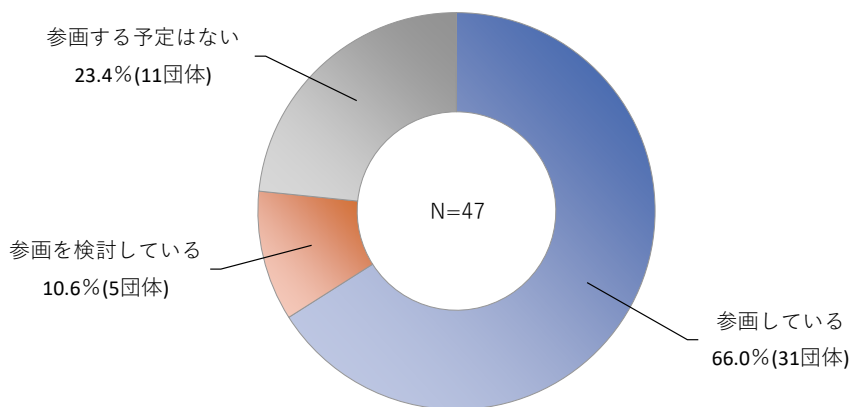
問02-02 どのような内容について実施基準の改正を実施したか<複数回答>

N = 22



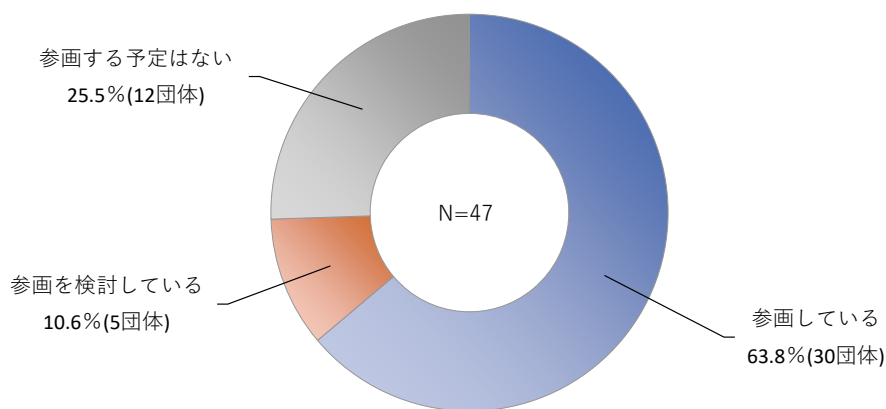
問 03 貴都道府県では、実施基準策定に循環器医が参画していますか。1つ選んでください。

問03 実施基準策定に循環器医が参画しているか<単数回答>



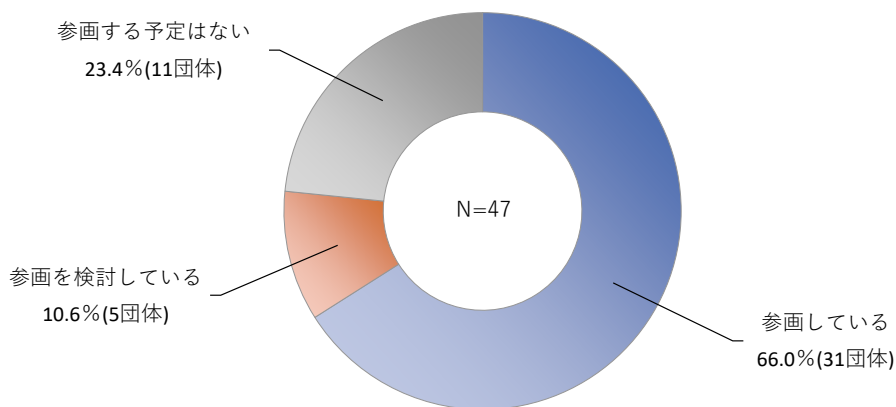
問 04 貴都道府県では、実施基準策定に循環器専門医又は循環器内科専門医が参画していますか。1つ選んでください。

問04 実施基準策定に循環器専門医又は循環器内科専門医が参画しているか<単数回答>



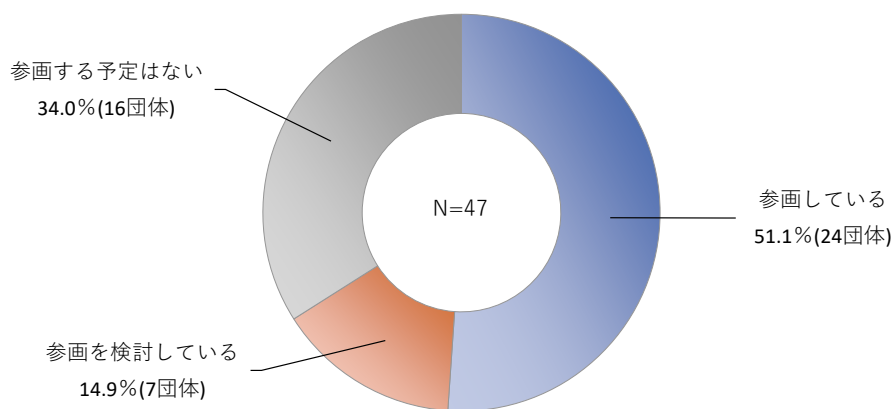
問 05 貴都道府県では、実施基準策定に脳神経内科医又は脳外科医が参画していますか。1つ選んでください。

問05 実施基準策定に脳神経内科医又は脳外科医が参画しているか<単数回答>



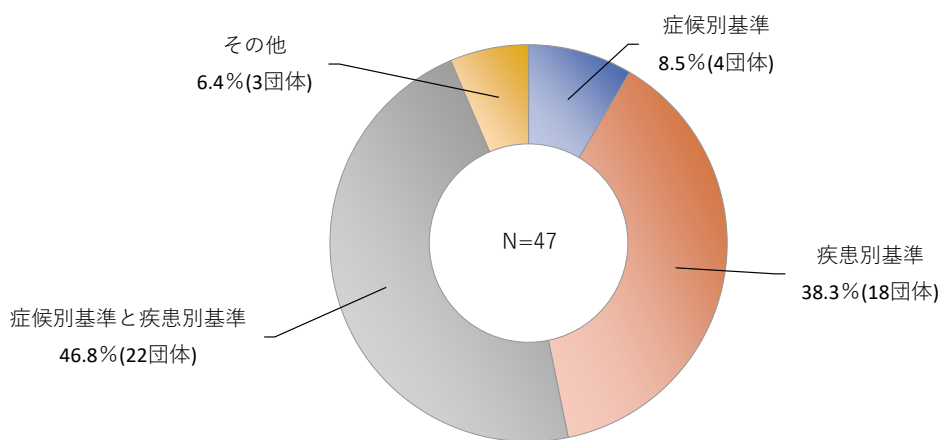
問 06 貴都道府県では、実施基準策定に脳卒中専門医が参画していますか。1つ選んでください。

問06 実施基準策定に脳卒中専門医が参画しているか<単数回答>



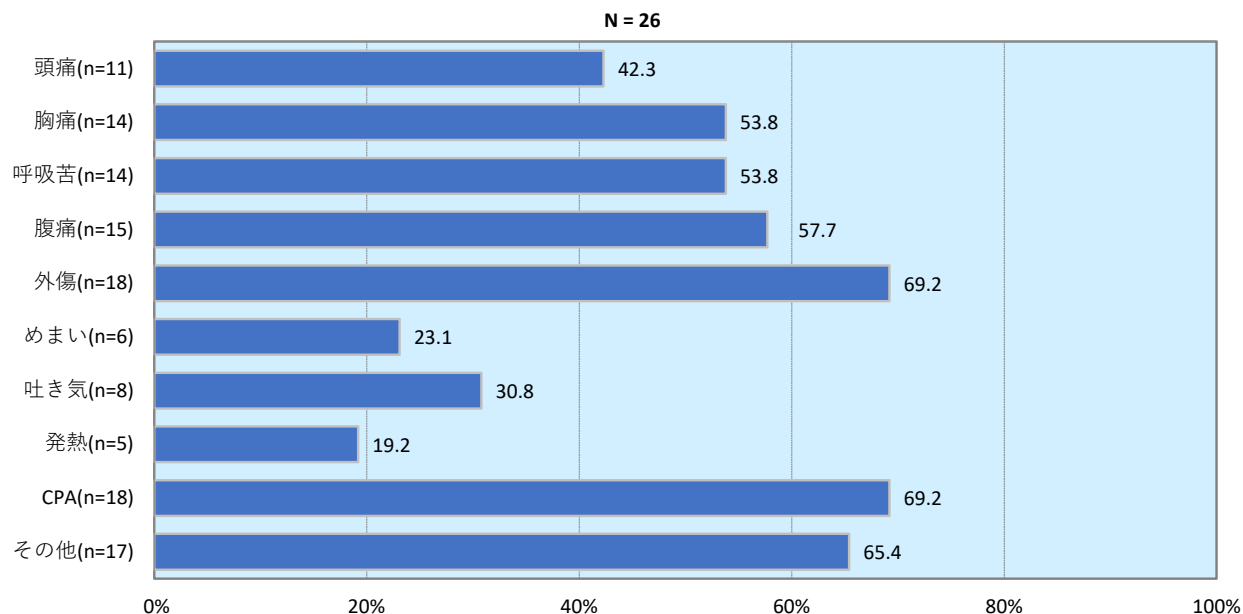
問 07 貴都道府県の定める実施基準は次のどれに該当しますか。1つ選んでください。

問07 定める実施基準<単数回答>



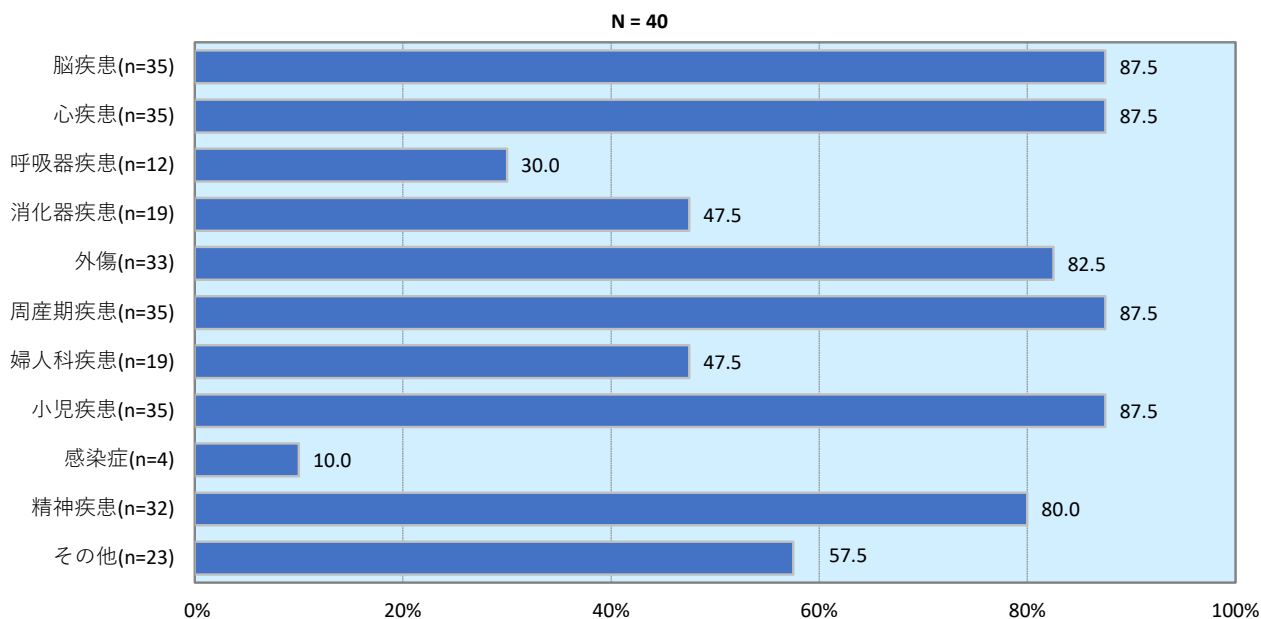
問 07-01 問 07 で「1. 症候別基準」もしくは「3. 症候別基準と疾患別基準」を選択した方にお聞きします。実施基準に定める症候別基準は次のうちどれですか。該当するものをすべて選んでください。

問07-01 実施基準に定める症候別基準<複数回答>



問 07-02 問 07 で「2. 疾患別基準」もしくは「3. 症候別基準と疾患別基準」を選択した方にお聞きします。実施基準に定める疾患別基準は次のうちどれですか。該当するものをすべて選んでください。

問07-02 実施基準に定める疾患別基準<複数回答>



問 07-02 (その他) 問 07-02 で「11. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=23

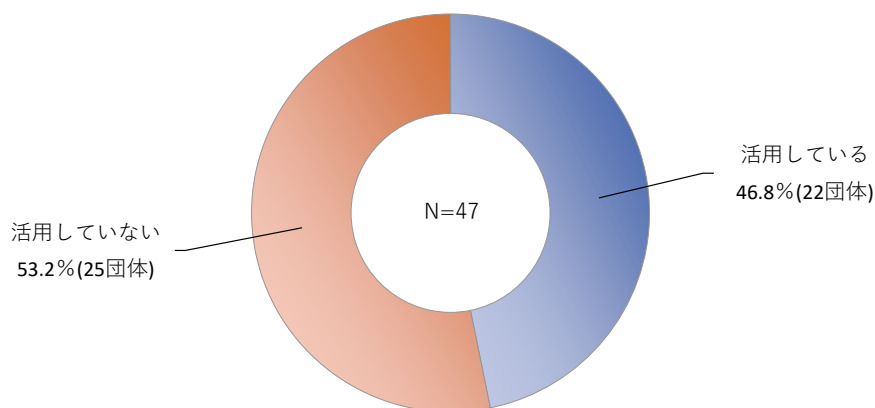
- ・ 耳、四肢断裂（再接着）
- ・ 中毒、意識障害、熱傷
- ・ 眼疾患、開放骨折
- ・ 緊急透析
- ・ 緊急被ばく
- ・ 減圧症
- ・ 泌尿器疾患
- ・ 循環器疾患
- ・ 溺水・低体温
- ・ 指肢切断
- ・ 手指切断
- ・ 重症熱傷、急性腹症、吐下血
- ・ 耳鼻科、アルコール飲酒
- ・ アナフィラキシー、電撃傷、薬物中毒
- ・ バイタルサイン等による重篤
- ・ 複数診療科の対応を必要とする傷病

他

(重複等は一部要約)

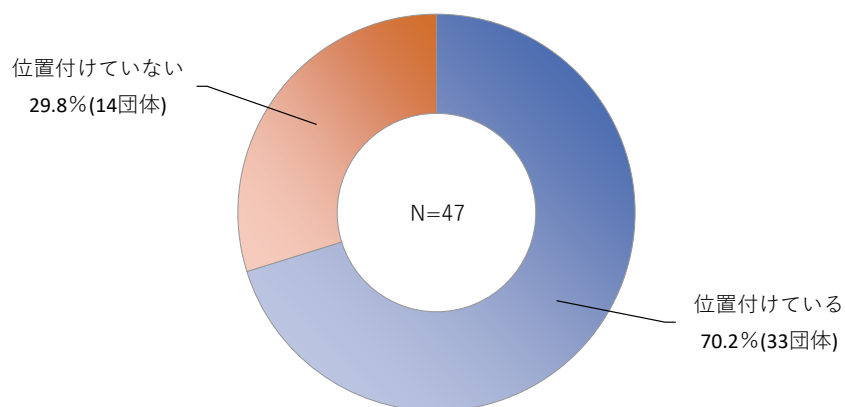
問 08 メディカルコントロール協議会又は消防本部から事後検証結果の報告を受け、実施基準の改正に活用していますか。1つ選んでください。

問08 メディカルコントロール協議会又は消防本部から事後検証結果の報告を受け、実施基準の改正に活用しているか<単数回答>



問 09 貴都道府県は、都道府県に設置されているメディカルコントロールを消防法第 35 条の 8 に定める協議会として位置付けていますか。1 つ選んでください。

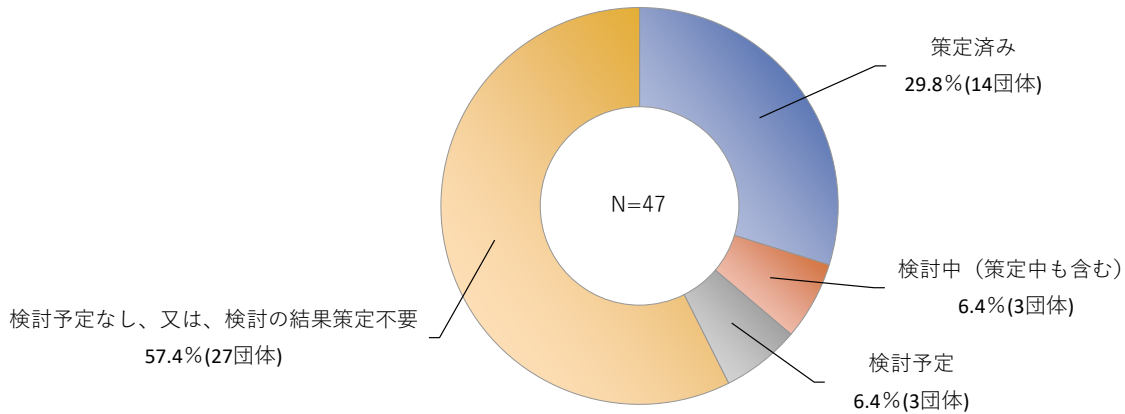
問09 都道府県に設置されているメディカルコントロールを
消防法第35条の8に定める協議会として位置付けているか<単数回答>



03. 転院搬送ガイドラインについて

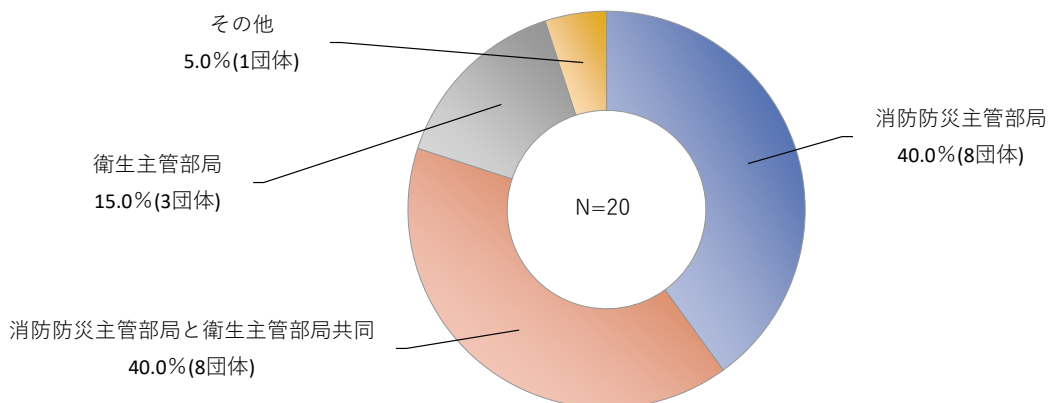
問 10 貴都道府県では、転院搬送におけるガイドラインを策定していますか。1つ選んでください。

問10 転院搬送におけるガイドラインを策定しているか<単数回答>



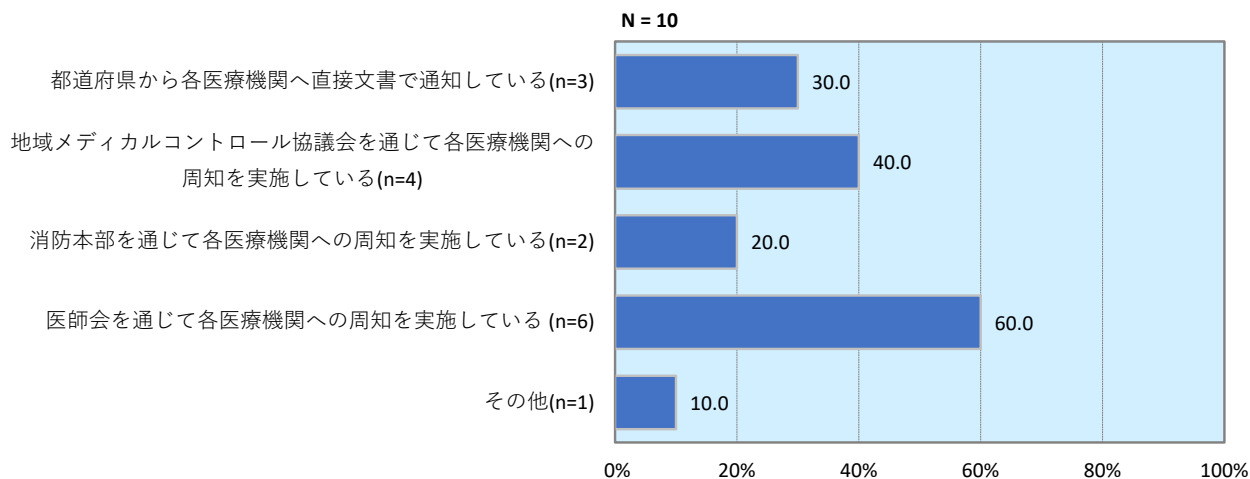
問 10-01 問 10 で「1. 策定済み」、「2. 検討中 (策定中も含む)」、「3. 検討予定」のいずれかを選択した方にお聞きします。貴都道府県では、どの部局が主体となって進めていますか。1つ選んでください。

問10-01 主体となって進めている部局<単数回答>



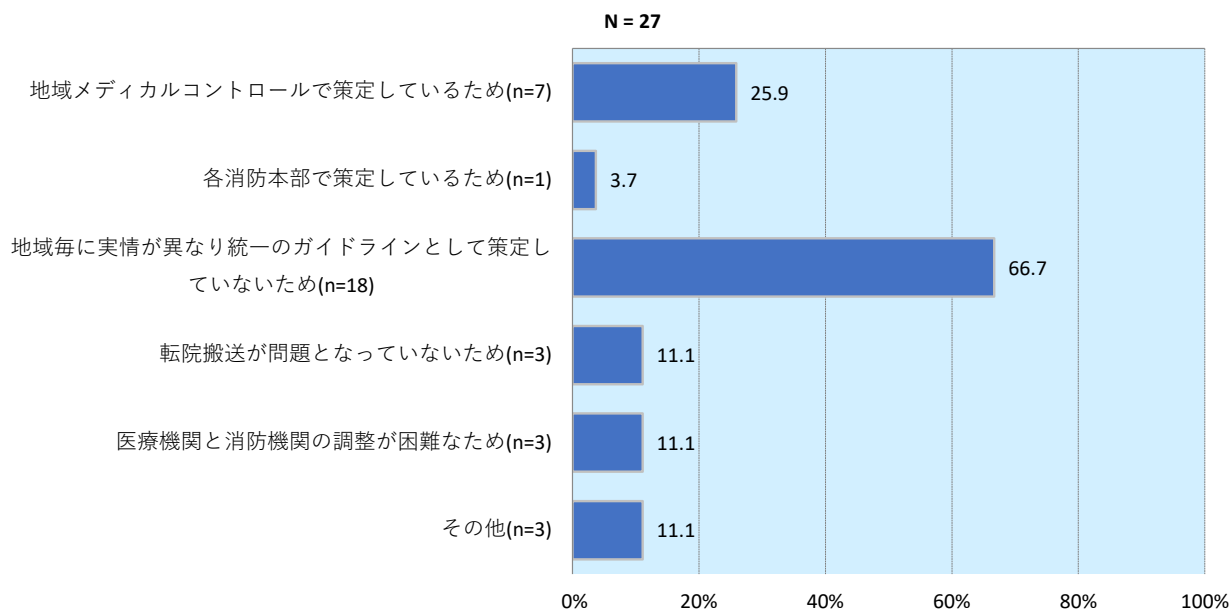
問 10-02 問 10 で「1. 策定済み」を選択し、かつ問 10-01 で「1. 消防防災主管部局」もしくは「2. 消防防災主管部局と衛生主管部局共同」を選択した方にお聞きします。策定したガイドラインについて、貴都道府県内の医療機関に対して、どのように周知していますか。該当するものをすべて選んでください。

問10-02 策定したガイドラインについて、医療機関に対してどのように周知しているか<複数回答>



問 10-03 問 10 で「4. 検討予定なし、又は、検討の結果策定不要」を選択した方にお聞きします。策定しない理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

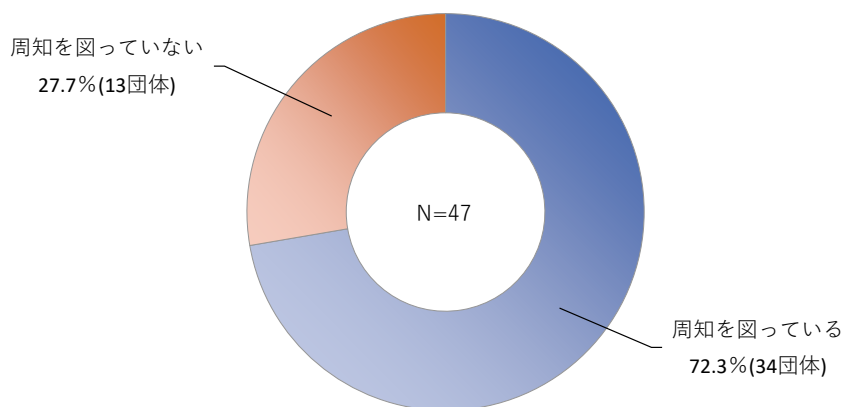
問10-03 転院搬送におけるガイドラインを策定しない理由<複数回答>



04. 外国人対応関連について

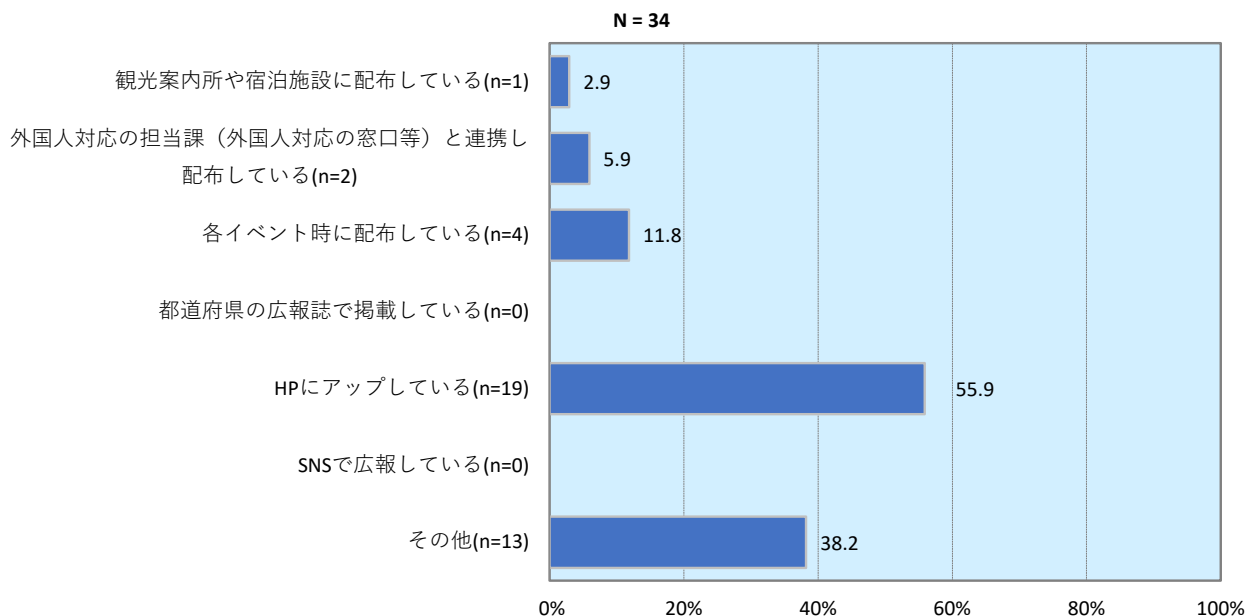
問 11 訪日外国人のための救急車利用ガイド※についてお聞きします。救急車利用ガイドについて、周知を図っていますか。1つ選んでください。

問11 訪日外国人のための救急車利用ガイドについて、周知を図っているか<単数回答>



問 11-01 問 11 で「1. 周知を図っている」を選択した方にお聞きします。周知方法について、該当するものをすべて選んでください。

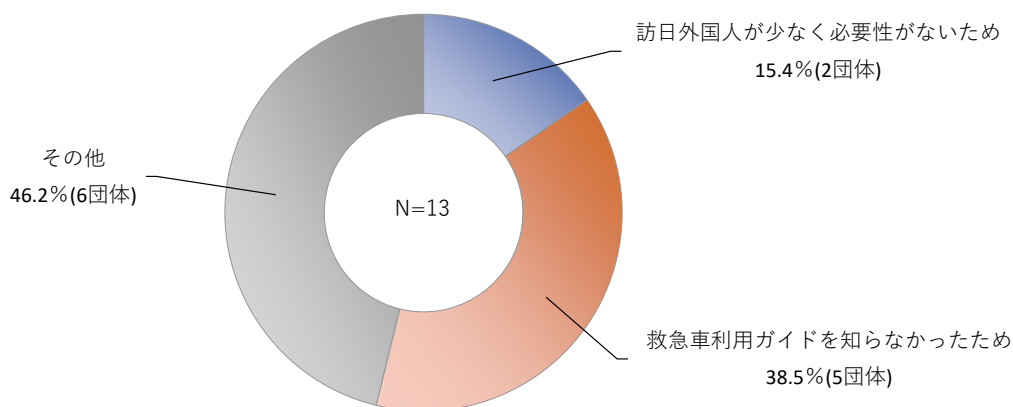
問11-01 訪日外国人のための救急車利用ガイドの周知方法<複数回答>



※訪日外国人のための「救急車利用ガイド（多言語版）」の活用について（平成 29 年 3 月 31 日付消防庁救急企画室）事務連絡を发出し、都道府県に対し広く周知をお願いしているところです。

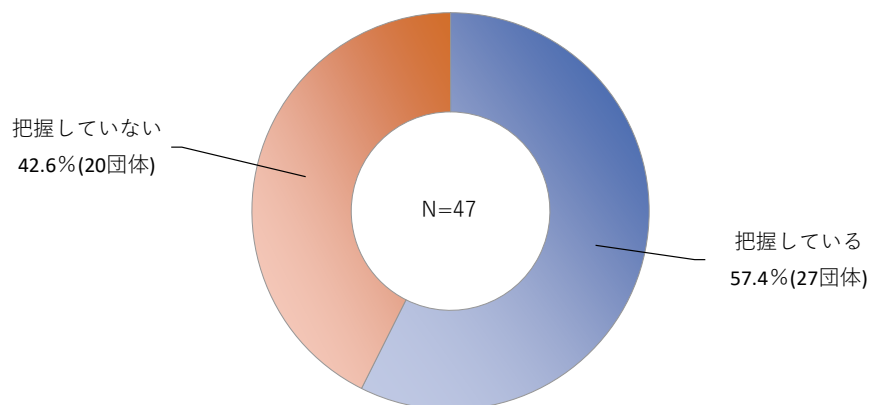
問 11-02 問 11 で「2. 周知を図っていない」を選択した方にお聞きします。周知を図っていない理由について1つ選んでください。

問11-02 救急車利用ガイドの周知を図っていない理由<単数回答>



問 12 貴都道府県では、外国人傷病者の対応が可能な医療機関を把握していますか。1つ選んでください。

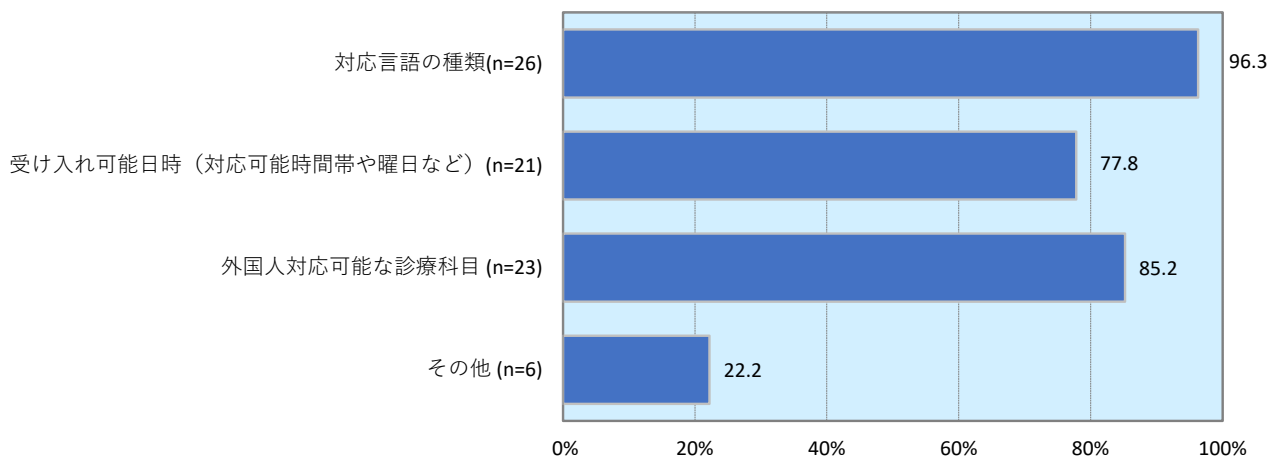
問12 外国人傷病者の対応が可能な医療機関を把握しているか<単数回答>



問 12-01 問 12 で「1. 把握している」を選択した方にお聞きします。具体的に把握している内容について、該当するものをすべて選んでください。

問12-01 具体的に把握している内容<複数回答>

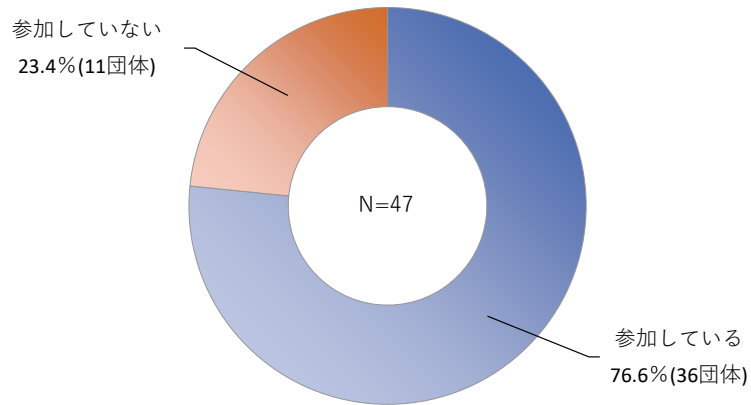
N = 27



05. 衛生主管部局との連携について

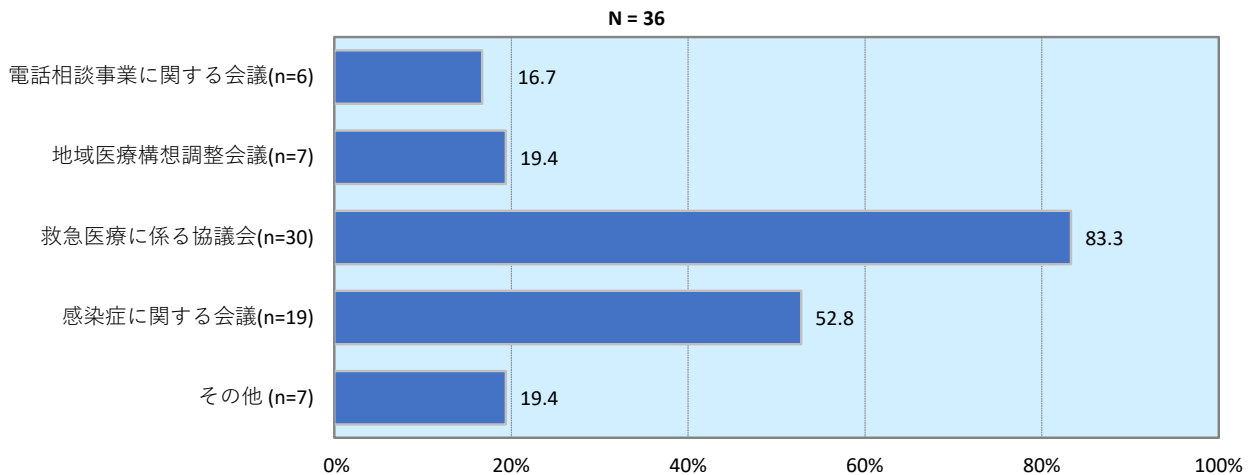
問 13 衛生主管部局が主催する、救急に関する会議に消防防災主管部局が参加していますか。1つ選んでください。

問13 衛生主管部局が主催する救急に関する会議に参加しているか<単数回答>



問 13-01 問 13で「1. 参加している」を選択した方にお聞きします。衛生主管部局が主催する救急に関する会議に該当するものをすべて選んでください。

問13-01 衛生主管部局の救急に関する会議<複数回答>



問 13-01 (その他) 問 13-01 で「5. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

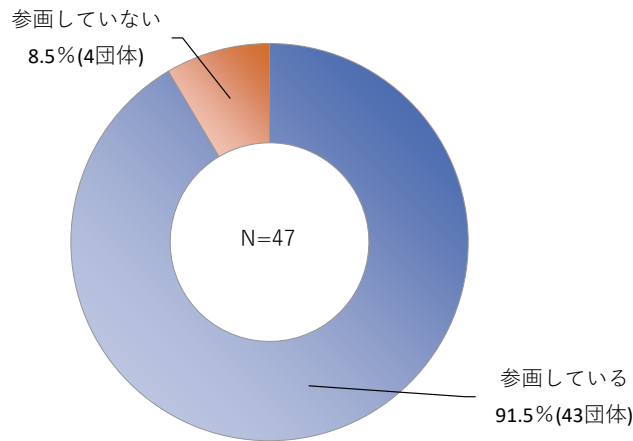
N= 7

- ・ 県メディカルコントロール協議会
- ・ 精神科救急医療システム協議会、循環器病対策医療協議会、周産期医療協議会
- ・ 災害医療
- ・ ドクターヘリ運航調整委員会
- ・ 精神救急医療
- ・ 福祉保健部所管の医療計画策定協議会にかかる会議
- ・ 必要に応じて参加する

06. 都道府県連携協議会の参画状況について

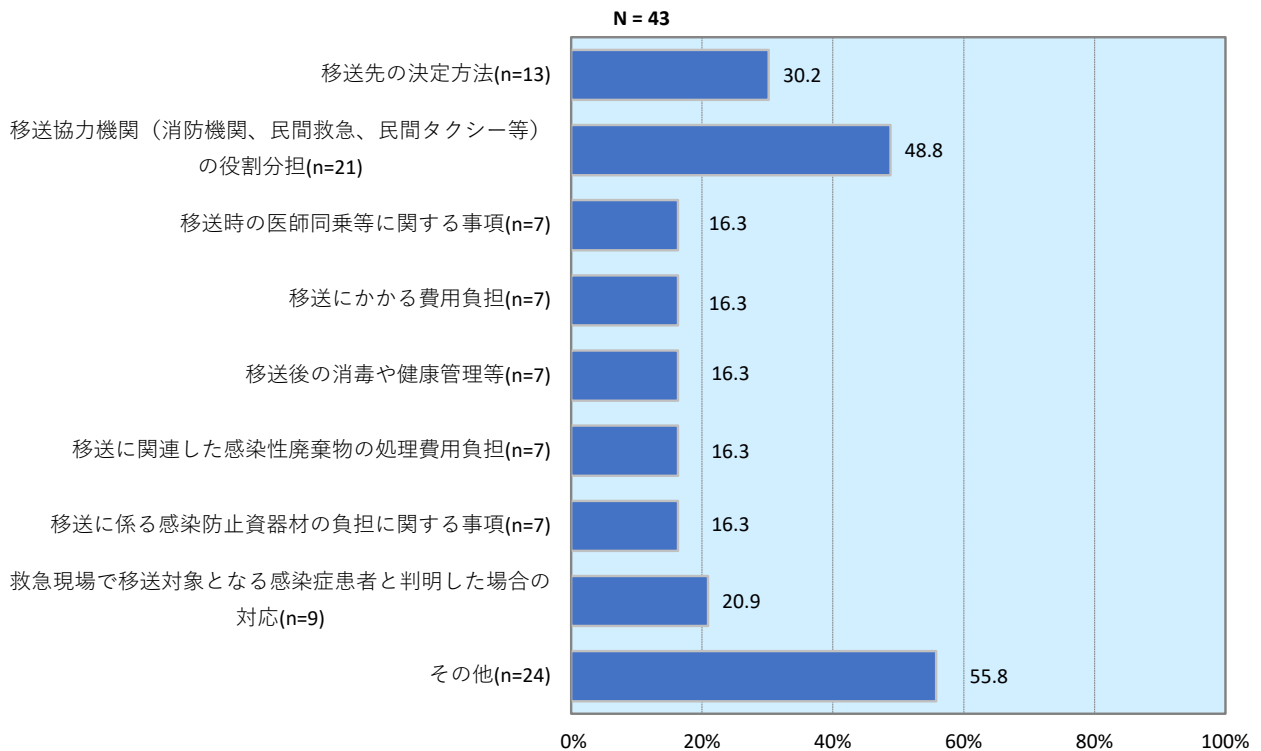
問 14 都道府県連携協議会の参画状況についてお聞きします。貴都道府県では、消防機関は参画していますか。1つ選んでください。

問14 都道府県連携協議会に消防機関が参画しているか<単数回答>



問 14-01 問 14で「1. 参画している」を選択した方にお聞きします。協議事項の内容について、該当するものをすべて選んでください。

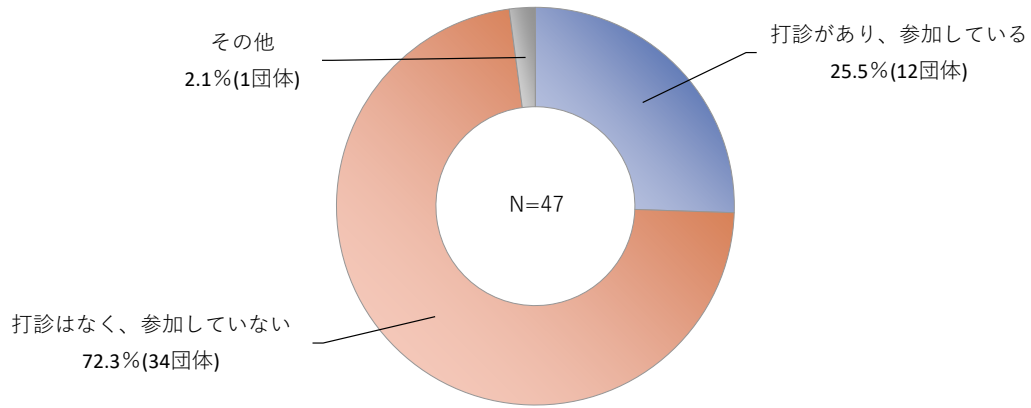
問14-01 都道府県連携協議会での協議事項<複数回答>



07. その他

問 15 地域医療構想に関する会議について、衛生主管部局から、消防防災主管部局又は消防本部に対し、参加の打診がありましたか。1つ選んでください。

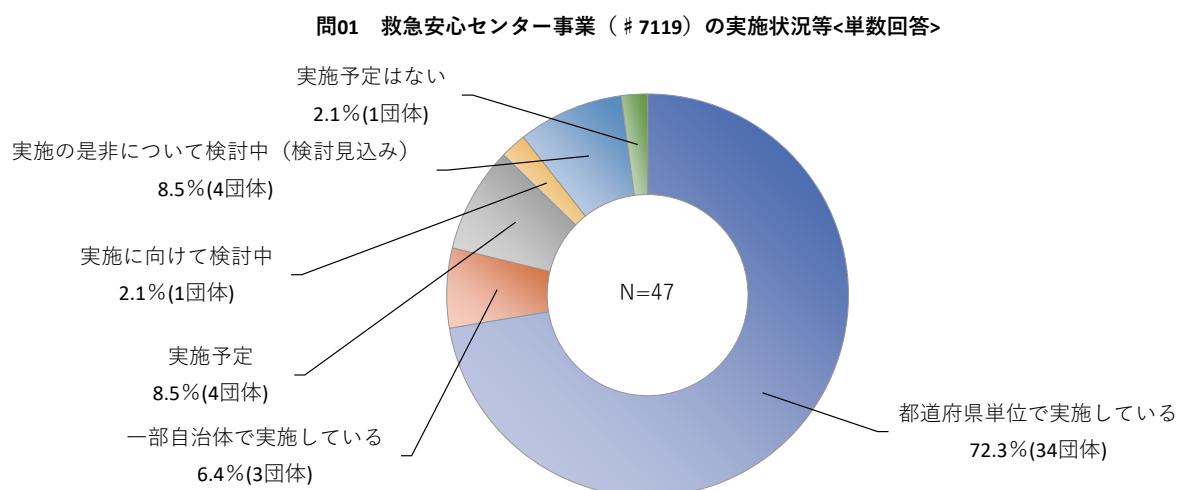
問15 地域医療構想に関する会議に、衛生主管部局から消防防災主管部局・消防本部への参加の打診があったか<単数回答>



Ⅱ 都道府県衛生主管部局 対象調査

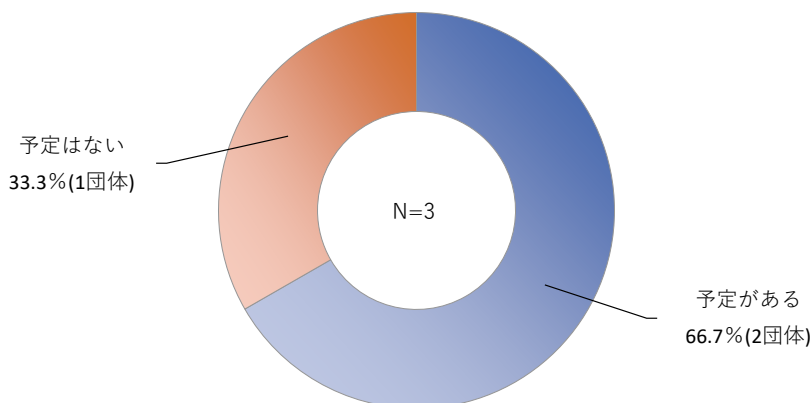
01. 救急安心センター事業（#7119）の普及促進について

問 01 救急安心センター事業（#7119）の実施状況等は、次のうちどれですか。1つ選んでください。



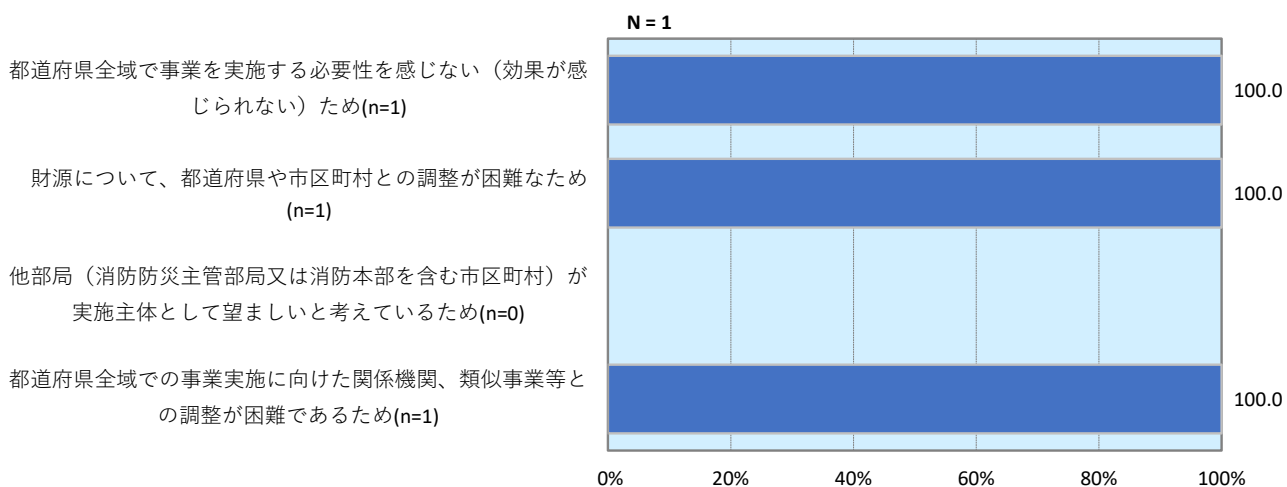
問 01-01 問 01 で「2. 一部自治体で実施している」を選択した方にお聞きします。今後、都道府県全域での実施に向けた検討を実施する予定はありますか。1つ選んでください。

問01-01 今後、都道府県全域での実施に向けた検討を実施する予定はあるか<単数回答>



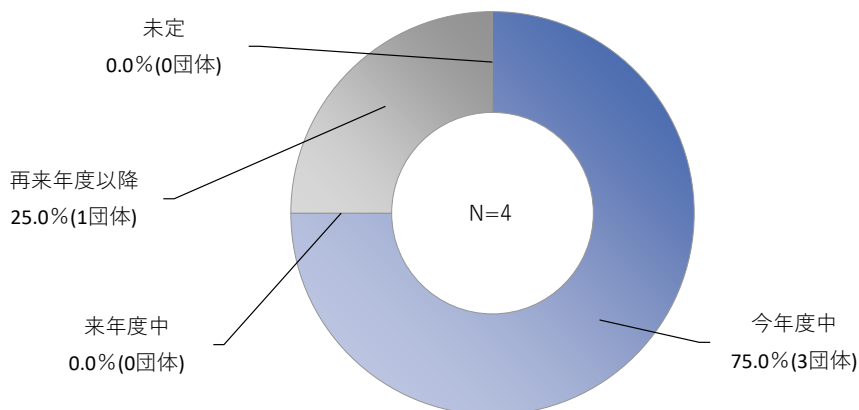
問 01-02 問 01-01 で「2. 予定はない」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

問01-02 今後都道府県全域での実施に向けた検討を実施する予定がない理由<複数回答>



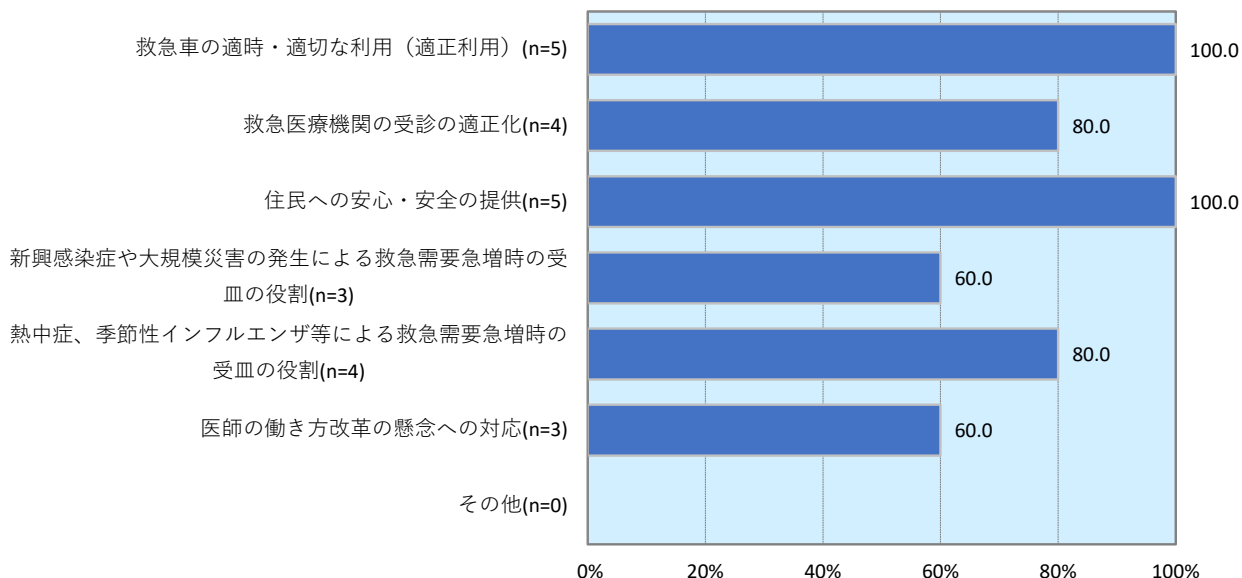
問 01-03 問 01 で「3. 実施予定」を選択した方にお聞きします。実施予定はいつ頃ですか。1つ選んでください。

問01-03 # 7119の実施予定時期<単数回答>



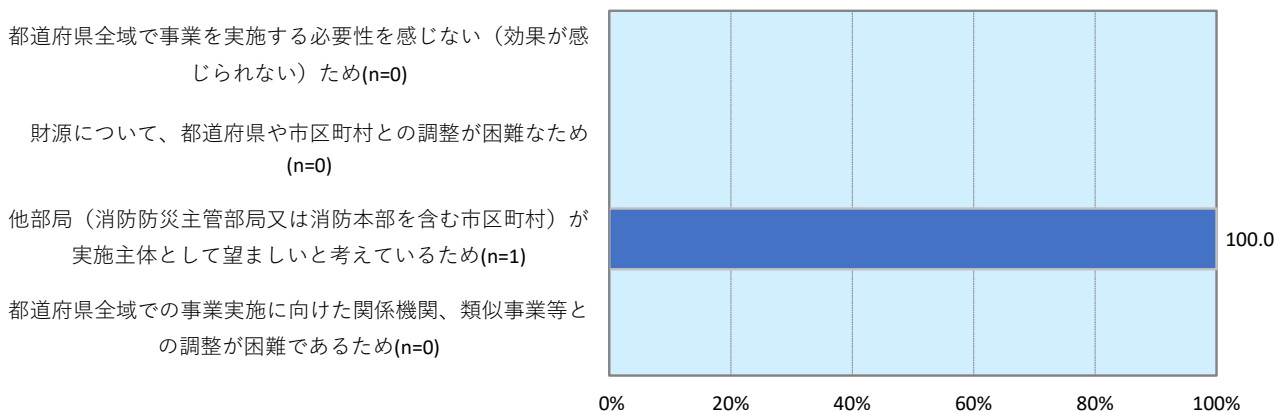
問 01-04 問 01 で「4. 実施に向けて検討中」もしくは「5. 実施の是非について検討中（検討見込み）」を選択した方にお聞きします。＃7119 に期待する効果は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

問01-04 # 7119に期待する効果<複数回答>
N = 5



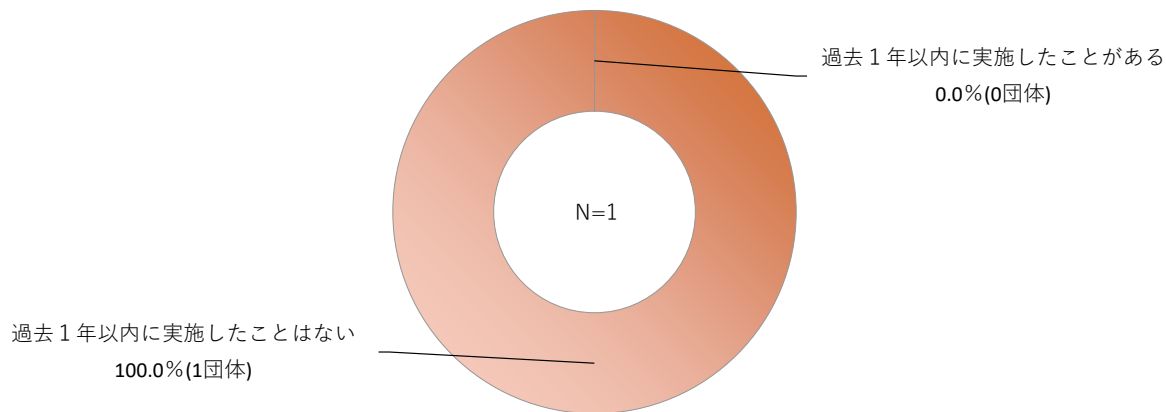
問 01-05 問 01 で「6. 実施予定はない」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

問01-05 # 7119を実施する予定がない理由<複数回答>
N = 1



問 01-06 問 01 で「6. 実施予定はない」を選択した方にお聞きします。実施に向けた検討を過去 1 年以内に実施したことがありますか。1 つ選んでください。

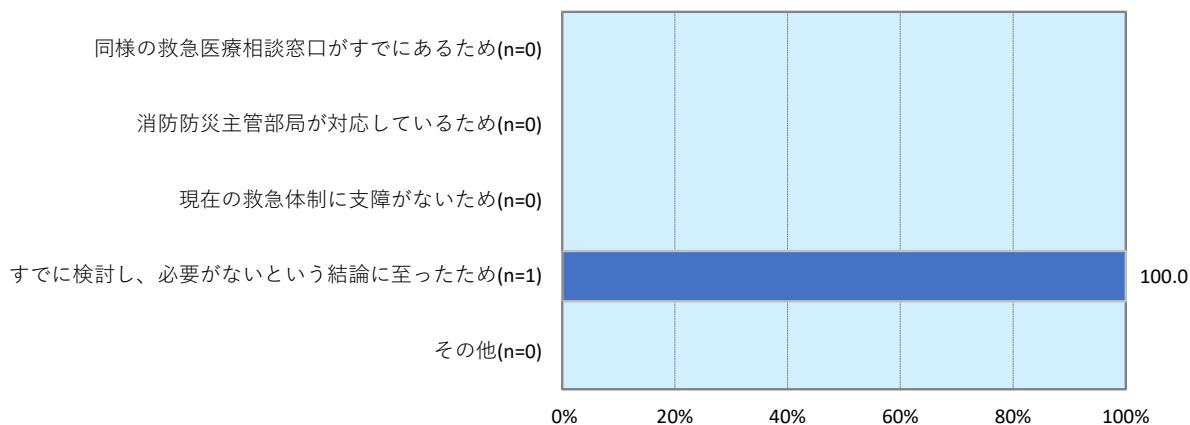
問01-06 # 7119実施に向けた検討を過去 1 年以内に実施したことがあるか<単数回答>



問 01-07 問 01-06 で「2. 過去 1 年以内に実施したことはない」を選択した方にお聞きします。衛生主管部局の視点から、その理由として近いものをすべて選んでください。

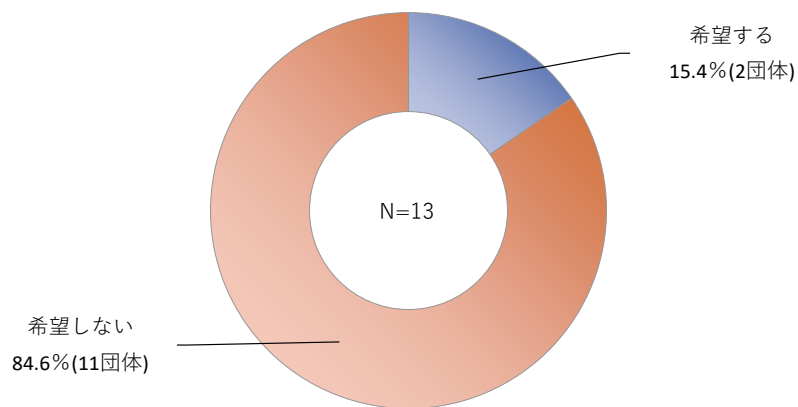
問01-07 # 7119を過去 1 年以内に検討したことがない理由 (衛生主管部局の視点から) <複数回答>

N = 1



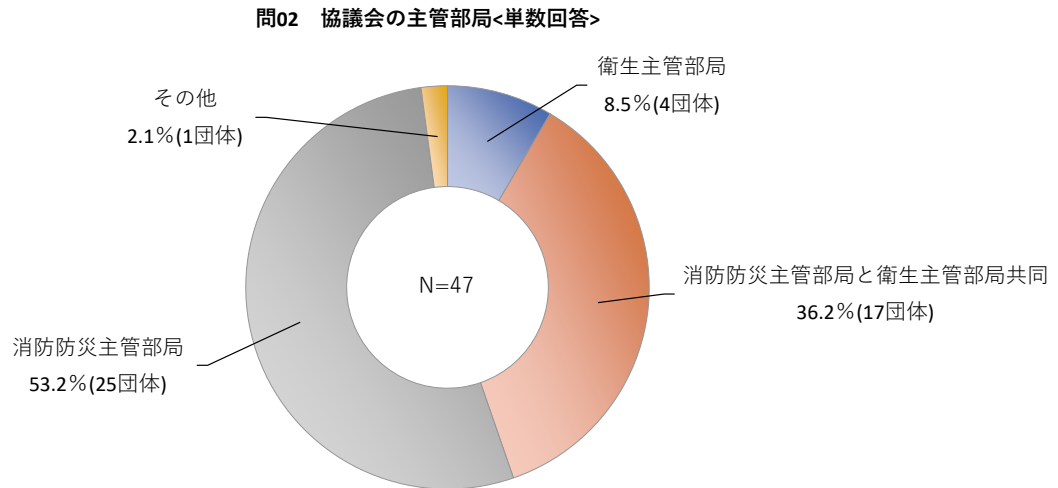
問 01-08 問 01 で「1. 都道府県単位で実施している」以外を選択した方（都道府県単位における実施に至っていない方）にお聞きします。消防庁では平成 29 年 5 月に「救急安心センター事業（#7119）普及促進アドバイザー制度」を創設し、アドバイザー派遣を実施しています。今後、アドバイザーの派遣を希望しますか。1 つ選んでください。

問01-08 #7119普及促進アドバイザーの派遣を希望するか<単数回答>

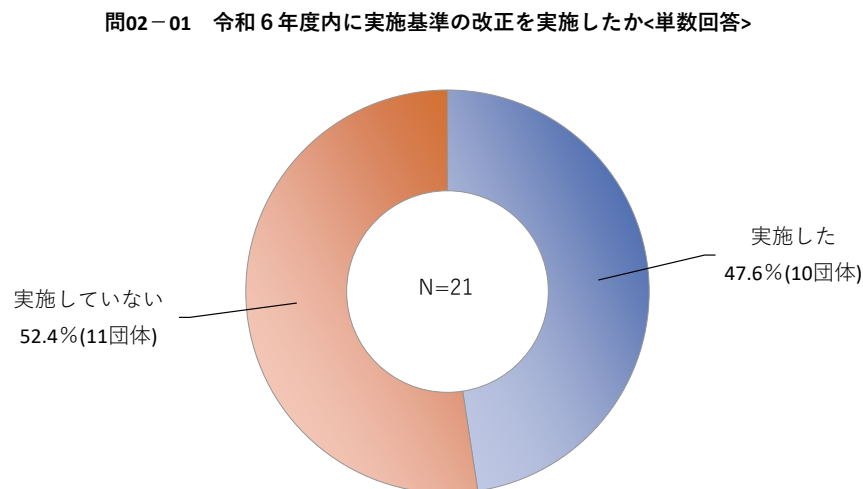


02. 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準について

問 02 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準（（消防法第 35 条の 5） 以下、「実施基準」という。）策定のための協議会の設置（消防法第 35 条の 8）についてお聞きします。貴都道府県において、協議会の主管部局は次のうちどれですか。1つ選んでください。



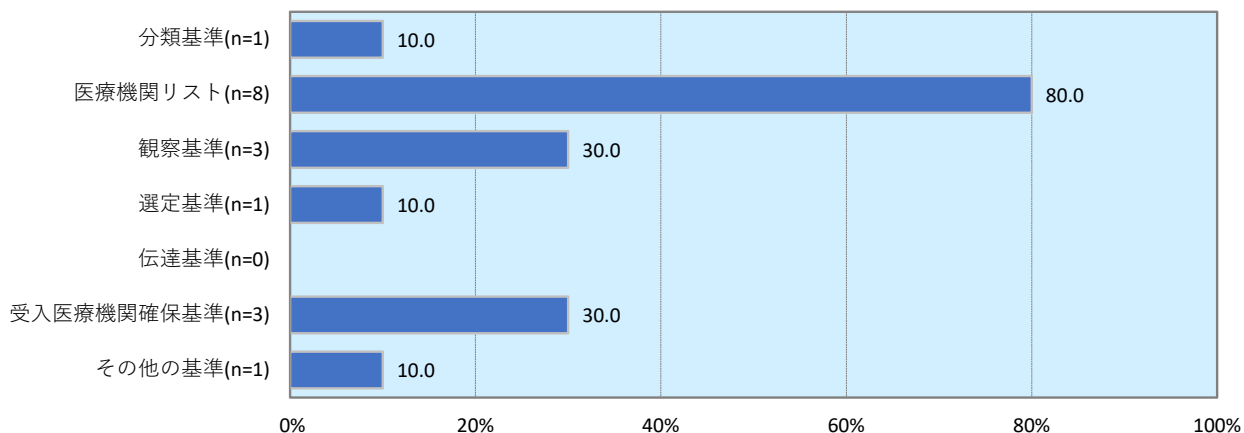
問 02-01 問 02 で「1. 衛生主管部局」もしくは「2. 消防防災主管部局と衛生主管部局共同」を選択した方にお聞きします。貴都道府県では、令和 6 年度内に実施基準の改正を実施しましたか。1つ選んでください。



問 02-02 問 02-01 で「1. 実施した」を選択した方にお聞きします。どのような内容について改正を実施しましたか。該当するものをすべて選んでください。

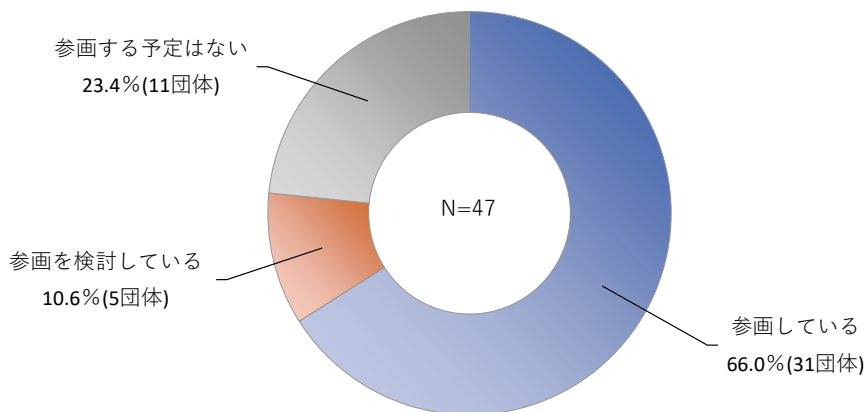
問02-02 どのような内容について実施基準の改正を実施したか<複数回答>

N = 10



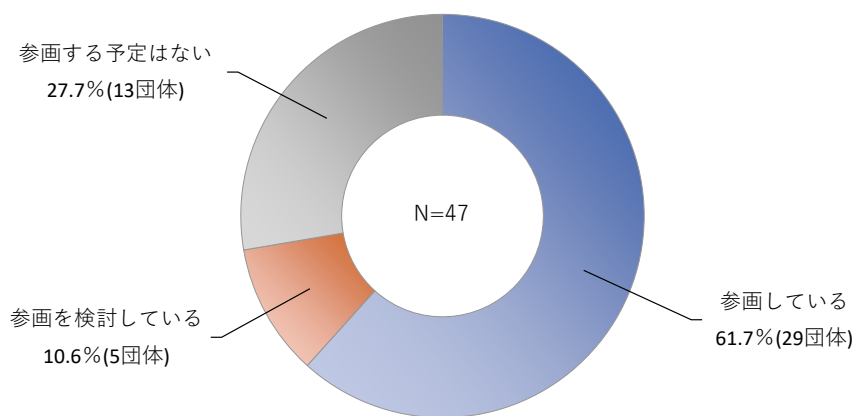
問 03 貴都道府県では、実施基準策定に循環器医が参画していますか。1つ選んでください。

問03 実施基準策定に循環器医が参画しているか<単数回答>



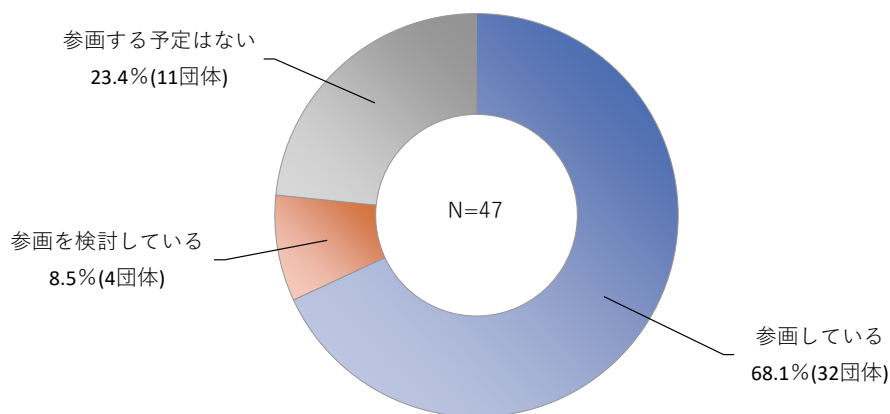
問 04 貴都道府県では、実施基準策定に循環器専門医又は循環器内科専門医が参画していますか。1つ選んでください。

問04 実施基準策定に循環器専門医又は循環器内科専門医が参画しているか<単数回答>



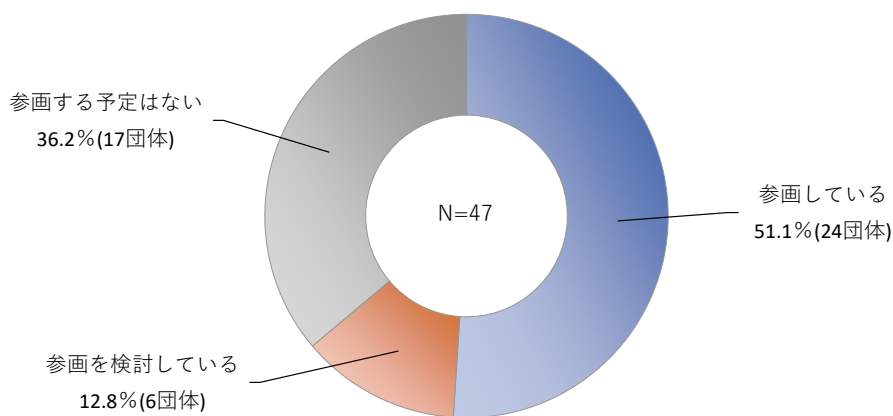
問 05 貴都道府県では、実施基準策定に脳神経内科医又は脳外科医が参画していますか。1つ選んでください。

問05 実施基準策定に脳神経内科医又は脳外科医が参画しているか<単数回答>



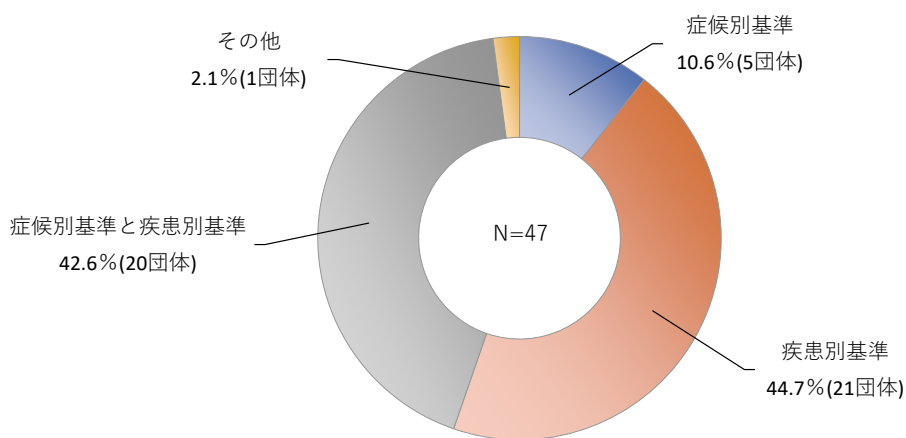
問 06 貴都道府県では、実施基準策定に脳卒中専門医が参画していますか。1つ選んでください。

問06 実施基準作成に脳卒中専門医が参画しているか<単数回答>

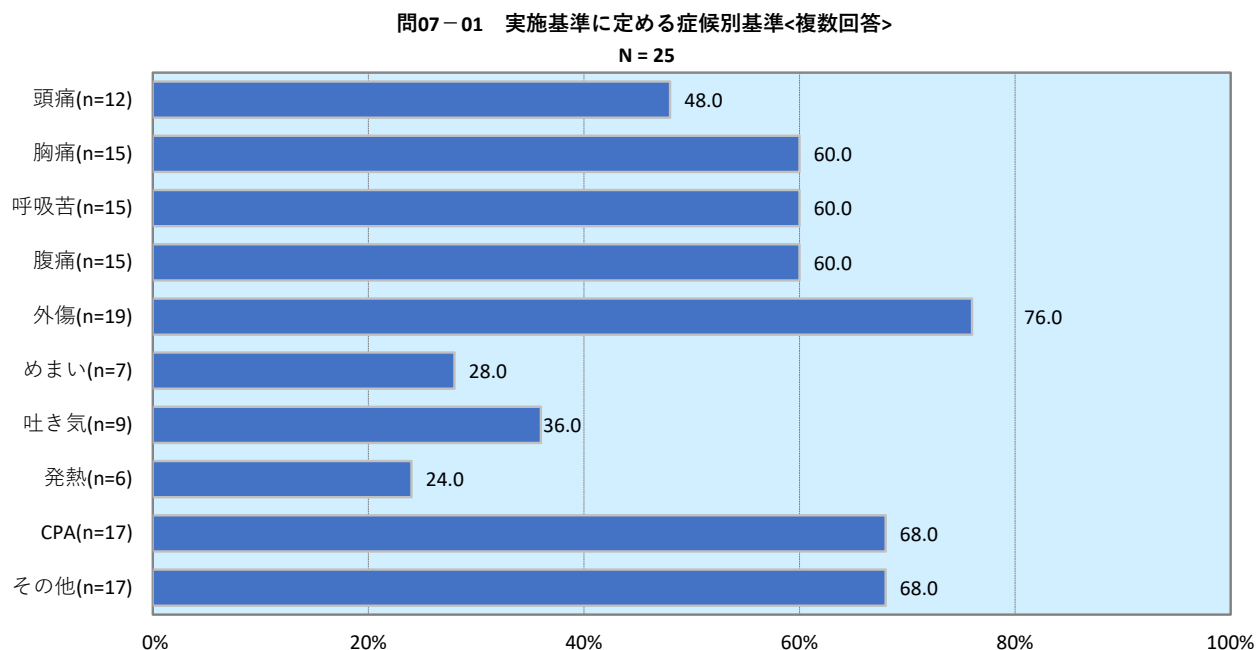


問 07 貴都道府県の定める実施基準は次のどれに該当しますか。1つ選んでください。

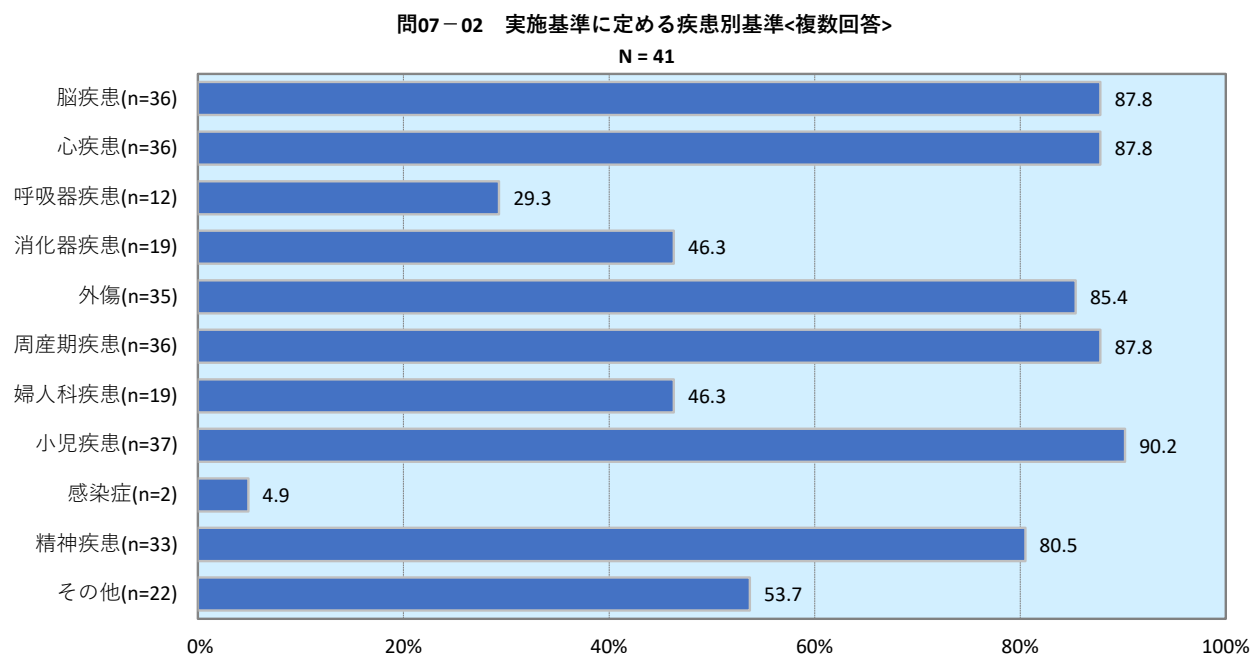
問07 定める実施基準<単数回答>



問 07-01 問 07 で「1. 症候別基準」もしくは「3. 症候別基準と疾患別基準」を選択した方にお聞きします。実施基準に定める症候別基準は次のうちどれですか。該当するものをすべて選んでください。



問 07-02 問 07 で「2. 疾患別基準」もしくは「3. 症候別基準と疾患別基準」を選択した方にお聞きします。実施基準に定める疾患別基準は次のうちどれですか。該当するものをすべて選んでください。



問 07-02 (その他) 問 07-02 で「11. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=22

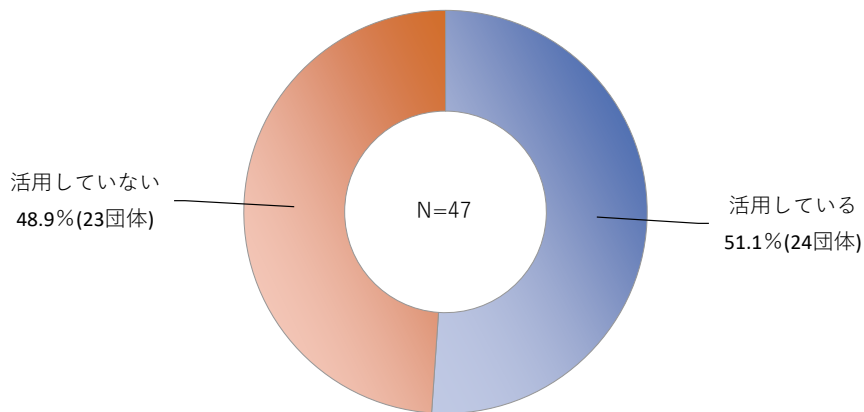
- ・ 四肢断裂、耳鼻疾患
- ・ 中毒、意識障害、熱傷
- ・ 重篤、眼疾患、開放骨折
- ・ 緊急透析（特殊性）
- ・ 減圧症
- ・ 急性腹症
- ・ 循環器疾患
- ・ アナフィラキシー
- ・ 溺水・低体温
- ・ 電撃傷
- ・ 口腔外科
- ・ 緊急被ばく
- ・ 指肢切断
- ・ 重症熱傷、吐下血
- ・ アルコール飲酒
- ・ 耳鼻咽喉科
- ・ バイタルサイン等による重篤
- ・ 複数診療科の対応を必要とする傷病

他

(重複等是一部要約)

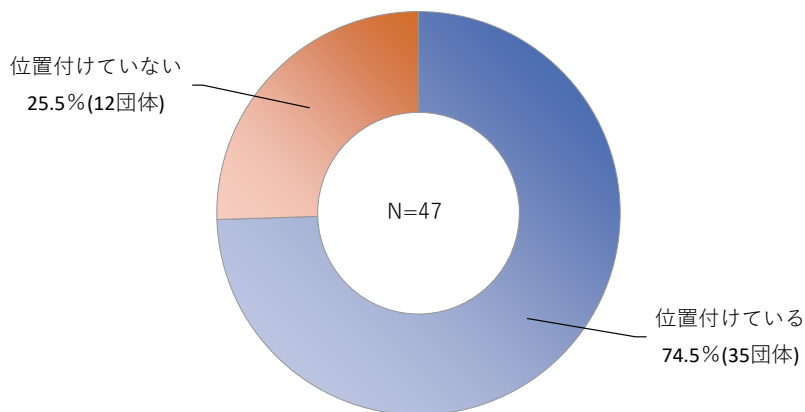
問 08 メディカルコントロール協議会又は消防本部から事後検証結果の報告を受け、実施基準の改正に活用していますか。1つ選んでください。

問08 メディカルコントロール協議会又は消防本部から事後検証結果の報告を受け、実施基準の改正に活用しているか<単数回答>



問 09 貴都道府県は、都道府県に設置されているメディカルコントロールを消防法第 35 条の 8 に定める協議会として位置付けていますか。1つ選んでください。

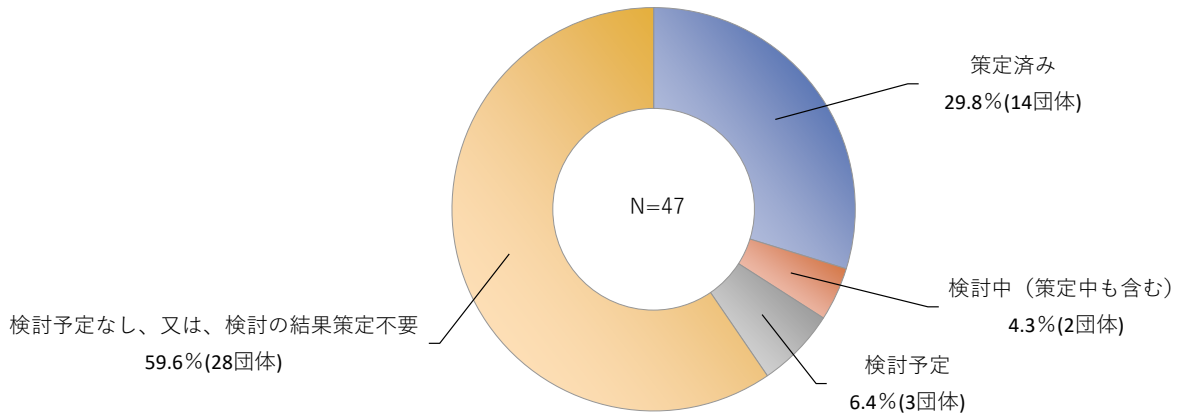
問09 都道府県に設置されているメディカルコントロールを消防法第35条の8に定める協議会として位置付けているか<単数回答>



03. 転院搬送ガイドラインについて

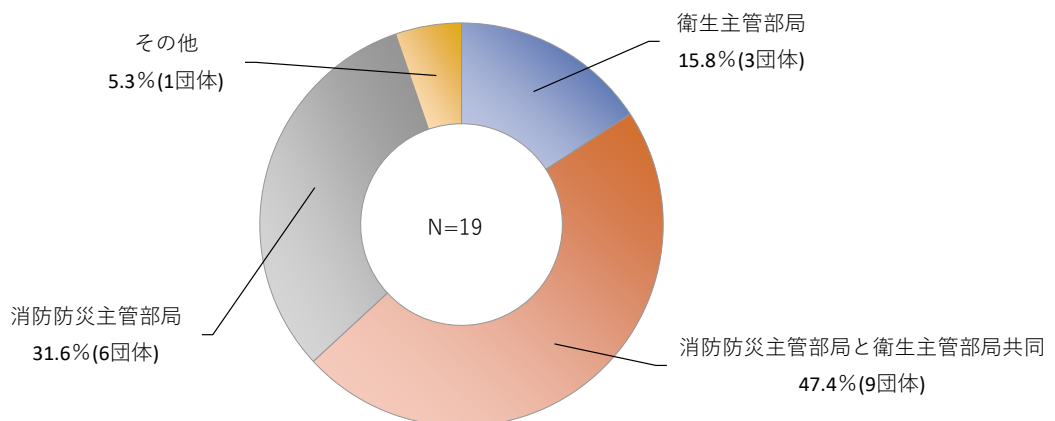
問 10 貴都道府県では、転院搬送におけるガイドラインを策定していますか。1つ選んでください。

問10 転院搬送におけるガイドラインを策定しているか<単数回答>



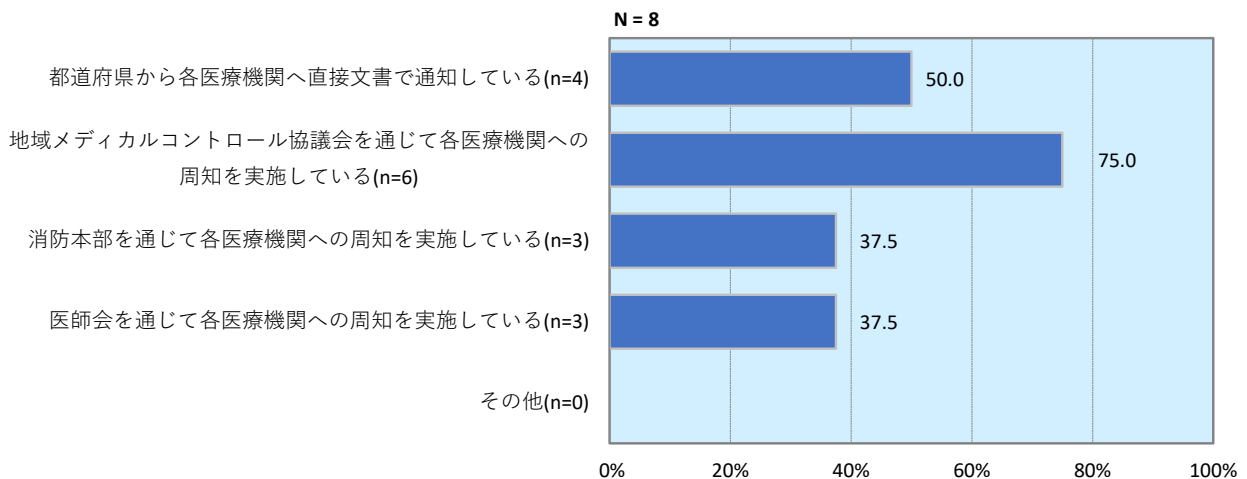
問 10-01 問 10 で「1. 策定済み」、「2. 検討中 (策定中も含む)」、「3. 検討予定」のいずれかを選択した方にお聞きします。貴都道府県では、どの部局が主体となって進めていますか。1つ選んでください。

問10-01 主体となって進めている部局<単数回答>



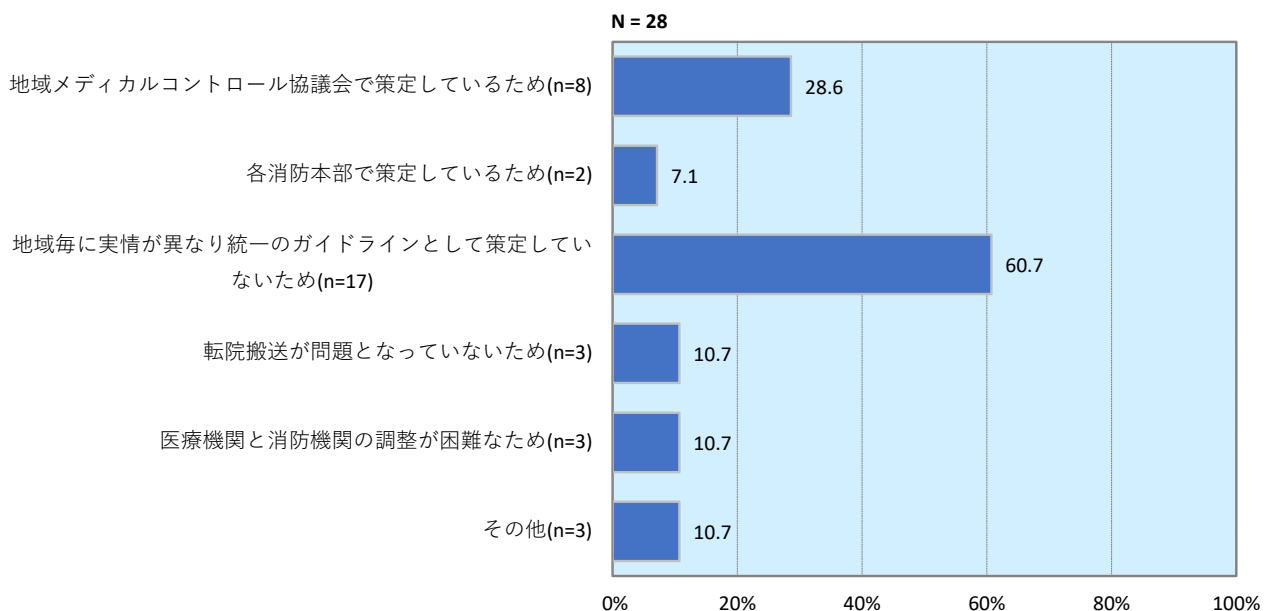
問 10-02 問 10 で「1. 策定済み」を選択し、かつ問 10-01 で「1. 衛生主管部局」もしくは「2. 消防防災主管部局と衛生主管部局共同」を選択した方にお聞きします。策定したガイドラインについて、貴都道府県内の医療機関に対して、どのように周知していますか。該当するものをすべて選んでください。

問10-02 策定したガイドラインについて、医療機関に対してどのように周知しているか<複数回答>



問 10-03 問 10 で「4. 検討予定なし、又は、検討の結果策定不要」を選択した方にお聞きします。策定しない理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

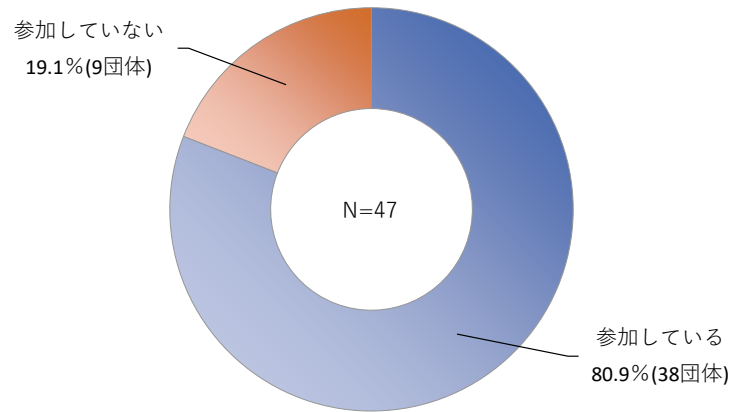
問10-03 転院搬送におけるガイドラインを策定しない理由<複数回答>



04. 消防防災主管部局との連携について

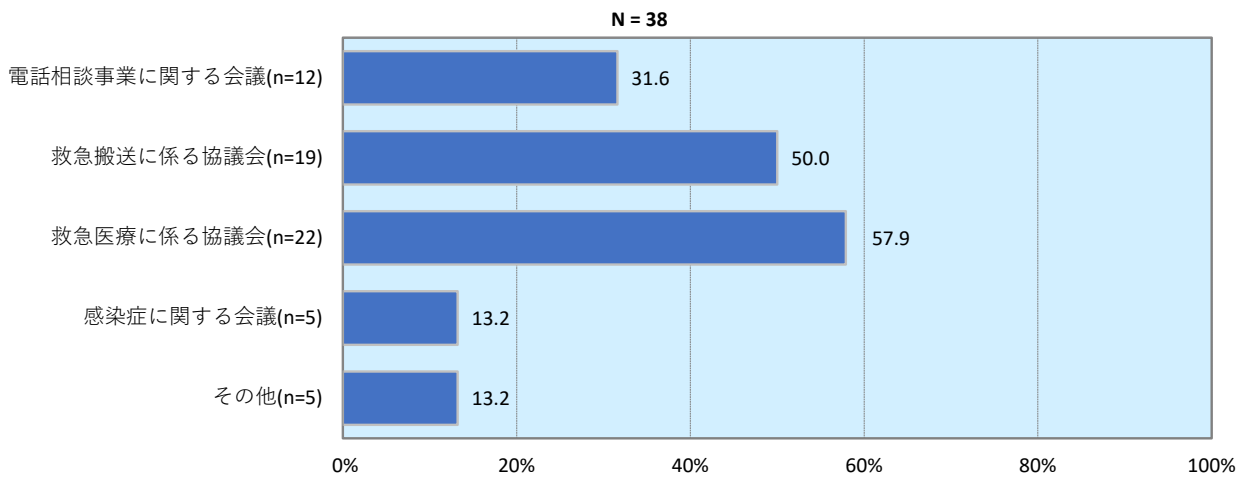
問 11 消防防災主管部局が主催する救急に関する会議に衛生主管部局が参加していますか。
1つ選んでください。

問11 消防防災主管部局が主催する救急に関する会議に参加しているか<単数回答>



問 11-01 問 11 で「1. 参加している」を選択した方にお聞きします。消防防災主管部局が主催する救急に関する会議に該当するものをすべて選んでください。

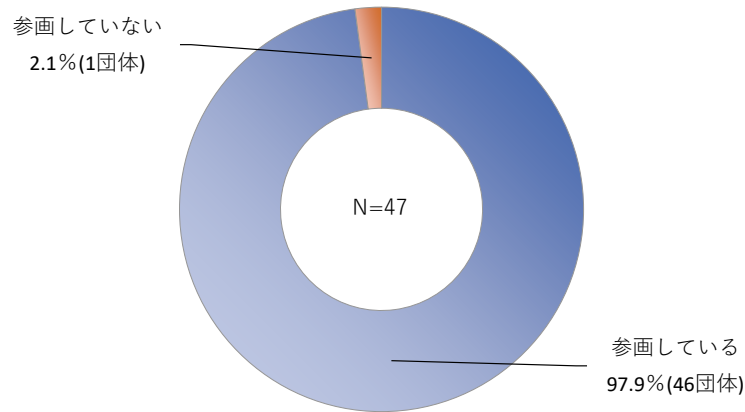
問11-01 消防防災主管部局の救急に関する会議<複数回答>



05. 都道府県連携協議会の参画状況について

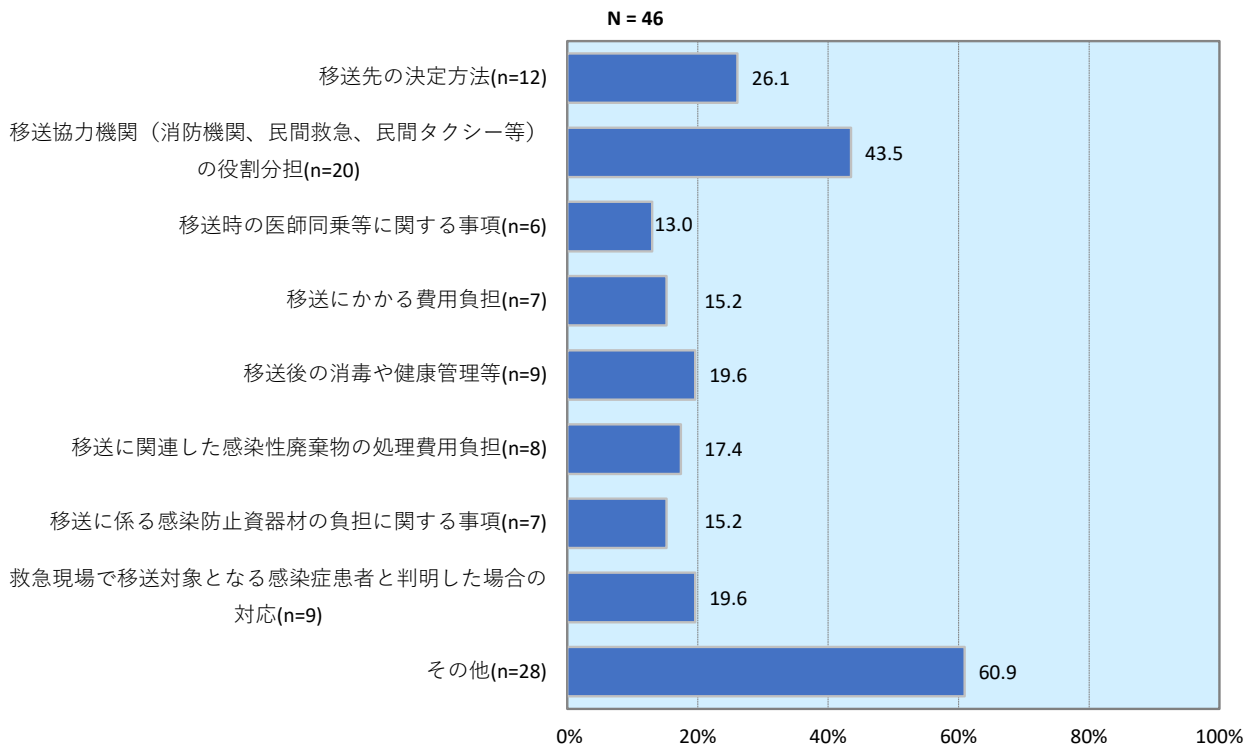
問 12 都道府県連携協議会の参画状況についてお聞きします。貴都道府県では、消防機関は参画していますか。1つ選んでください。

問12 都道府県連携協議会に消防機関が参画しているか<単数回答>



問 12-01 問 12 で「1. 参画している」を選択した方にお聞きします。協議事項の内容について、該当するものをすべて選んでください。

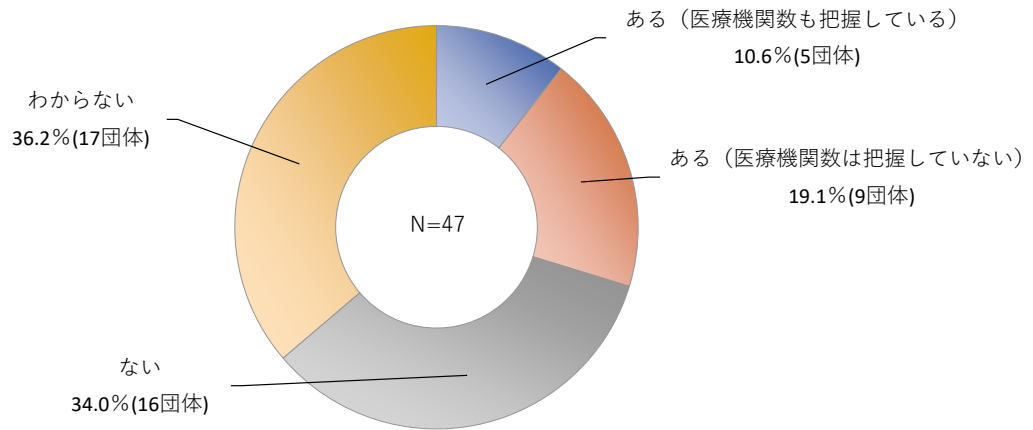
問12-01 都道府県連携協議会での協議事項<複数回答>



06. 選定療養費に関する取組について

問 13 消防機関の救急車で搬送された方について、軽症の場合などに選定療養費を徴収する取組を実施している医療機関は貴都道府県内にありますか。1つ選んでください。

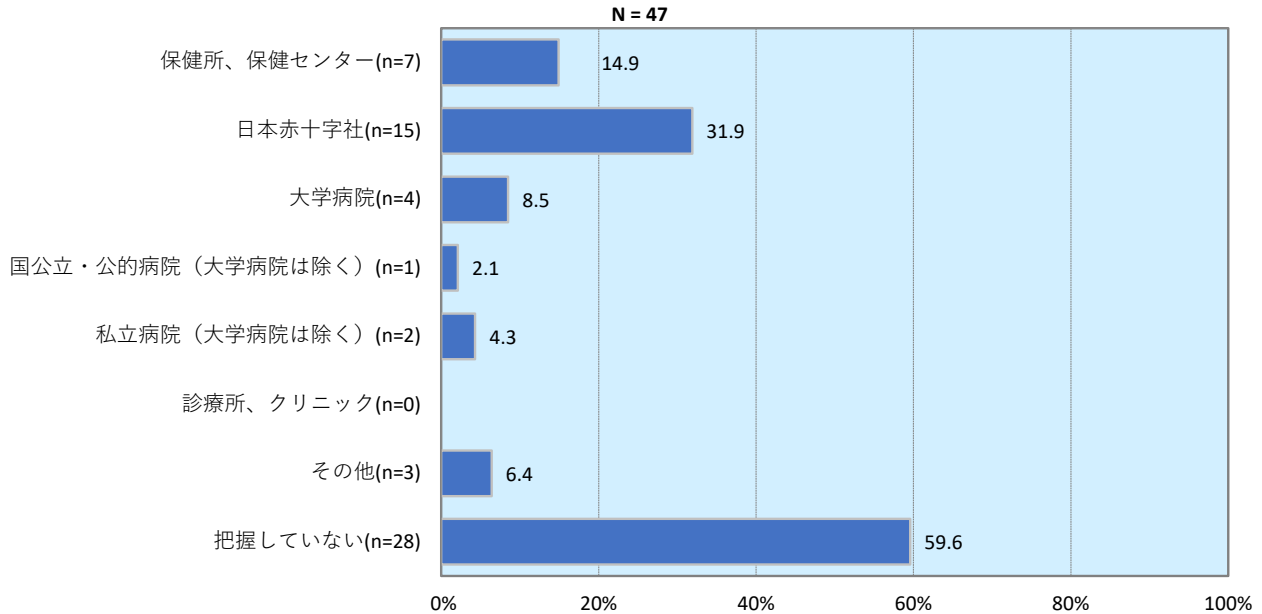
問13 選定医療費を徴収する取組を実施している医療機関があるか<単数回答>



07. その他

問 14 貴都道府県では、消防以外にどのような機関が応急手当の講習を実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問14 消防以外で応急手当の講習を実施している機関<複数回答>



問 14（その他） 問 14 で「7. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=3

- ・ 県医師会
- ・ 郡市医師会
- ・ NPO 法人

(一部要約)

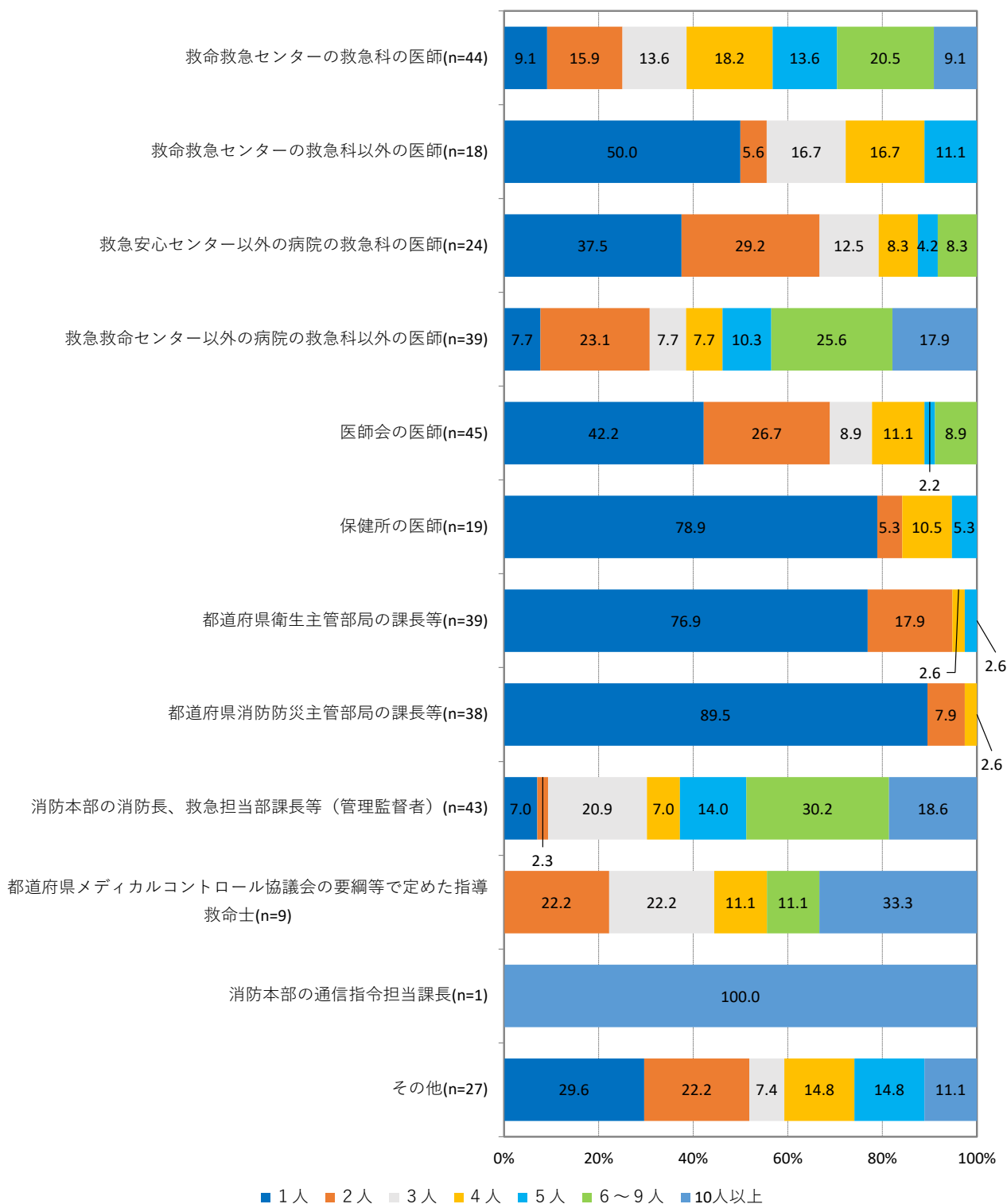
Ⅲ 都道府県 MC 協議会 対象調査

01. 都道府県メディカルコントロール協議会の体制について

問 01 貴協議会の構成員について、該当するものをすべて選んでください。

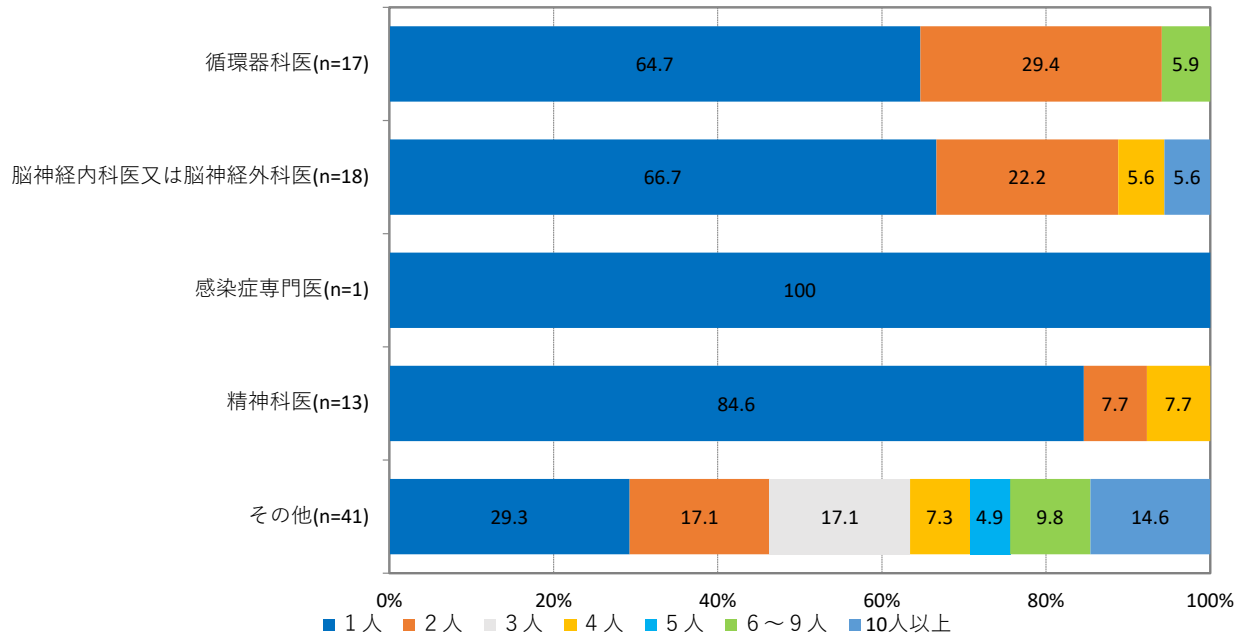
問01 都道府県メディカルコントロール協議会の構成員<各項目の人数内訳>

N=47



問 01-01 問 01 で「2. 救命救急センターの救急科以外の医師」もしくは「4. 救命救急センター以外の病院の救急科以外の医師」を選択した方にお聞きします。救急科以外の医師のうち、該当するものをすべて選んでください。

問01-01 救急科以外の医師のうち、該当するもの<各項目の人数内訳>
N=43



問 01-01 (その他) 問 01-01 で「5. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=41

- ・ 麻酔科
- ・ 周産期科、小児科
- ・ 消化器内科、整形外科、外科、産婦人科
- ・ 内科
- ・ 災害医療
- ・ 院長、顧問
- ・ 県病院協会医師
- ・ 消化器専門医、整形外科専門医、麻酔科専門医
- ・ 新生児科
- ・ リウマチ科専門医
- ・ 内科医（総合診療）
- ・ 在宅医療を行っている診療所の医師
- ・ 呼吸器外科、消化器外科
- ・ 皮膚科
- ・ 肛門外科、脊椎外科、呼吸器外科
- ・ 乳腺外科
- ・ 災害拠点病院
- ・ 胃腸科、リハビリテーション科、歯科

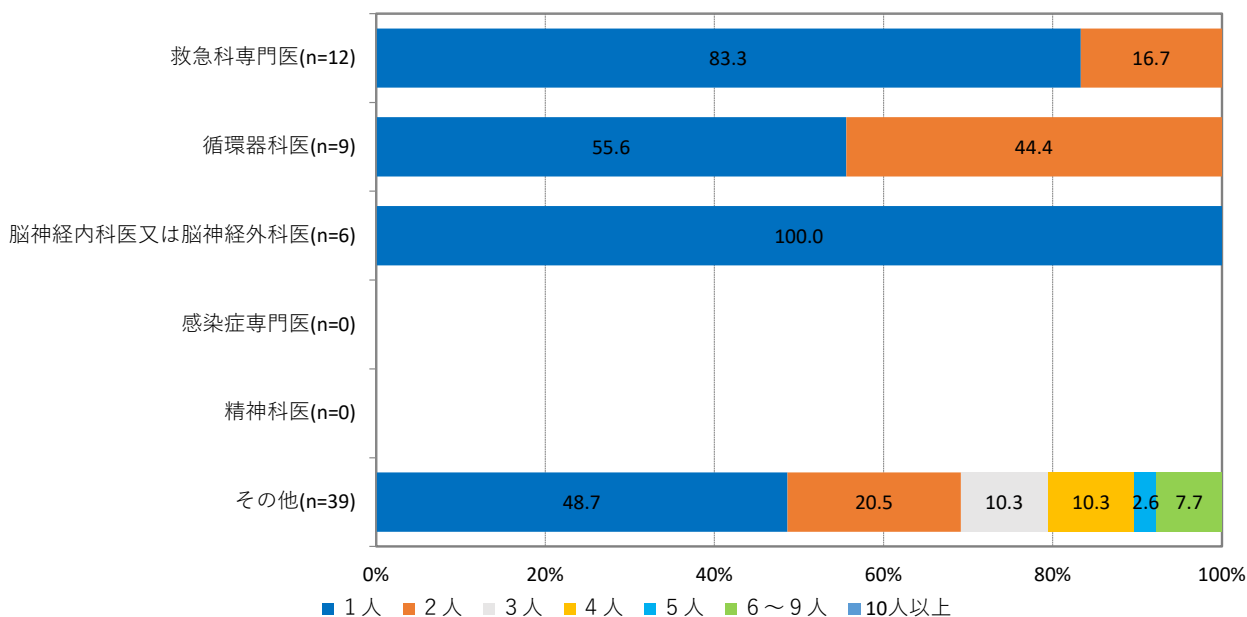
他

(重複等を一部要約)

問 01-02 問 01 で「5. 医師会の医師」を選択した方にお聞きします。医師会の医師のうち、該当するものをすべて選んでください。

問01-02 医師会の医師のうち、該当するもの<各項目の人数内訳>

N=45



問 01-02 (その他) 問 01-02 で「6. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=39

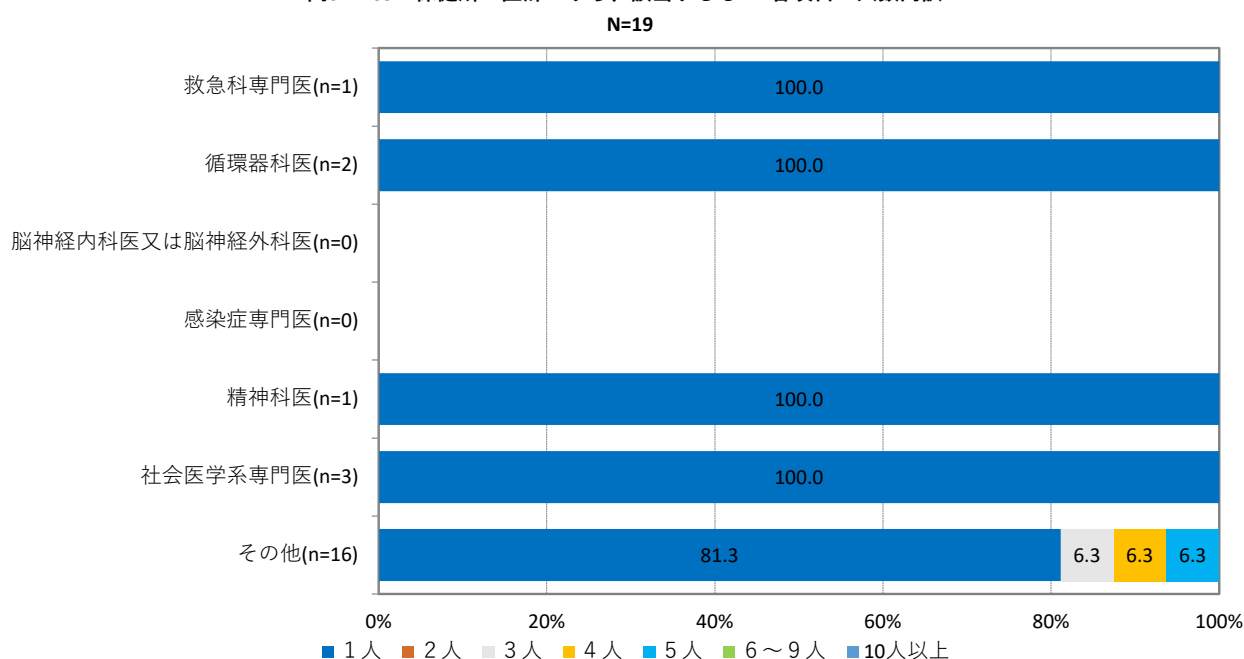
- ・ 麻酔科、外科
- ・ 腫瘍内科
- ・ 消化器外科
- ・ 整形外科、消化器科、脳外科内科
- ・ 産婦人科、内科医、小児科医
- ・ 院長
- ・ 日本消化器内視鏡学会専門医、日本抗加齢医学会専門医、日本消化器病学会専門医
- ・ アレルギー科
- ・ 小児科専門医、整形外科専門医、産婦人科専門医
- ・ 肛門外科
- ・ 歯科、心臓血管外科、リハビリテーション科

他

(重複等を一部要約)

問 01-03 問 01 で「6. 保健所の医師」を選択した方にお聞きします。保健所の医師のうち、該当するものをすべて選んでください。

問01-03 保健所の医師のうち、該当するもの<各項目の人数内訳>



問 01-03 (その他) 問 01-03 で「7. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=16

- ・ 保健所長
- ・ 内科小児科医
- ・ 公衆衛生・疫学
- ・ 小児神経科専門医、リハビリテーション科専門医
- ・ 日本医師会認定産業医
- ・ 麻酔科

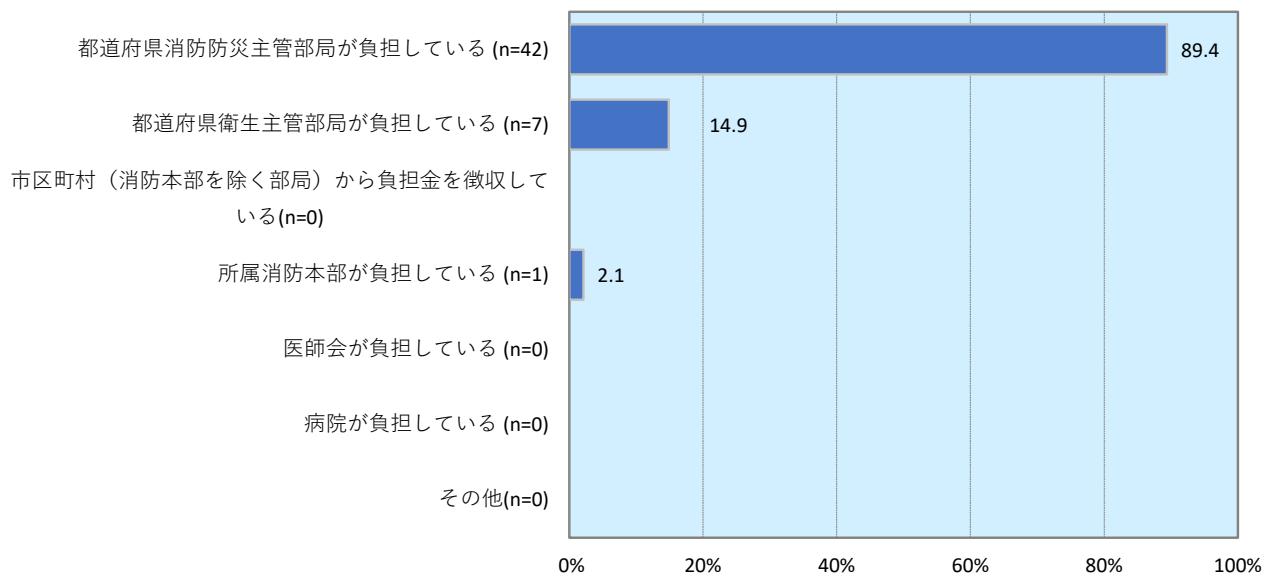
他

(重複等を一部要約)

問 02 貴協議会の令和7年度の予算は、どこが負担していますか。該当するものをすべて選んでください。

問02 令和7年度の予算は、どこが負担しているか<複数回答>

N = 47

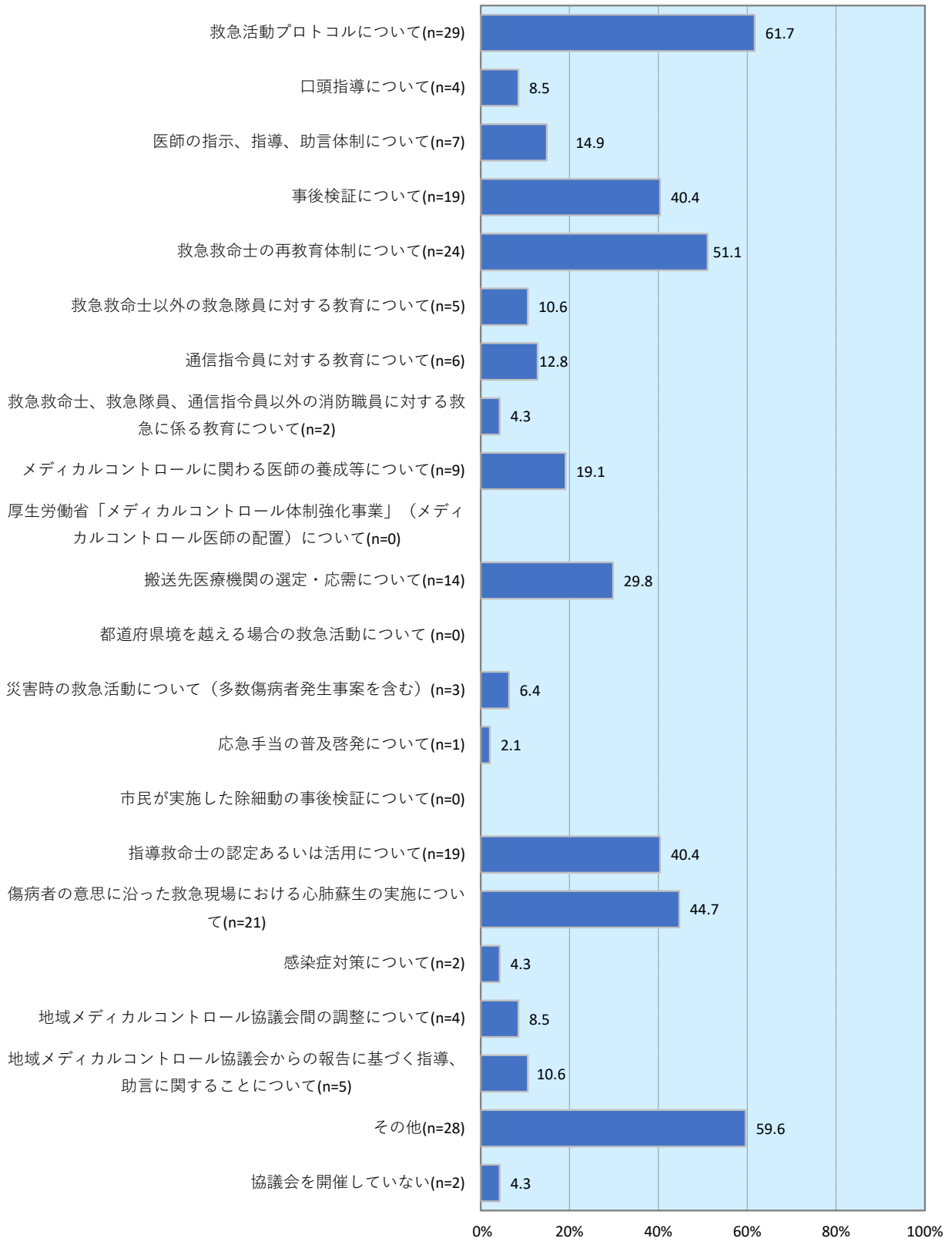


02. 協議会の開催状況について

問 03 令和6年度に開催された貴協議会では、どのような議題が取り上げられましたか。該当するものをすべて選んでください。

問03 令和6年度に開催された協議会では、どのような議題が取り上げられたか<複数回答>

N = 47

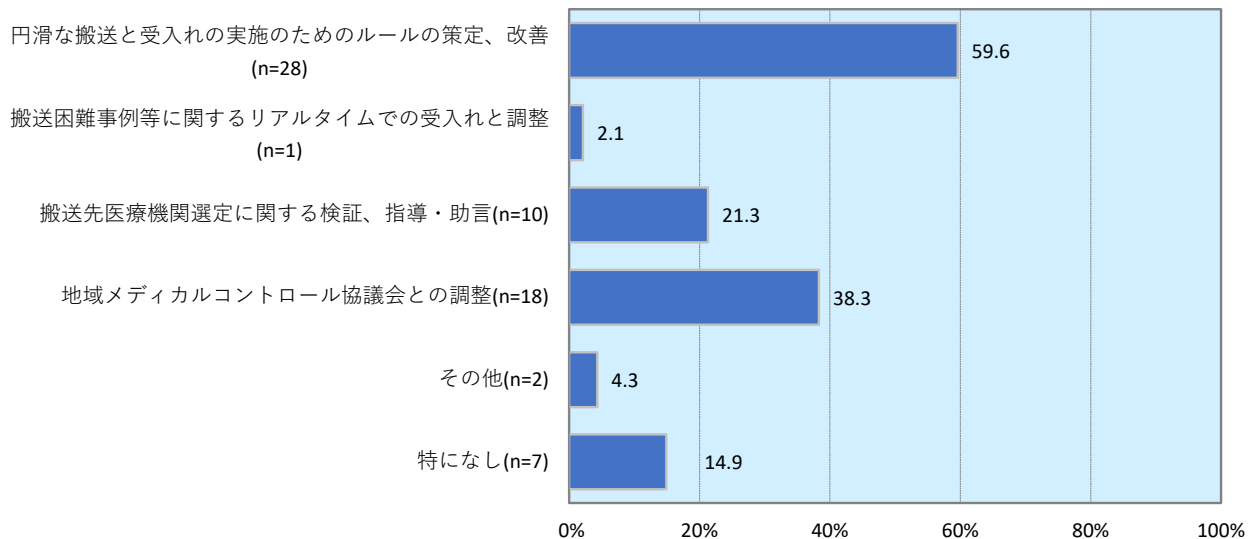


問 04 「救急搬送体制及び救急医療体制に係る調整」に関して、貴協議会は具体的にどのような役割を担っていますか。該当するものをすべて選んでください。

問04 「救急搬送体制及び救急医療体制に係る調整」に関して、どのような役割を担っているか

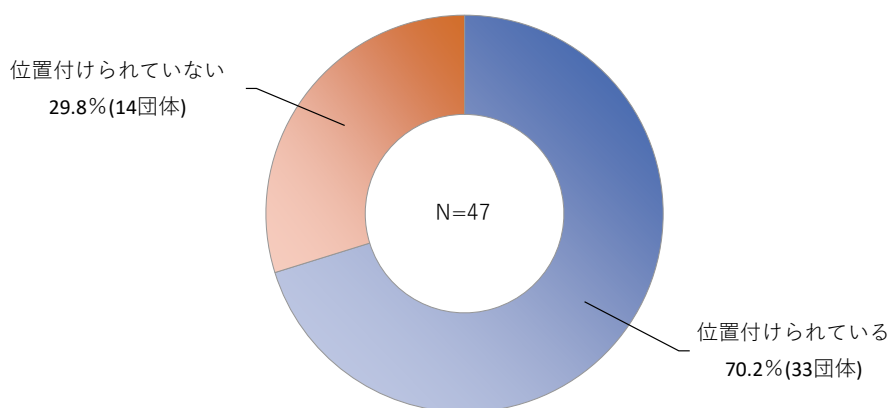
<複数回答>

N = 47



問 05 貴協議会は、消防法第 35 条の 8 に定める協議会として位置付けられていますか。1 つ選んでください。

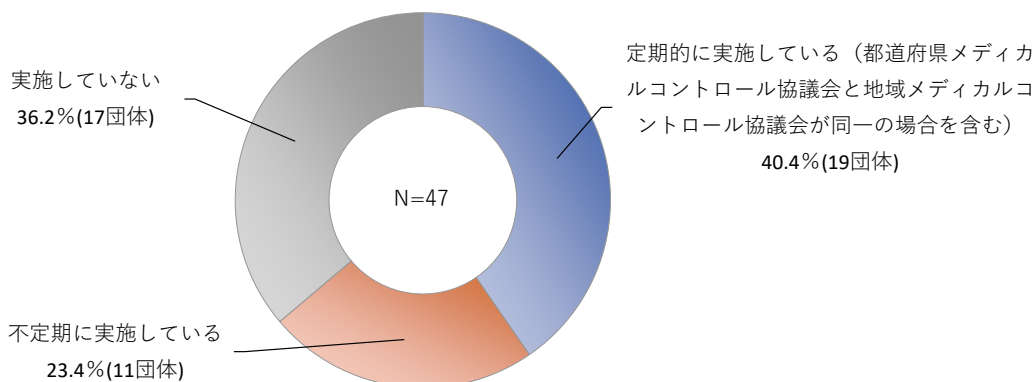
問05 消防法第35条の8に定める協議会として位置付けられているか<単数回答>



03. オンラインメディカルコントロールについて

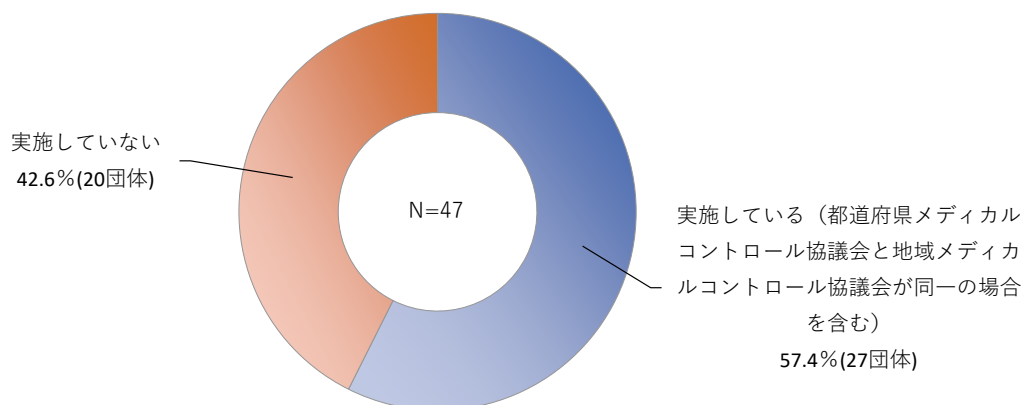
問 06 貴協議会では、各地域におけるオンラインメディカルコントロール体制の充実に向け、各地域メディカルコントロール協議会に対し、状況確認（ヒアリング）や支援等の取組を実施していますか。1つ選んでください。

問06 各地域におけるオンラインメディカルコントロール体制の充実に向け、各地域メディカルコントロール協議会に対し、状況確認（ヒアリング）や支援等の取組を実施しているか
<単数回答>



問 07 貴協議会では、都道府県内の複数の地域メディカルコントロール協議会間の連携に関して、必要に応じて調整等を実施していますか。1つ選んでください。

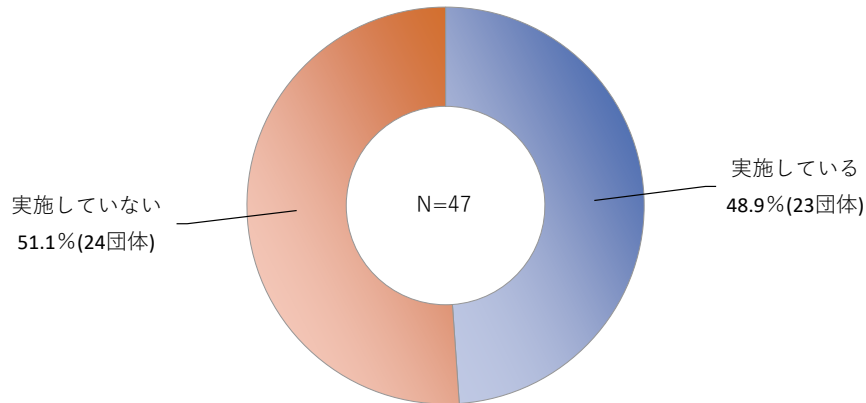
問07 都道府県内の複数の地域メディカルコントロール協議会間の連携に関して、必要に応じて調整等を実施しているか<単数回答>



04. 事後検証について

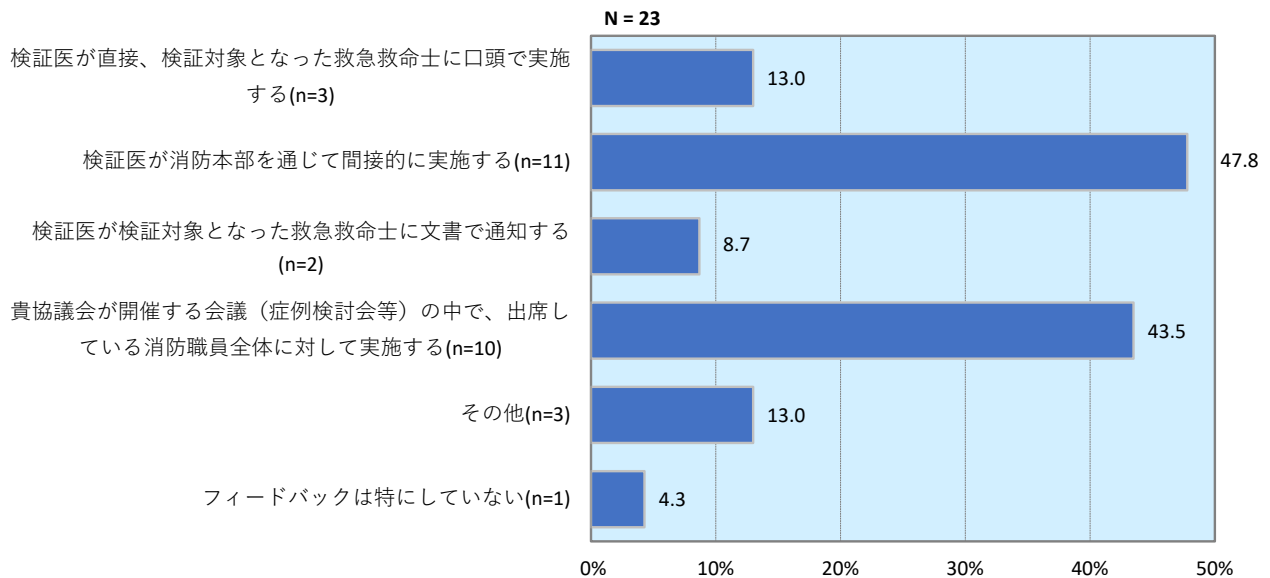
問 08 貴協議会では、医師による事後検証を実施していますか。1つ選んでください。

問08 医師による事後検証を実施しているか<単数回答>



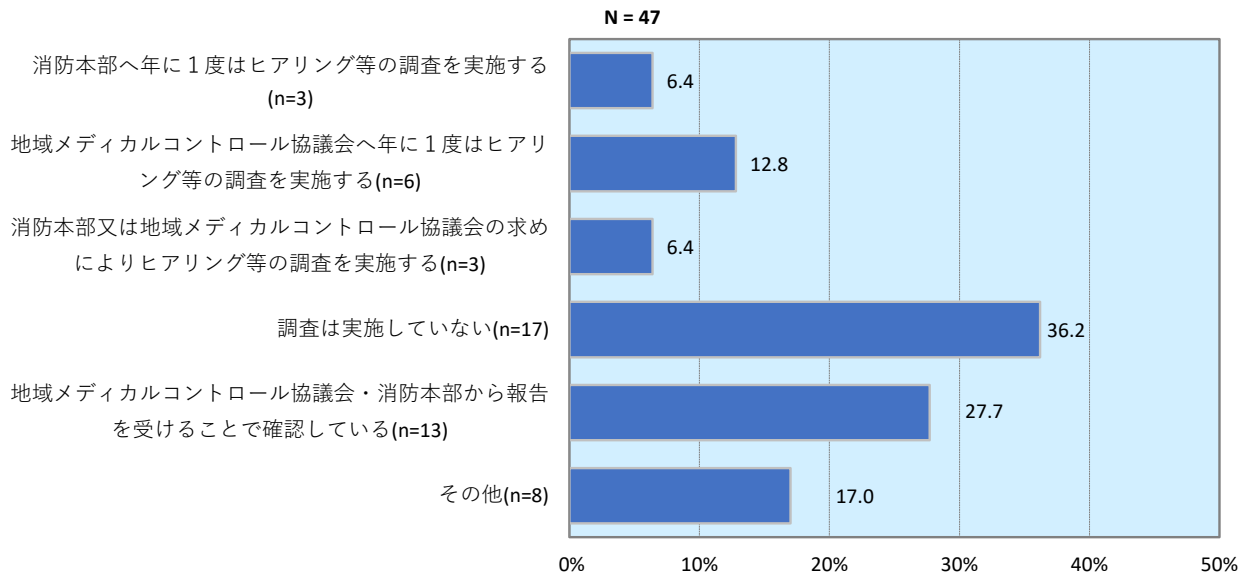
問 08-01 問 08 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。医師による事後検証のフィードバックは主にどのように実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問08-01 医師による事後検証のフィードバックはどのように実施しているか<複数回答>



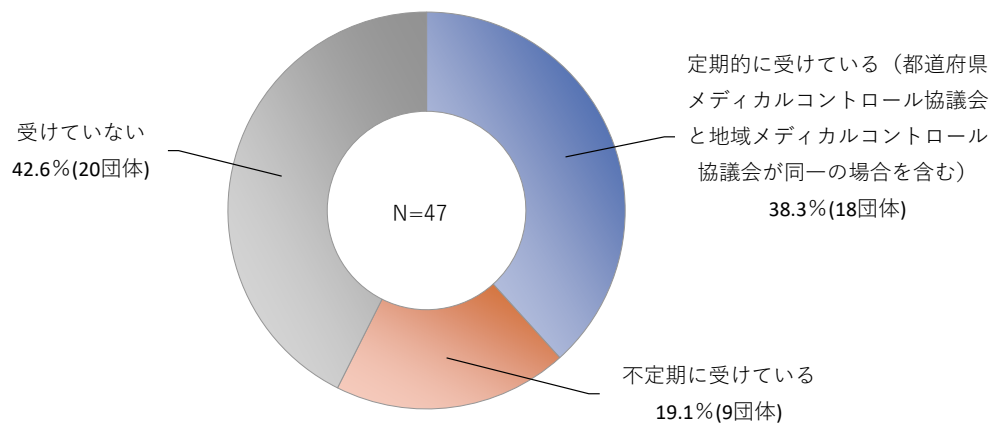
問 09 事後検証体制整備のための消防本部、地域メディカルコントロール協議会への取組として該当するものをすべて選んでください。

問09 事後検証体制整備のための消防本部、地域メディカルコントロール協議会への取組<複数回答>



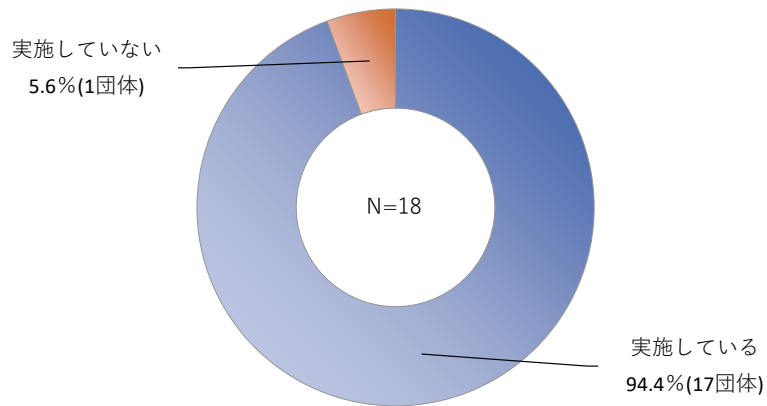
問 10 貴協議会では、消防法第 35 条の 5 に定める「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準（以下「実施基準」という。）」に基づく傷病者の搬送及び受入れ状況に関し、地域メディカルコントロール協議会からの報告を受けていますか。1つ選んでください。

問10 消防法第35条の5に定める「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に基づく傷病者の搬送及び受入れ状況に関し、地域メディカルコントロール協議会からの報告を受けているか<単数回答>



問 10-01 問 10 で「1. 定期的に受けている（都道府県メディカルコントロール協議会と地域メディカルコントロール協議会が同一の場合を含む）」を選択した方にお聞きします。報告を受けた結果から、消防法第 35 条の 8 に定める協議会と連携して、必要に応じて実施基準の見直しに係る検討を実施していますか。1 つ選んでください。

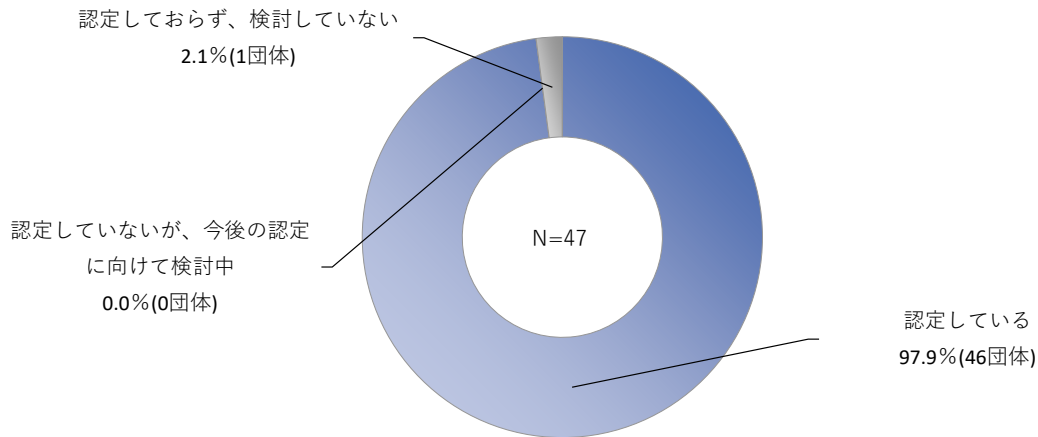
問10-01 報告を受けた結果から、消防法第35条の8に定める協議会と連携して、必要に応じて実施基準の見直しに係る検討を実施しているか<単数回答>



05. 指導救命士について

問 11 貴協議会では、指導救命士を認定していますか。1つ選んでください。

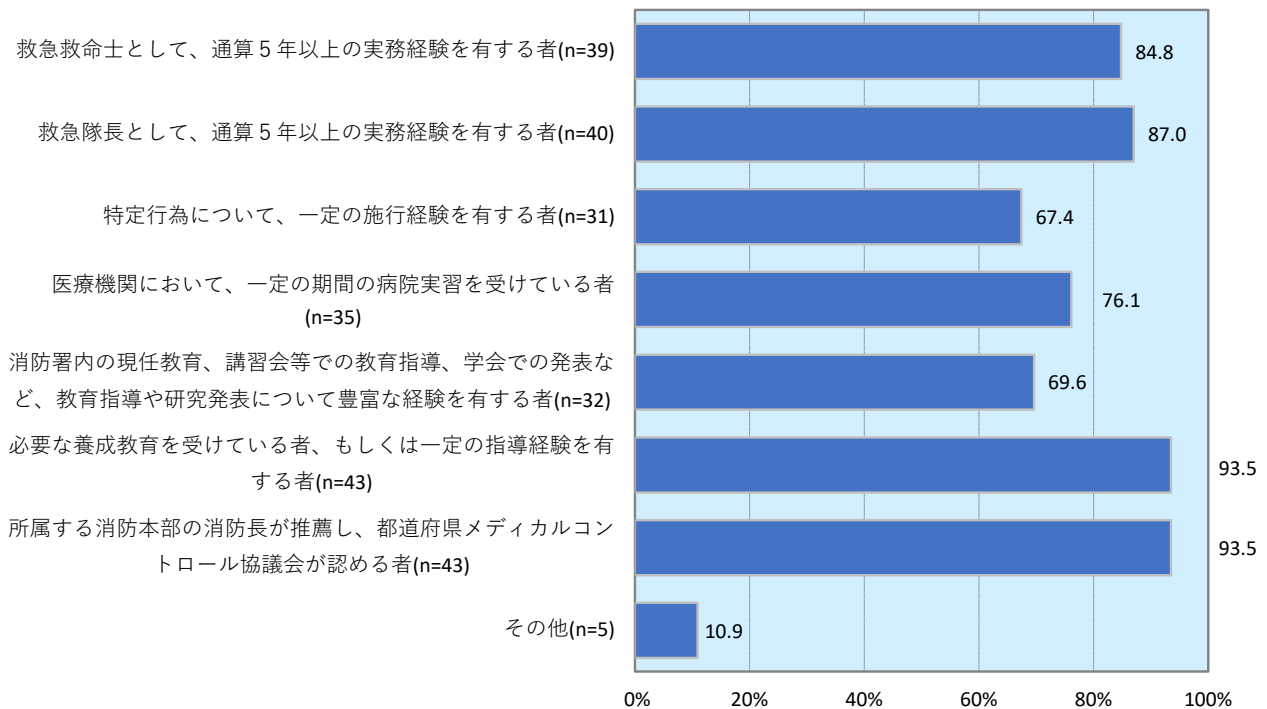
問11 指導救命士を認定しているか<単数回答>



問 11-01 問 11 で「1. 認定している」もしくは「2. 認定していないが、今後の認定に向けて検討中」を選択した方にお聞きします。貴協議会における指導救命士の認定要件について、該当するものをすべて選んでください。

問11-01 指導救命士の認定要件<複数回答>

N = 46



問 11-02 問 11-01 で「3. 特定行為について、一定の施行経験を有する者」を選択した方にお聞きします。特定行為の経験数等の要件について、具体的にご記入ください。

N=31

- ・ 19 件以上
- ・ 気管挿管、薬剤投与、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖投与の実施が可能であり、一定の施行経験を有する者。
- ・ 申請時において所属する消防本部管内における過去 5 カ年の平均件数以上の経験を有する者。
- ・ 地域 MC により症例数が異なることから一律な件数は設定していないが、施行が極端に少ないなどを実績表で確認している。
- ・ 直近 5 年間で 5 例以上の成功施行経験（病院実習での施行を含む）
- ・ 気管挿管
- ・ 救急救命士として就業開始後に経験した成功施行数が 15 件以上かつ各特定行為（①気管挿管②薬剤投与③静脈路確保④ラリングアルマスク・食道閉鎖式エアウェイ）1 回以上の成功施行経験がある。
- ・ 気管挿管、薬剤（アドレナリン）投与、心肺停止後の静脈路確保、ラリングアルマスク等による気道確保、心肺停止前の静脈路確保、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与の実施にあたり、認定申請時において、それぞれ 1 件以上の成功症例を有することを基準とする。特定行為の実施経験は必須条件とするが、件数については地域の実情により搬送環境や症例件数に差異があることなどを勘案し、必須条件とはしない。
- ・ 過去 5 年間（直近の実務期間）に実施した、特定行為の成功施行経験数を合算し、44 件以上であることとする。ただし、成功施行経験数が要件に満たない場合であっても、消防本部において手技等を確認の上、技術的に問題がなく、指導力、判断力も優れていると確認できた者については、地域の救命救急センターの医師の推薦があれば、要件を満たしたとみなすこととする。
- ・ 地域 MC ごとに設定している。（特定行為の経験数）
- ・ 救急救命士として就業開始後に経験した特定行為総数のうち、医師の具体的指示が必要な特定行為について、26 症例（救急救命士再教育病院実習により実施した症例を含む。）以上の成功施行経験を有する者。
- ・ 「気管挿管」、「薬剤投与」、「静脈路確保」、「ラリングアルマスク等」の全ての施行経験があり、かつ事後検証により適正な施行であったと担保されていること。

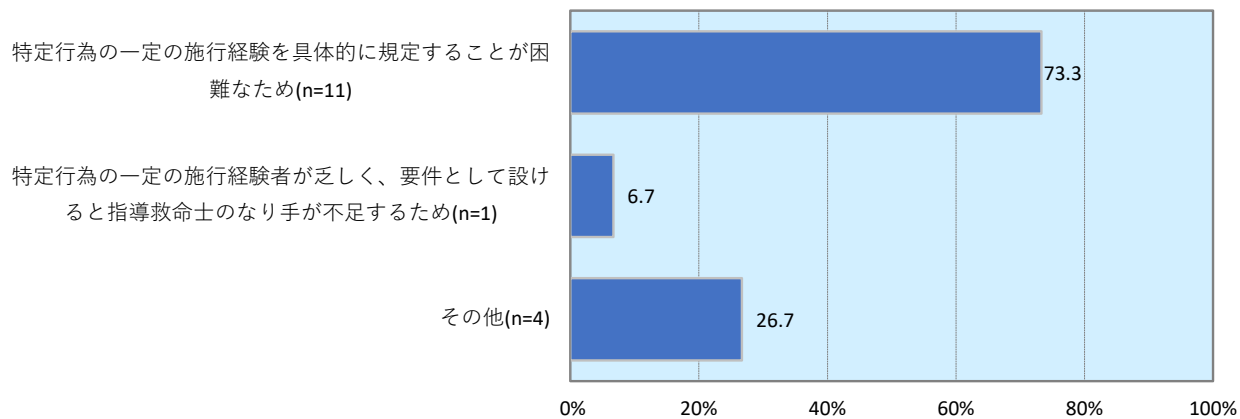
- ・ 直近5年間で10件以上の施行経験を有する者。
- ・ 25件
- ・ 救急救命士として、直近の5年間において、医師の具体的指示が必要な特定行為を実施した経験を有していること。
- ・ 地域事情を踏まえ、各消防（局）本部において設ける基準等において判断することとしている。
- ・ 申請する年の5年前の4月1日（※1月1日～3月31日の間に申請する場合には、同6年前の4月1日）から申請日前日までの間に、5例以上の成功施行経験をいう。
- ・ 救急救命士免許取得後から申請日前日までの間に、10例以上の成功施行経験をいう。
- ・ 気管挿管（気管内チューブ）30例、ビデオ喉頭鏡5例、薬剤投与、ブドウ糖投与
- ・ 最も活動した5年間で特定行為（「食道閉鎖式エアウェイ、ラリゲアルマスクを使用した気道の確保」、「気管挿管」、「薬剤投与」、「静脈路確保」、「心肺停止前静脈路確保」、「心肺停止前ブドウ糖溶液投与」）の成功施行経験が26件以上ある者とする。ただし地域の実情により特定行為事案が少なく、達成が困難な者については、所属する消防本部が同等の技術を有すると認める者も認めるものとする。

他

（重複等を一部要約）

問 11-03 問 11-01 で「3. 特定行為について、一定の施行経験を有する者」を選択していない方にお聞きします。一定の施行経験を要件に含んでいない理由として該当するものをすべて選んでください。

問11-03 一定の施行経験を指導救命士の認定要件に含めていない理由<複数回答>
N = 15



問 11-04 問 11-01 で「5. 消防署内の現任教育、講習会等での教育指導、学会での発表など、教育指導や研究発表について豊富な経験を有する者」を選択した方にお聞きします。教育指導や研究発表の経験の要件について、具体的にご記入ください。

N=32

- ・ 消防署内での救急隊員教育、各種学会、シンポジウムへの参加・発表
- ・ 一律な件数は設定していないが、極端に少ないなどを実績表で確認している。
- ・ 大学等委託研修として、大学附属病院での病院実習の指導者として他の救急救命士等の指導、育成に1年以上継続して従事したものの。
- ・ 消防大学校または県消防学校の指導教官として、他の救急救命士等の指導、育成に1年以上継続して従事したものの。
- ・ (一財)救急振興財団の指導教官として、他の救急救命士等の指導、育成に1年以上継続して従事したものの。
- ・ 救急ワークステーションの指導的立場の救急救命士として、日常的に他の救急救命士等の指導、育成に1年以上継続して従事したものの。
- ・ 消防本部において救急訓練や救命講習等の指導経験を有する者。
- ・ 検証会、セミナー等での発表実績等
- ・ 第三者機関が証明する救急に関する指導・発表経験が過去5年間で1件以上ある者。
- ・ 次のいずれかを満たす者とする。
 - ア 消防署内での現任教育
 - イ 消防学校、養成所等での講師の経験
 - ウ 「JPTEC」又は「ICLS」のインストラクター資格認定者
 - エ 研究発表等の経験
- ・ 以下のいずれかの要件を満たす者
 - ① 県メディカルコントロール協議会メディカルコントロール部会（以下、「県MC部会」という。）が認める学会（県レベル以上）または機関誌等において、直近2年間で研究発表を行った経験を有すること。
 - ② 県MC部会が認める学会等のインストラクター資格（JPTEC、ICLS または MCLS 等）を有すること
- ・ 教育指導（救急救命士に対する生涯教育ガイドライン中の教育項目にある教育指導）や研究発表（救急救命士に対する生涯教育ガイドライン中の教育項目にある学術集会・研究会）について2回以上の指導、発表の経験

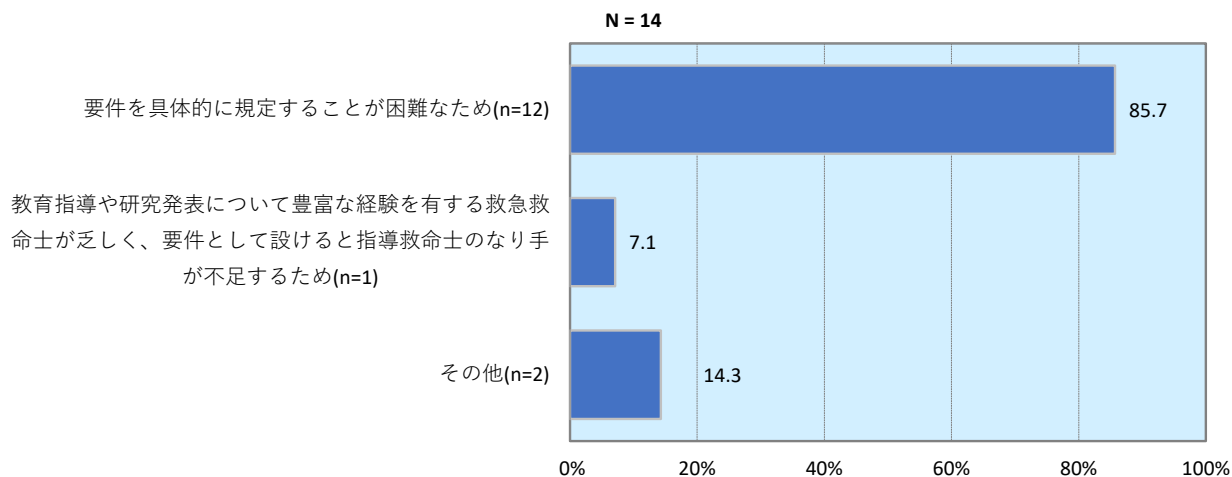
- ・ 学会での発表については、県単位以上のもので、共同演者及び座長・司会を含むものとしている。
- ・ 県消防学校で教育指導を行っていること。各種学会等での発表は少なくとも全県レベル以上の各種発表会場等において直近 5 年間で 1 会以上の研究発表を行っていることが望ましい。
- ・ 様々な教育項目について、取得単位を記載する救急救命士教育等記録集計表を作成している。

他

(重複等を一部要約)

問 11-05 問 11-01 で「5. 消防署内の現任教育、講習会等での教育指導、学会での発表など、教育指導や研究発表について豊富な経験を有する者」を選択していない方にお聞きします。教育指導や研究発表の経験を要件に含んでいない理由として該当するものをすべて選んでください。

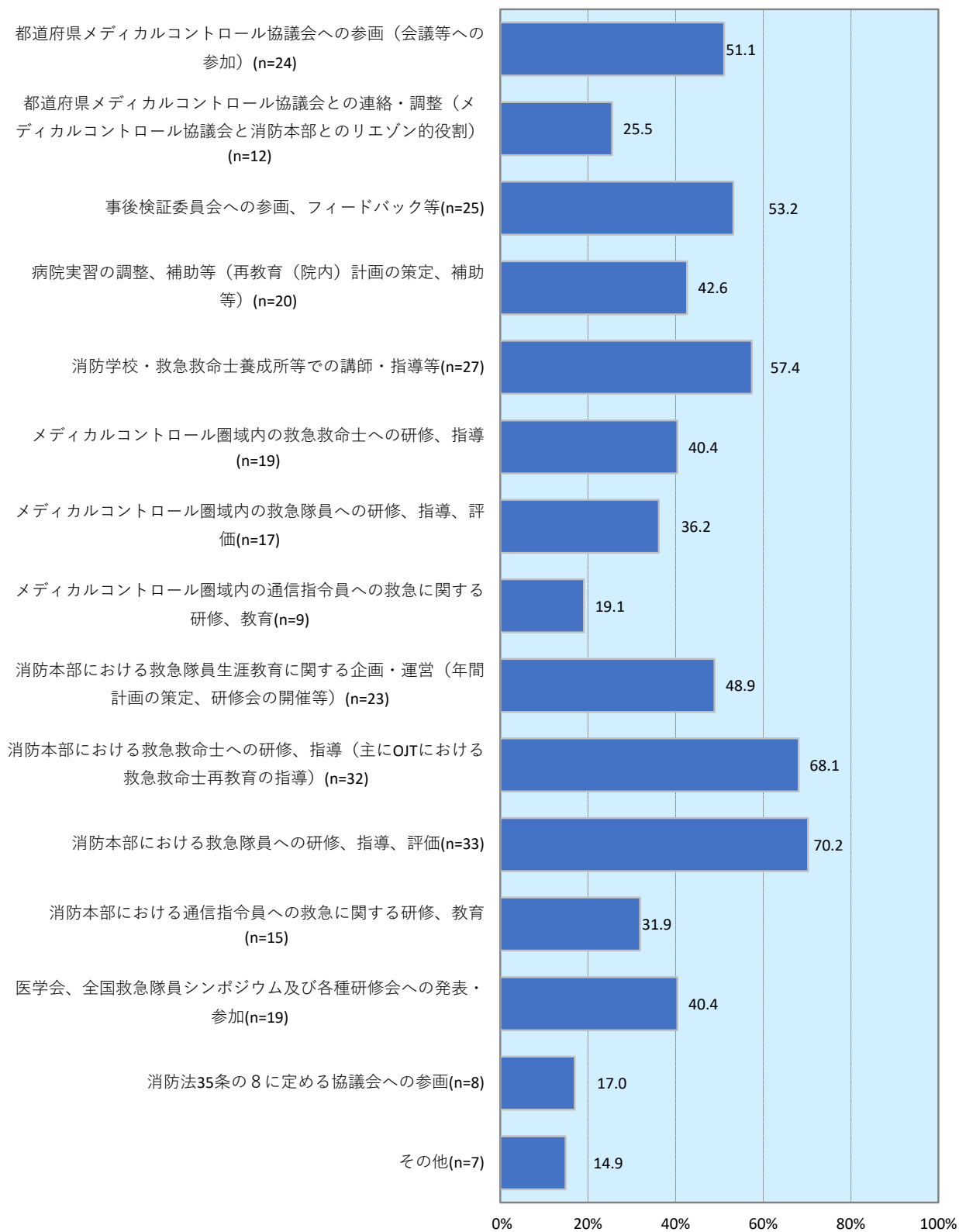
問11-05 教育指導や研究発表の経験を指導救命士の認定要件に含めていない理由<複数回答>



問12 貴協議会における指導救命士の活用状況について、該当するものをすべて選んでください。

問12 指導救命士の活用状況<複数回答>

N = 47



問 12（その他） 問 12 で「15. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=7

- ・ 主に地域メディカルコントロール協議会で活用し、県メディカルコントロール協議会での活用は検討中
- ・ 県メディカルコントロール協議会作業部会として「指導救命士部会」を設置し、地域差のない一定水準の質が担保された教育内容の構築や、各種救急業務の改善・向上に対する施策立案等について検討している。また、検討した結果で企画及び運営する必要があるものについては、県メディカルコントロール協議会に上程している。
- ・ 県協議会では活用していない。一部の地域 MC 協議会では救急救命士の指導等へ活用している。
- ・ 県主催の特定行為再教育講習の講師

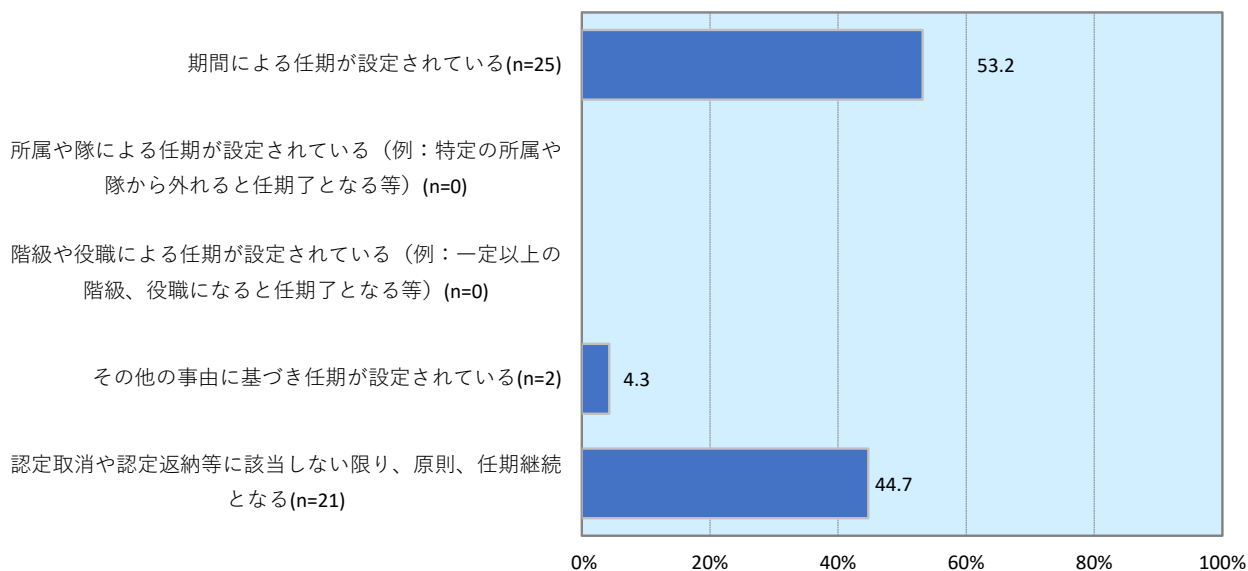
他

（重複等を一部要約）

問 13 貴協議会における指導救命士認定後の任期（更新を妨げないものも含む）の考え方について、該当するものをすべて選んでください。

問13 指導救命士認定後の任期（更新を妨げないものも含む）の考え方<複数回答>

N = 47



問 13（その他） 問 13 で「4. その他の事由に基づき任期が設定されている」を選択した方にお聞きします。その他の事由を具体的にご記入ください。

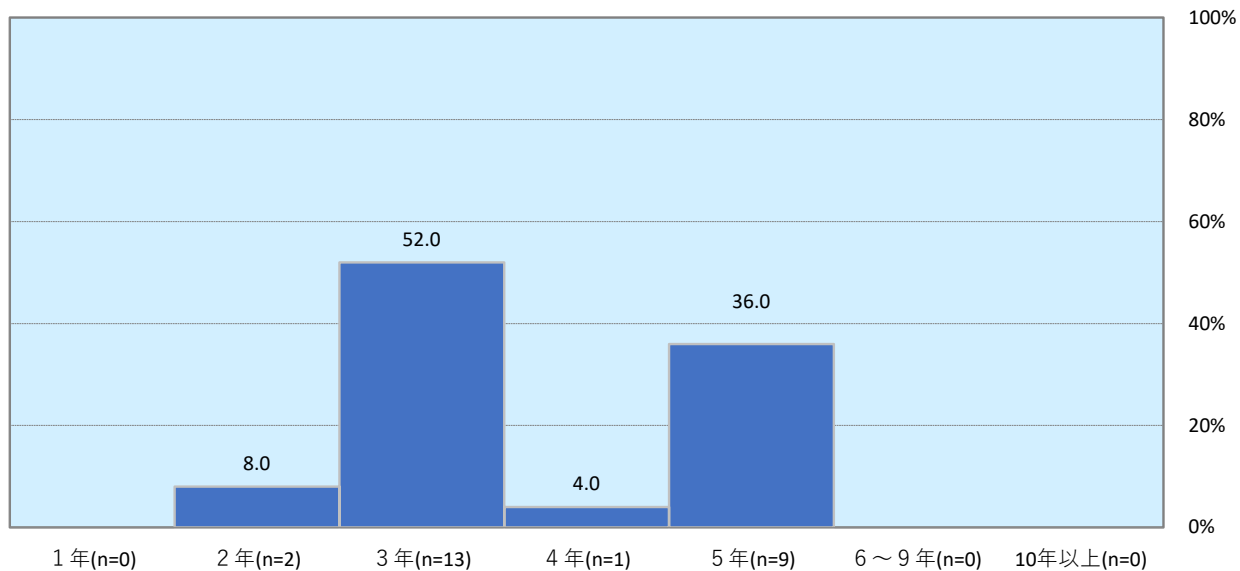
N=2

- ・ 消防吏員としての在職期間
- ・ 毎年度、各消防本部から指名された者を登録名簿に記載すること
となっており、登録期間は1年間としている。

問 13-01 問 13 で「1. 期間による任期が設定されている」を選択した方にお聞きします。任期をご記入ください。（半角数字、単位：年）

問13-01 指導救命士認定後の任期<数量回答>

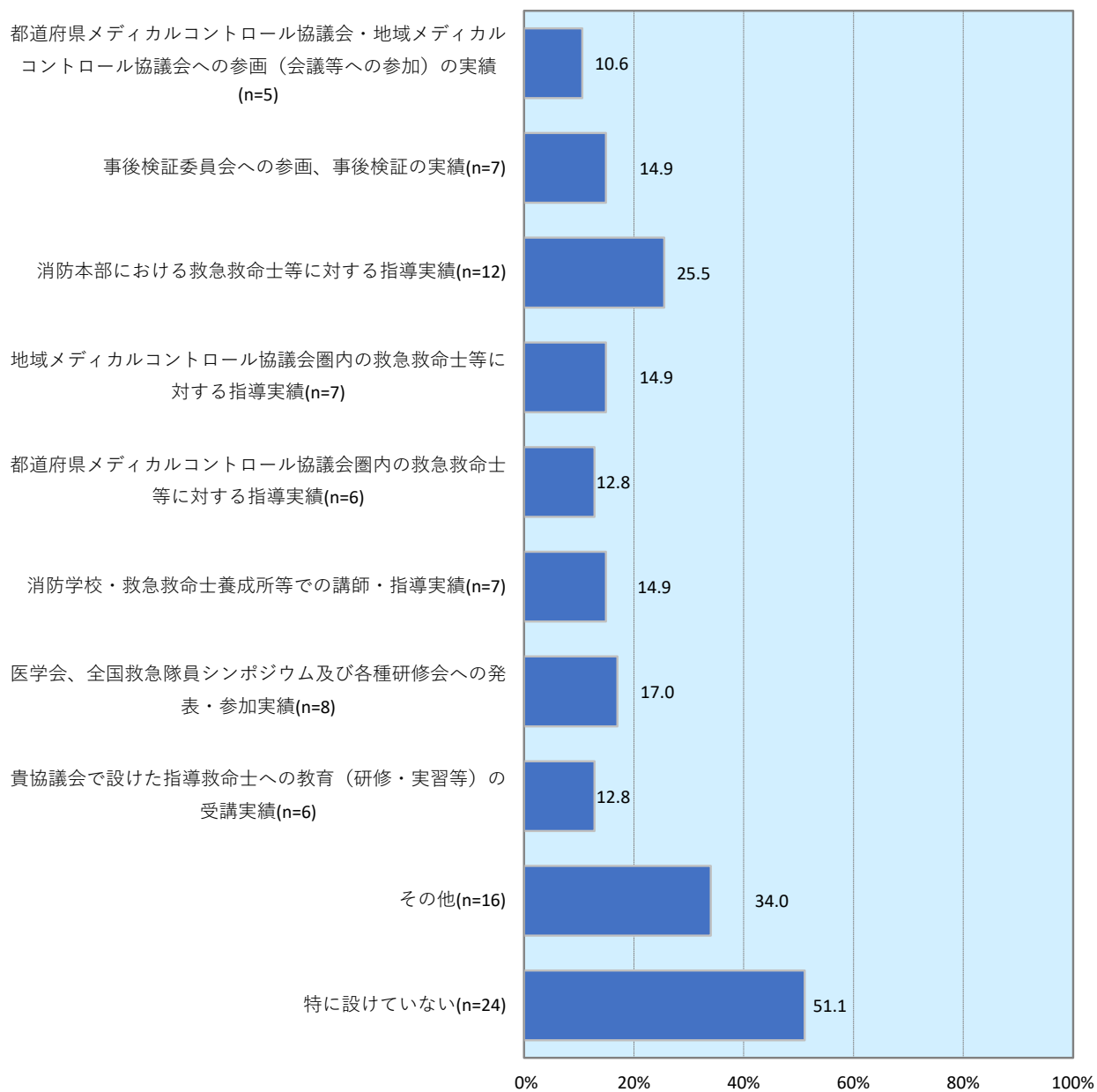
N = 25



問 14 貴協議会における指導救命士の認定の更新にあたり、何らかの要件を設定していますか。該当するものをすべて選んでください。

問14 指導救命士の認定の更新にあたり、何らかの要件を設定しているか<複数回答>

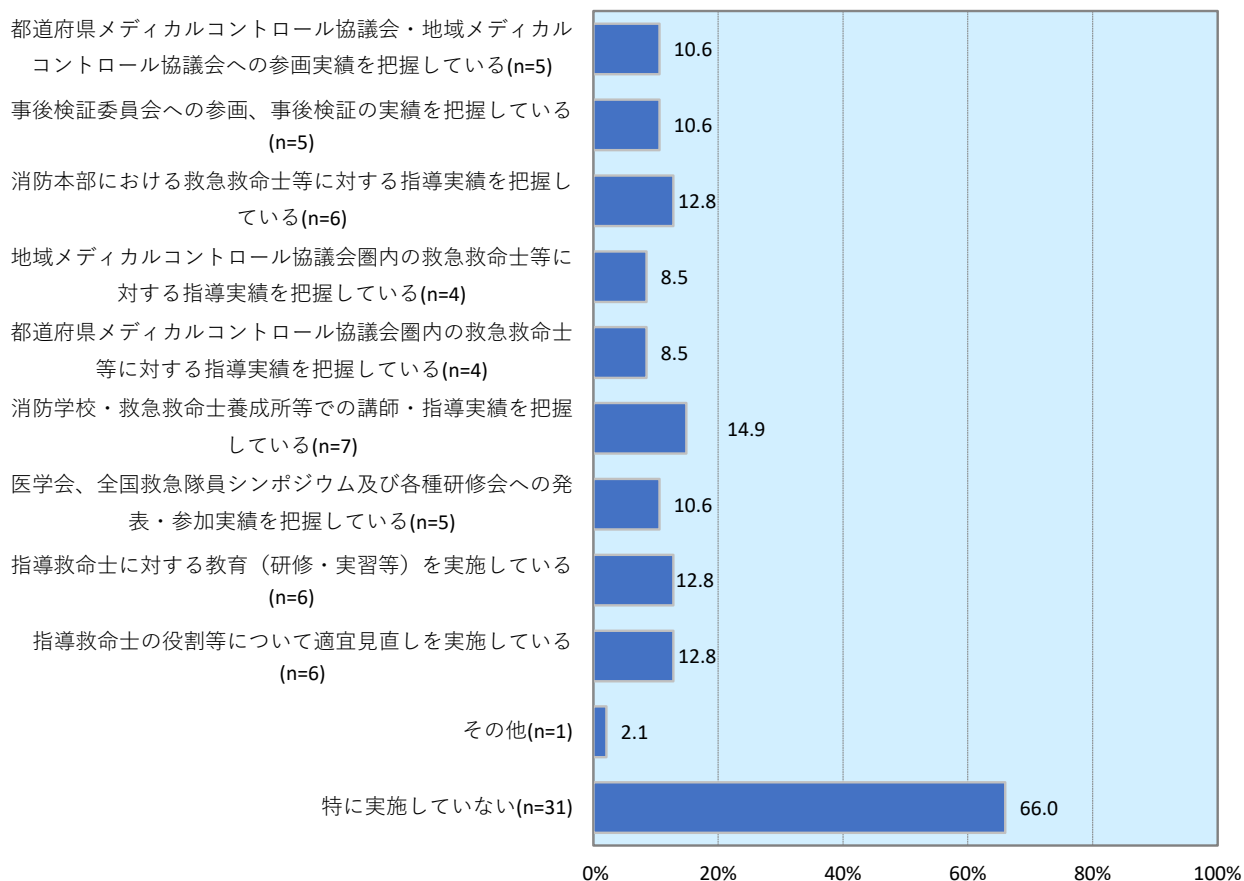
N = 47



問 15 貴協議会において、指導救命士の運用（活躍の場や役割）や、質の維持向上を図るための取組を実施していますか。該当するものをすべて選んでください（完全に一致しなくても、趣旨が近い項目があれば選択してください）。

問15 指導救命士の運用（活躍の場や役割）や、質の維持向上を図るための取組を実施しているか
<複数回答>

N = 47



問 15 (8) 問 15 で「8. 指導救命士に対する教育（研修・実習等）を実施している」を選択した方にお聞きします。取組の内容を具体的にご記入ください。

N=6

- ・ 新規指導救命士に対する研修会を令和4年度から実施している。
- ・ 任期満了を迎える指導救命士に対して、認定更新のための講習を年1回集合形式にて消防学校で実施している。
- ・ 都道府県内全本部が参加する指導救命士の運用に関する勉強会を実施
- ・ 指導救命士を対象としたブラッシュアップ研修を実施し、グループディスカッションなどで構成された研修会を実施している。
- ・ 他の救急救命士を指導するために必要な医学的知識や指導能力等に関する講習を実施している。

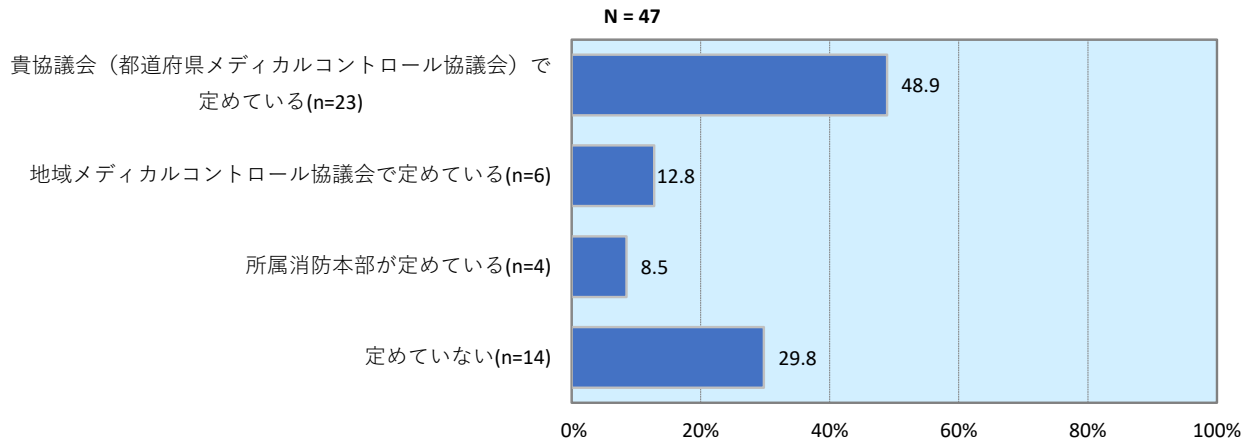
他

(重複等を一部要約・編集)

06. 救急救命士の再教育について

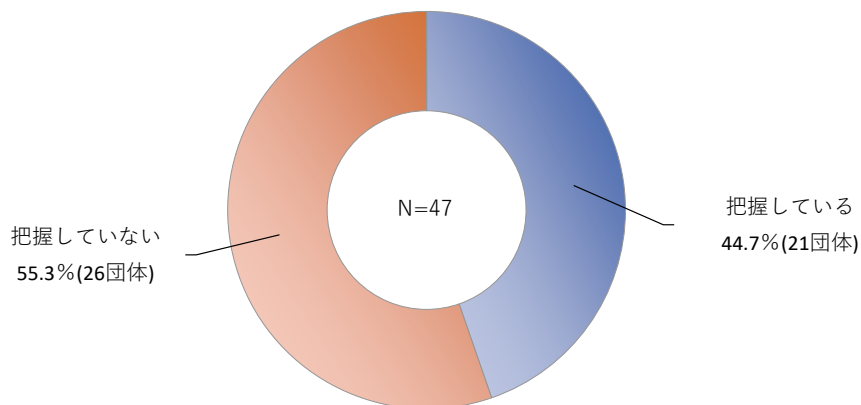
問 16 貴協議会では、指導救命士が実施した『日常的な教育』について、再教育時間に含まれることを要綱等で定めていますか。該当するものをすべて選んでください。

問16 指導救命士が実施した『日常的な教育』について、再教育時間に含まれることを要綱等で定めているか<複数回答>



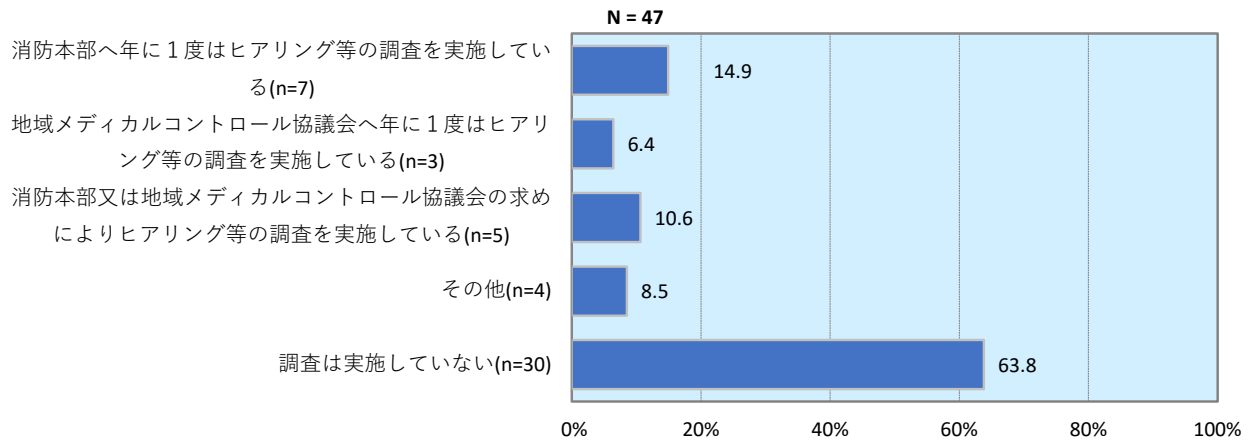
問 17 貴協議会では、所属する消防本部において、2年間で128時間以上の再教育を履修している運用救急救命士数（運用2年未満を除く）を把握していますか。1つ選んでください。

問17 所属する消防本部において、2年間で128時間以上の再教育を履修している運用救急救命士数（運用2年未満を除く）を把握しているか<単数回答>



問 18 再教育体制（通信指令員への教育も含む）整備のために実施している、消防本部、地域メディカルコントロール協議会への取組として該当するものをすべて選んでください。

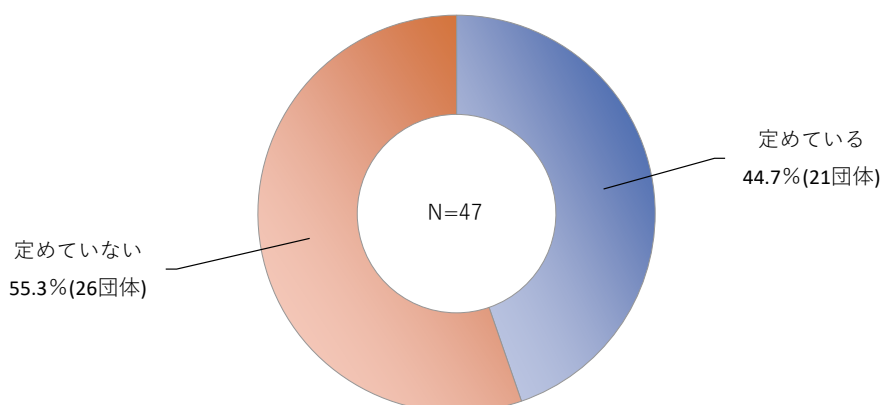
問18 再教育体制整備（通信指令員への教育も含む）のための
消防本部、地域メディカルコントロール協議会への取組<複数回答>



07. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について

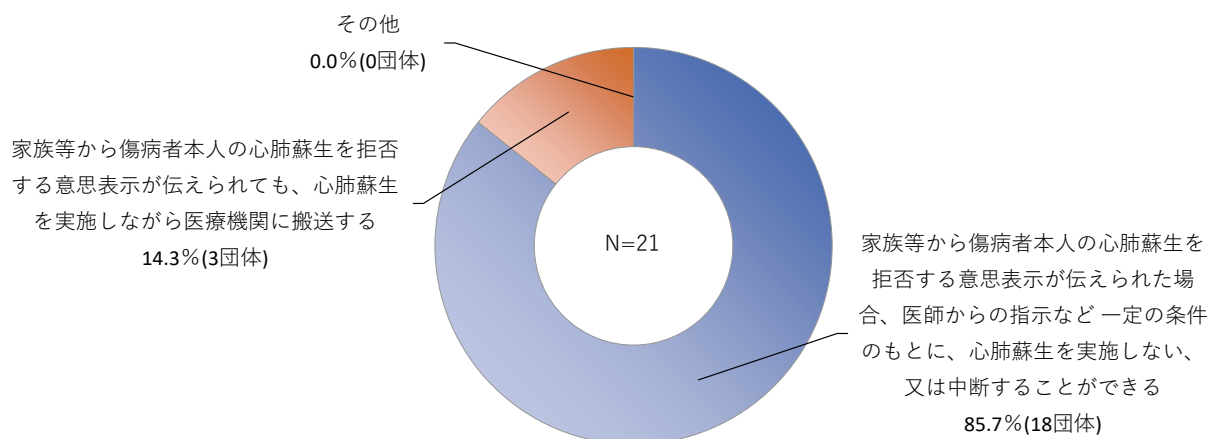
問 19 傷病者は心肺停止状態であるが、家族等の関係者から傷病者本人が心肺蘇生を望んでいないとの意思を示された場合について、何らかの対応方針を定めていますか。1つ選んでください。※

問19 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施事案について、対応方針を定めているか
<単数回答>



問 19-01 問 19 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。その内容はどのようなものですか。1つ選んでください。

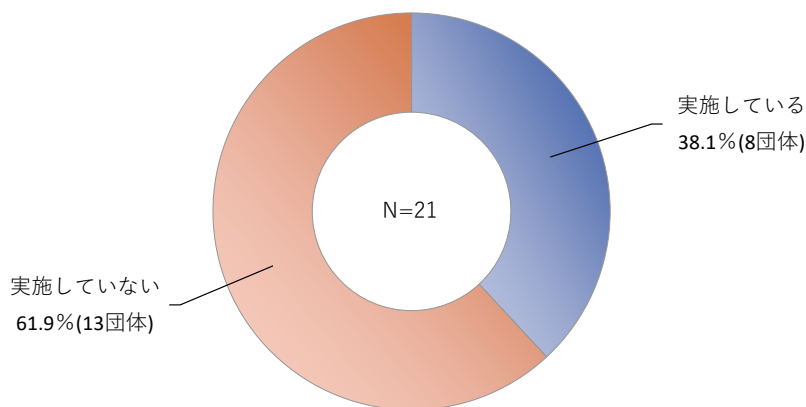
問19-01 対応方針の内容<単数回答>



※ 対応方針が文書化されていなくても、メディカルコントロール協議会としての見解が統一されている場合は、「1. 定めている」を選択。

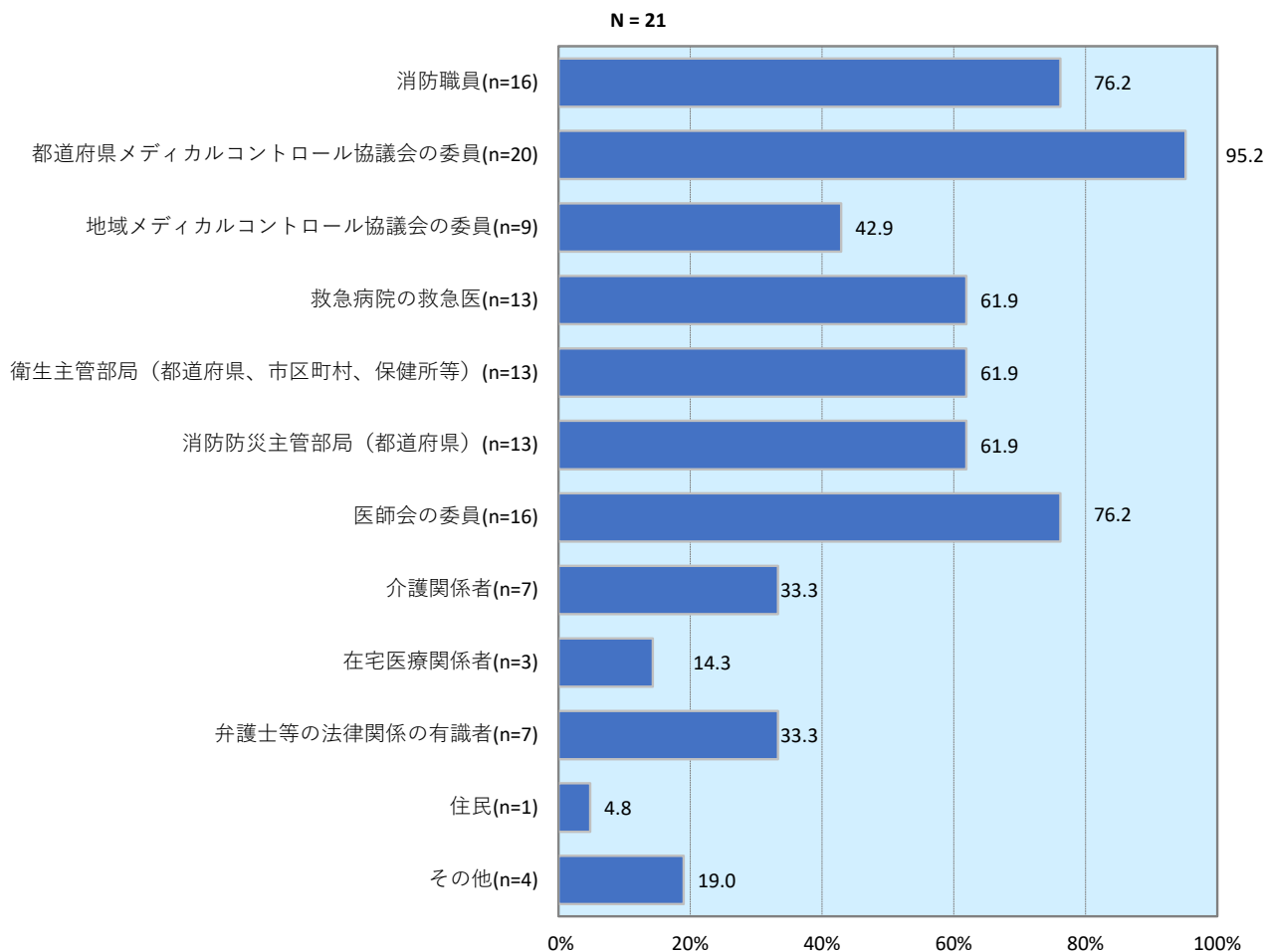
問 19-02 問 19 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。対応方針の見直しを実施していますか。1つ選んでください。

問19-02 対応方針の見直しを実施しているか<単数回答>



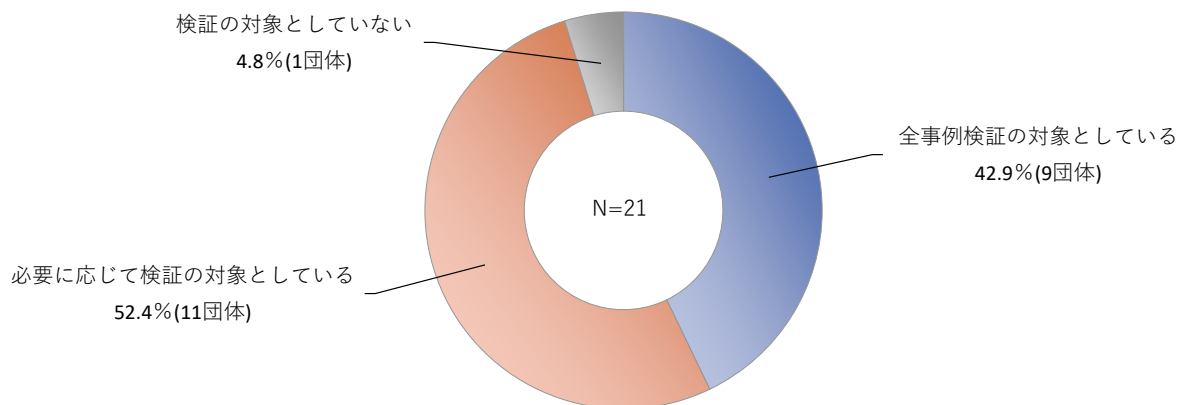
問 19-03 問 19 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。対応方針の検討の場に参加したのはどのような職種の方ですか。該当するものをすべて選んでください。

問19-03 対応方針の検討の場に参加した人の職種等<複数回答>



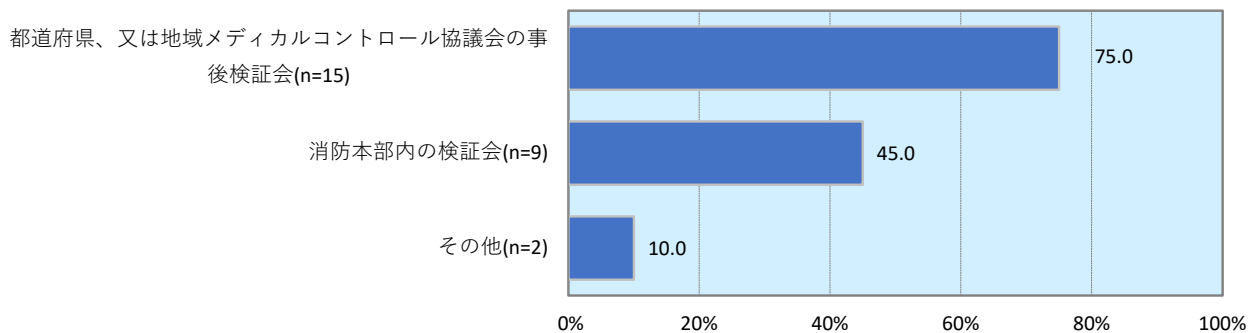
問 19-04 問 19 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施事案を事後検証の対象としていますか。1つ選んでください。

問19-04 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施事案を事後検証の対象としているか
<単数回答>



問 19-05 問 19-04 で「1. 全事例検証の対象としている」もしくは「2. 必要に応じて検証の対象としている」を選択した方にお聞きします。検証はどのような場で実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

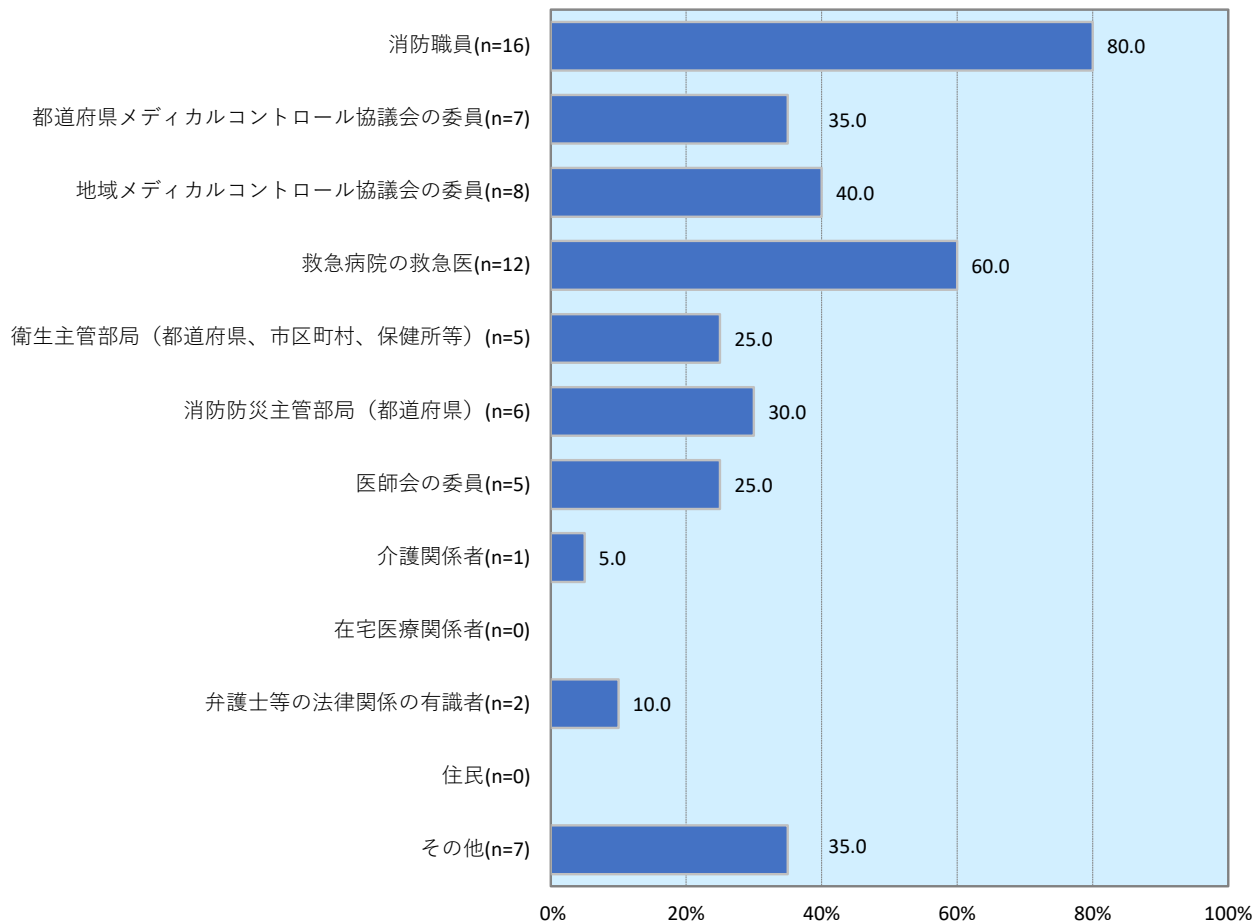
問19-05 事後検証はどのような場で実施しているか<複数回答>
N = 20



問 19-06 問 19-04 で「1. 全事例検証の対象としている」もしくは「2. 必要に応じて検証の対象としている」を選択した方にお聞きします。事後検証の場に参加したのはどのような職種の方ですか。該当するものをすべて選んでください。

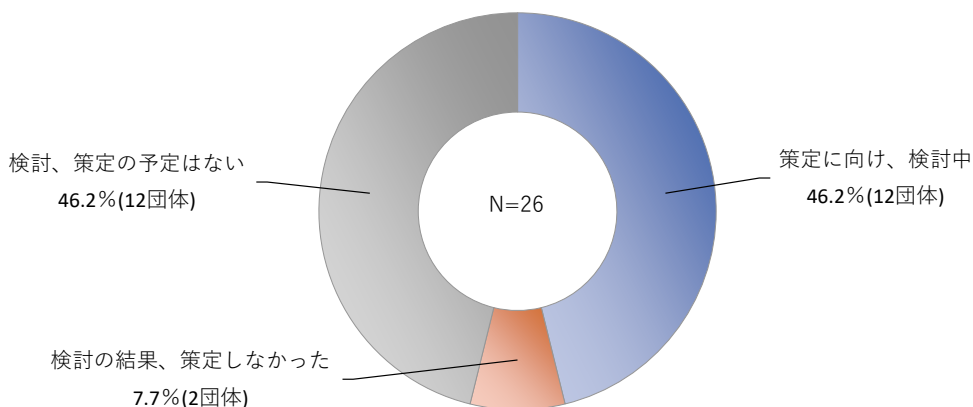
問19-06 事後検証の場に参加した人の職種等<複数回答>

N = 20



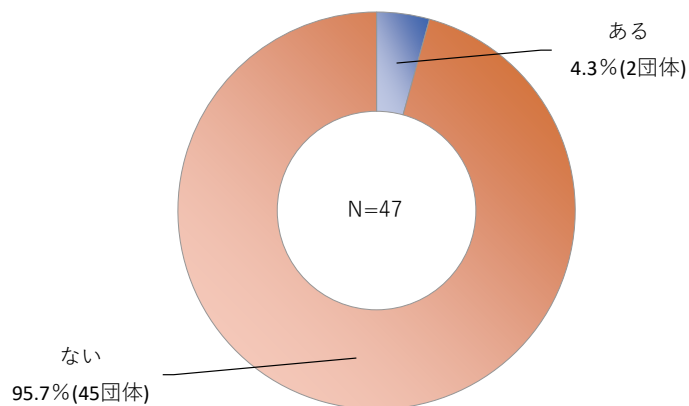
問 19-07 問 19 で「2. 定めていない」を選択した方にお聞きします。今後、方針策定の予定はありますか。1つ選んでください。

問19-07 今後、方針策定の予定はあるか<単数回答>



問 20 市区町村（衛生主管部局・福祉部局等）からの ACP、地域包括ケアシステムへの議論の場への参加の求めがありますか。1つ選んでください。

問20 市区町村（衛生主管部局・福祉部局等）からのACP、地域包括ケアへの議論の場への参加の求めがあるか<単数回答>

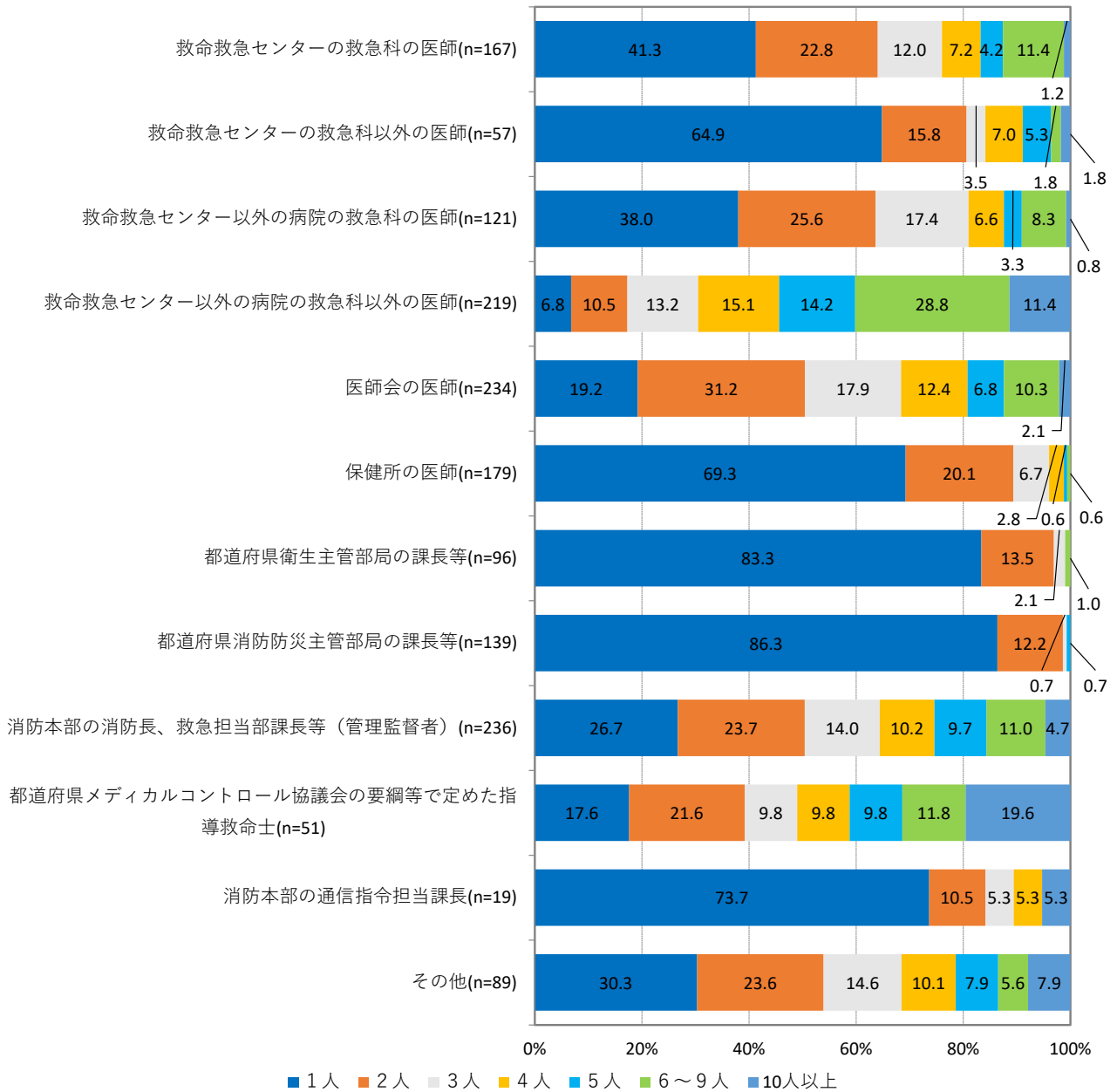


IV 地域 MC 協議会 対象調査

01. 地域メディカルコントロール協議会の体制について

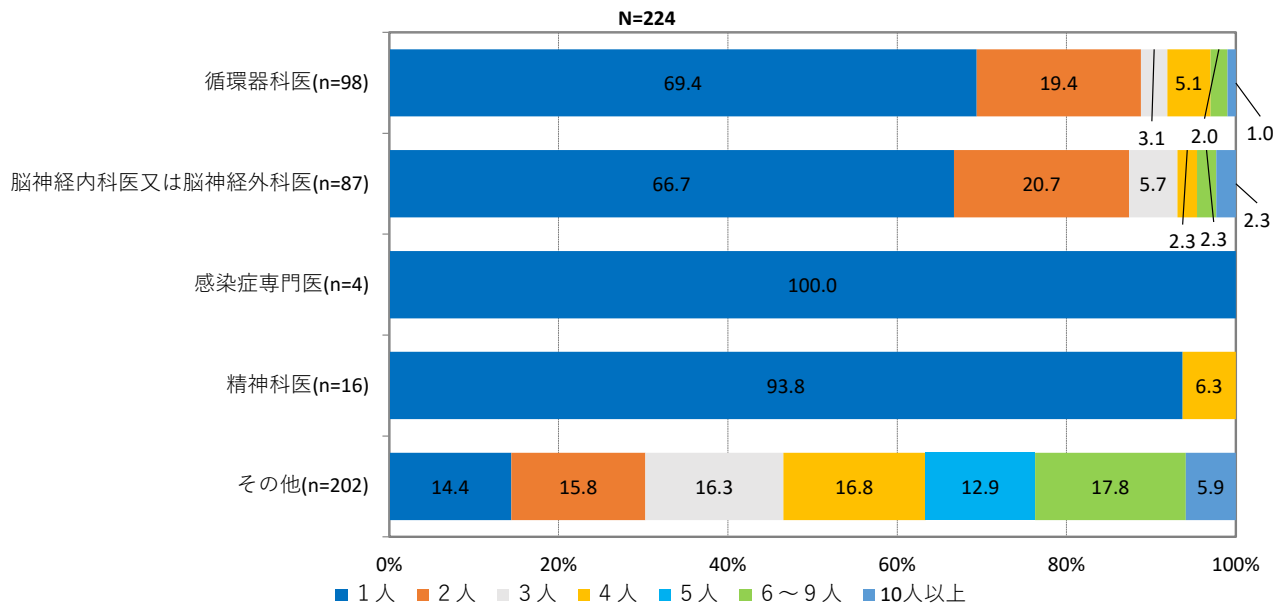
問 01 貴協議会の構成員について、該当するものをすべて選んでください。

問01 地域メディカルコントロール協議会の構成員<各項目の人数内訳>
N=251



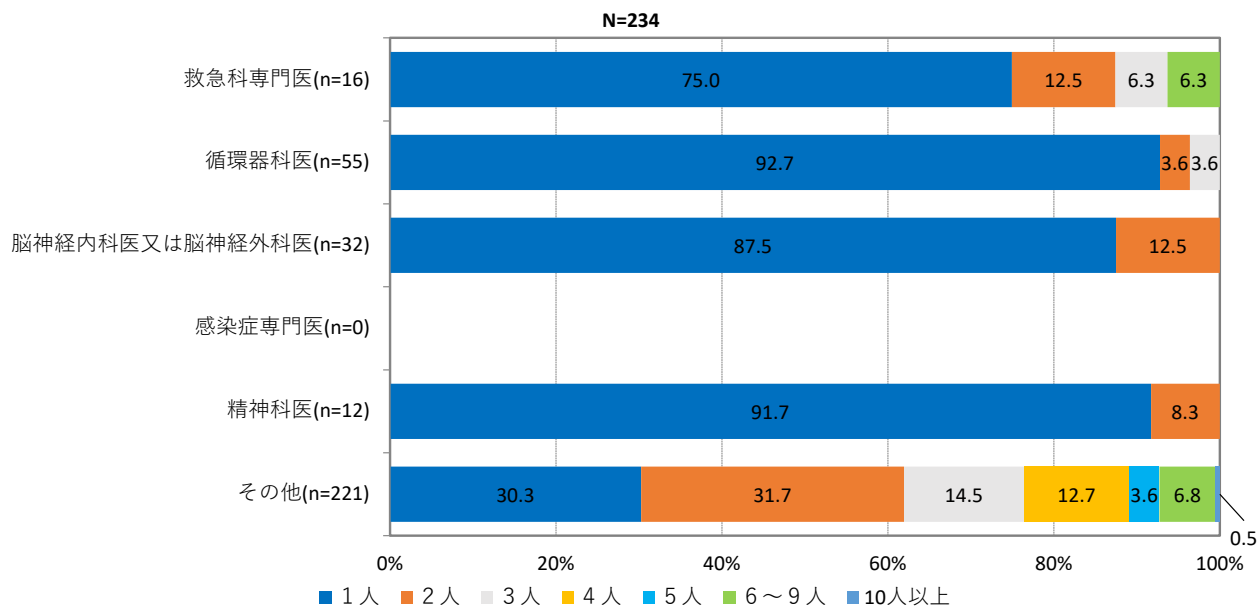
問 01-01 問 01 で「2. 救命救急センターの救急科以外の医師」もしくは「4. 救命救急センター以外の病院の救急科以外の医師」を選択した方にお聞きします。救急科以外の医師のうち、該当するものをすべて選んでください。

問01-01 救急科以外の医師のうち、該当するもの<各項目の人数内訳>



問 01-02 問 01 で「5. 医師会の医師」を選択した方にお聞きします。医師会の医師のうち、該当するものをすべて選んでください。

問01-02 医師会の医師のうち、該当するもの<各項目の人数内訳>



問 01-02 (その他) 問 01-02 で「6. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=221

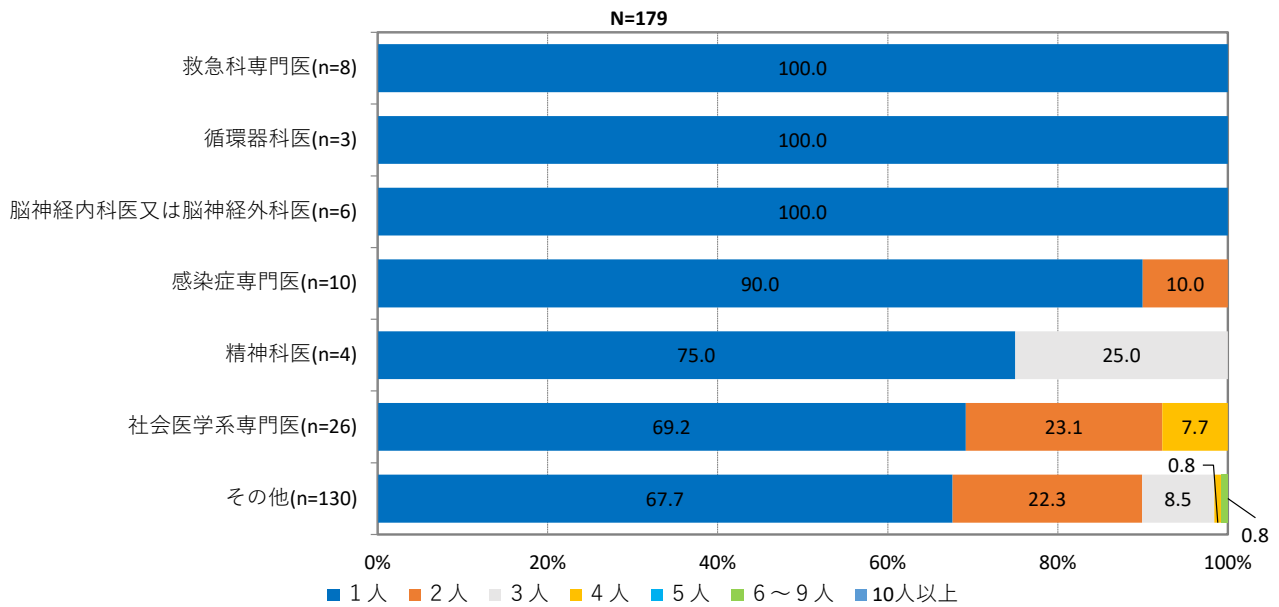
- ・ 麻酔科、小児科、内科
- ・ 外科医、消化器外科医、臨床外科医
- ・ 医師会副会長及び理事職
- ・ 整形外科医
- ・ 呼吸器内科医など
- ・ 消化器内科
- ・ 耳鼻咽喉科医
- ・ 地域の医師会長
- ・ 産婦人科医
- ・ 眼科
- ・ 心臓血管外科
- ・ 医師会からの推薦医師
- ・ 総合内科専門医
- ・ 皮膚科
- ・ 病院長
- ・ 胃腸内科
- ・ 眼科医
- ・ 精神科専門医
- ・ 保健所長が構成員であり、専門医として定めていない。
- ・ 救急医療担当理事
- ・ リハビリテーション科
- ・ 救急医療・少子化対策担当理事
- ・ 総合診療科・リウマチ科
- ・ 一次医療機関医師
- ・ 糖尿病内科
- ・ 医師会長、救急担当理事
- ・ 腎臓内科医
- ・ 救急・防災理事
- ・ 開業医
- ・ 病院長

他

(重複等を一部要約)

問 01-03 問 01 で「6. 保健所の医師」を選択した方にお聞きします。保健所の医師のうち、該当するものをすべて選んでください。

問01-03 保健所の医師のうち、該当するもの<各項目の人数内訳>



問 01-03 (その他) 問 01-03 で「7. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=130

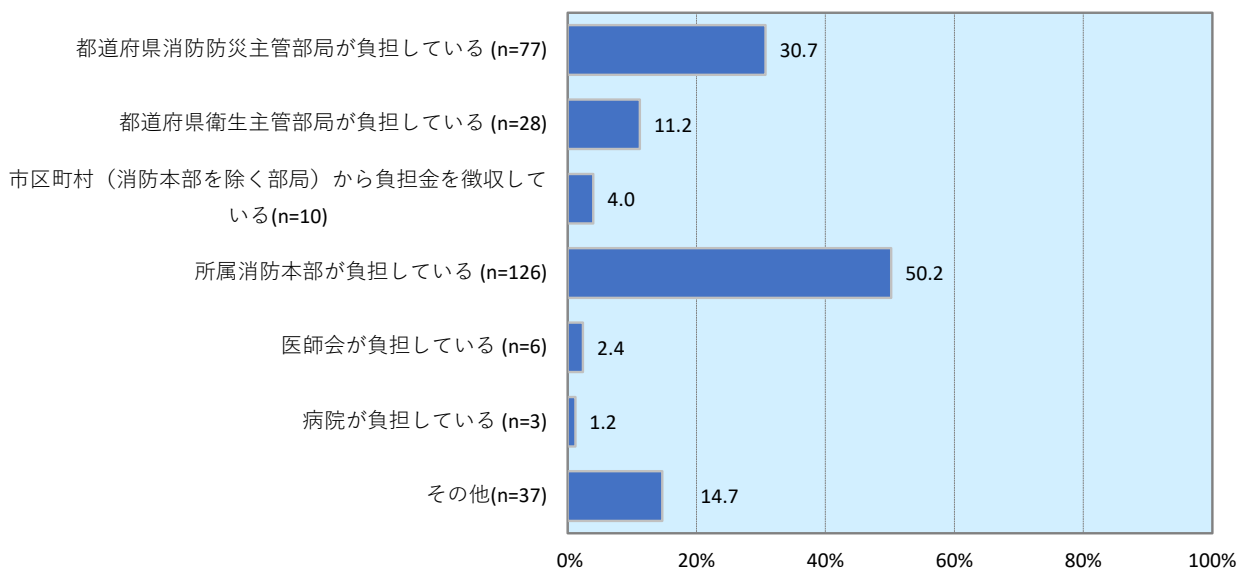
- ・ 保健所長
- ・ 小児科
- ・ 内科、外科
- ・ 公衆衛生医
- ・ 産業医
- ・ 呼吸器科医
- ・ 消化器外科
- ・ 呼吸器内科、眼科
- ・ 病理、形成外科、社会医学系専門医
- ・ 臨床遺伝専門医、認定内科医
- ・ 泌尿器科
- ・ 呼吸器内科
- ・ 産婦人科
- ・ 医学博士
- ・ 感染症専門医
- ・ 疫学・公衆衛生学
- ・ 耳鼻科
- ・ 総合内科専門医・腎臓内科専門医、行政医
- ・ 医監
- ・ 血管外科
- ・ 病理学
- ・ 歯科
- ・ リハビリテーション科
- ・ 生体構造科学
- ・ 微生物学研究医
- ・ 皮膚科医
- ・ 代謝内科
- ・ 小児臨床医

他

(重複等を一部要約)

問 02 貴協議会の令和7年度の予算は、どこが負担していますか。該当するものをすべて選んでください。

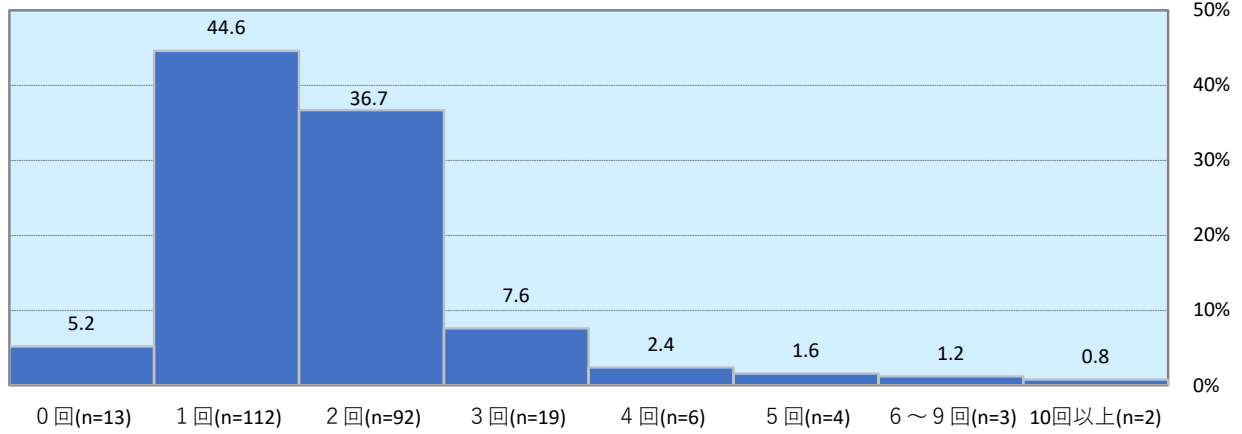
問02 令和7年度の予算は、どこが負担しているか<複数回答>
N = 251



02. 協議会の開催状況について

問03 令和6年度に開催した総会※の回数をご記入ください。（半角数字、単位：回）

問03 令和6年度に開催した総会の回数<数量回答>
N = 251

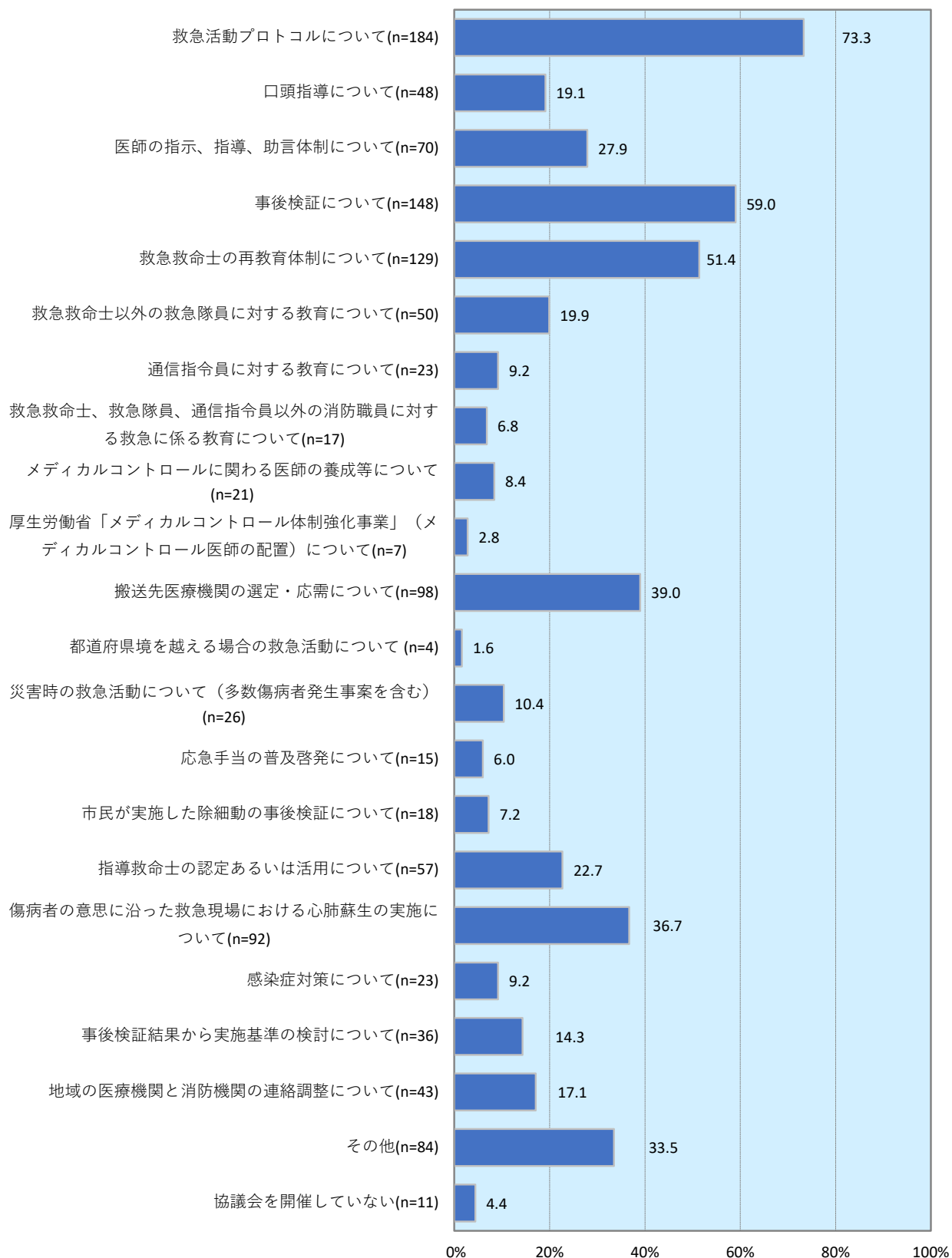


※文書やE-mailを用いた書面会議等を含みます。書面会議等は議題ごとに1回とカウントしてください。

問 04 令和6年度に開催された貴協議会では、どのような議題が取り上げられましたか。一度でも取り上げられたことのある議題に該当するものをすべて選んでください。

問04 令和6年度に開催された協議会では、どのような議題が取り上げられたか<複数回答>

N = 251

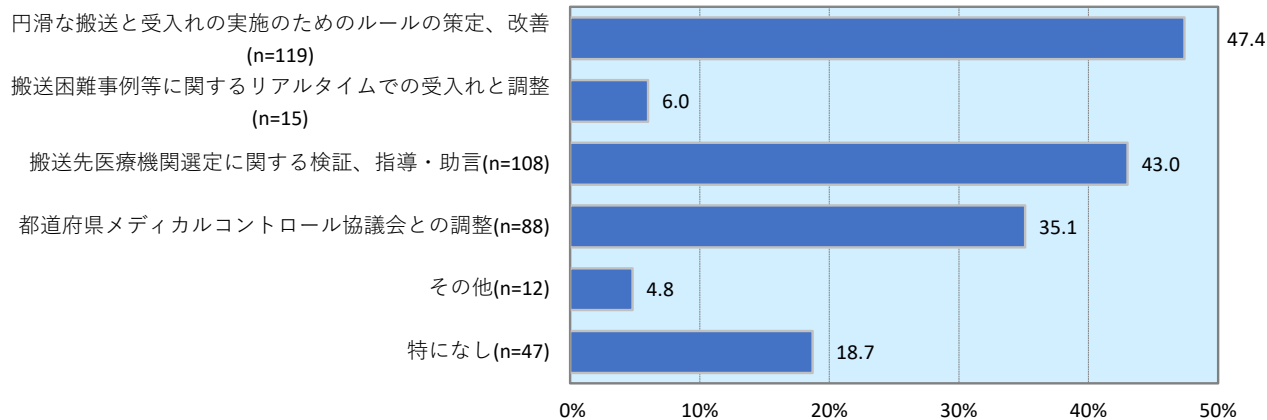


問 05 「救急搬送体制及び救急医療体制に係る調整」に関して、貴協議会は具体的にどのような役割を担っていますか。該当するものをすべて選んでください。

問05 「救急搬送体制及び救急医療体制に係る調整」に関して、どのような役割を担っているか

<複数回答>

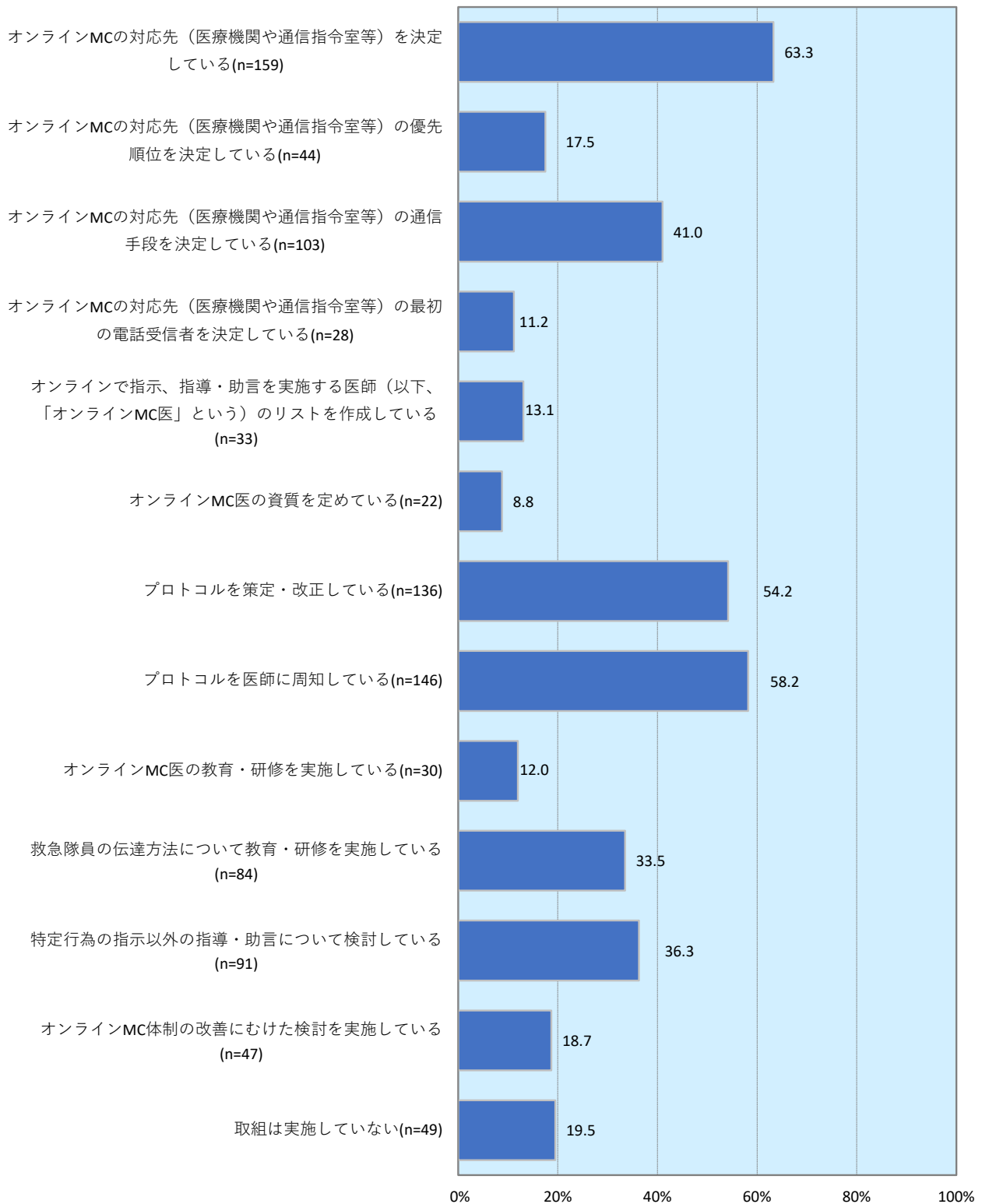
N = 251



03. オンラインメディカルコントロールについて

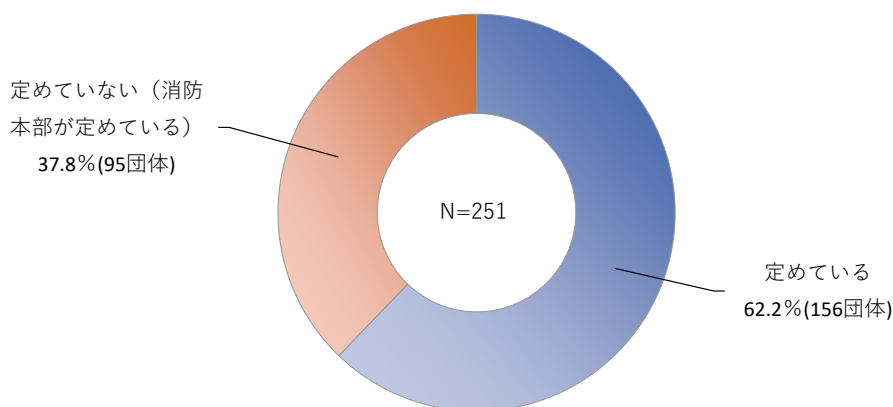
問 06 貴協議会でのオンラインメディカルコントロール（以下、「オンラインMC」という）に関する取組についてお聞きします。該当するものをすべて選んでください。

問06 オンラインメディカルコントロール（オンラインMC）に関する取組<複数回答>
N = 251



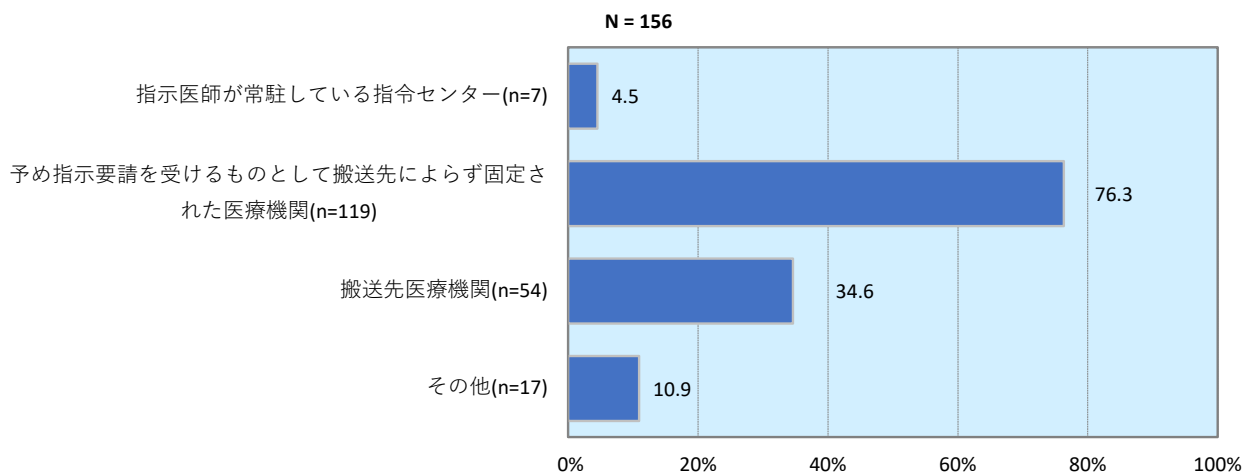
問 07 貴協議会では、オンライン MC の指示要請先を定めていますか。1 つ選んでください。

問07 オンラインMCの指示要請先を定めているか<単数回答>



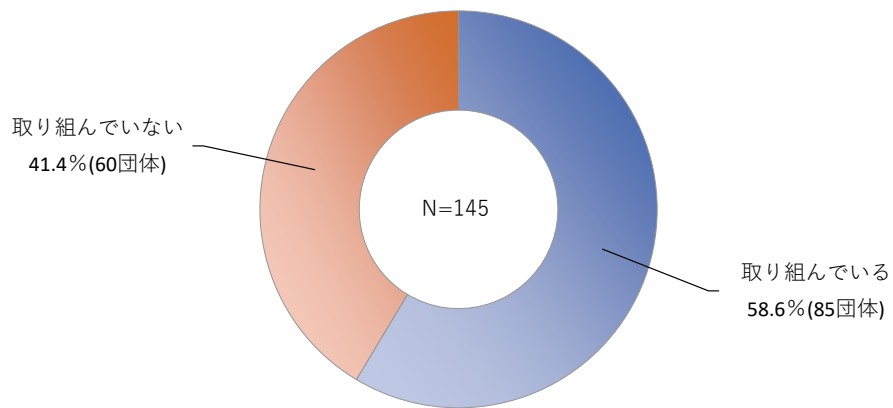
問 07-01 問 07 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。貴協議会で定める指示要請先として該当するものをすべて選んでください。

問07-01 協議会で定めているオンラインMCの指示要請先<複数回答>



問 07-02 問 07-01 で「2. 予め指示要請を受けるものとして搬送先によらず固定された医療機関」もしくは「3. 搬送先医療機関」を選択した方にお聞きします。貴協議会では、医療機関内で指示医師にできるだけ速やかにつながるよう、体制の確保や工夫に取り組んでいますか。1つ選んでください。

問07-02 医療機関内で指示医師にできるだけ速やかにつながるよう、体制の確保や工夫に取り組んでいるか<単数回答>



問 07-03 問 07-02 で「1. 取り組んでいる」を選択した方にお聞きします。具体的な内容をご記入ください。

N=85

- ・ 医師直通電話を確保している。
- ・ 院内連絡システムを周知している。
- ・ 電話等で直接指示医師に繋がるよう体制の確保をしている。また、大規模災害が発生し応援出動した場合の体制も確保している。
- ・ 迅速に指示要請を受けよう、管内救命センターとホットラインで繋がり、搬送情報システムを活用し患者対応中以外の医療機関から指示を仰いでいる。
- ・ 数種類の回線を用意してもらい、優先順で掛けている。
- ・ 指示要請の可能性のある事案が発生した場合、現場到着する前に医療機関へ連絡し医師の待機を依頼している。
- ・ 特定行為が必要と思われる事案は予め医師待機要請の実施。研修医が担当の場合は上席医師の携帯番号を聴取している。
- ・ 連絡がつかなかった事例について改善を求めている。
- ・ 先ず指示要請である旨を伝え、指導医が繋がるまでの時間を短縮している。
- ・ 固定された医療機関を、MCに加盟する全ての医療機関へと拡大し、通話中等で繋がらない状態を回避している。
- ・ 指示要請に時間を要した事案は事後検証会で問題を提示して医療機関に対し、改善依頼を実施している。
- ・ 指示医師に指示要請の知識を深めていただくため、DVD を配布した経緯がある。
- ・ 原則、搬送先医療機関（県外でも）に指示要請をすることとしているが、搬送先から指示がもらえない場合は地域 MC 内の中核病院で指示を受ける。地域 MC で指示がもらえない場合は、県内の3次医療機関への指示要請体制を確保している。
- ・ 指示要請は原則プロトコルを熟知している救命センターの医師としている。しかし、搬送先医療機関への指示要請が迅速な処置等を鑑み総合的に良いと判断した場合には搬送先への指示要請を可能としている。
- ・ 当該医療機関は、指令センター常駐医師のバックアップ回線としてのみ使用している。指示要請。指導及び助言は緊急度の有無により回線を変えて対応している。
- ・ 指示医師への連絡先として数回線（特定行為指示要請、指示助言、救急室）があり、求める内容により回線を選択することとしている。

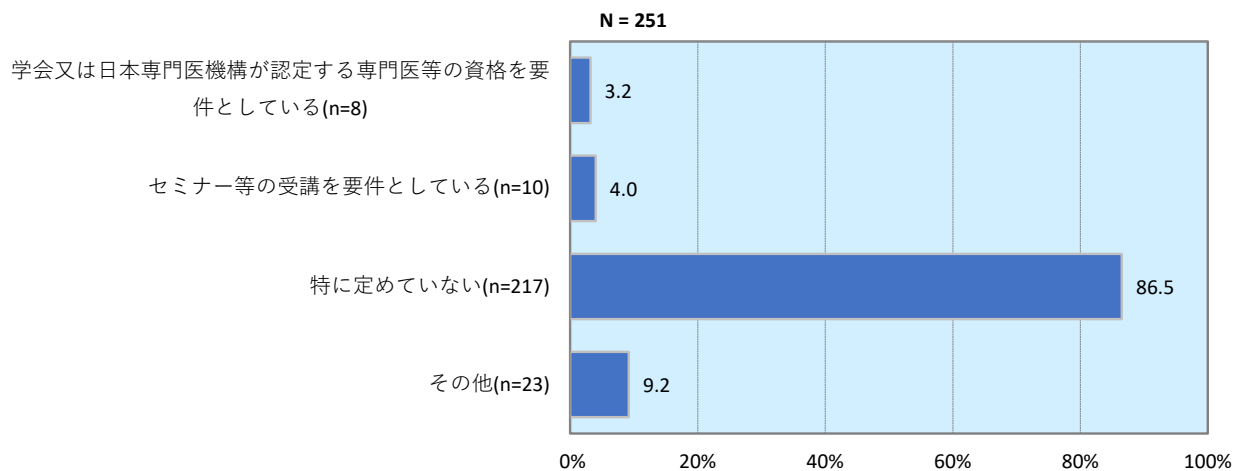
- ・ 原則として、まず司令センター救命指導医へ連絡することとしている。司令センター救命指導医が不通時の場合は、4つの医療機関の救命指導医の指示・助言を行う体制を確保している。※受けるのは救急隊
- ・ 病院内 PHS によりオンラインで指示要請を受けることができる。
- ・ 指示要請の第一選択医療機関（救命救急センター）を定めている。連絡が見つからない場合はリスト上の医療機関に連絡する。
- ・ 救急医がいる時間帯は救急医が対応、救急医がいない場合でも担当医を決めている。
- ・ 医師直通電話の確保、もしくは病院代表電話から直接医師へ繋がる体制を構築している。
- ・ 電話番号・受信者の固定、指示要請困難時の受け皿（救急救命センター）を確保している。
- ・ 委託契約を締結し、事後検証等を通じて医療機関との体制を強化している。
- ・ 救急隊と指示医師との通話を記録（録音）し、内容をチェック。個別指導や改善につなげている。
- ・ 受入の可否に問わず、指示医師の直通の連絡先を設けている。
- ・ 薬剤投与指示医師担当表を利用している。

他

（重複等を一部要約）

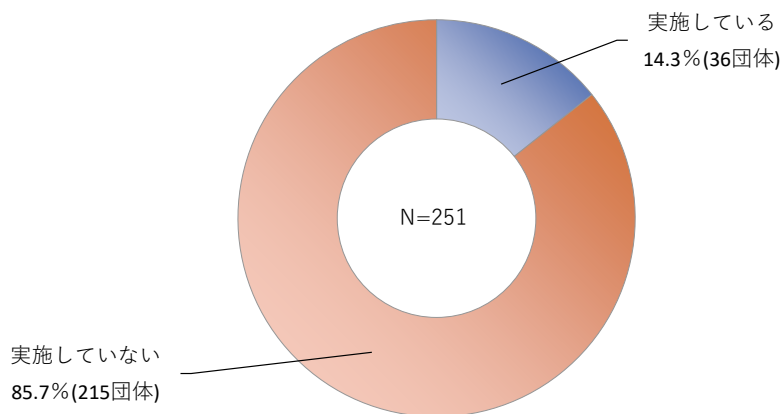
問 08 貴協議会では、指示医師の資格等の要件を定めていますか。該当するものをすべて選んでください。

問08 指示医師の資格等の要件を定めているか<複数回答>



問 09 貴協議会では、指示医師等に対する教育・研修を実施していますか。1つ選んでください。

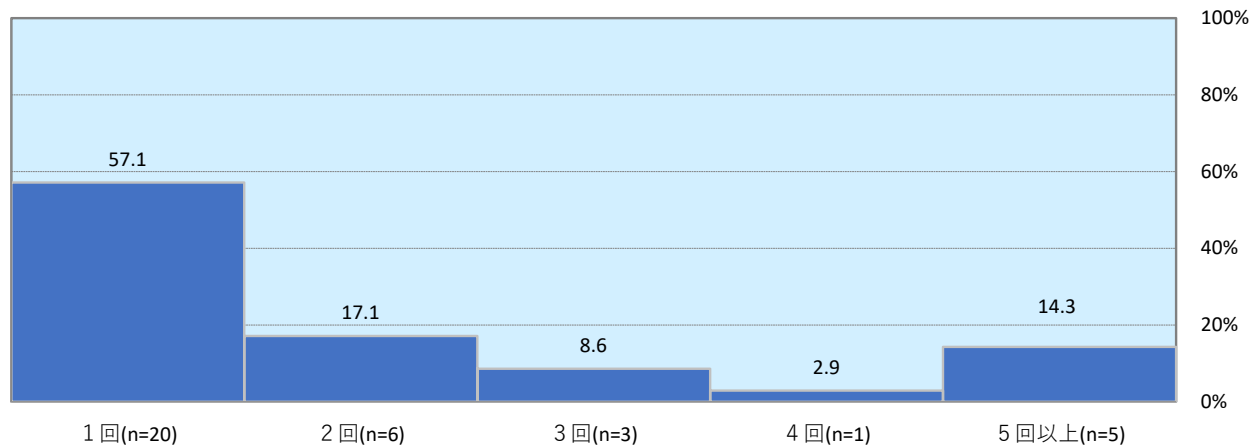
問09 指示医師等に対する教育・研修を実施しているか<単数回答>



問 09-01 問 09 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。年間あたりの実施回数をご記入ください。（半角数字、単位：回）

問09-01 実施している場合、年間あたりの教育・研修の実施回数<数量回答>

N = 35

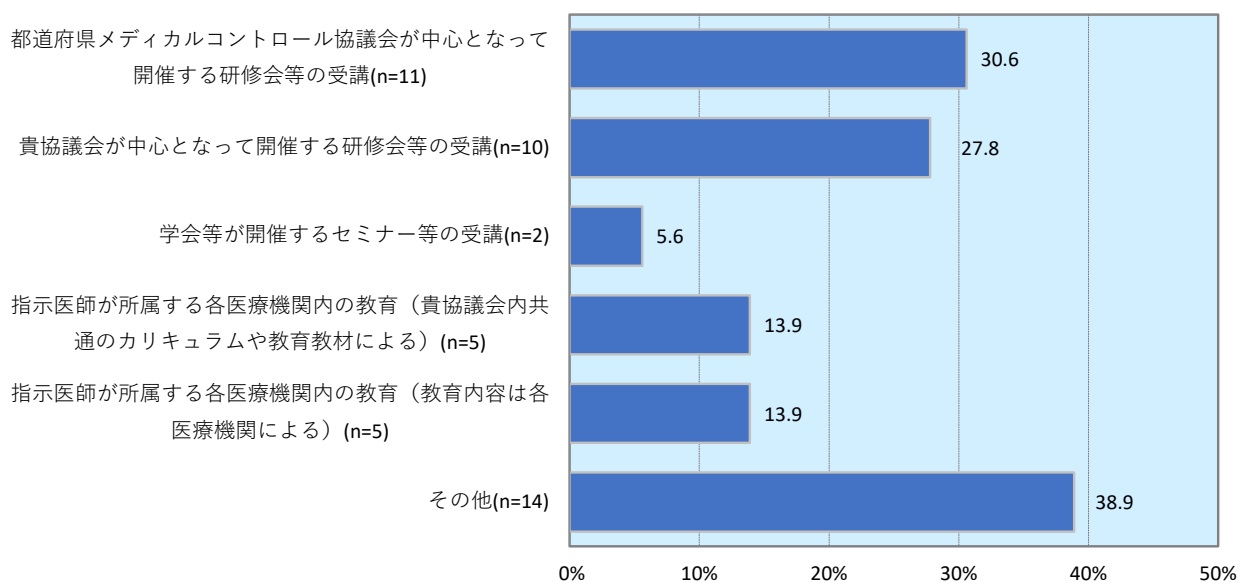


(回答不明：1件)

問 09-02 問 09 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。教育・研修はどのような形態で実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

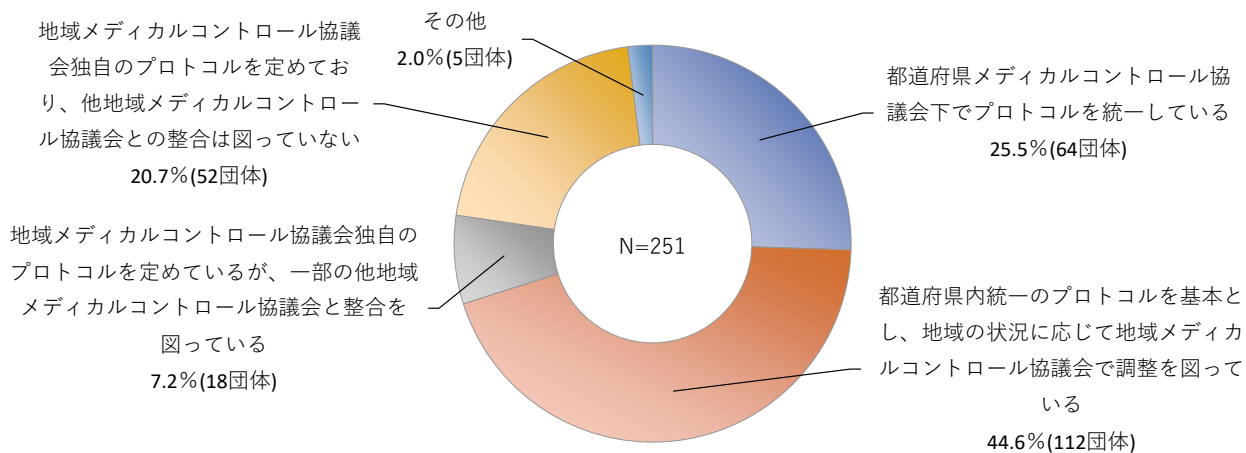
問09-02 教育・研修はどのような形態で実施しているか<複数回答>

N = 36



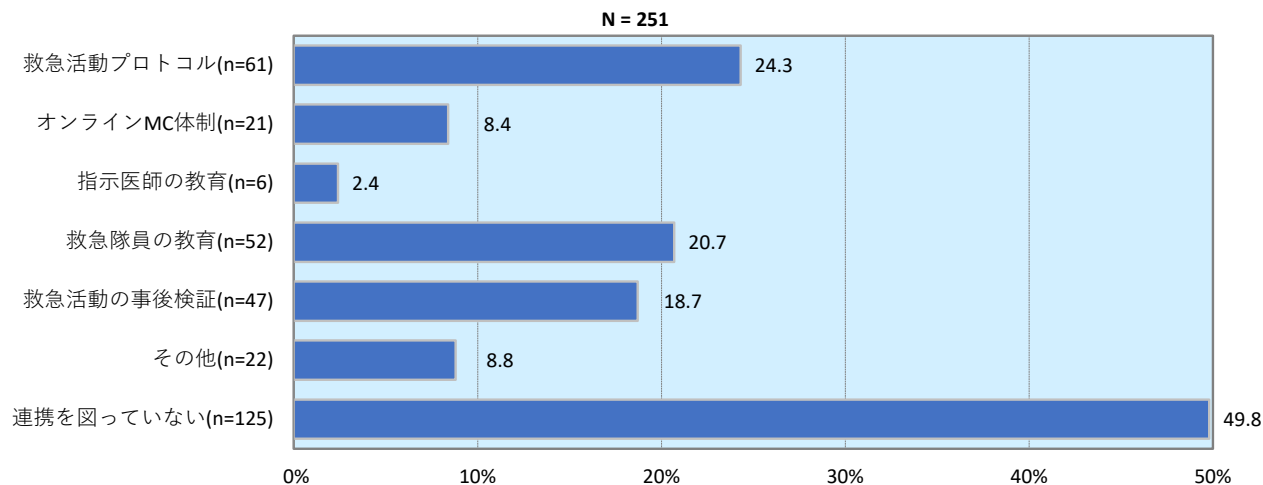
問10 貴協議会では、救急活動プロトコルについて、どのように定めていますか。1つ選んでください。

問10 救急活動プロトコルについて、どのように定めているか<単数回答>



問11 貴協議会では、他の地域医療コントロール協議会との連携や調整を図っていますか。連携や調整を図っている項目として該当するものをすべて選んでください。

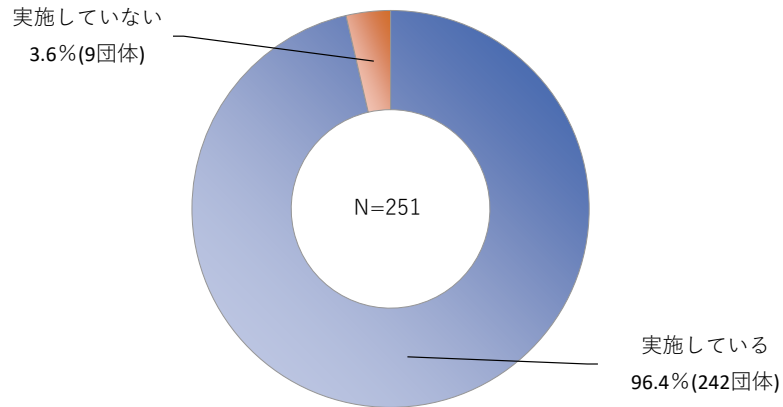
問11 他の地域医療コントロール協議会と連携や調整を図っている項目<複数回答>



04. 事後検証について

問 12 貴協議会では、医師による事後検証を実施していますか。1つ選んでください。

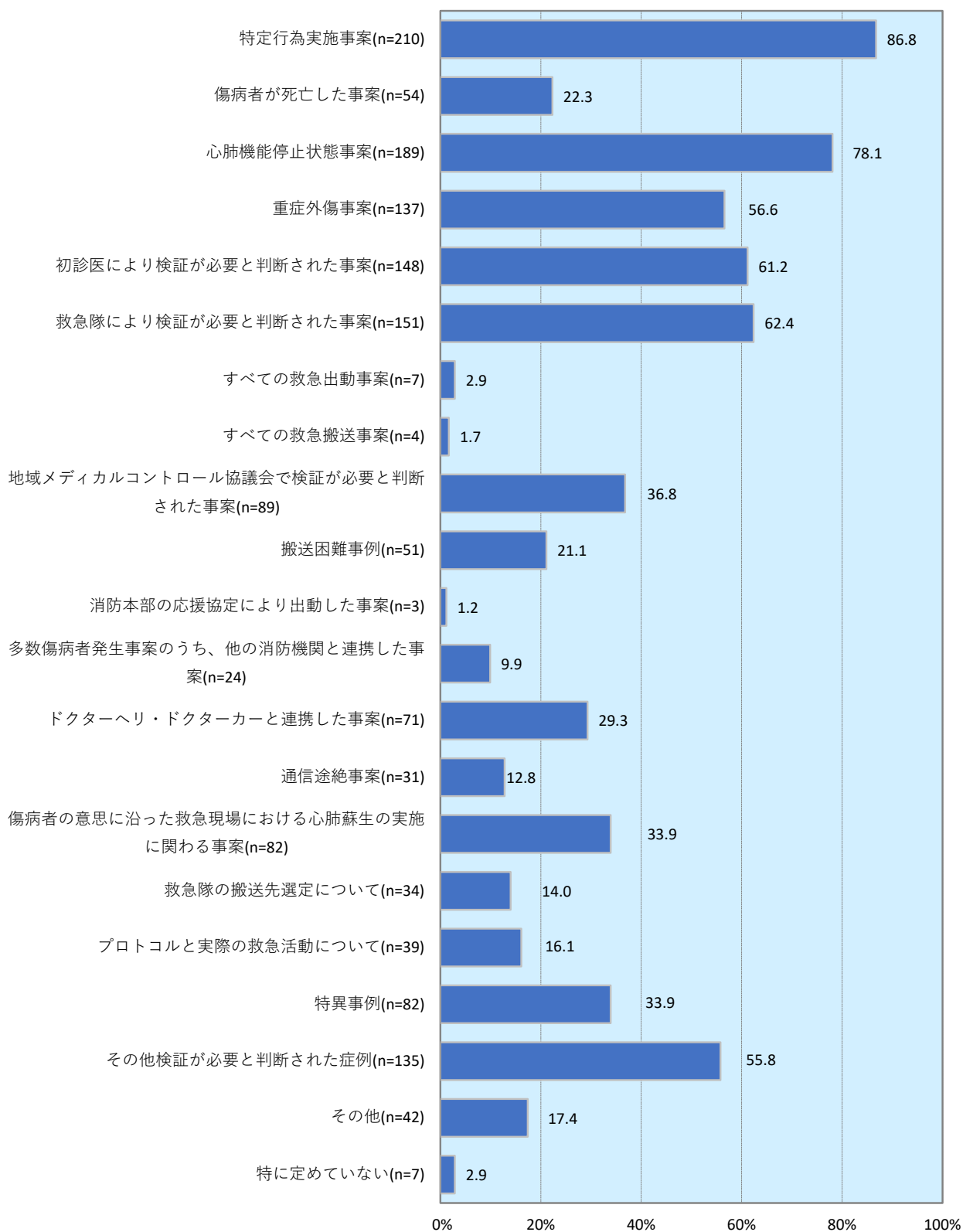
問12 医師による事後検証を実施しているか<単数回答>



問 12-01 問 12 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。事後検証の基準はどのように定めていますか。該当するものをすべて選んでください。

問12-01 事後検証の基準はどのように定めているか<複数回答>

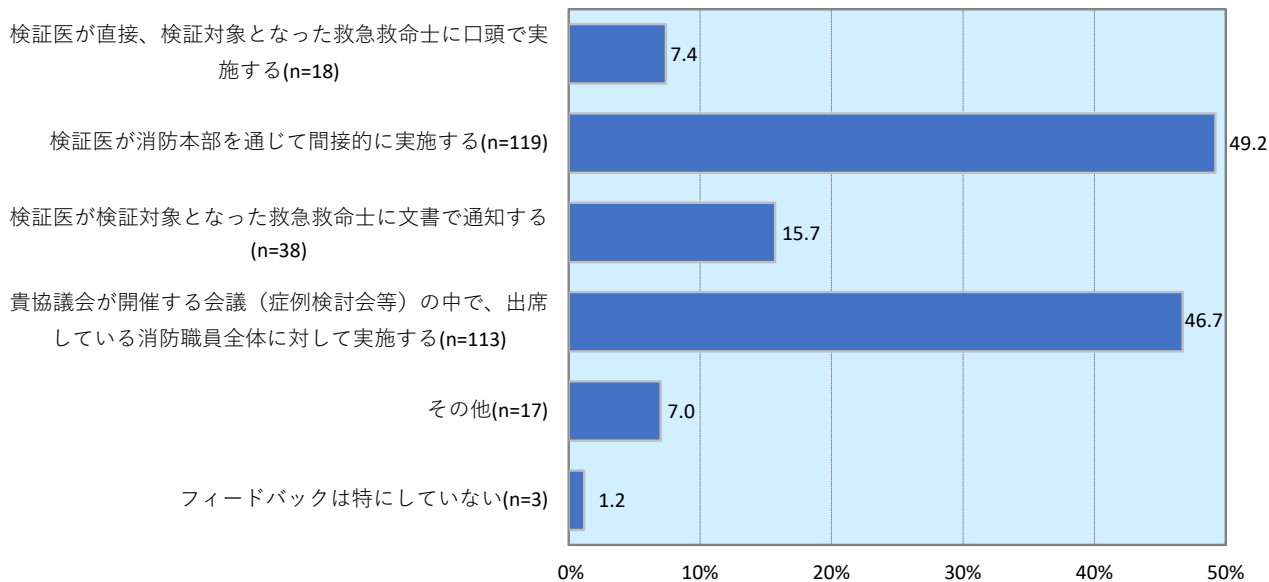
N = 242



問 12-02 問 12 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。医師による事後検証のフィードバックはどのように実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問12-02 医師による事後検証のフィードバックは主にどのように実施しているか<複数回答>

N = 242



問 12-02 (その他) 問 12-02 で「5. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=17

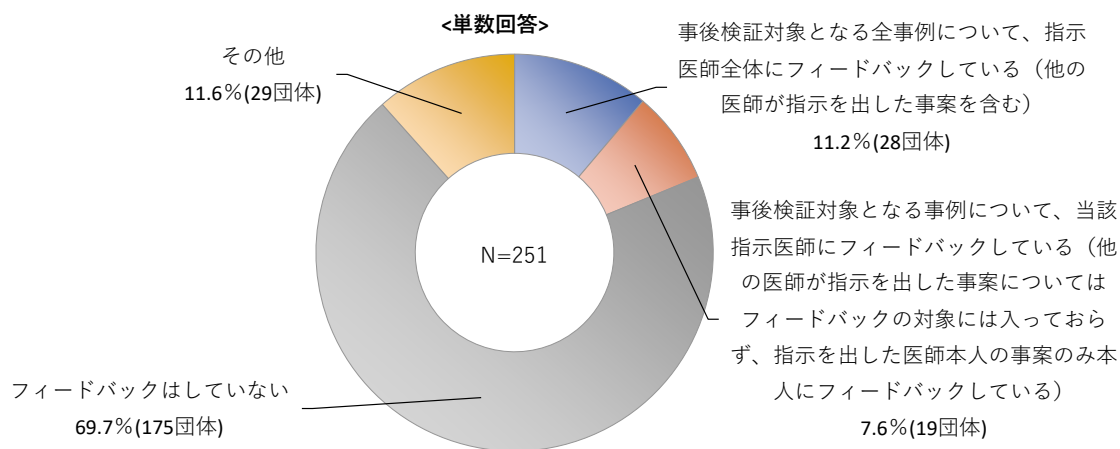
- ・ 検証票に所見、指導事項を記載する
- ・ 医師により検証が行われたものは、全ての隊員が閲覧できる情報システムに掲載し、フィードバックしている。
- ・ 検証対象に対する通常検証では、検証医（指導医師）が、消防本部の検証管理者にフィードバックを実施するが、地区全体で検証が必要とされている項目に該当した症例については、指導医師のフィードバックに加え検証管理者に就いている検証医のフィードバックを、MC 事務局を通じて各消防本部に実施する。
- ・ 検証医と事後検証担当者（指導救命士）がマンツーマン方式で検証を実施し、後日、対応した隊員へ周知する仕組み。
- ・ 地域 MC 協議会が開催する会議（症例検討会等）の中で、出席している消防職員全体に対してフィードバックを実施するのに加えて、出席していない消防局の全職員に周知している。
- ・ 三次医療機関の医師に二次検証を委託。二次検証の結果、三次検証必要な事案については、事後検証委員会で三次検証を実施。委員会の構成員は検証医師及び消防職員。事後検証委員会の結果は、市内の指示医療機関並びに救急隊全体に文書で周知している。
- ・ 二次医療機関と実施している小規模な症例検討会
- ・ 基幹病院に検証会を依頼し、毎月検証会を実施している。
- ・ 検証委員会に出席した消防職員がフィードバックしている。

他

（重複等を一部要約・編集）

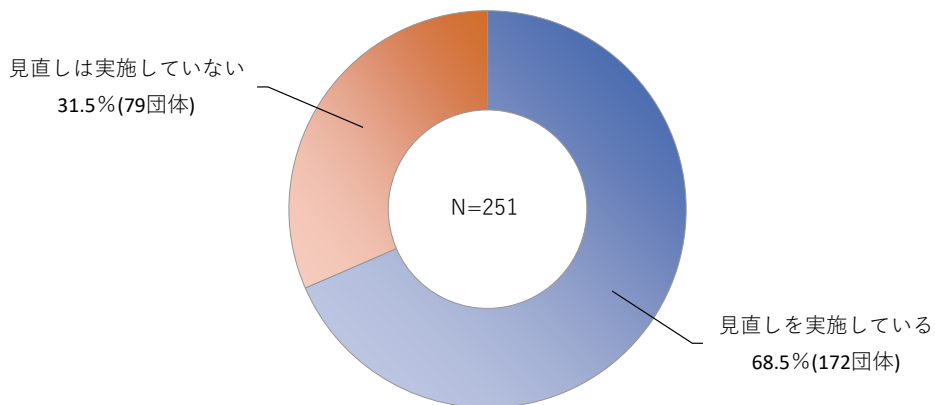
問 13 貴協議会では、医師から救急救命処置等の指示がなされた事案について、事後検証結果を指示医師全体へフィードバックしていますか。1つ選んでください。

問13 指示医師の指示がなされた事案について、事後検証結果を指示医師へフィードバックしているか



問 14 貴協議会では、事後検証結果に基づき必要に応じて救急活動プロトコルの見直しを実施していますか。1つ選んでください。

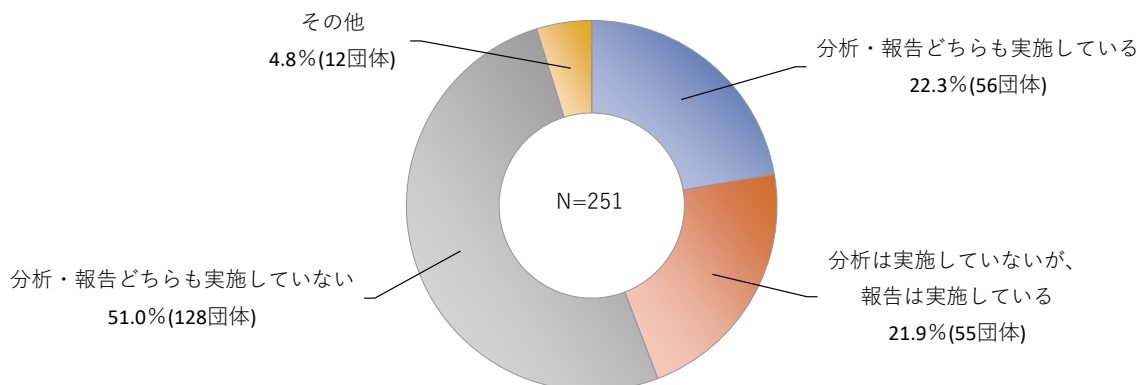
問14 事後検証結果に基づき必要に応じて救急活動プロトコルの見直しを実施しているか<単数回答>



05. 評価指標を用いたPDCAの取組について

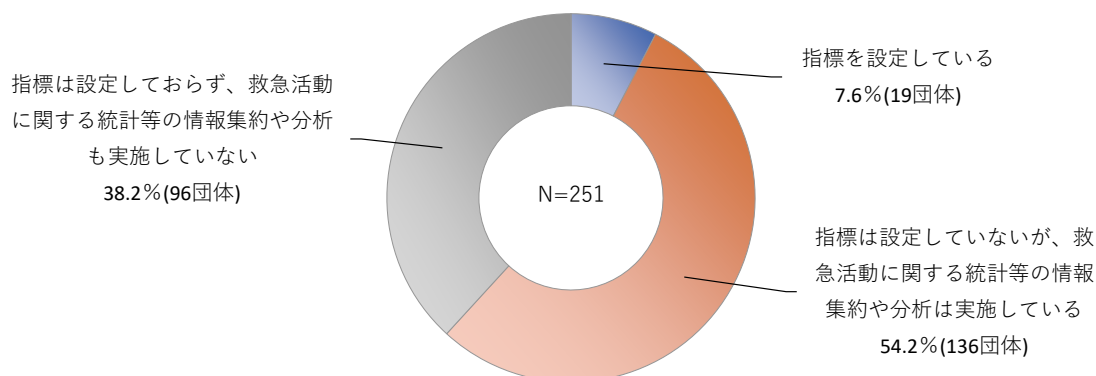
問15 貴協議会では、消防法35条の5に定める「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に基づく傷病者の搬送及び受入れ状況に関し、消防本部及び医療機関の情報に基づく分析、都道府県メディカルコントロール協議会への定期的な報告を実施していますか。1つ選んでください。

問15 消防法第35条の5に定める「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に基づく傷病者の搬送及び受入れ状況に関し、地域メディカルコントロール協議会への報告を実施しているか
<単数回答>



問16 貴協議会では、「救急業務におけるメディカルコントロール体制の更なる充実強化について（令和3年3月26日付け消防救第97号消防庁救急企画室長通知）」において示したように、メディカルコントロール体制のPDCAのための評価指標を設定していますか。1つ選んでください。

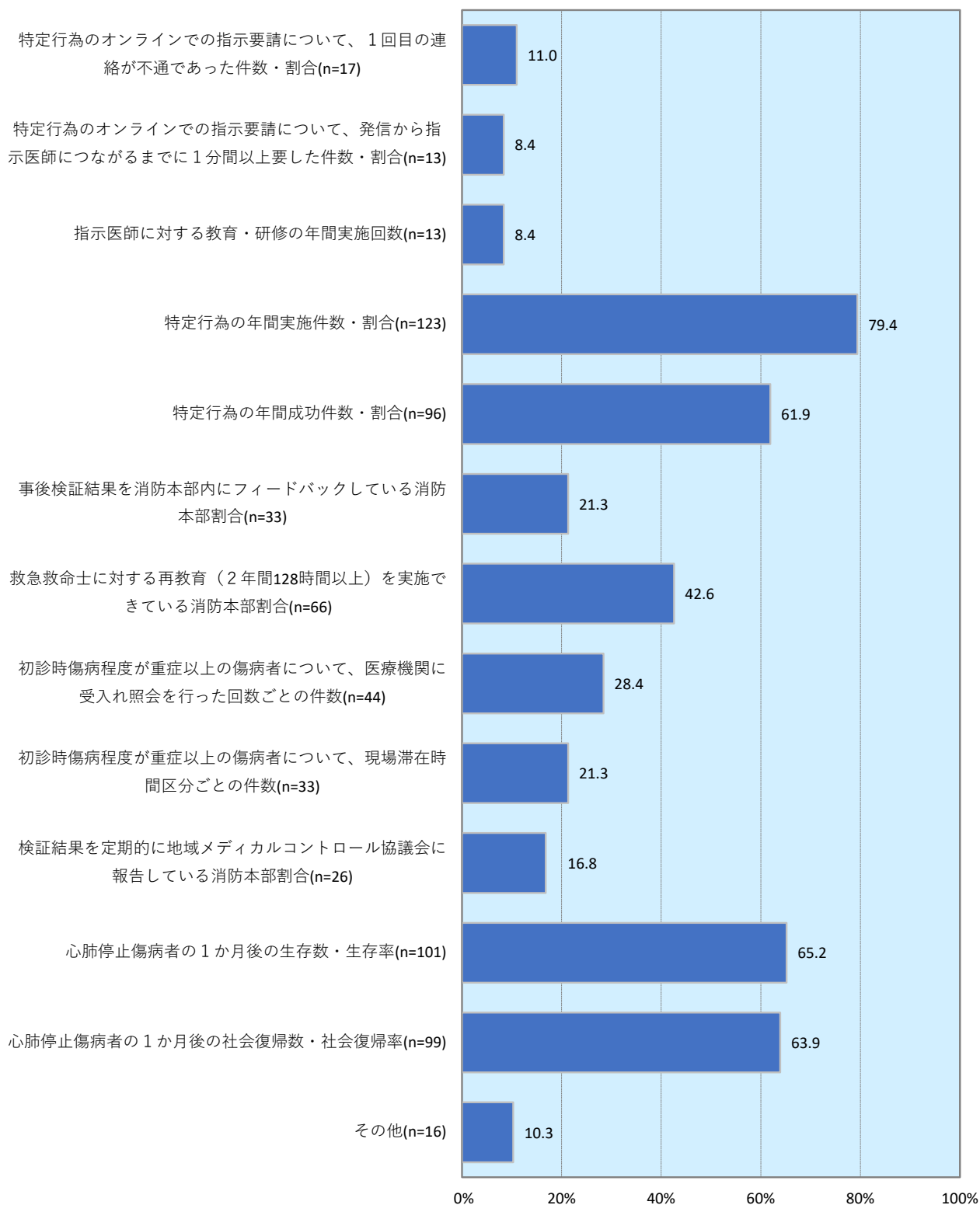
問16 「救急業務におけるメディカルコントロール体制の更なる充実強化について（令和3年3月26日付け消防救第97号消防庁救急企画室長通知）」において示したように、メディカルコントロール体制のPDCAのための評価指標を設定しているか<単数回答>



問16-01 問16で「1. 指標を設定している」もしくは「2. 指標は設定していないが、救急活動に関する統計等の情報集約や分析は実施している」を選択した方にお聞きします。現在の指標の項目（集約・分析している統計等の項目）について、該当するものをすべて選んでください。

問16-01 現在の指標の項目（集約・分析している統計等の項目）<複数回答>

N = 155



問 16-01 (その他) 問 16-01 で「13. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=16

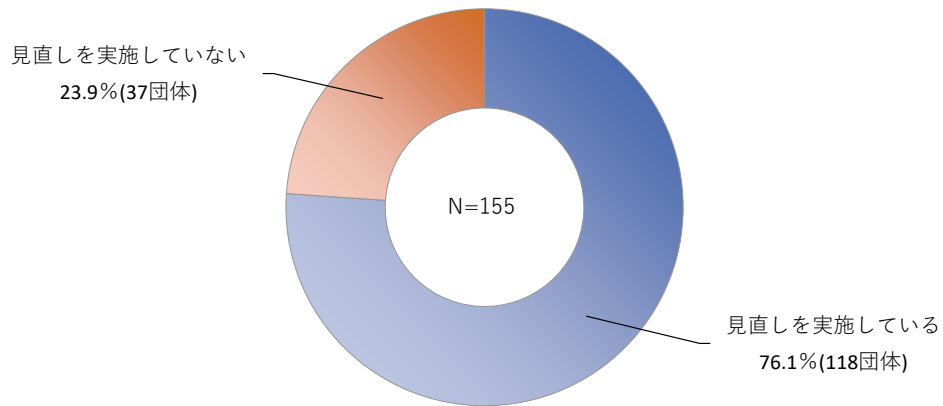
- ・ 現場到着平均所要時間、医療機関収容平均所要時間、住民による応急手当と AED 実施状況調、転院搬送調、転送回数別人数
- ・ 常駐医師の委嘱に際し、教育（教養動画）を実施し、効果確認を実施し、把握している。
- ・ 年間の特定行為指示要請までに要した時間、特定行為の実施場所、特定行為までに要した時間に関する統計
- ・ 年度ごとに Quality Indicator を作成し、相互評価を行っている。
- ・ 年齢層別の救急搬送人員・事故種別傷病程度別搬送人員・転院搬送の状況・医療機関受け入れまでの連絡回数・搬送困難事案発生状況
- ・ 全救急搬送件数における搬送困難割合、管轄外搬送割合、医療機関ごとの受入割合・交渉時間
- ・ 口頭指導、PAD、DNAR 件数
- ・ 事後検証の実施割合及び結果
- ・ 心肺停止事案における現場での特定行為実施群、非特定行為実施群における現場滞在時間
- ・ 地域内における出動件数及び搬送人員の推移
- ・ 特定行為の成功/失敗の別、救急外来の転帰、バイスタンダー CPR について
- ・ 現場到着時刻から初回アドレナリン投与時刻までの時間
- ・ 指示医療機関に対する説明等の年間実施回数、心原性心肺停止傷病者の 1 か月後の生存数・生存率、心原性心肺停止傷病者の 1 か月後の社会復帰数・社会復帰率、心肺機能停止の時点を目撃した心原性心肺停止傷病者の 1 か月後の生存数・生存率、心肺機能停止の時点を目撃した心原性心肺停止傷病者の 1 か月後の社会復帰数・社会復帰率

他

(重複等を一部要約)

問 16-02 問 16 で「1. 指標を設定している」もしくは「2. 指標は設定していないが、救急活動に関する統計等の情報集約や分析は行っている」を選択した方にお聞きします。指標の測定結果や統計等の分析結果等に基づき、地域の状況に応じてメディカルコントロール体制の見直しを実施していますか。1つ選んでください。

問16-02 指標の測定結果や統計等の分析結果等に基づき、地域の状況に応じて
メディカルコントロール体制の見直しを実施しているか<単数回答>

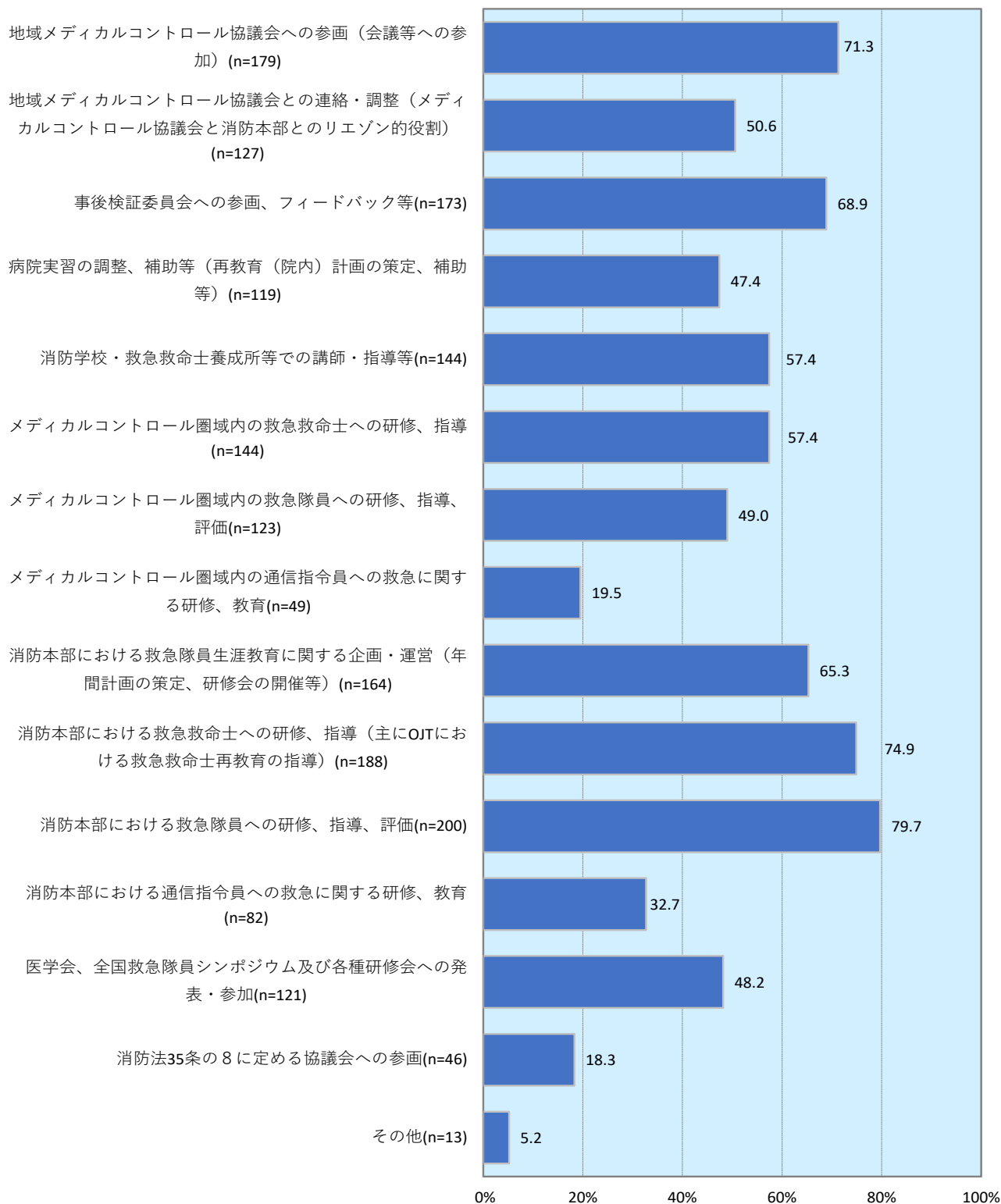


06. 指導救命士について

問 17 貴協議会における指導救命士の活用状況について、該当するものをすべて選んでください。

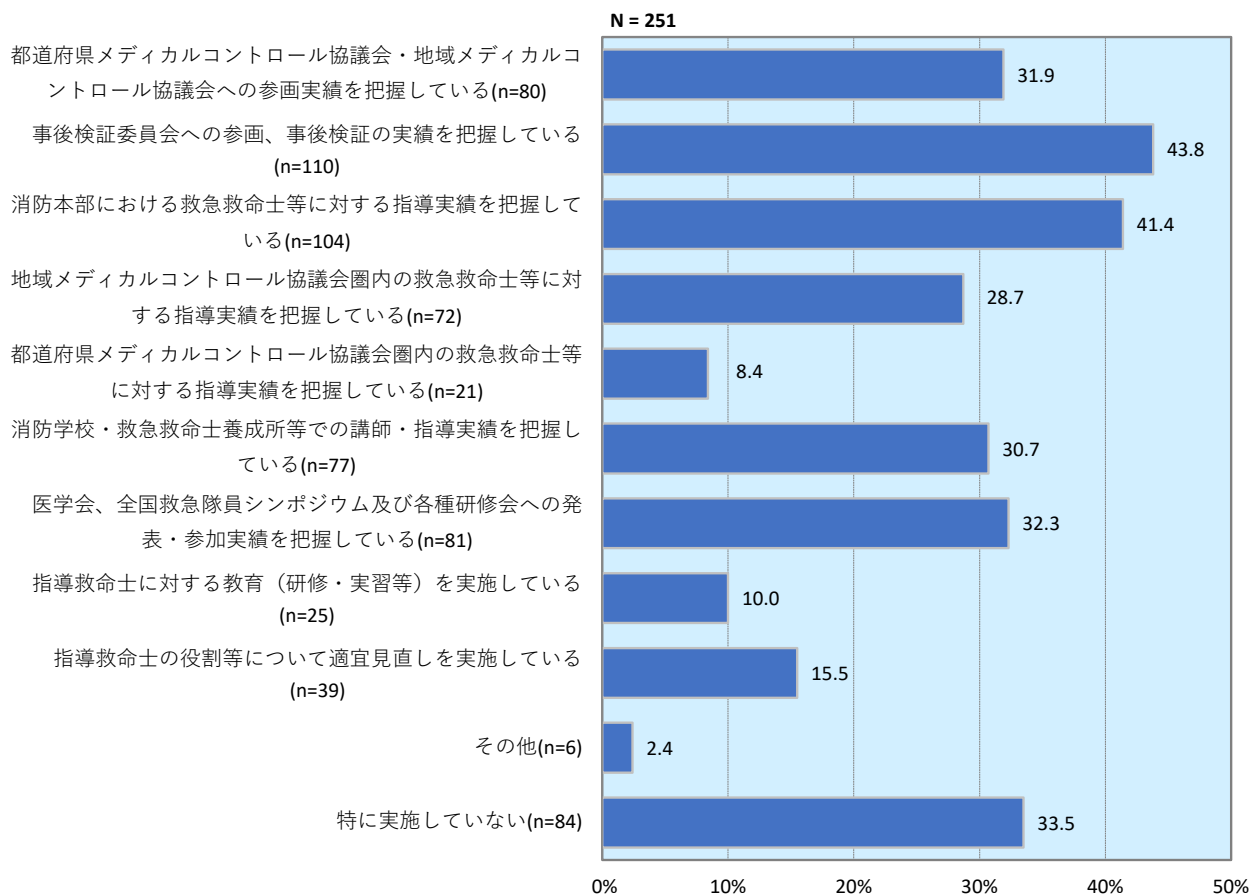
問17 指導救命士の活用状況<複数回答>

N = 251



問 18 貴協議会において、指導救命士の運用（活躍の場や役割）や、質の維持向上を図るための取組を実施していますか。該当するものをすべて選んでください（完全に一致しなくても、趣旨が近い項目があれば選択してください）。

問18 指導救命士の運用（活躍の場や役割）や、質の維持向上を図るための取組を実施しているか
 <複数回答>



問 19 指導救命士の活用について、特徴的、効果的な取組を実施している場合、取組の内容を具体的にご記入ください。

N=251

- ・ 指導救命士による救急車同乗指導
- ・ 消防局の事務局担当者と円滑にプロトコル等の改正が実施できるよう調整を行う。
- ・ 医師を招いたシミュレーション訓練
- ・ 訓練計画を指導救命士が策定しており、評価まで一貫した指導をしている。
- ・ 県 MC 協議会の下部組織として、県指導救命士会があり、所属長の推薦があった指導救命士は全員登録されている。作業部会の中には「教育班」「検証班」「プロトコル班」「インシデント班」などを設け活動している。
- ・ MC 協議会内で指導救命士を中心とした救急技術指導会を実施している。
- ・ 消防長会救急部会に救急救命士活動研究会を設置し救急救命士の指導、研修、企画等を定め活動している。
- ・ 消防本部内において、年度始めに年間の活動計画を策定させ、年度終わりにその結果を報告させる。
- ・ 救急救命士の再教育のカリキュラム策定
- ・ 民間救急救命士学校卒現場経験 5 年以下及び養成所卒現場経験 3 年以下の救急救命士にシミュレーション訓練を実施している。
- ・ 協議会主催の訓練の指導者として教育を行うとともに、各委員会での訓練の企画や生涯研修等について検討を行っている。
- ・ 指導救命士により、二次検証を行い、医師検証事案を選出。
- ・ 各所属に配置することで、現場救急隊の教育指導や労務管理などより細やかに行うことができる。
- ・ 集団救急訓練等の評価者
- ・ OJT により、すべての救急隊に指導する機会を設けている
- ・ POT（ファシリテーター）、救急活動総合シミュレーション訓練（評価者）、救急高度化推進計画を担当
- ・ 救急救命士リスタートプログラムの実施
- ・ 当地域メディカル協議会では所属する指導救命士に対して令和 6 年度から地域の医科大学協力のもと医師や看護師を講師とした研修会を実施している。指導救命士間でのナレッジ共有、人材教育における課題共有、並びに多他職種における人材育成、教育技法（アントレプレナーシップ、医療現場におけるノンテクニカルスキル、効果的なファシリテーション技法）を内容に取り入れている。

- ・ 指導救命士会議を開催し、各消防本部における指導救命士の活動状況について情報共有することで救急隊活動の質の向上を図っている。
- ・ 学会発表等の資料の査読・助言及び指導等
- ・ 構成消防本部の合同訓練、症例発表会の運営
- ・ 救急救命士の教育を行うにあたり、指導救命士が窓口的な役割を果たし、全体に意図や意味が行き渡るように調整している。
- ・ PDCA サイクルの取組及び県消防学校講師派遣
- ・ 3つの部会が機能しており当局の救急業務を円滑にしている。
 - ①エルスタ派遣前教育
 - ②学会発表や SNS 及び論文投稿等を実施やサポート
 - ③報告書入力要領の作成更新や各種統計処理等を実施
- ・ 各消防本部の指導救命士が作成した教養資料を、消防本部をまたいで MC 共有資料として地域 MC 内で共有している。
- ・ 「アナフィラキシーに対する自己注射が可能なアドレナリン(エピネフリン)製剤によるアドレナリンの投与対象拡大についての実証事業」における実技講習を実施
- ・ 常駐型ワークステーションに配属、救急隊の教育や活動訓練会の開催を行う。
- ・ 各消防本部の「再教育作業部会員」は基本的に指導救命士としており、救命士の教育に係る研修等の企画・運営を実施している。
- ・ 救急活動などで、諸問題が発生した際には指導救命士会議を開催し、救急活動の最適化やより良い方向へ運用できるように協議を実施している。また、各署に配置されているので、目が行き届きやすい体制となっているので本部との意思の疎通が円滑である。
- ・ 各消防本部、指導救命士等が企画する訓練へ他機関の指導救命士を派遣し指導・評価などを実施している。

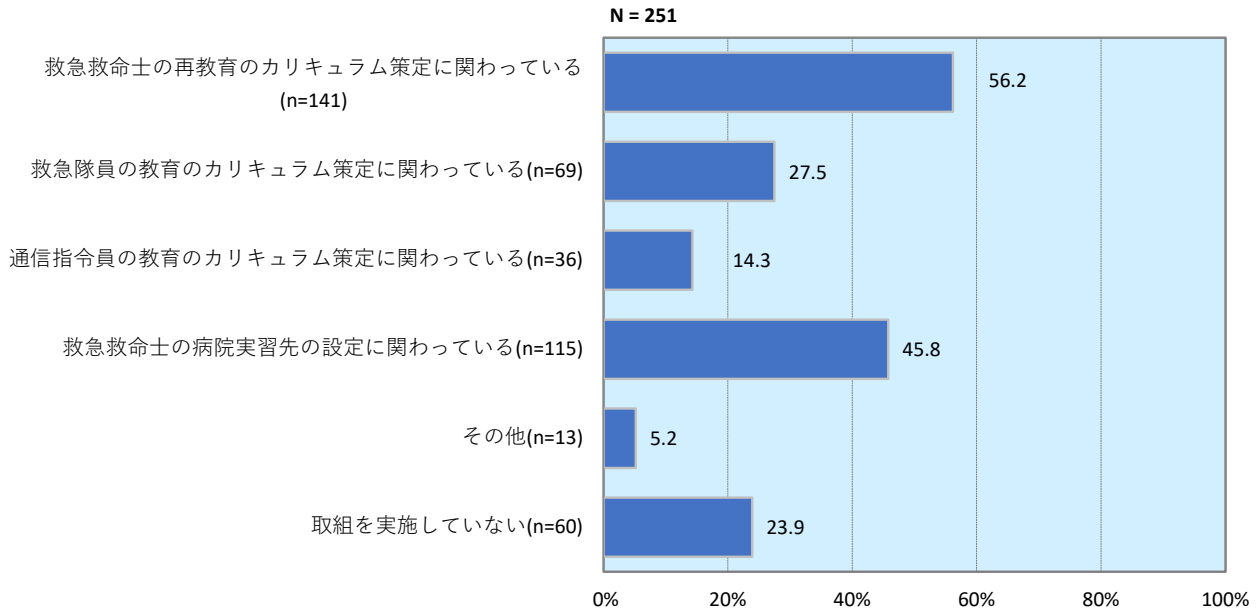
他

(重複等を一部要約)

07. 救急救命士の再教育について

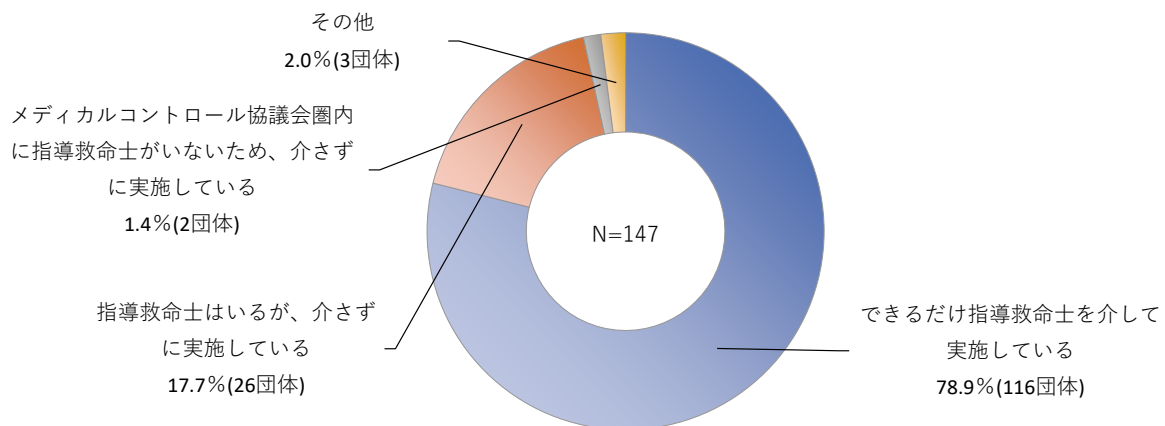
問 20 貴協議会における、救急救命士等の教育に係る取組についてお聞きします。実施している取組として該当するものをすべて選んでください。

問20 救急救命士等の教育に係る取組<複数回答>



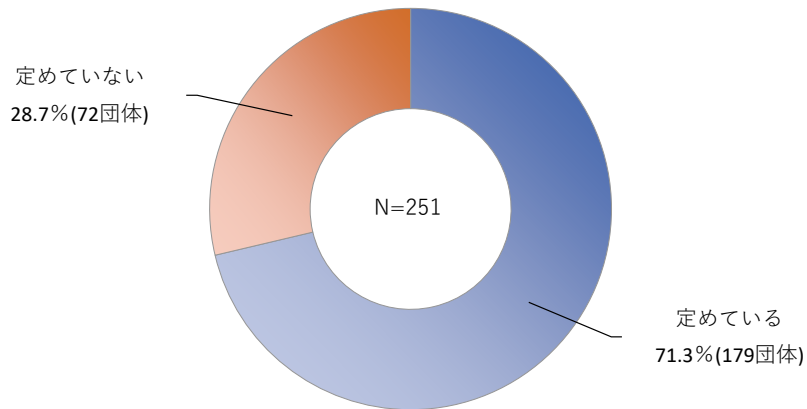
問 20-01 問 20 で「1. 救急救命士の再教育のカリキュラム策定に関わっている」、「2. 救急隊員の教育のカリキュラム策定に関わっている」、「3. 通信指令員の教育のカリキュラム策定に関わっている」のいずれかを選択した方にお聞きします。それらの策定は指導救命士を介して実施していますか。1つ選んでください。

問20-01 救急救命士の再教育のリキュラム策定等は指導救命士を介して実施しているか<単数回答>



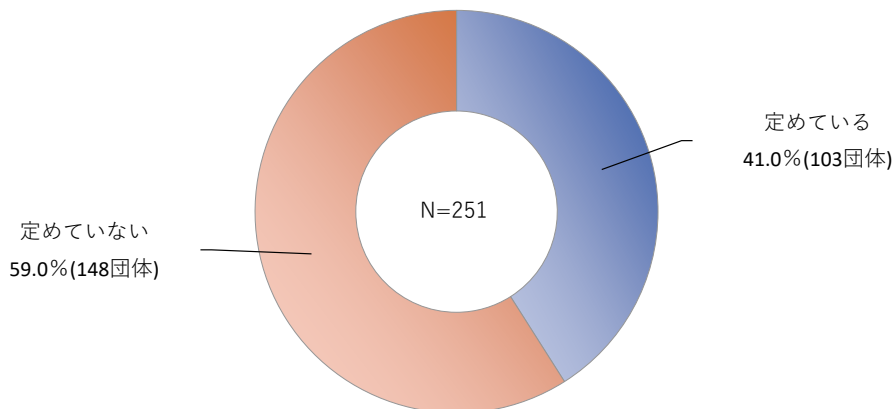
問 21 貴協議会では、救急救命士の再教育において実施すべき項目を定めていますか。1つ選んでください。

問21 救急救命士の再教育において実施すべき項目を定めているか<単数回答>



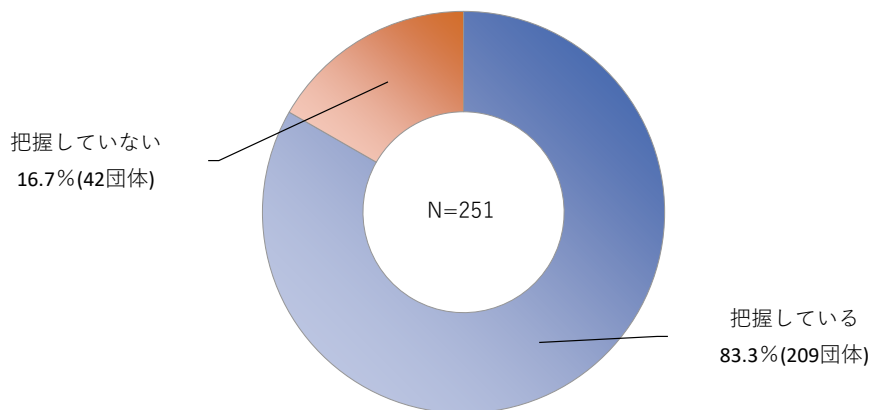
問 22 貴協議会では、指導救命士が行った『日常的な教育』について、再教育時間に含まれることを要綱等で定めていますか。1つ選んでください。

問22 指導救命士が行った『日常的な教育』について、再教育時間に含まれることを要綱等で定めているか<単数回答>



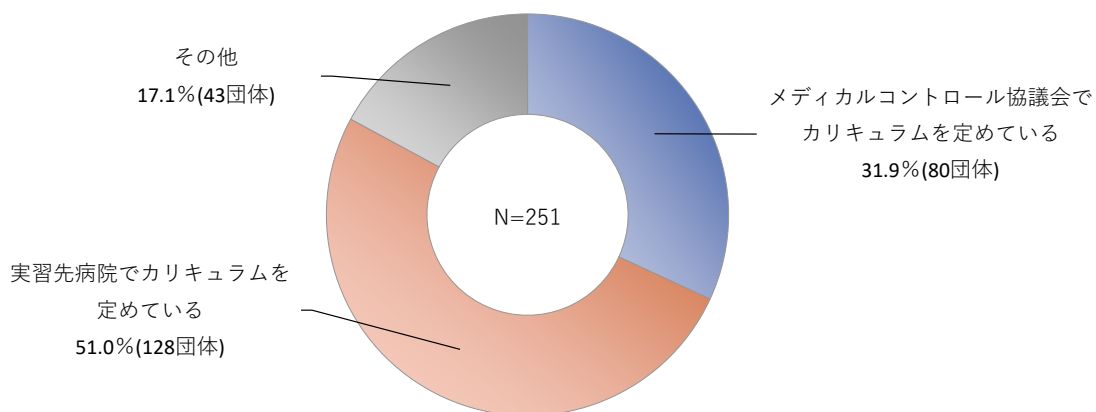
問 23 貴協議会では、所属する消防本部において、2年間で128時間以上の再教育を履修している運用救急救命士数（運用2年未満を除く）を把握していますか。1つ選んでください。

問23 所属する消防本部において、2年間で128時間以上の再教育を履修している運用救急救命士数（運用2年未満を除く）を把握しているか<単数回答>



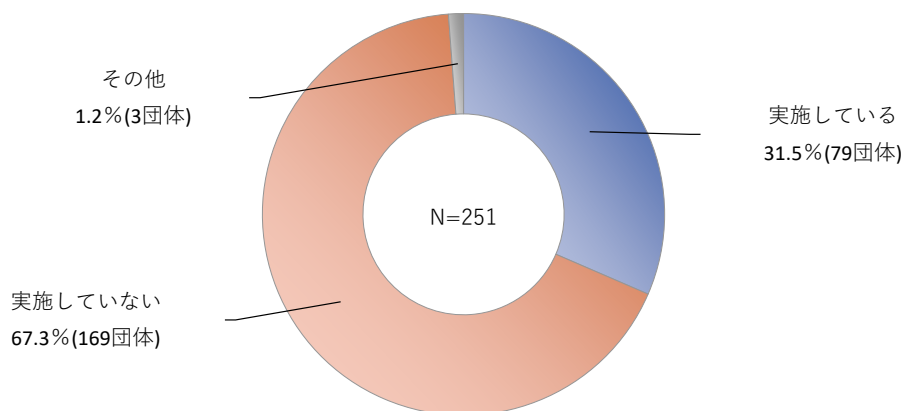
問 24 貴協議会では、病院実習の実施方法について、どのように決めていますか。1つ選んでください。

問24 病院実習の実施方法について、どのように定めているか<単数回答>



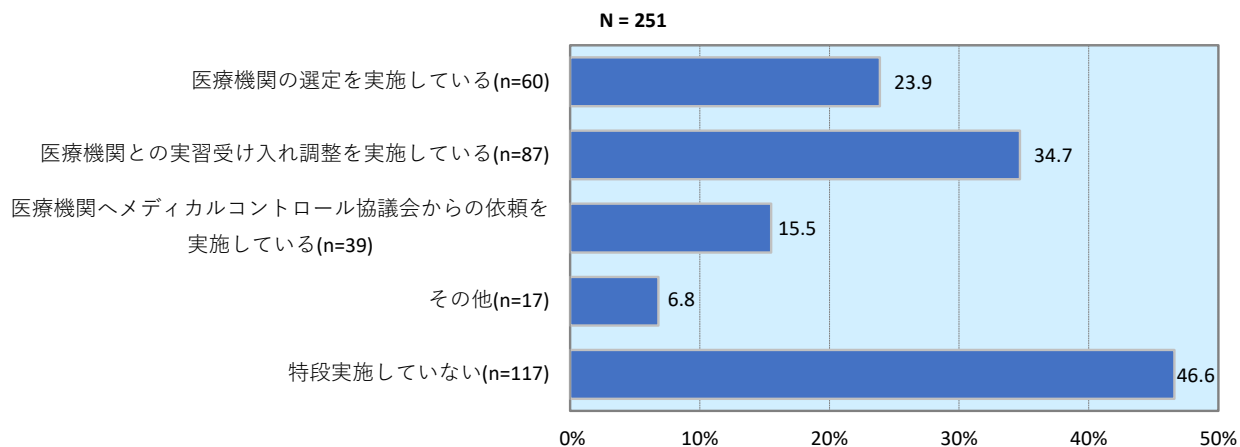
問 25 救急救命士の再教育における病院実習について、履修・経験すべき手技、症例等について、貴協議会で検討を実施していますか。1つ選んでください。

問25 救急救命士の再教育における病院実習について、
履修・経験すべき手技、症例等について、検討を実施しているか<単数回答>



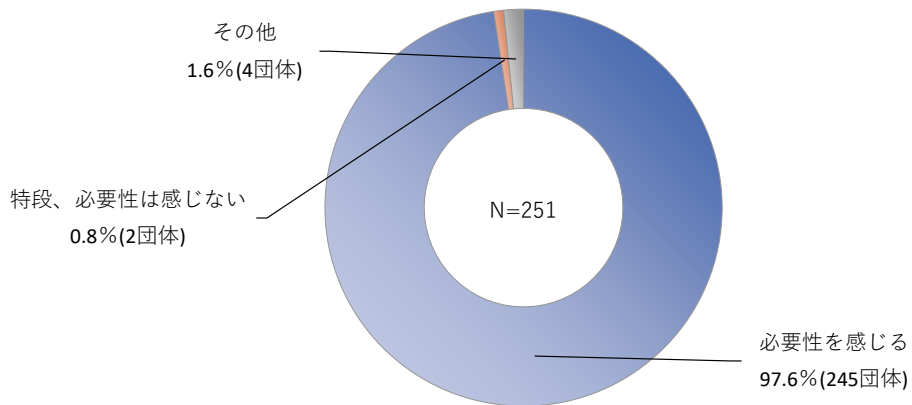
問 26 救急救命士の再教育における病院実習について、貴協議会において、実習を受ける医療機関の選定、調整、依頼を実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問26 救急救命士の再教育における病院実習について、
実習を受ける医療機関の選定、調整、依頼を実施しているか<複数回答>



問 27 救急救命士が最新の医療技術を学び、処置の技術・質を維持・向上するため、病院で一定期間の実習を行い医師の指導・教育を受けることは、引き続き必要と考えますか。1つ選んでください。

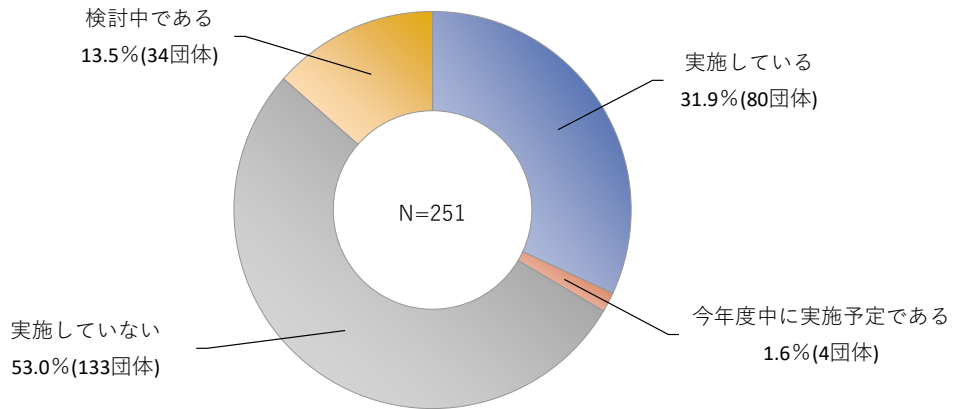
問27 救急救命士が最新の医療技術を学び、処置の技術・質を維持・向上するため、病院で一定期間の実習を行い医師の指導・教育を受けることは、引き続き必要と考えるか<単数回答>



08. 通信指令員等への救急に係る教育について

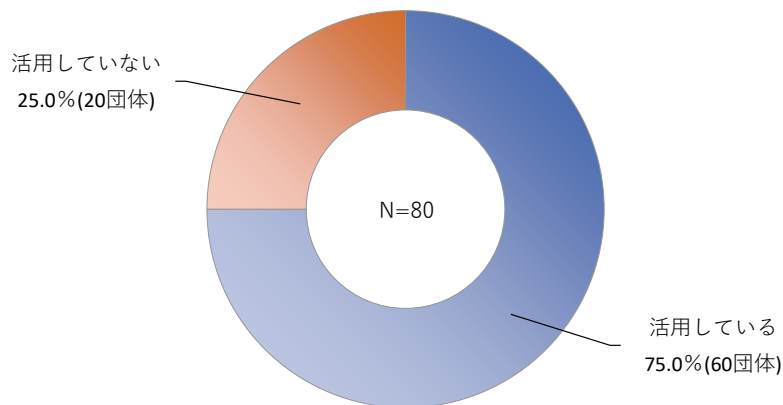
問 28 貴協議会では、通信指令員（119番通報に対応する職員）に対して救急に係る教育等を実施していますか。1つ選んでください。

問28 通信指令員（119番通報に対応する職員）に対して救急に係る教育等を実施しているか<単数回答>



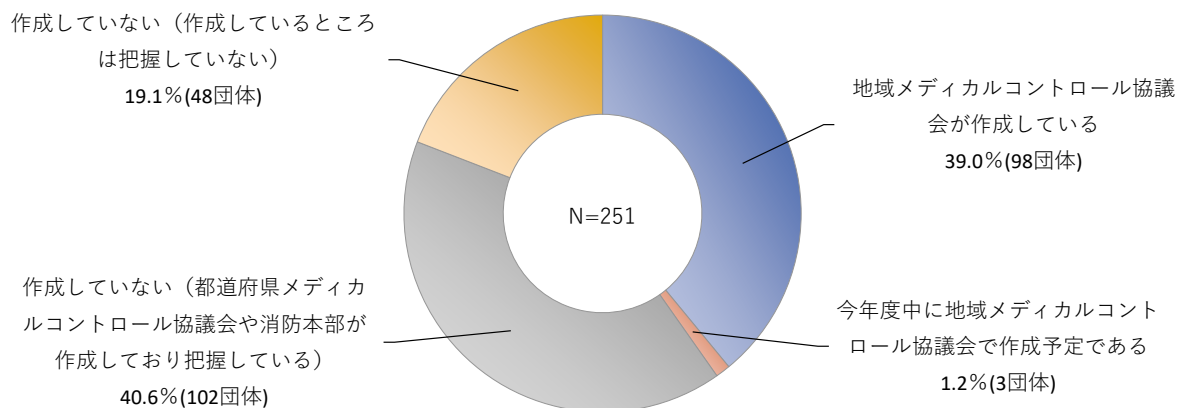
問 28-01 問 28 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。貴協議会では、通信指令員への教育に関して、消防庁が作成した「通信指令員の救急に係る教育テキスト（追補版を含む）」を活用していますか。1つ選んでください。

問28-01 通信指令員への教育に関して、消防庁が作成した「通信指令員の救急に係る教育テキスト（追補版を含む）」を活用しているか<単数回答>



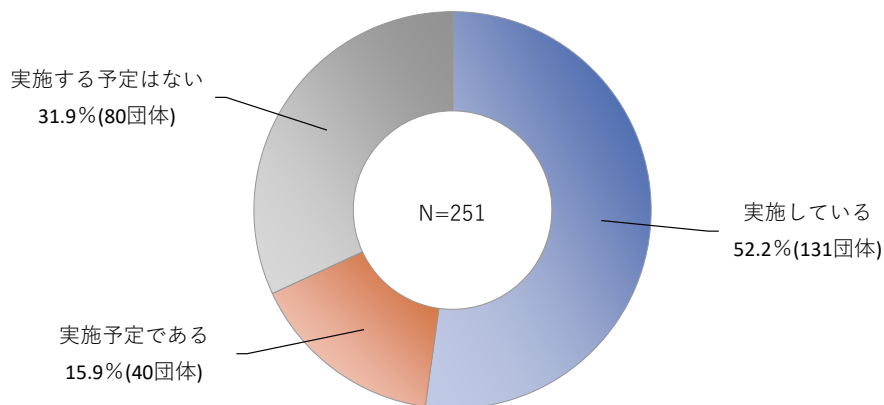
問 29 貴協議会では、口頭指導要領を作成していますか。1つ選んでください。

問29 口頭指導要領を作成しているか<単数回答>



問 30 貴協議会では、口頭指導に係る事後検証を実施していますか。1つ選んでください。

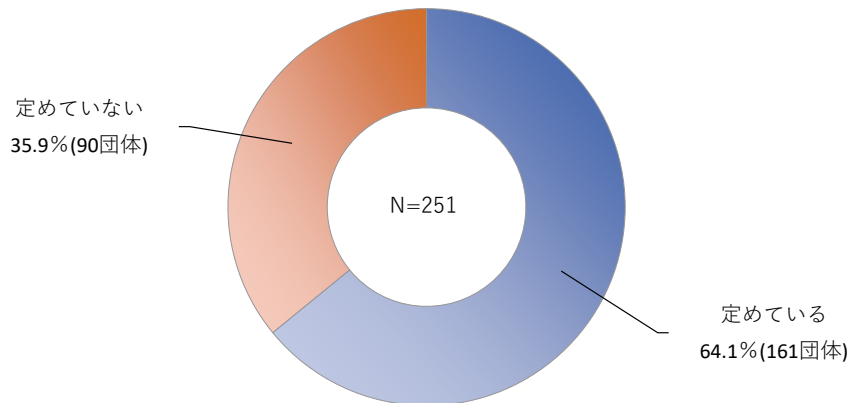
問30 口頭指導に係る事後検証を実施しているか<単数回答>



09. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について

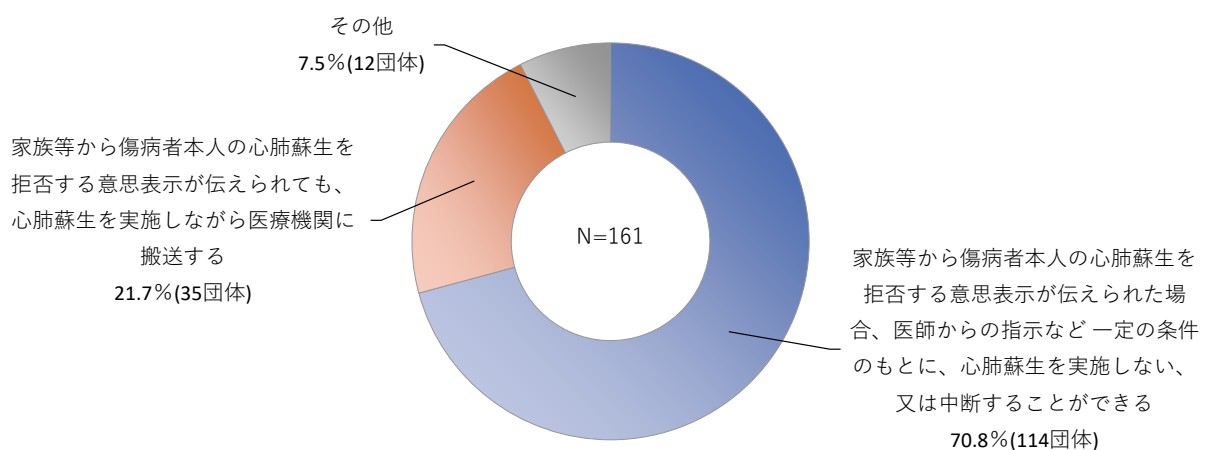
問 31 傷病者は心肺停止状態であるが、家族等の関係者から傷病者本人が心肺蘇生を望んでいないとの意思を示された場合について、何らかの対応方針を定めていますか。1つ選んでください。※

問31 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施事案について、対応方針を定めているか
<単数回答>



問 31-01 問 31 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。その内容はどのようなものですか。1つ選んでください。

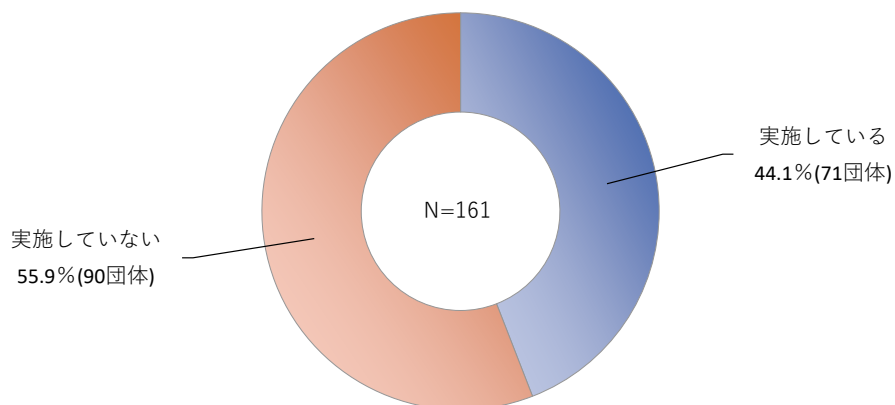
問31-01 対応方針の内容<単数回答>



※対応方針が文書化されていなくても、メディカルコントロール協議会としての見解が統一されている場合は、「1. 定めている」を選択。

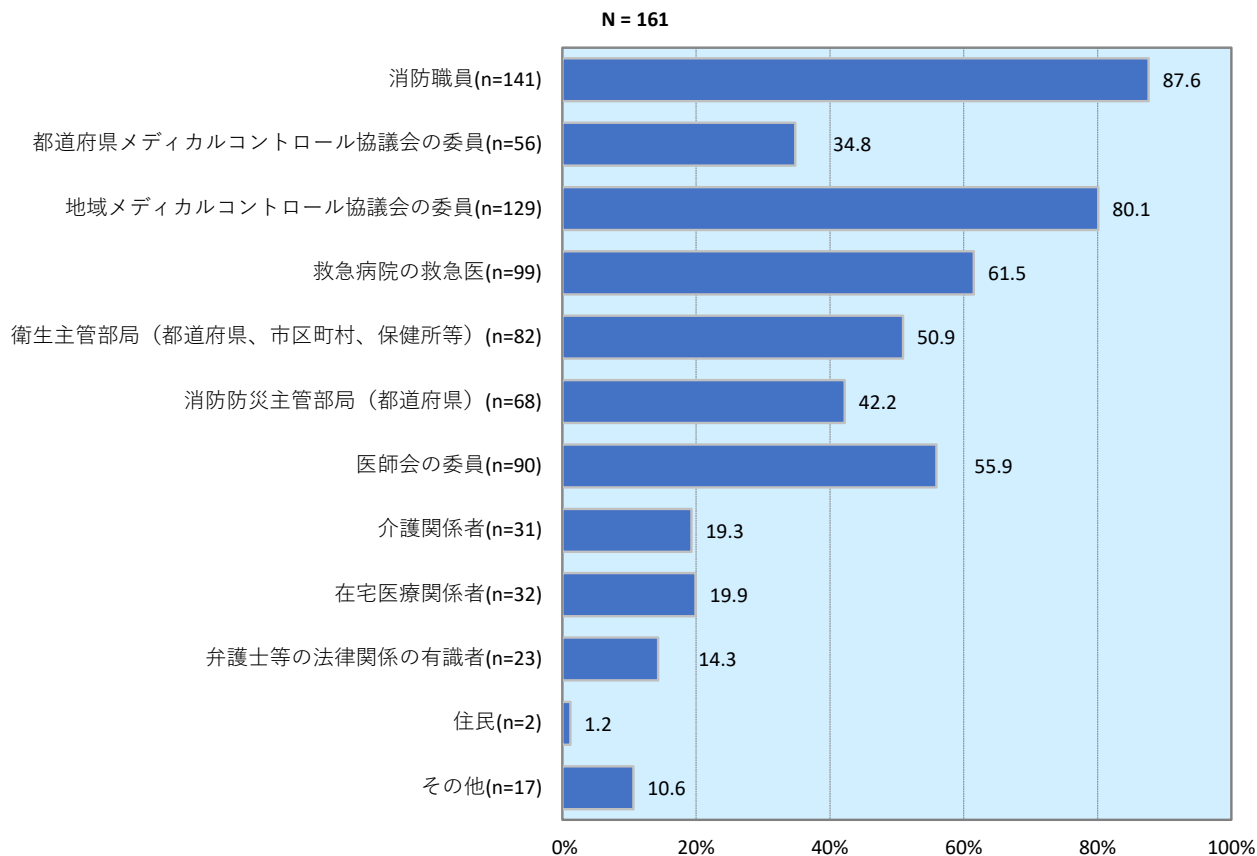
問 31-02 問 31 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。対応方針の見直しを実施していますか。1つ選んでください。

問31-02 対応方針の見直しを実施しているか<単数回答>



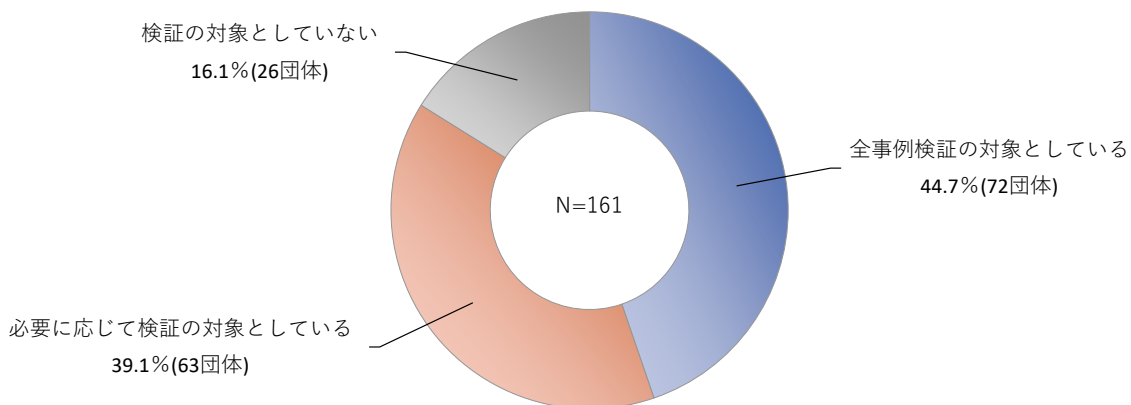
問 31-03 問 31 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。対応方針の検討の場に参加したのはどのような職種の方ですか。該当するものをすべて選んでください。

問31-03 対応方針の検討の場に参加した人の職種等<複数回答>



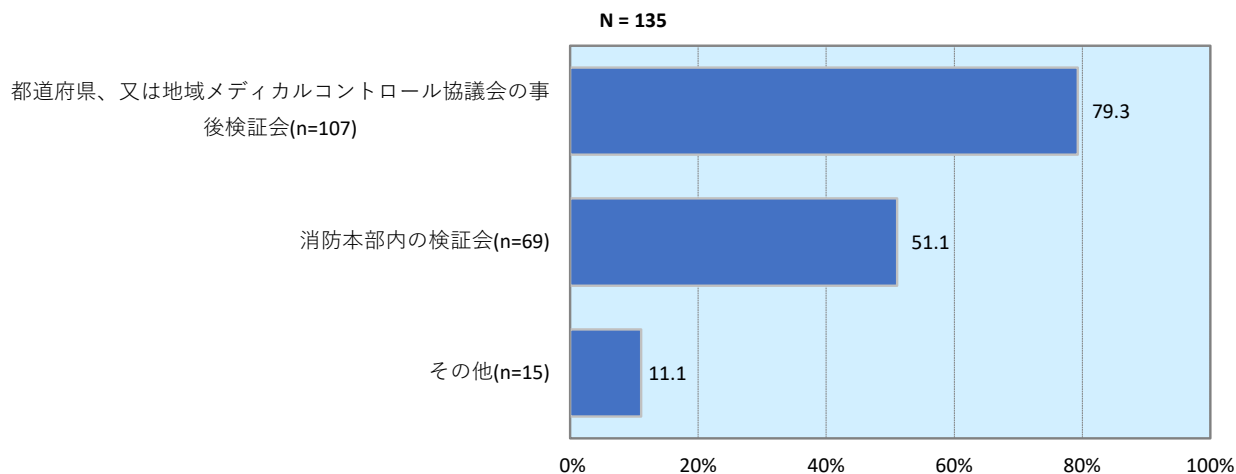
問 31-04 問 31 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施事案を事後検証の対象としていますか。1つ選んでください。

問31-04 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施事案を事後検証の対象としているか
<単数回答>



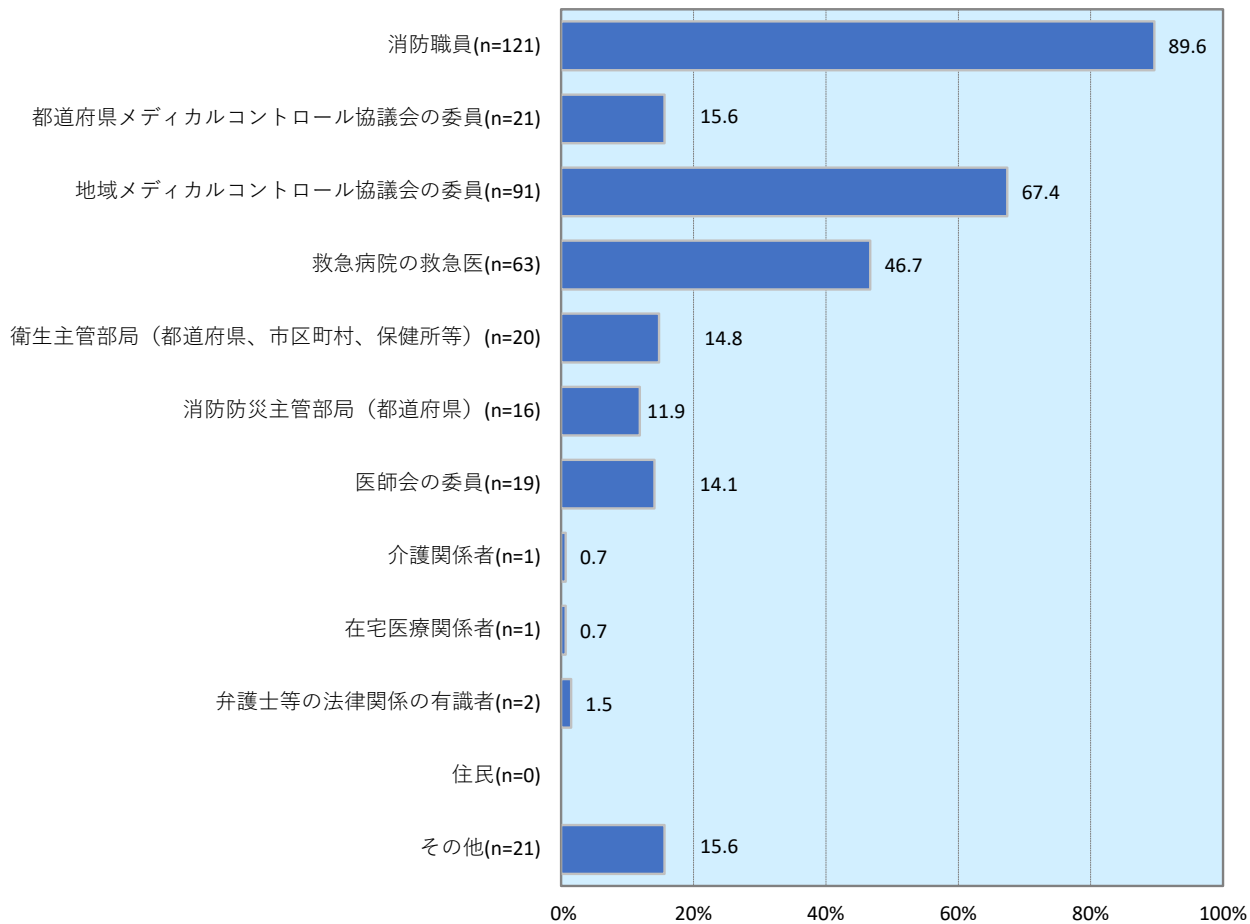
問 31-05 問 31-04 で「1. 全事例検証の対象としている」もしくは「2. 必要に応じて検証の対象としている」を選択した方にお聞きします。検証はどのような場で実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問31-05 事後検証はどのような場で実施しているか<複数回答>



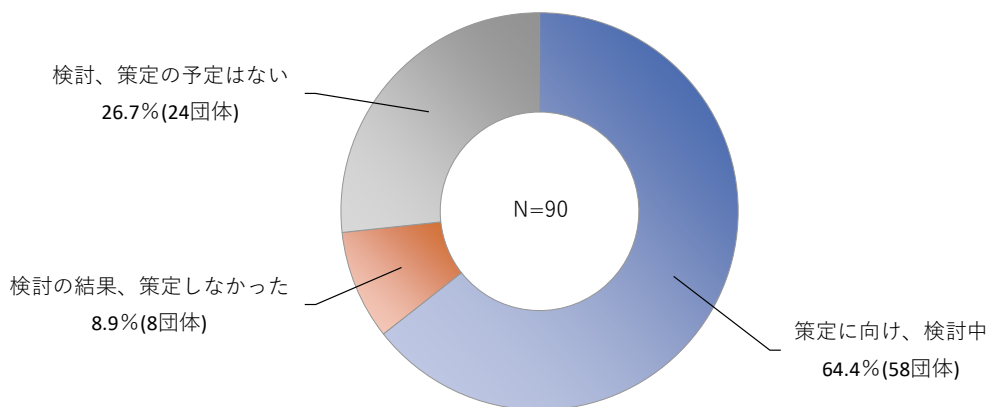
問 31-06 問 31-04 で「1. 全事例検証の対象としている」もしくは「2. 必要に応じて検証の対象としている」を選択した方にお聞きします。事後検証の場に参加したのはどのような職種の方ですか。該当するものをすべて選んでください。

問31-06 事後検証の場に参加した人の職種等<複数回答>
N = 135



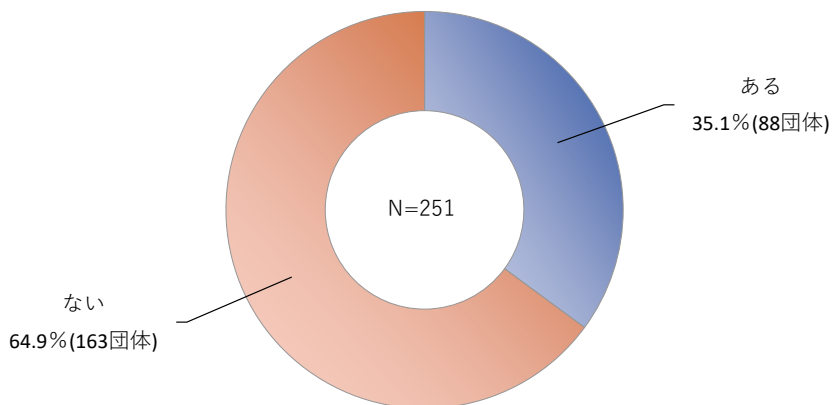
問 31-07 問 31 で「2. 定めていない」を選択した方にお聞きします。今後、方針策定の予定はありますか。1つ選んでください。

問31-07 今後、方針策定の予定はあるか<単数回答>



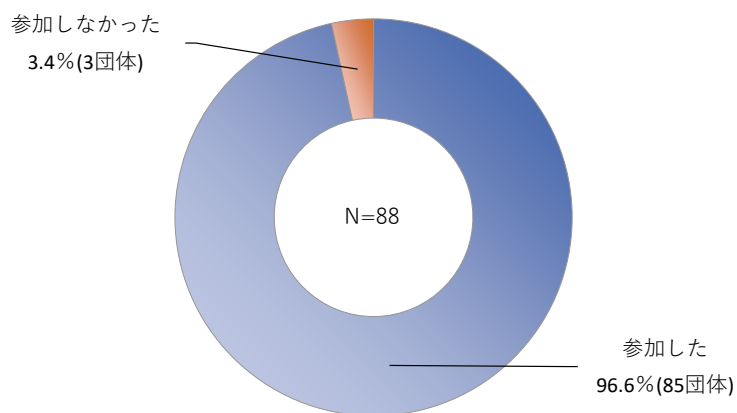
問 32 市区町村（衛生主管部局・福祉部局等）からの ACP、地域包括ケアシステムへの議論の場への参加の求めがありますか。1つ選んでください。

問32 市区町村（衛生主管部局・福祉部局等）からのACP、地域包括ケアへの議論の場への参加の求めがあるか<単数回答>



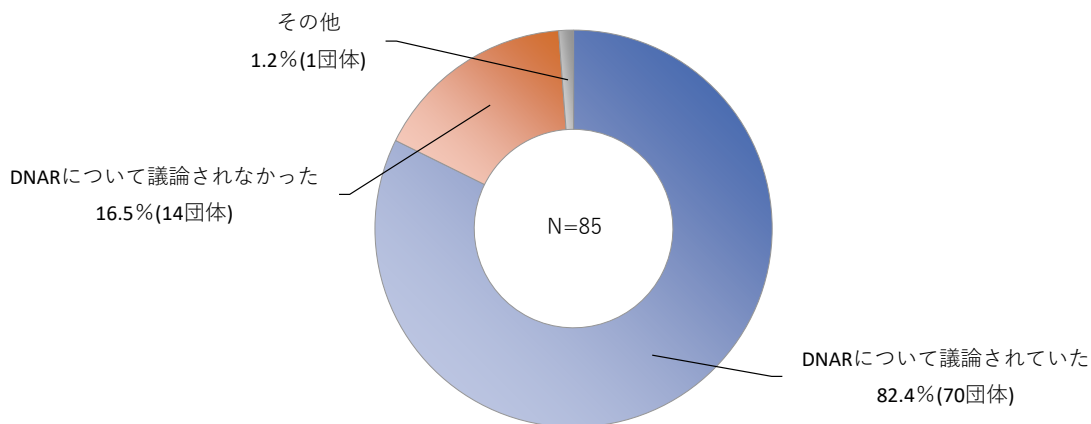
問 32-01 問 32 で「1. ある」を選択した方にお聞きします。ACP、地域包括ケアシステムへの議論の場に参加されましたか。1つ選んでください。

問32-01 ACP、地域包括ケアへの議論の場に参加したか<単数回答>



問 32-02 問 32-01 で「1. 参加した」を選択した方にお聞きします。DNARについて議論されていましたか。1つ選んでください。

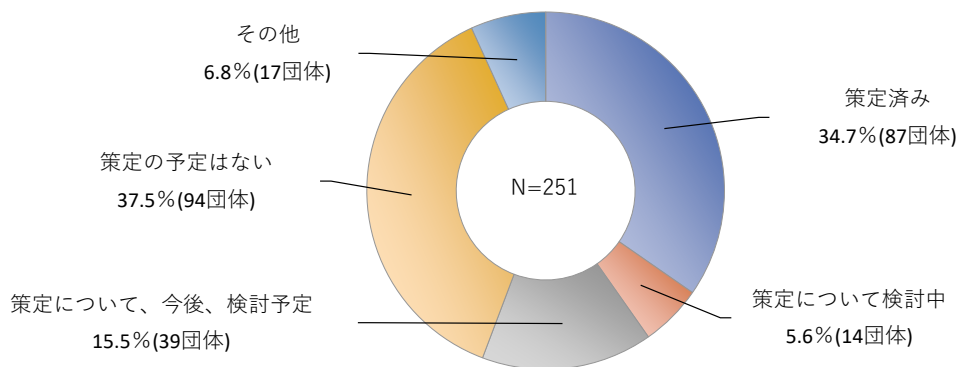
問32-02 DNARについて議論されていたか<単数回答>



10. 転院搬送について

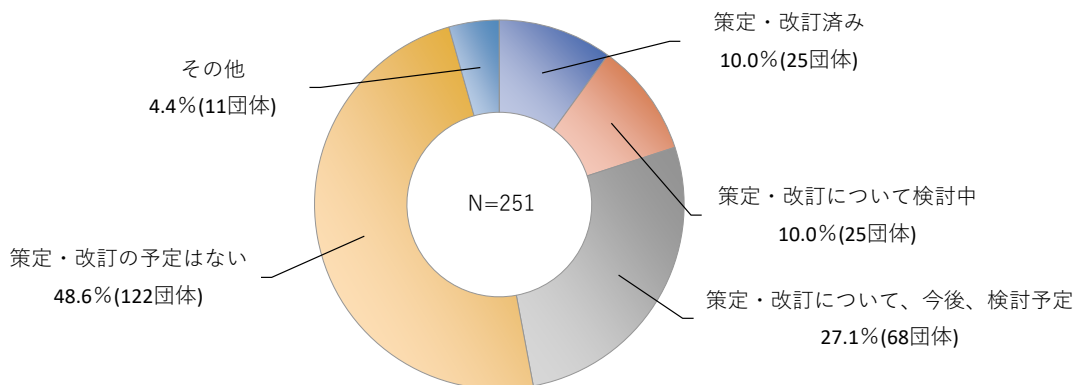
問 33 「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」（平成 28 年 3 月 31 日付け消防庁次長・厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえ、貴地域では、救急業務として転院搬送を実施する場合のルールを策定していますか。1つ選んでください。

問33 「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」
（平成28年3月31日付け消防庁次長・厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえ、
救急業務として転院搬送を実施する場合のルールを策定しているか<単数回答>



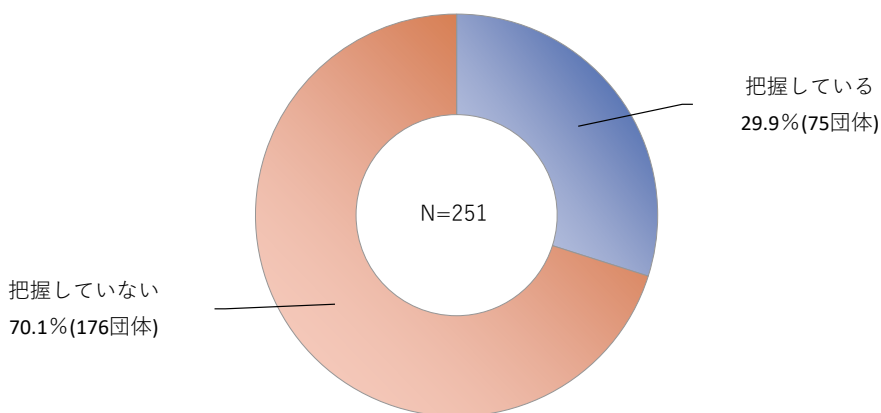
問 34 改訂された、「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」（令和 7 年 6 月 30 日付け消防庁次長・厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえ、貴地域では、救急業務として転院搬送を実施する場合のルールを策定・改訂していますか。1つ選んでください。

問34 改訂された、「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」
（令和7年6月30日付け消防庁次長・厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえ、
救急業務として転院搬送を実施する場合のルールを策定・改訂しているか<単数回答>



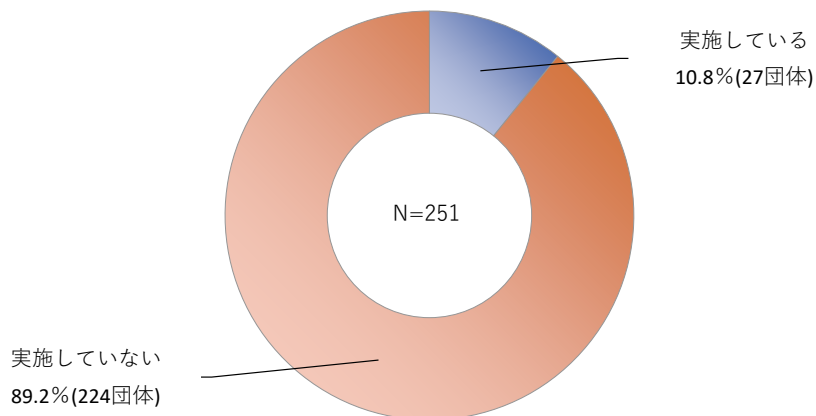
問 35 転院搬送における管内の医療機関の病院救急車の活用実態について把握していますか。1つ選んでください。

問35 転院搬送における管内の医療機関の病院救急車の活用実態について把握しているか<単数回答>



問 36 貴協議会では、転院搬送における管内の医療機関の病院救急車の活用促進について、取組を実施していますか。1つ選んでください。

問36 転院搬送における管内の医療機関の病院救急車の活用促進について、取組を実施しているか<単数回答>



問 36-01 問 36 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。取組の内容を具体的にご記入ください。

N=26

- ・ 救急車として使用していた車両の譲渡
- ・ 協議会の議題に取り上げ、各医療機関へ策定したルールとともに通知文を発出した。
- ・ 「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」（令和7年6月30日付け消防庁次長・厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえ、衛生主幹部局と消防本部の連名で各医療機関に対して通知を発出し、都道府県の転院搬送基準の再確認依頼と併せて、病院救急車の活用促進を促している。
- ・ 市内の救急告示医療機関及び患者等搬送事業者の協力のもと、当局における転院搬送課題の実態の調査及び代替的な転院搬送手段の検討を目的として大学と協定を締結し、転院における実態調査を実施している。
- ・ 広報やポスターでの周知
- ・ 地域メディカルコントロール協議会会議内で周知、事案があれば、その都度協議・検討する。
- ・ 救急告示医療機関に対しアンケートを実施し共有している。
- ・ 医療機関から提出された救急患者連携搬送料に関する「受入先保険医療機関リスト」をMC協議会で報告する。
- ・ 転院搬送ガイドラインを改定し、病院救急車の活用事例を記載している。
- ・ 診療報酬改定に伴う救急患者搬送連携料の届出に係る対応について、医療機関と連携を図っている。
- ・ 可能な限り医療機関の救急車を利用するよう、医師会及び各医療機関へ説明している。
- ・ 患者搬送事業者の活用促進を促している。
- ・ 文書通知や事案終了後に病院救急車の利用確認をしている。

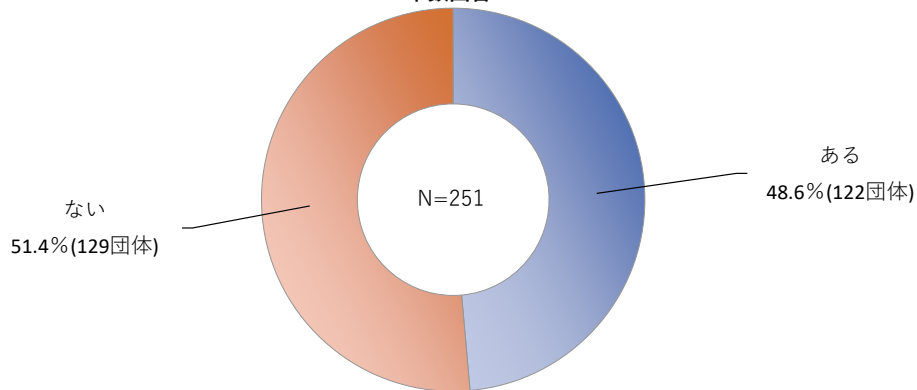
他

(一部要約)

11. 安全管理について

問 37 貴協議会では、救急隊の救急業務中に発生した、又は発生しそうになったインシデントや医療有害事象等に対して、協議会の医師の関与の下、原因を究明し、再発防止策を策定する体制又は要領はありますか。1つ選んでください。

問37 救急隊の救急業務中に発生した、又は発生しそうになったインシデントや医療有害事象等に対して、協議会の医師の関与の下、原因を究明し、再発防止策を策定する体制又は要領はあるか
<単数回答>

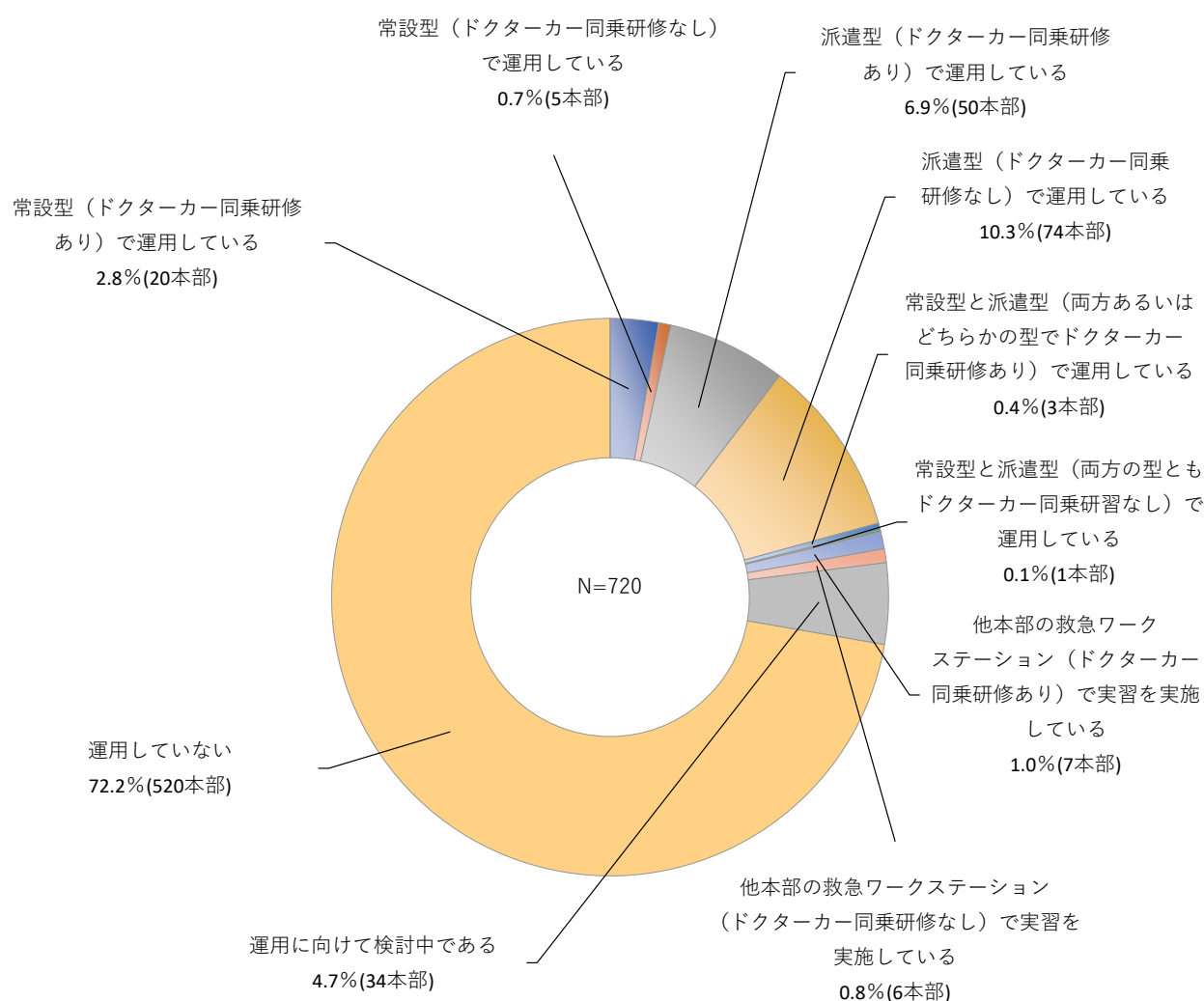


V 消防本部 対象調査

01. 救急ワークステーションについて

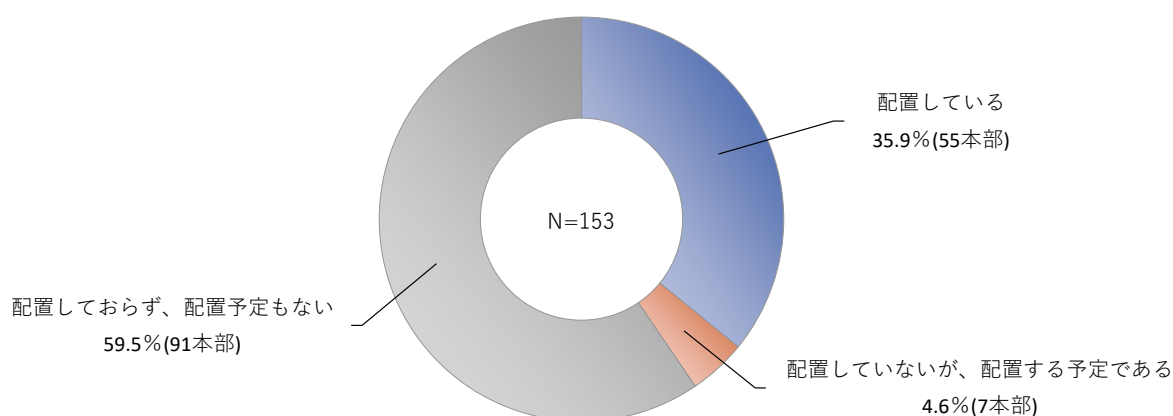
問 01 貴本部では、救急ワークステーションを運用していますか。1つ選んでください。

問01 救急ワークステーションを運用しているか<単数回答>



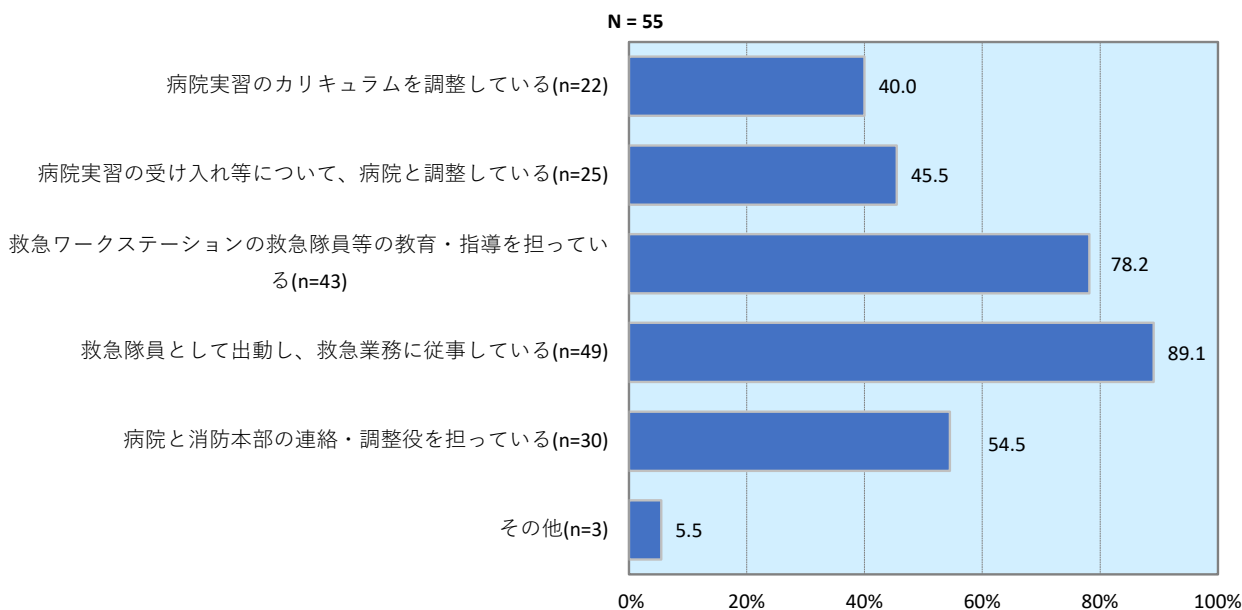
問 01-01 問 01 で、「1. 常設型（ドクターカー同乗研修あり）で運用している」、「2. 常設型（ドクターカー同乗研修なし）で運用している」、「3. 派遣型（ドクターカー同乗研修あり）で運用している」、「4. 派遣型（ドクターカー同乗研修なし）で運用している」、「5. 常設型と派遣型（両方あるいはどちらかの型でドクターカー同乗研修あり）で運用している」、「6. 常設型と派遣型（両方の型ともドクターカー同乗研修なし）で運用している」のいずれかを選択した方にお聞きします。救急ワークステーションに指導救命士を配置していますか。1つ選んでください。

問01-01 救急ワークステーションに指導救命士を配置しているか<単数回答>



問 01-02 問 01-01 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。指導救命士は救急ワークステーションでどのような役割を担っていますか。該当するものをすべて選んでください。

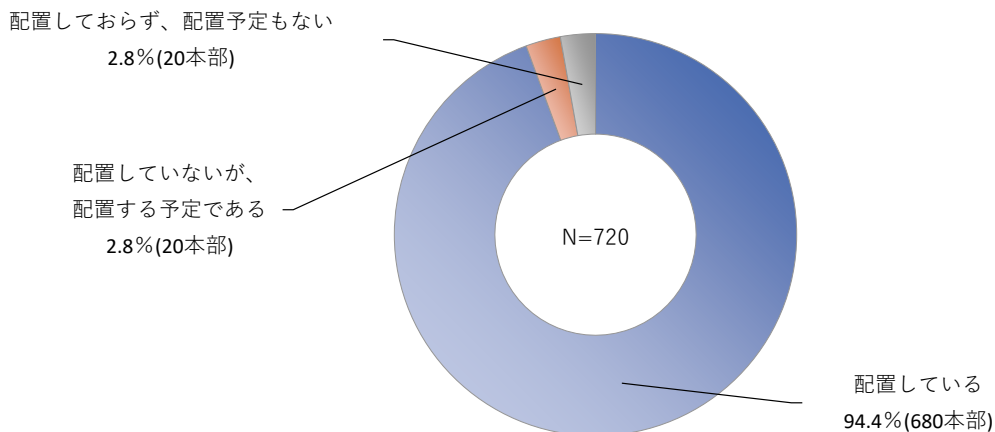
問01-02 救急ワークステーションにおける指導救命士の役割<複数回答>



02. 指導救命士について

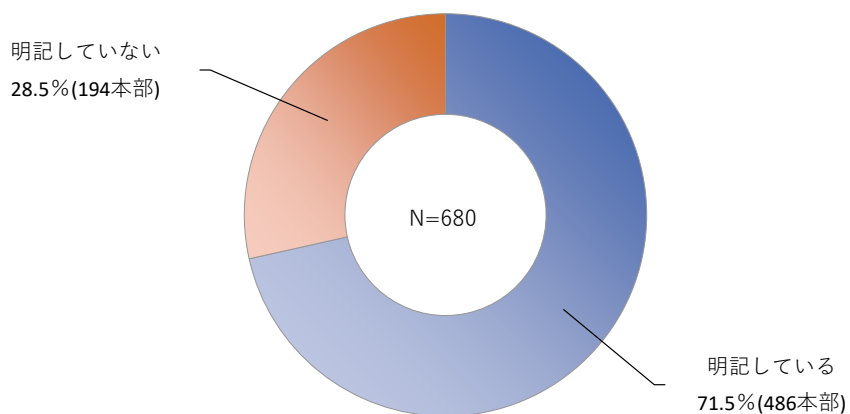
問 02 貴本部では、指導救命士を配置していますか。1つ選んでください。

問02 指導救命士を配置しているか<単数回答>



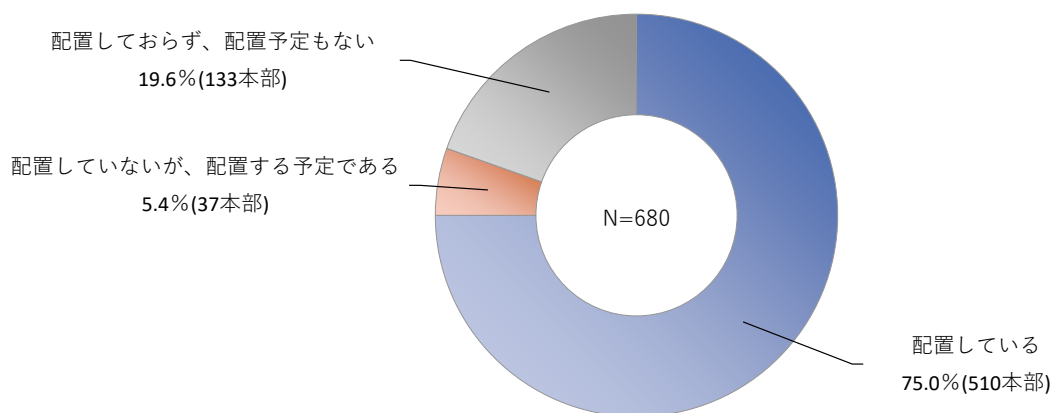
問 02-01 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。貴本部では、要綱等で指導救命士の立場を明記していますか。1つ選んでください。

問02-01 要綱等で指導救命士の立場を明記しているか<単数回答>



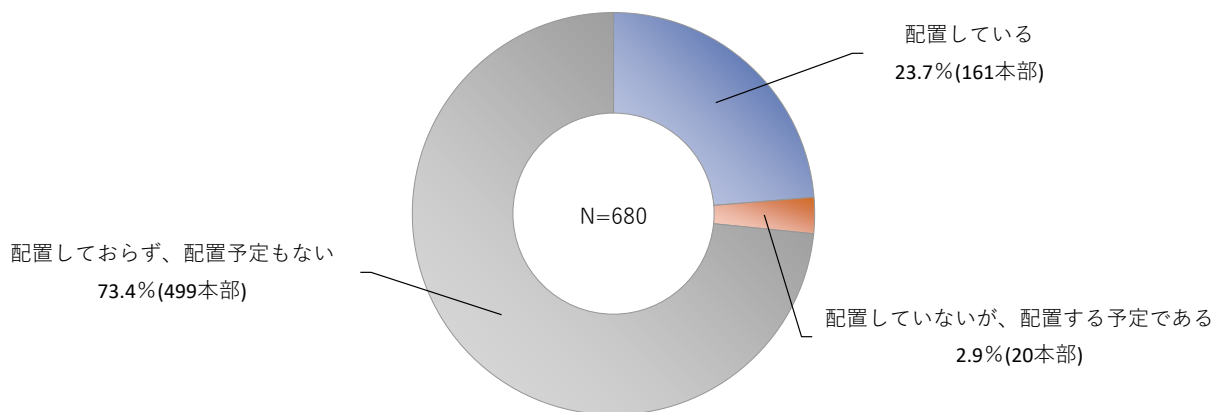
問 02-02 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。本部における、指導救命士の配置又は配置予定等について該当する状況を1つ選んでください。

問02-02 本部の指導救命士の配置又は配置予定等<単数回答>



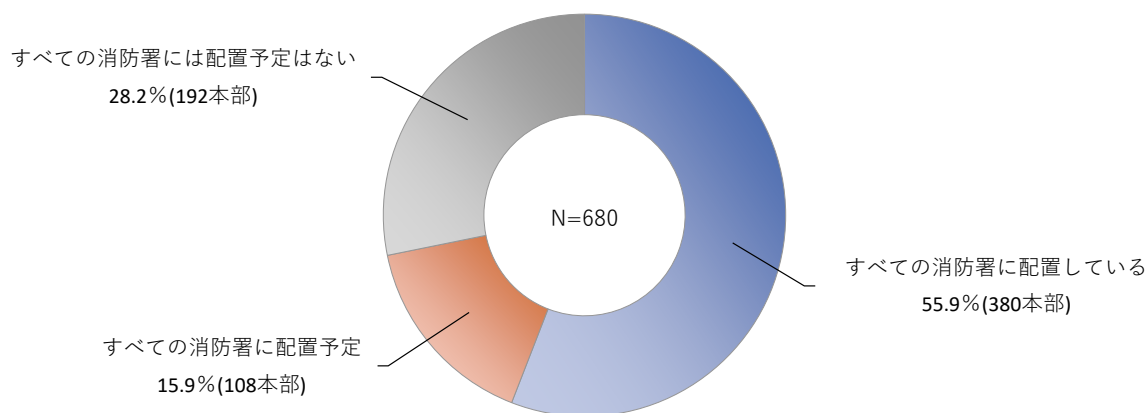
問 02-03 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。救命士等指導部署（救急ワークステーション等）に関して、指導救命士の配置又は配置予定等について該当する状況を1つ選んでください。

問02-03 救命士等指導部署（救急ワークステーション等）の指導救命士の配置又は配置予定等<単数回答>



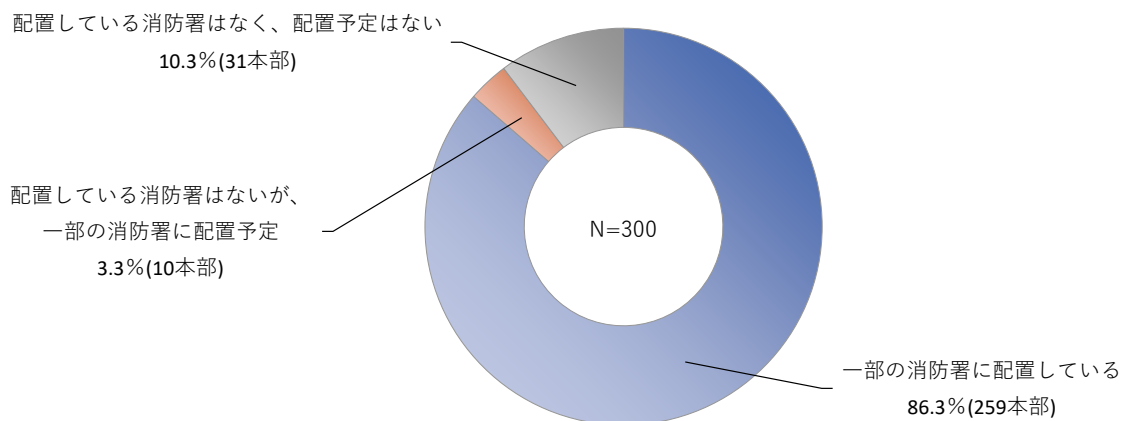
問 02-04 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。すべての消防署に関して、指導救命士の配置又は配置予定等について該当する状況を1つ選んでください。

問02-04 すべての消防署の指導救命士の配置又は配置予定等<単数回答>

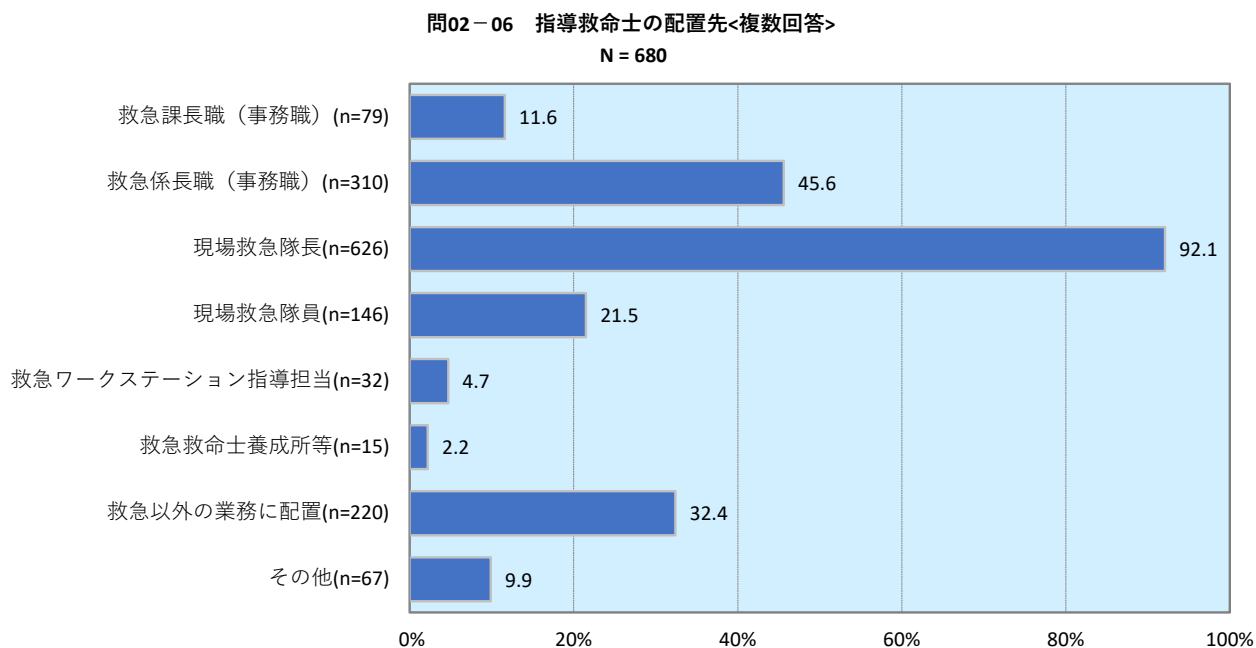


問 02-05 問 02-04 で「2. すべての消防署に配置予定」もしくは「3. すべての消防署には配置予定はない」を選択した方にお聞きします。一部の消防署に関して、指導救命士の配置又は配置予定等について該当する状況を1つ選んでください。

問02-05 一部の消防署の指導救命士の配置又は配置予定等<単数回答>

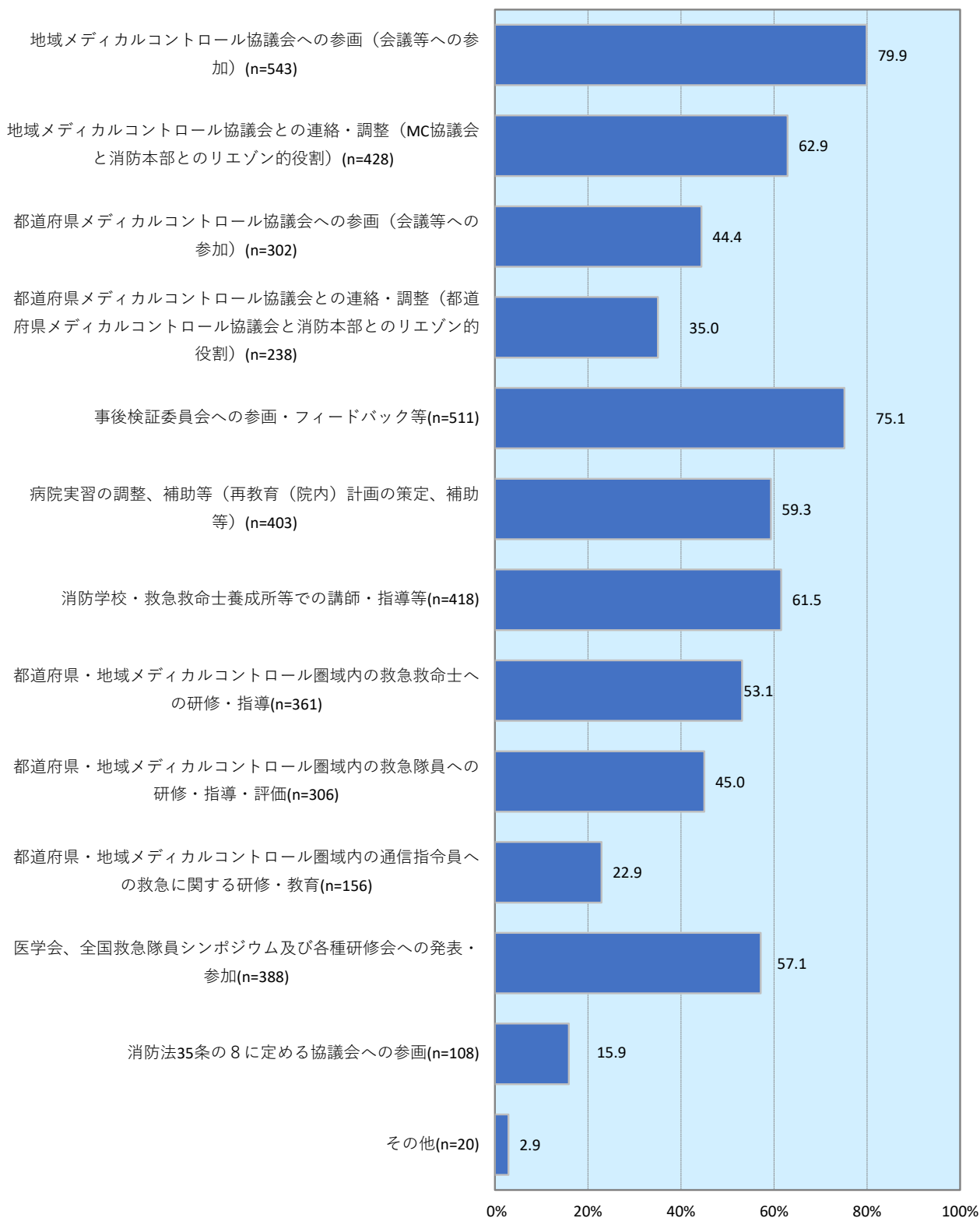


問 02-06 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。指導救命士の配置先に該当するものをすべて選んでください。



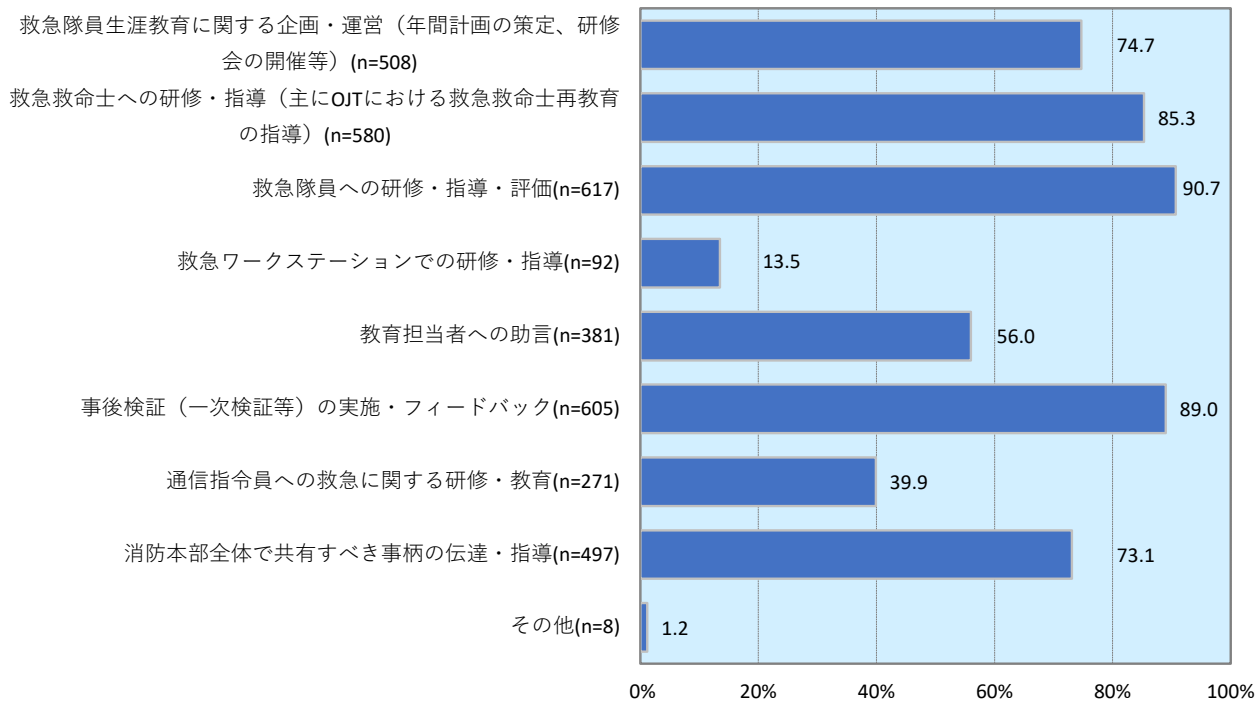
問 02-07 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。貴本部における指導救命士は、対外的な業務に関し、どのような役割を果たしていますか。該当するものをすべて選んでください。

問02-07 指導救命士は、対外的な業務に関し、どのような役割を果たしているか<複数回答>
N = 680



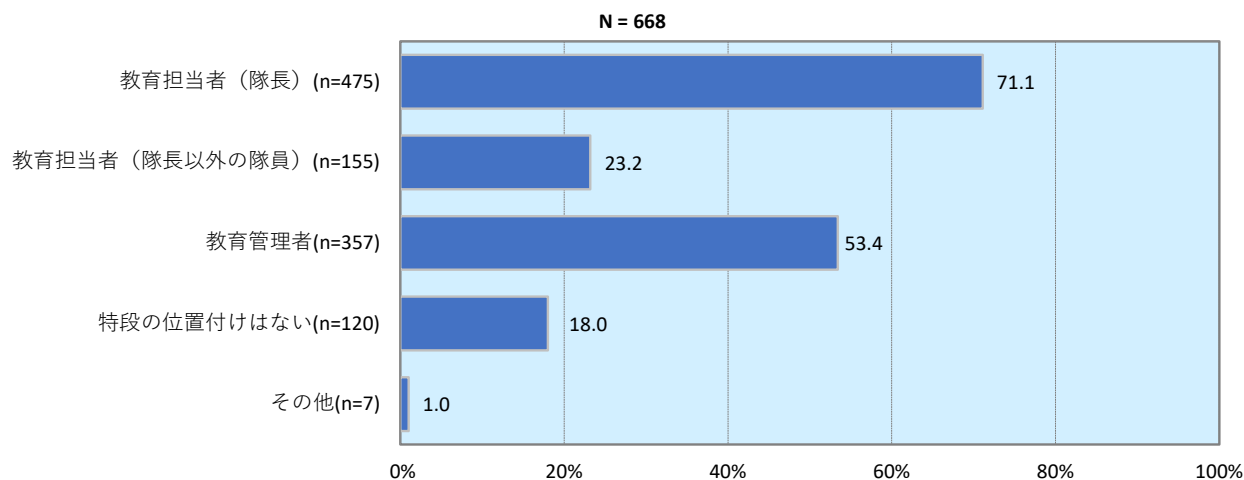
問 02-08 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。貴本部における指導救命士は、消防本部内における業務に関し、どのような役割を果たしていますか。該当するものをすべて選んでください。

問02-08 指導救命士は、消防本部内における業務に関し、どのような役割を果たしているか<複数回答>
N = 680



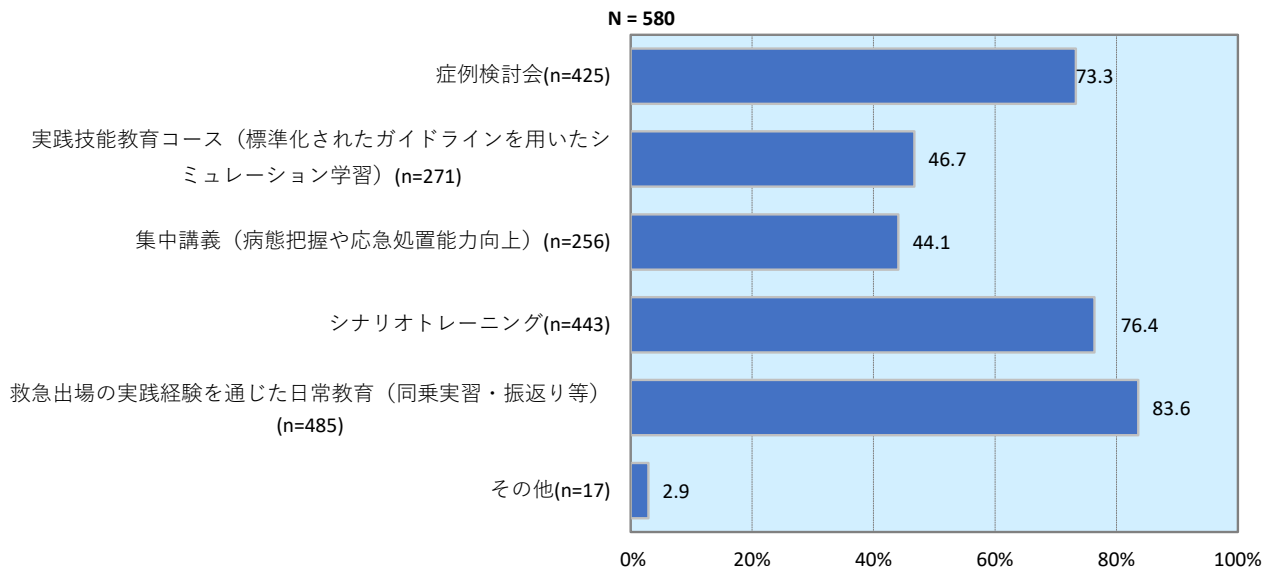
問 02-09 問 02-08 で「1. 救急隊員生涯教育に関する企画・運営（年間計画の策定、研修会の開催等）」、「2. 救急救命士への研修・指導（主に 0JT における救急救命士再教育の指導）」、「3. 救急隊員への研修・指導・評価」、「4. 救急ワークステーションでの研修・指導」、「5. 教育担当者への助言」のいずれかを選択した方にお聞きします。貴本部における指導救命士は、救急隊員等の教育に関し、どのような立場に位置付けられていますか。該当するものをすべて選んでください。

問02-09 指導救命士は、救急隊員等の教育に関し、どのような立場に位置付けられているか<複数回答>



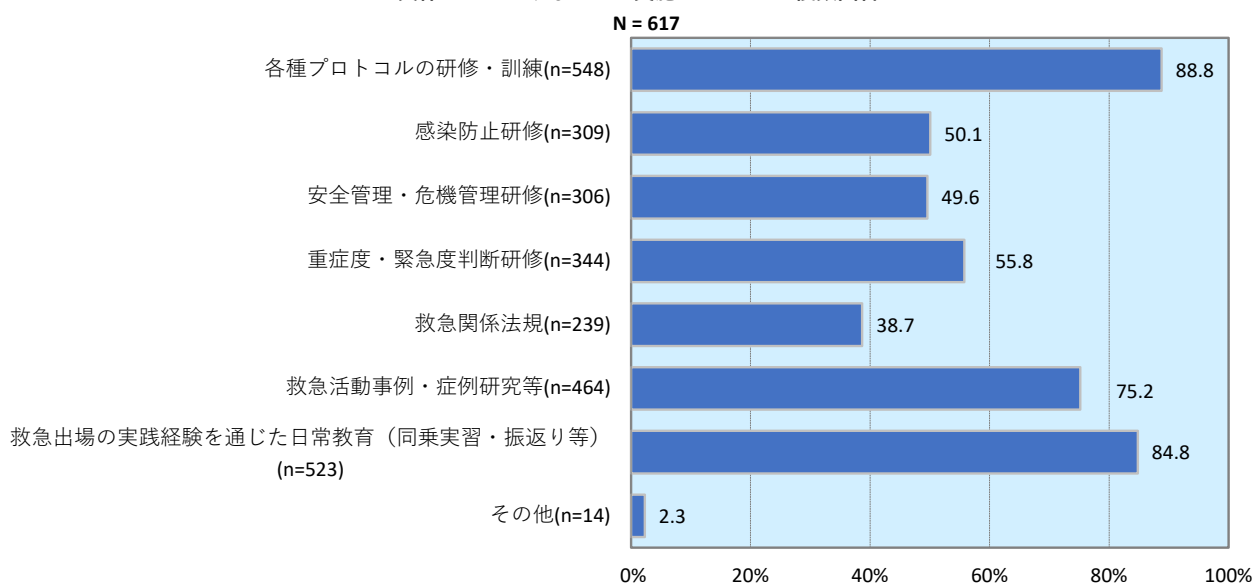
問 02-10 問 02-08 で「2. 救急救命士への研修・指導（主に OJT における救急救命士再教育の指導）」を選択した方にお聞きします。貴本部における指導救命士は、救急救命士の日常教育について、具体的にどのようなことを実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問02-10 指導救命士は、救急救命士の日常教育について、
具体的にどのようなことを実施しているか<複数回答>

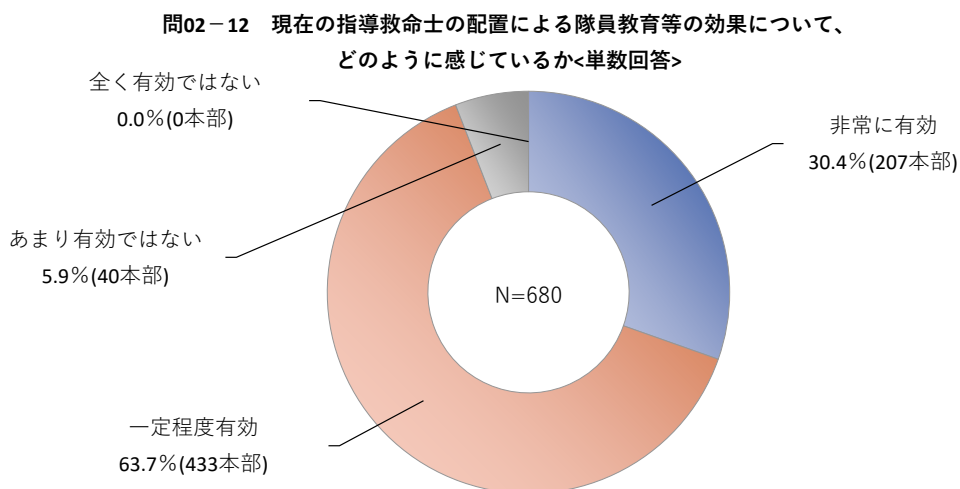


問 02-11 問 02-08 で「3. 救急隊員への研修・指導・評価」を選択した方にお聞きします。貴本部における指導救命士は、救急隊員の日常教育について、具体的にどのようなことを実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

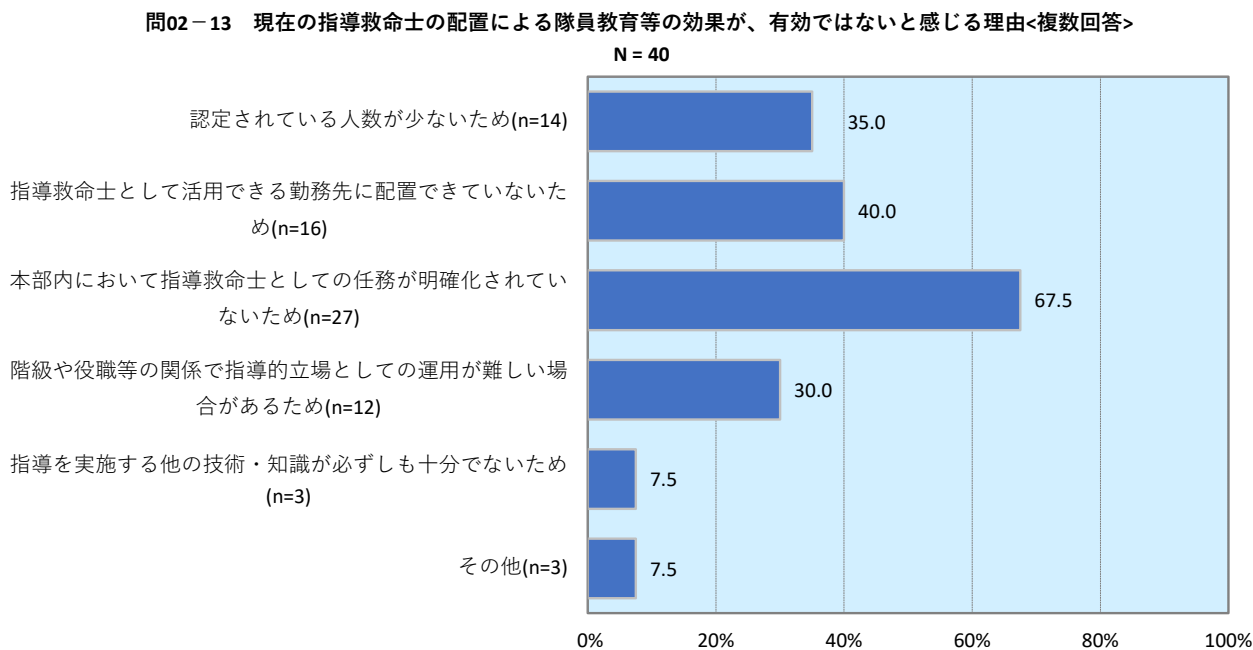
問02-11 指導救命士は、救急隊員の日常教育について、
具体的にどのようなことを実施しているか<複数回答>



問 02-12 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。貴本部においては、現在の指導救命士の配置による隊員教育等の効果について、どのように感じていますか。1つ選んでください。



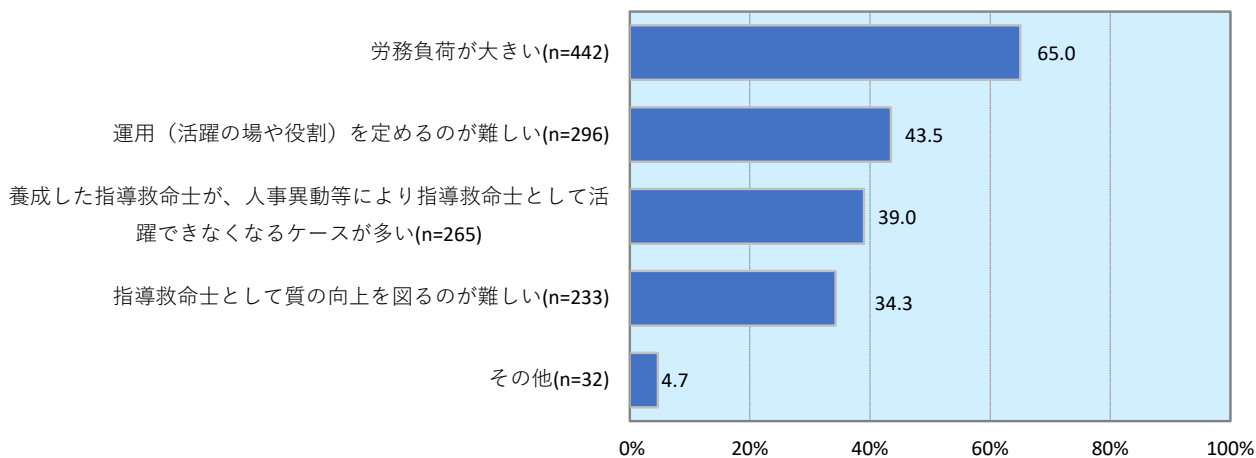
問 02-13 問 02-12 で「3. あまり有効ではない」もしくは「4. 全く有効ではない」を選択した方にお聞きします。理由について該当するものをすべて選んでください。



問 02-14 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。指導救命士制度の課題について、貴本部で該当するものをすべて選んでください。

問02-14 指導救命士制度の課題<複数回答>

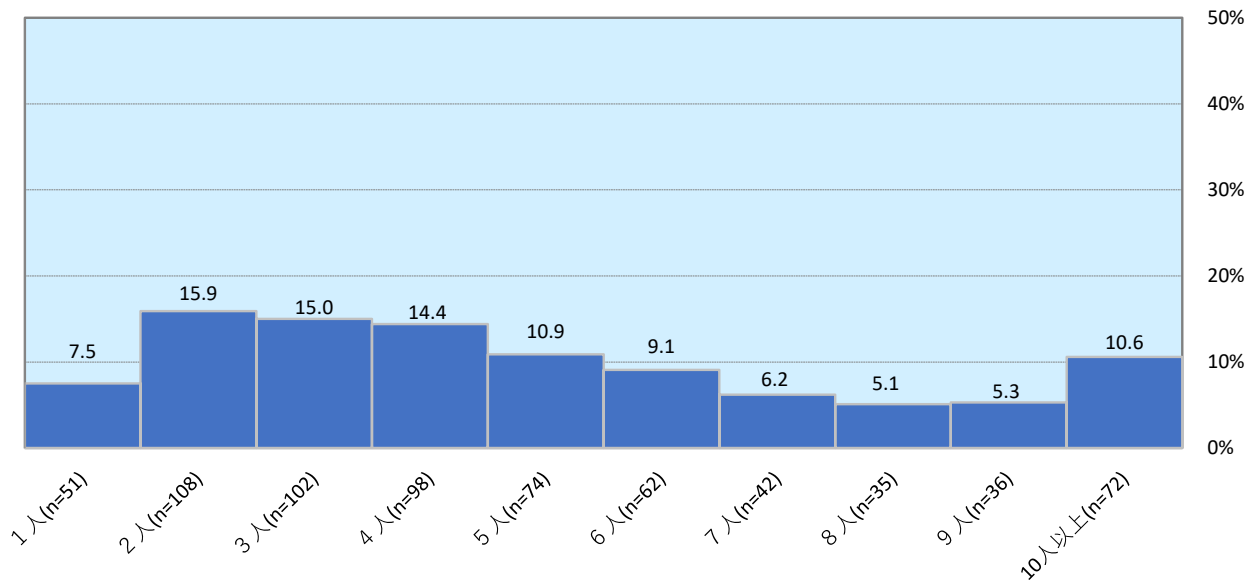
N = 680



問 02-15 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。貴本部における、指導救命士数をご記入ください。（半角数字、単位：人）※

問02-15 指導救命士数<数量回答>

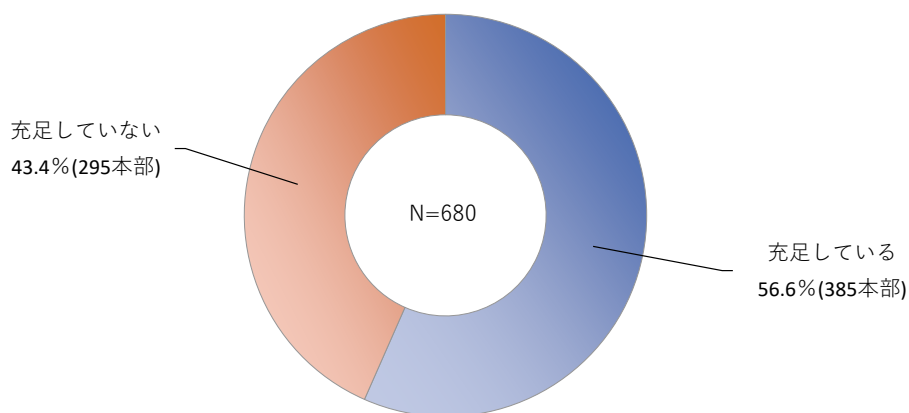
N = 680



※令和7年4月1日時点。

問 02-16 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。貴本部において、指導救命士数は充足していますか。1つ選んでください。

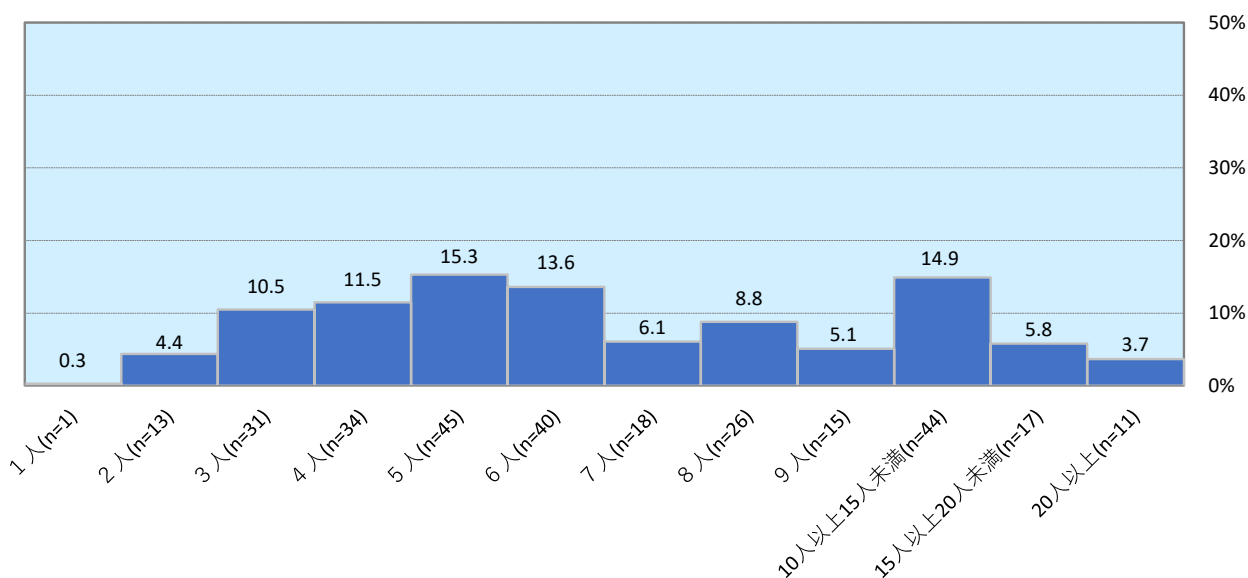
問02-16 指導救命士は充足しているか<単数回答>



問 02-17 問 02-16 で「2. 充足していない」を選択した方にお聞きします。貴本部において、指導救命士が充足していると言える指導救命士数をご記入ください。（半角数字、単位：人）

問02-17 充足していると言える指導救命士数<数量回答>

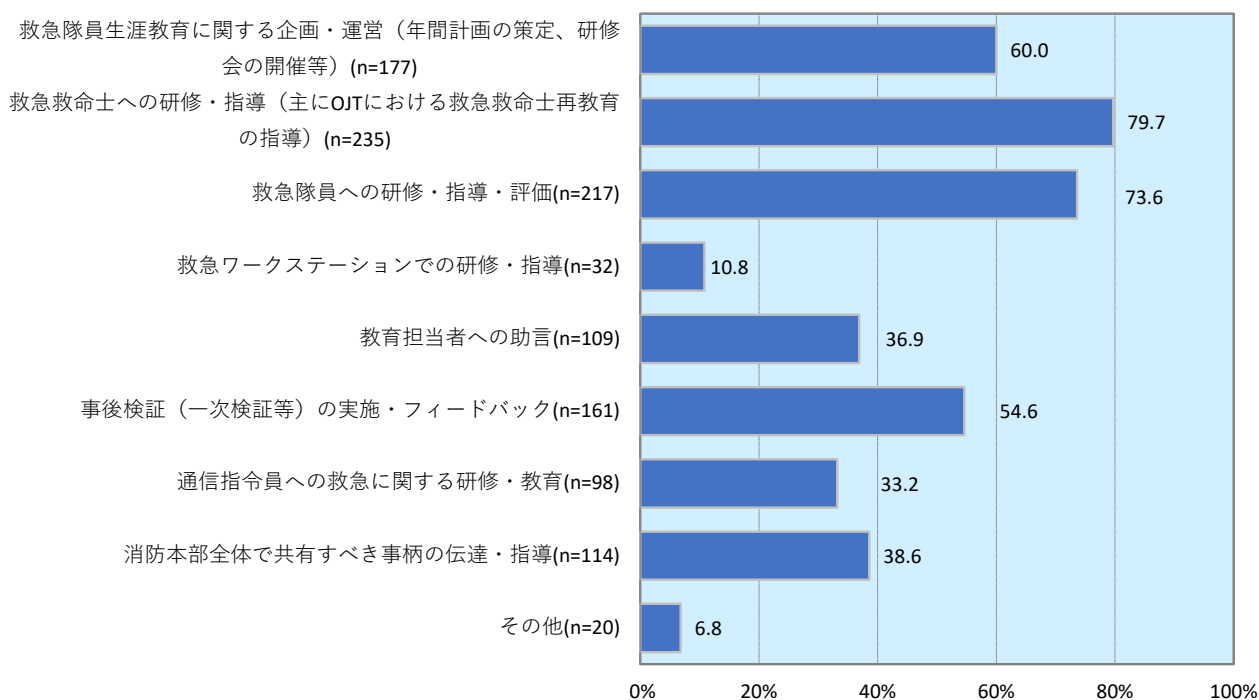
N = 295



問 02-18 問 02-16 で「2. 充足していない」を選択した方にお聞きします。どの場面で指導救命士が不足していると感じますか。該当するものをすべて選んでください。

問02-18 どの場面で指導救命士が不足していると感じるか<複数回答>

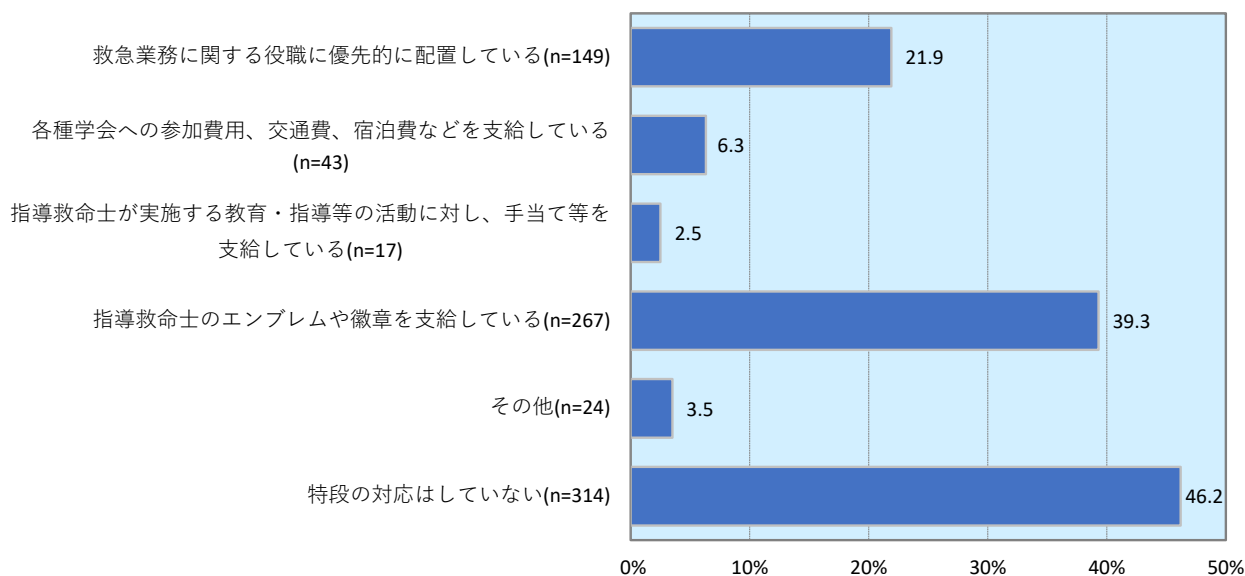
N = 295



問 02-19 問 02 で「1. 配置している」を選択した方にお聞きします。貴本部において、指導救命士の待遇等について、該当するものをすべて選んでください。

問02-19 指導救命士の待遇等<複数回答>

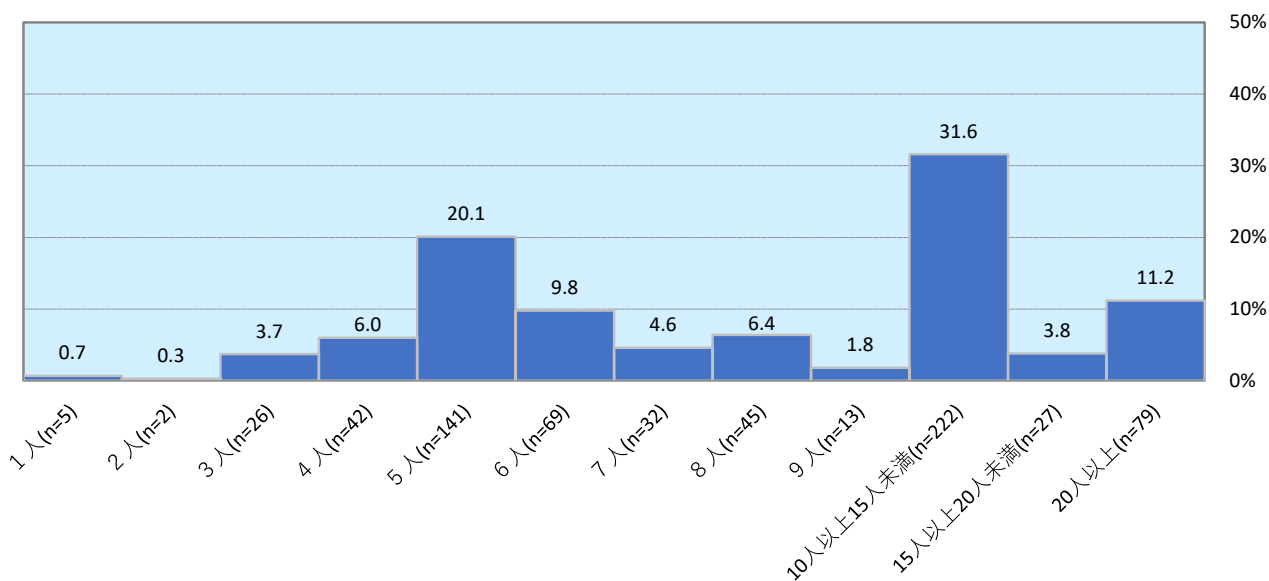
N = 680



問 03 貴本部では、運用救命士何人に対して指導救命士を 1 名配置することが理想的と考えるか、ご記入ください。

問03 運用救命士何人に対して指導救命士を 1 名配置することが理想的と考えるか<数量回答>

N = 703



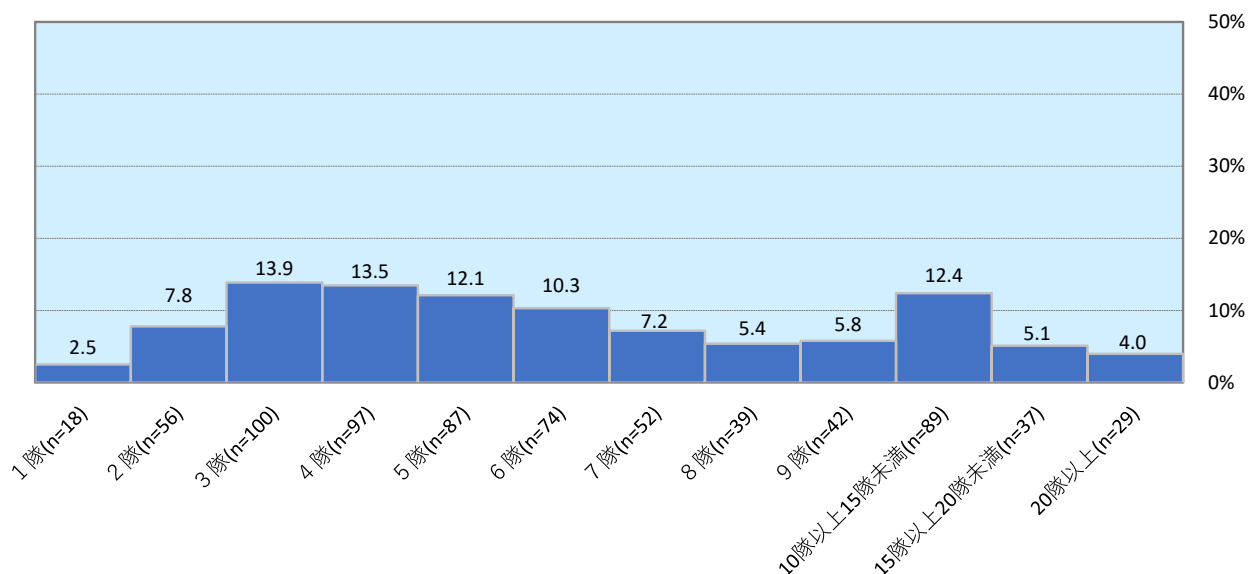
(計上不能：17件)

問 04 (救急隊数) 貴本部における、救急隊数をご記入ください。(半角数字、単位：隊)

※

問04 救急隊数<数量回答>

N = 720

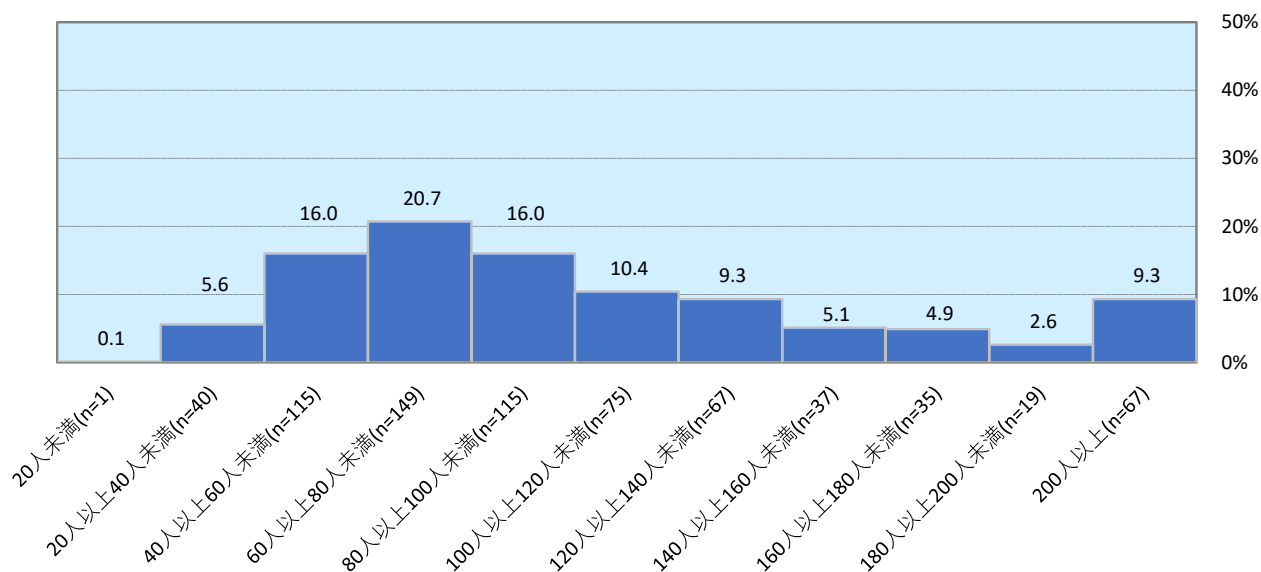


※令和 7 年 4 月 1 日時点。

問 04（救急隊員数） 貴本部における、救急隊員数をご記入ください。（半角数字、単位：人）※

問04 救急隊員数<数量回答>

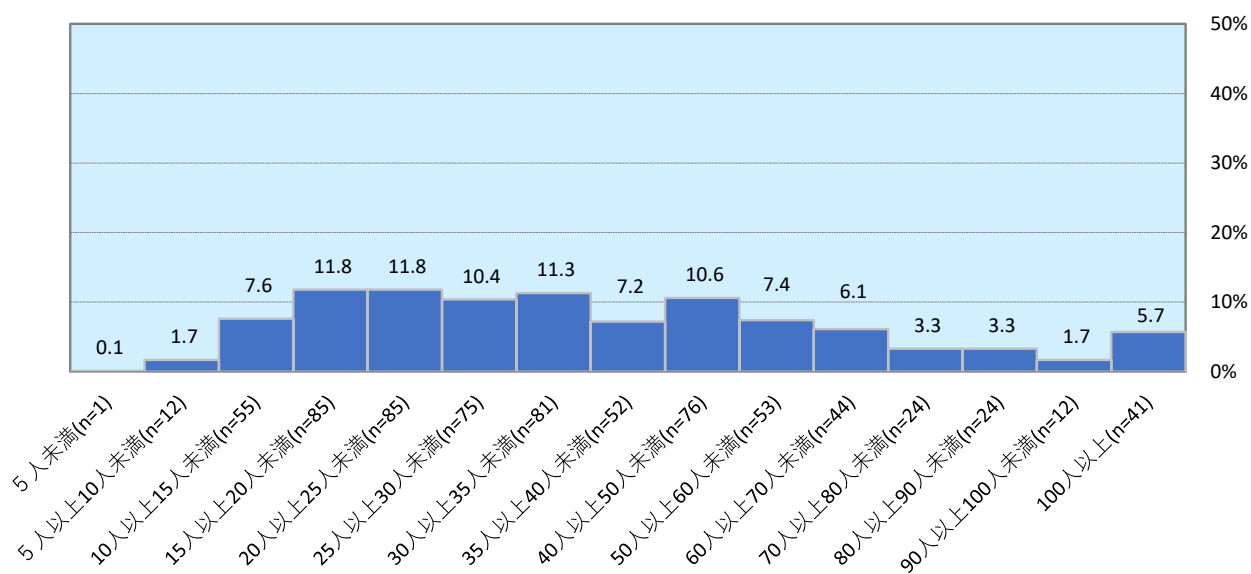
N = 720



問 04（運用救命士数） 貴本部における、運用救命士数をご記入ください。（半角数字、単位：人）※

問04 運用救命士数<数量回答>

N = 720



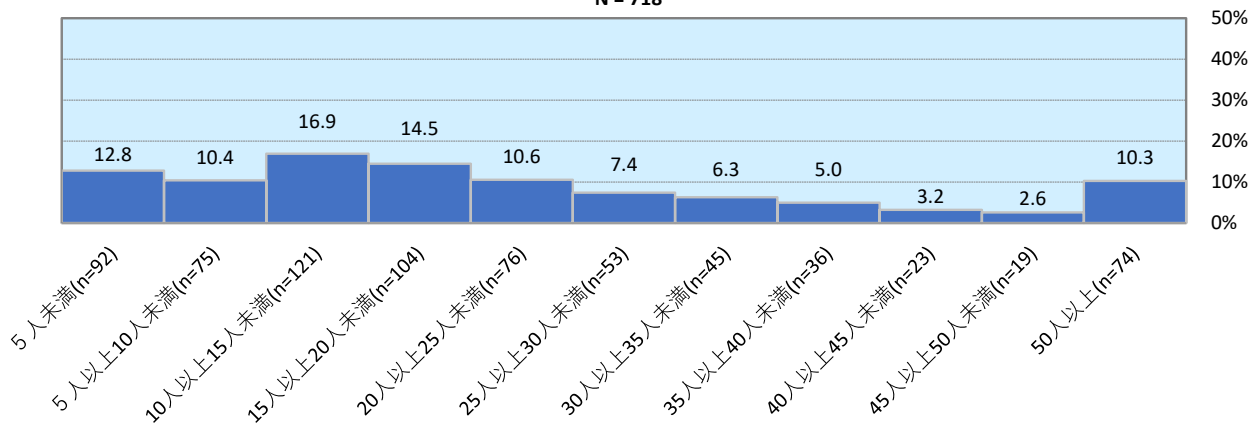
※令和7年4月1日時点。

問 04（運用救命士のうち、救急救命士法第 34 条第 4 号該当施設で修業し資格を取得した救命士数） 貴本部における運用救命士のうち、救急救命士法第 34 条第 4 号該当施設で修業し資格を取得した救命士数をご記入ください。（半角数字、単位：人）※

問04 運用救命士のうち、救急救命士法第34条第4号該当施設で修業し資格を取得した救命士数

<数量回答>

N = 718



(未集計：2件)

※1 救急救命士法第 34 条第 4 号該当施設とは、養成対象が現職消防隊員のみ消防機関関係施設のことを指します。

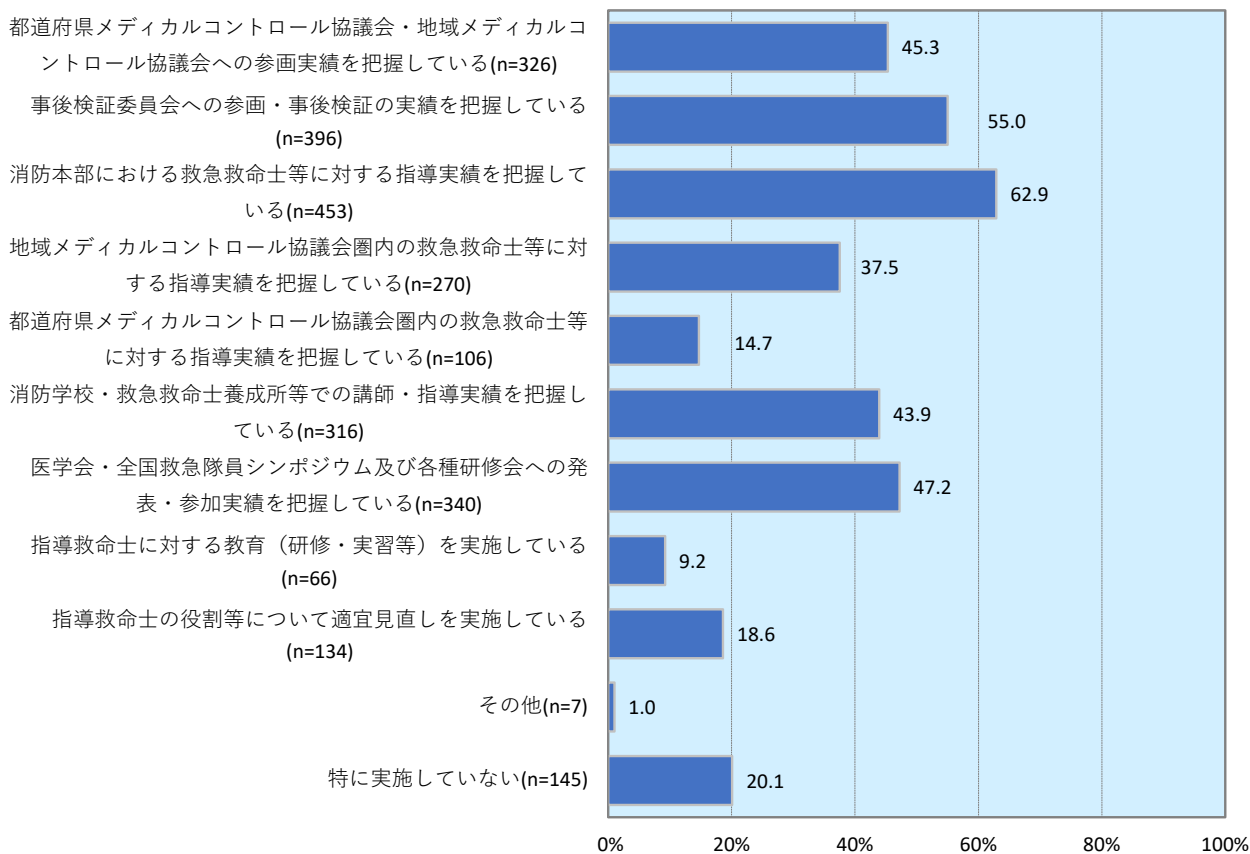
※2 令和 7 年 4 月 1 日時点。

問 05 貴本部において、指導救命士の運用（活躍の場や役割）や、質の維持向上を図るための取組を実施していますか。該当するものをすべて選んでください（完全に一致しなくても、趣旨が近い項目があれば選択してください）。

問05 指導救命士の運用（活躍の場や役割）や、質の維持向上を図るための取組を実施しているか

<複数回答>

N = 720

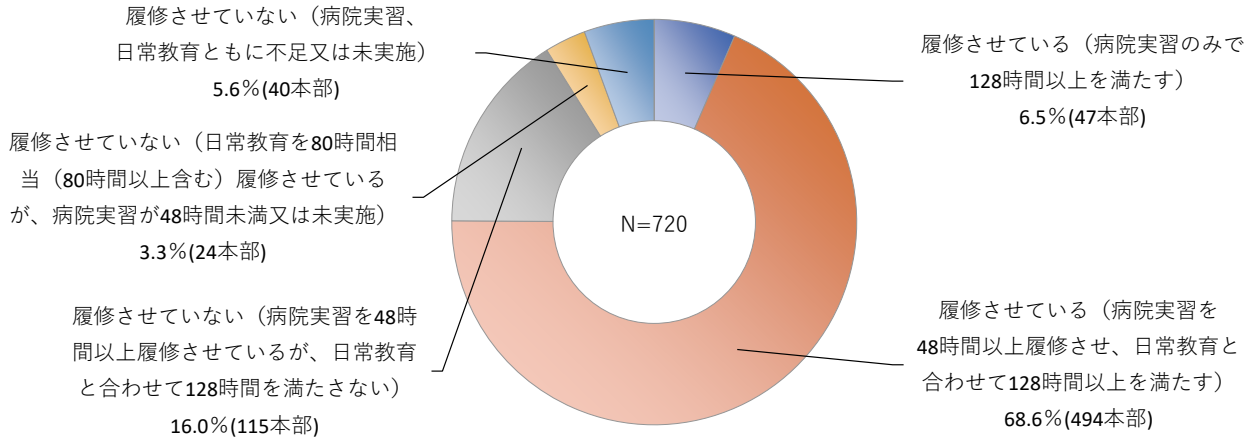


03. 救急救命士の再教育について

問 06 貴本部では、国が示す再教育の実施時間数（2年間で128時間以上・運用2年未満を除く）を運用救急救命士に履修させていますか。1つ選んでください。

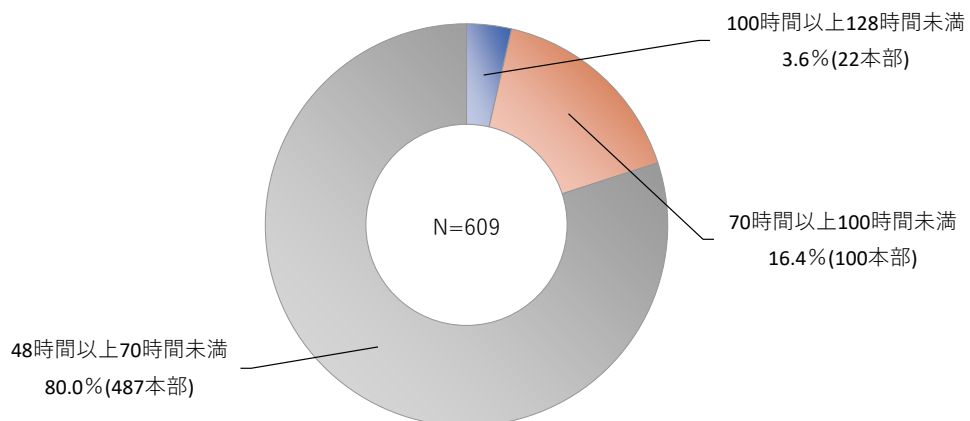
問06 国が示す再教育の実施時間数（2年間で128時間以上・運用2年未満を除く）を

運用救急救命士に履修させているか<単数回答>



問 06-01 問 06 で「2. 履修させている（病院実習を 48 時間以上履修させ、日常教育と合わせて 128 時間以上を満たす）」もしくは「3. 履修させていない（病院実習を 48 時間以上履修させているが、日常教育と合わせて 128 時間を満たさない）」を選択した方にお聞きします。病院実習の実施時間として近いものを1つ選んでください。

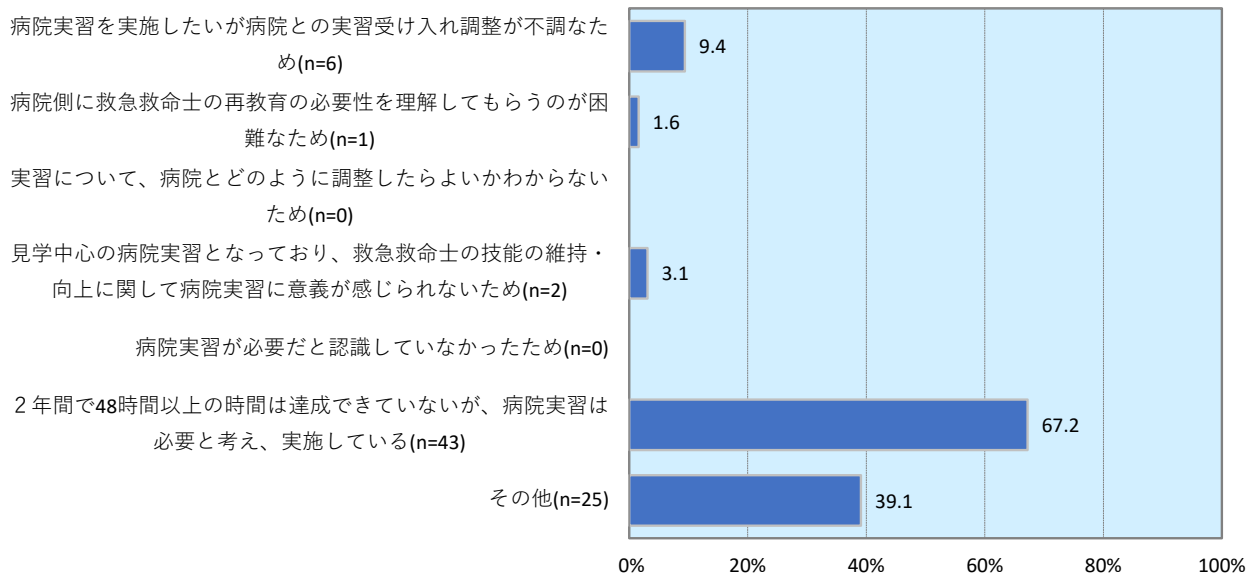
問06-01 病院実習の実施時間<単数回答>



問 06-02 問 06 で「4. 履修させていない（日常教育を 80 時間相当（80 時間以上含む）履修させているが、病院実習が 48 時間未満又は未実施）」もしくは「5. 履修させていない（病院実習、日常教育ともに不足又は未実施）」を選択した方にお聞きします。病院実習 48 時間未満又は病院実習未実施の要因として、該当するものをすべて選んでください。

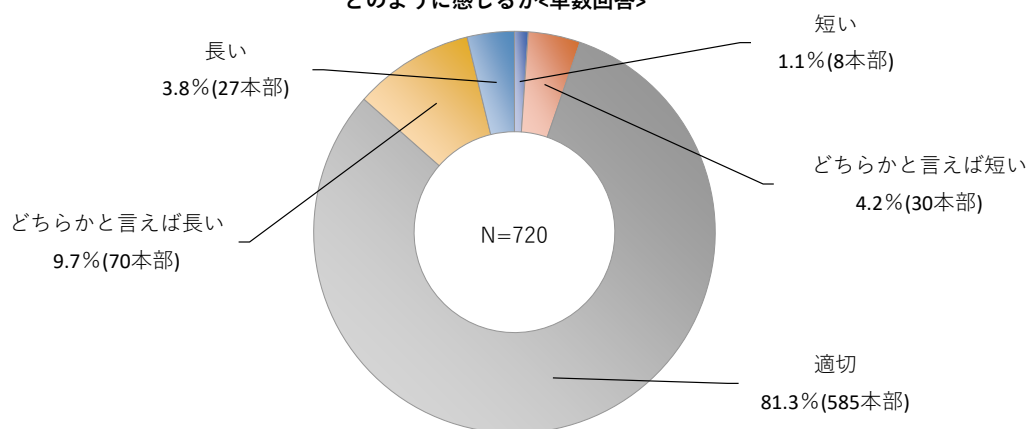
問06-02 病院実習48時間未満又は病院実習未実施の要因<複数回答>

N = 64



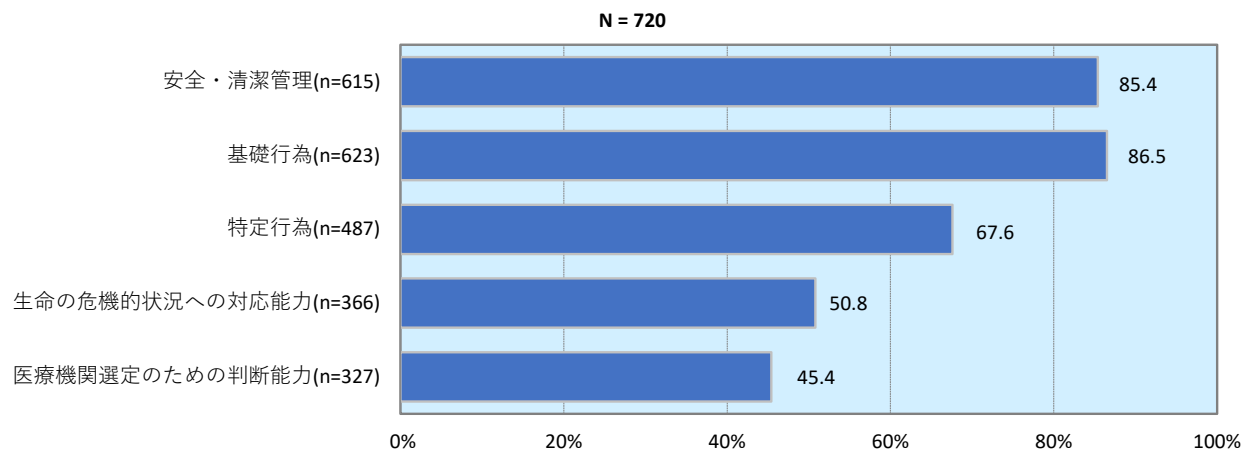
問 07 救急救命士の再教育のうち、病院実習（2年間48時間以上）に係る時間について、どのように感じますか。1つ選んでください。

問07 救急救命士の再教育のうち、病院実習（2年間48時間以上）に係る時間について、どのように感じるか<単数回答>



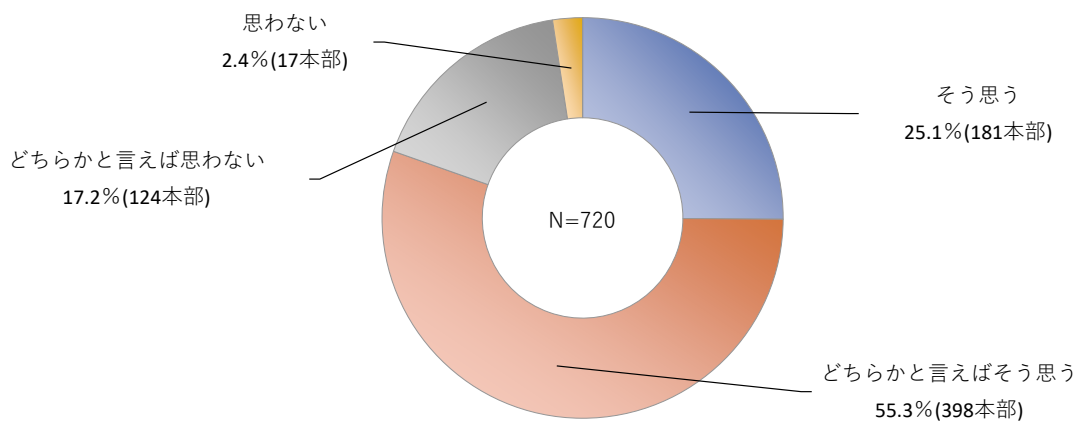
問 08 貴本部では、「救急救命士の再教育に係る病院実習の手引」の細目にある実習項目について、病院実習で十分に実施できていると考えるものがありますか。該当するものをすべて選んでください。

問08 「救急救命士の再教育に係る病院実習の手引」の細目にある実習項目について、病院実習で十分に実施できているもの<複数回答>



問 09 貴本部では、現在の病院実習により必要な技術・知識が十分に習得できていると考えますか。1つ選んでください。

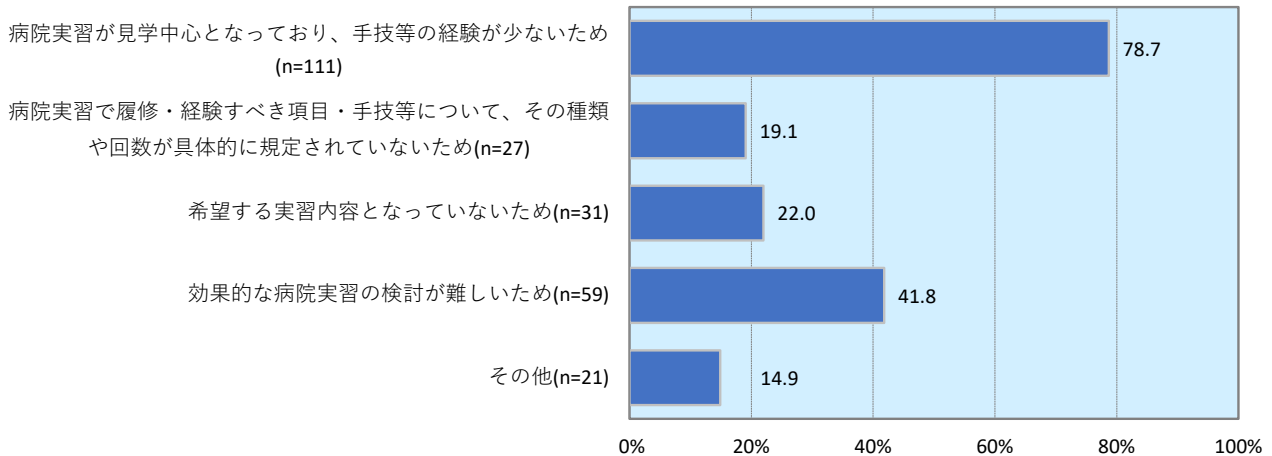
問09 病院実習により必要な技術・知識が十分に習得できているか<単数回答>



問 09-01 問 09 で「3. どちらかと言えば思わない」もしくは「4. 思わない」を選択した方にお聞きします。理由に該当するものをすべて選んでください。

問09-01 病院実習により必要な技術・知識が十分に習得できていないと考える理由<複数回答>

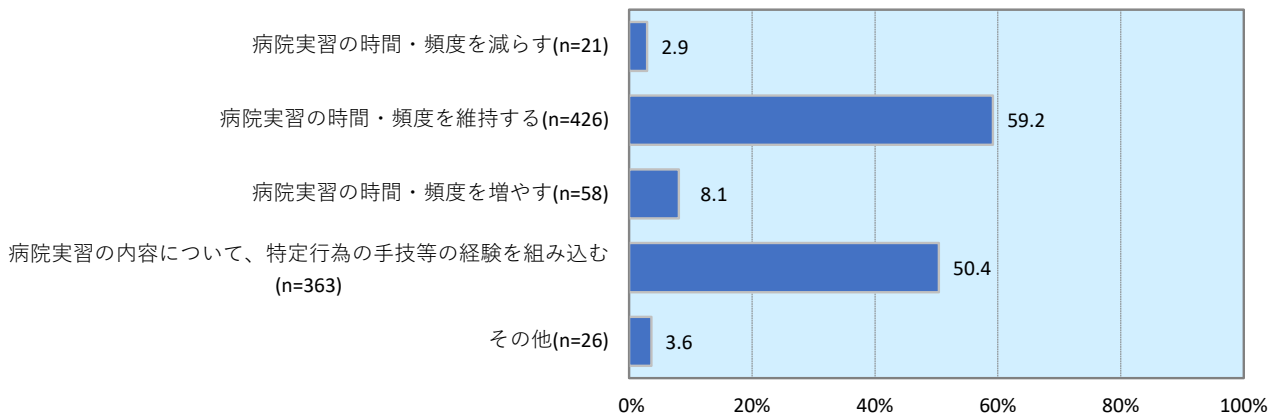
N = 141



問 10 救急救命士の技能を維持・向上し、特定行為等に係る確実性や安全性を確保するためには、病院実習をどのように活用すべきと考えますか。該当するものをすべて選んでください。

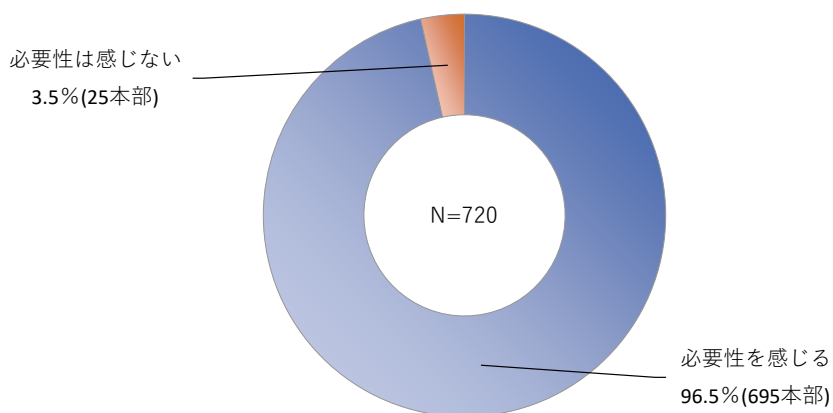
問10 救急救命士の技能を維持・向上し、特定行為等に係る確実性や安全性を確保するための病院実習をどのように活用すべきか<複数回答>

N = 720



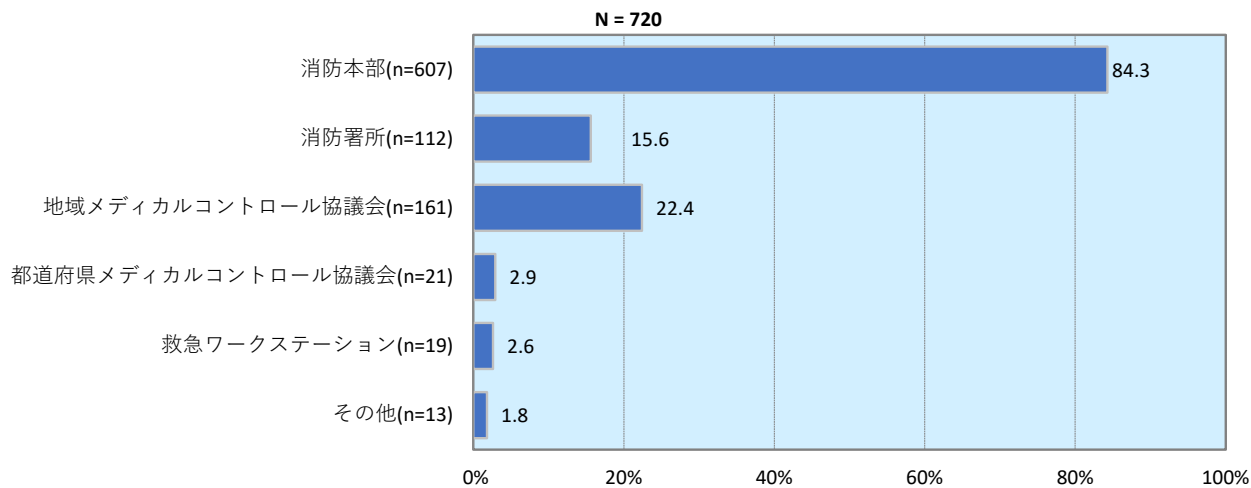
問 11 病院実習で医師の指導を受ける機会が必要であると考えますか。1つ選んでください。

問11 病院実習で医師の指導を受ける機会が必要か<単数回答>



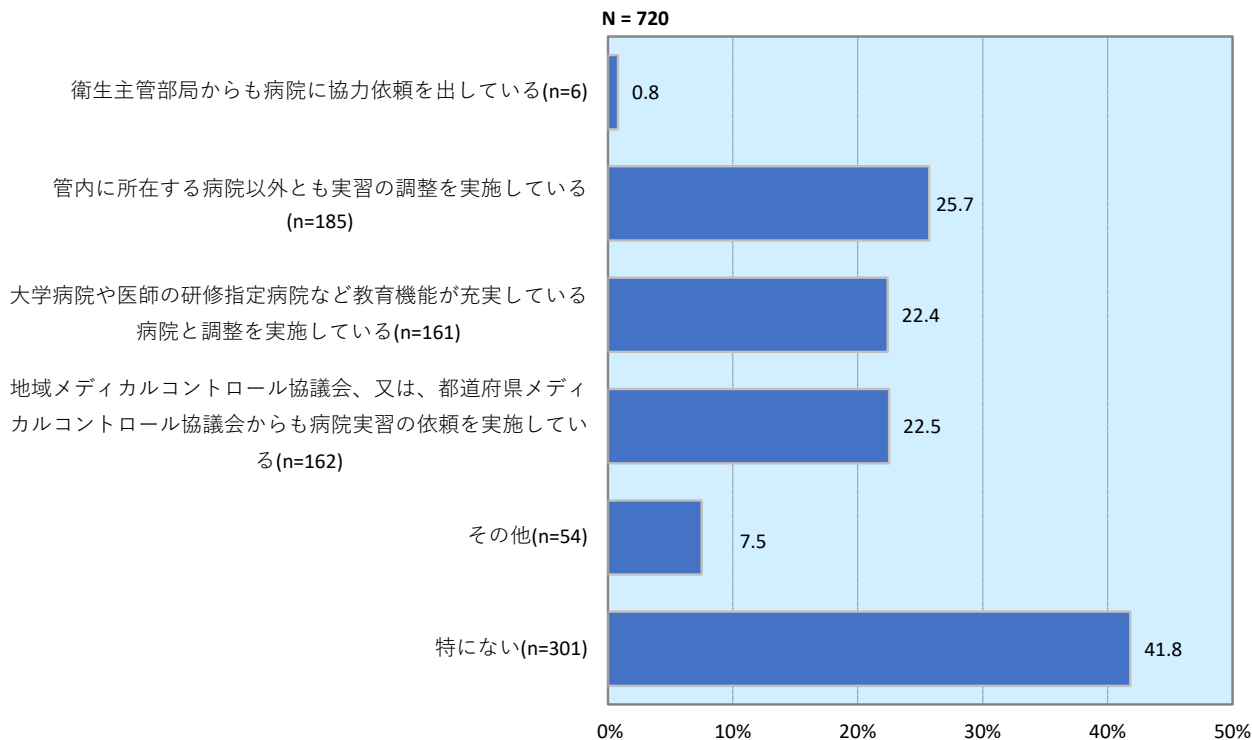
問 12 救急救命士の再教育の病院実習について、病院との実習の受け入れ調整はどこが実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問12 救急救命士の再教育の病院実習の受け入れ調整はどこが実施しているか<複数回答>



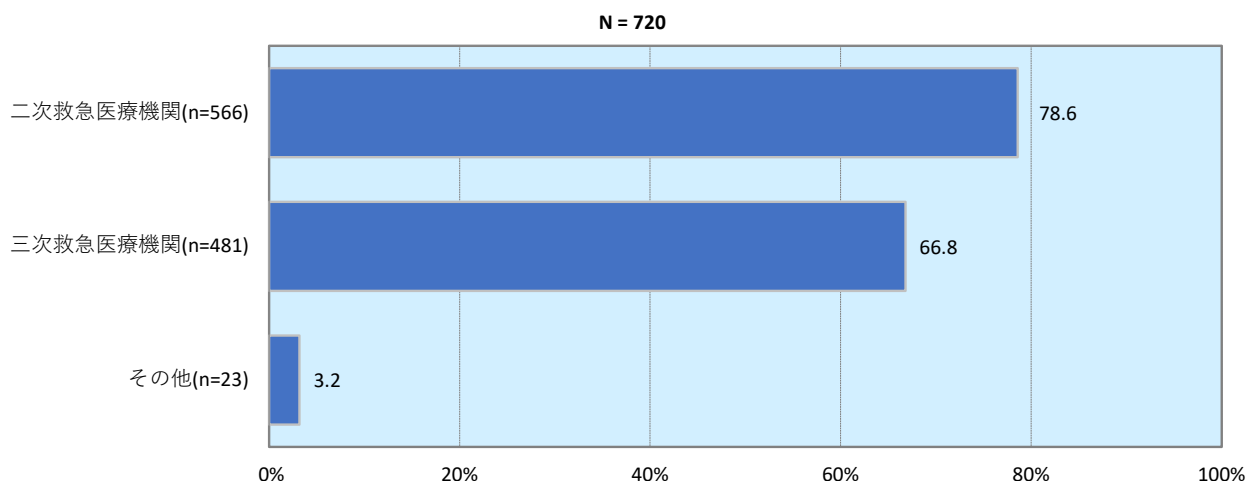
問 13 救急救命士の再教育の病院実習について、病院との受け入れ調整について、どのような工夫をしていますか。該当するものをすべて選んでください。

問13 病院との受け入れ調整で実施している工夫<複数回答>



問 14 貴本部における病院実習の受け入れ先は次のうちどれですか。該当するものをすべて選んでください。

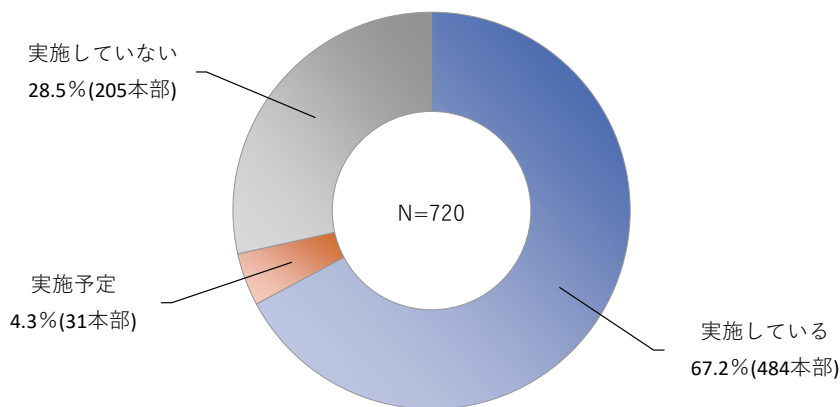
問14 病院実習の受け入れ先<複数回答>



04. 通信指令員への救急に係る教育・研修について

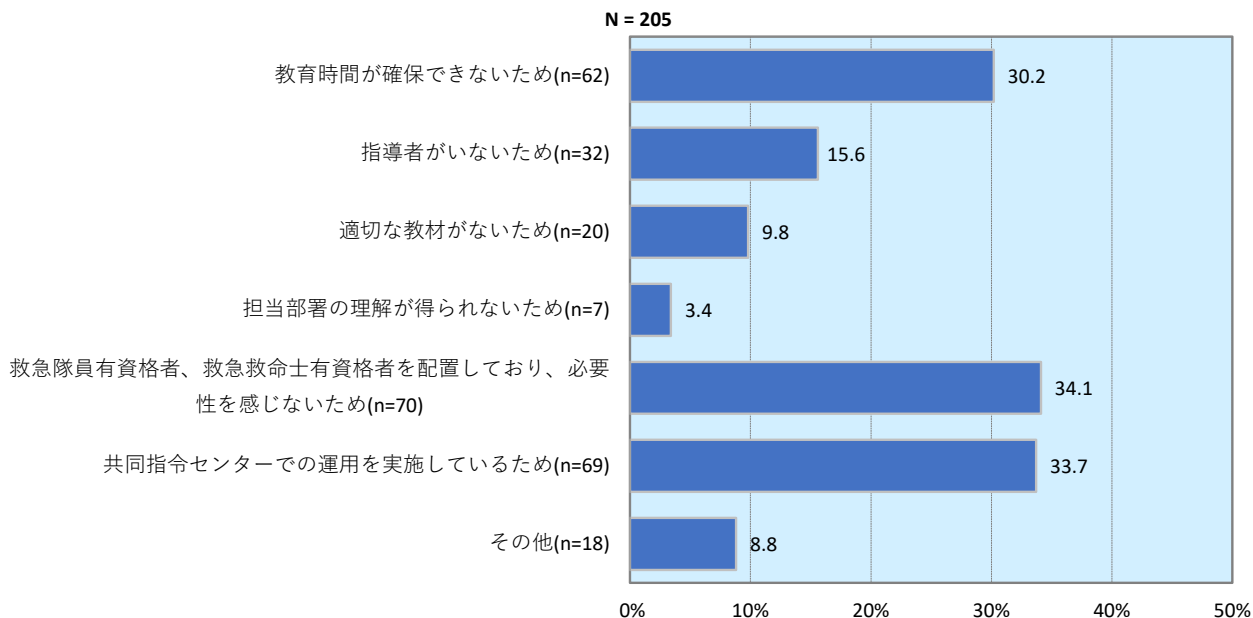
問 15 貴本部では、通信指令員に対して救急に係る教育・研修を実施していますか。1つ選んでください。

問15 通信指令員に対して救急に係る教育・研修を実施しているか<単数回答>



問 15-01 問 15 で「3. 実施していない」を選択した方にお聞きします。実施していない理由として該当するものをすべて選んでください。

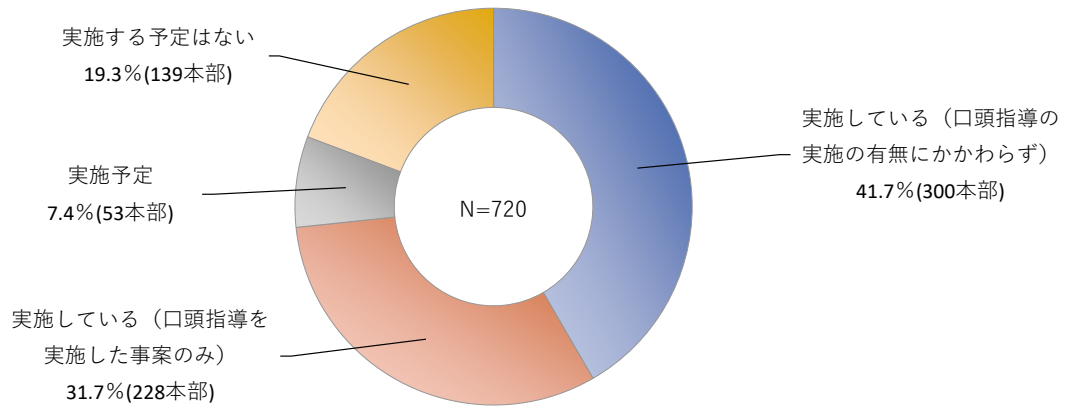
問15-01 通信指令員に対して救急に係る教育・研修を実施していない理由<複数回答>



05. 口頭指導の事後検証について

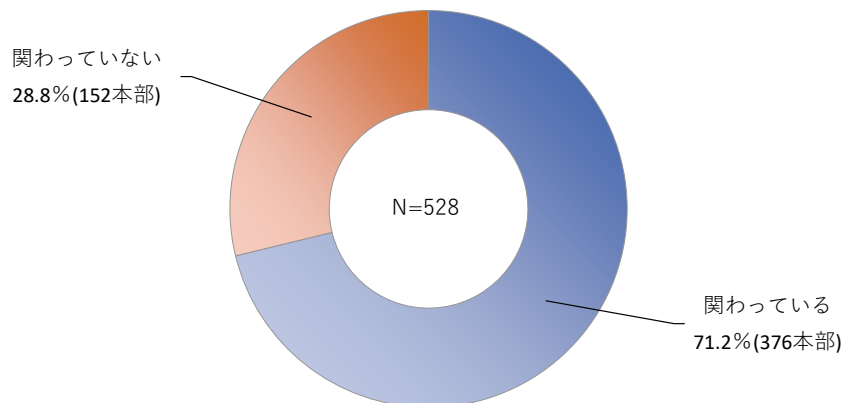
問 16 貴本部では、通信指令員の指令業務（口頭指導を要する事案）について事後検証を実施していますか。1つ選んでください。

問16 通信指令員の指令業務（口頭指導を要する事案）について事後検証を実施しているか<単数回答>



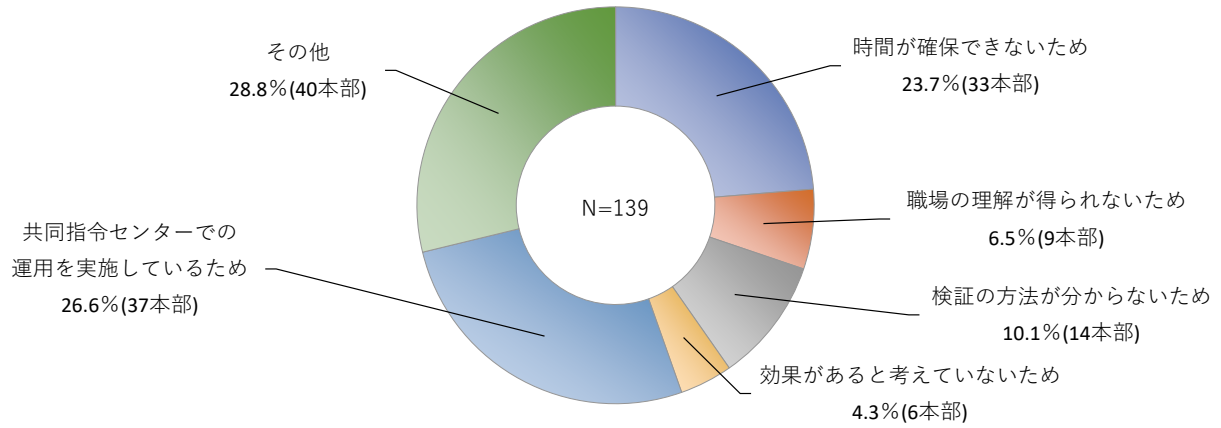
問 16-01 問 16 で「1. 実施している（口頭指導の実施の有無にかかわらず）」もしくは「2. 実施している（口頭指導を実施した事案のみ）」を選択した方にお聞きします。口頭指導の事後検証について、地域メディカルコントロール協議会は関わっていますか。1つ選んでください。

問16-01 口頭指導の事後検証について地域メディカルコントロール協議会は関わっているか
<単数回答>



問 16-02 問 16 で「4. 実施する予定はない」を選択した方にお聞きします。事後検証を実施しない理由は何ですか。1つ選んでください。

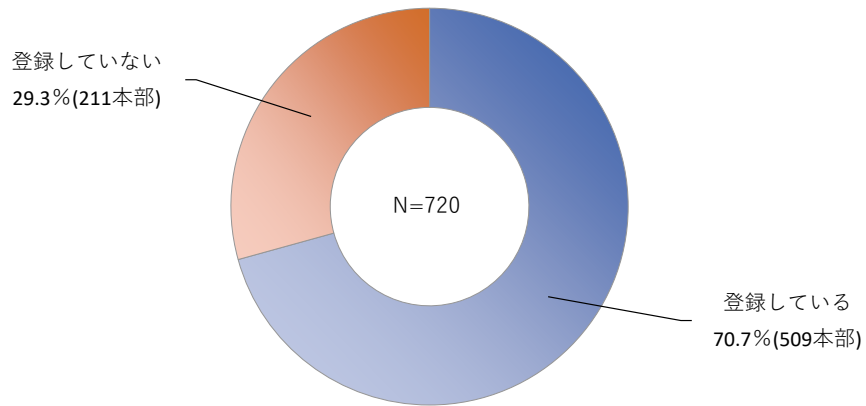
問16-02 事後検証を実施しない理由<単数回答>



06. AED 関係について

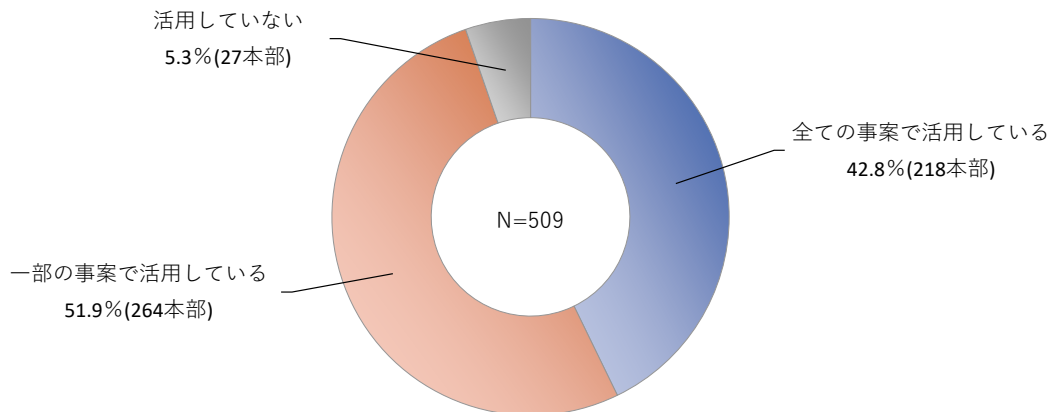
問 17 貴本部では、通信指令システムに AED の設置場所に関する情報を登録していますか。
1つ選んでください。

問17 通信指令システムにAEDの設置場所に関する情報を登録しているか<単数回答>



問 17-01 問 17 で「1. 登録している」を選択した方にお聞きします。口頭指導で AED が
必要な場合、AED の設置場所に関する情報を活用していますか。1つ選んでください。
(例) 現場周辺の AED 設置場所を確認し、移動指示を実施している。

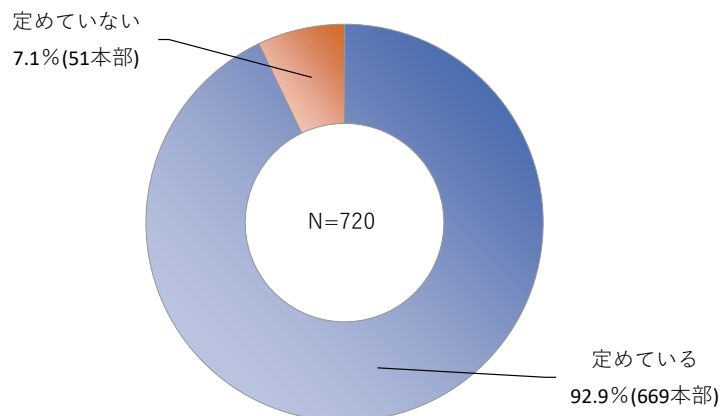
問17-01 AEDの設置場所に関する情報を口頭指導の際に活用しているか<単数回答>



07. 応急手当の普及啓発について

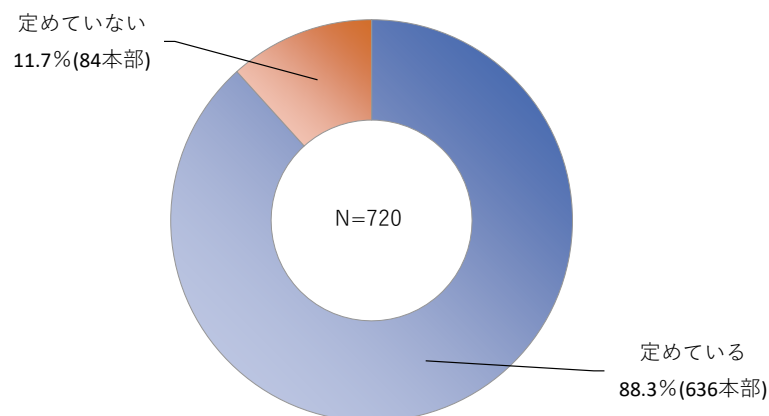
問 18（普通救命講習Ⅰ） 貴本部では、「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱（平成5年3月30日付け消防救第41号）」に定める「普通救命講習Ⅰ」について、要綱等に定めていますか。1つ選んでください。

問18 普通救命講習Ⅰの講習内容について、要綱等に定めているか<単数回答>



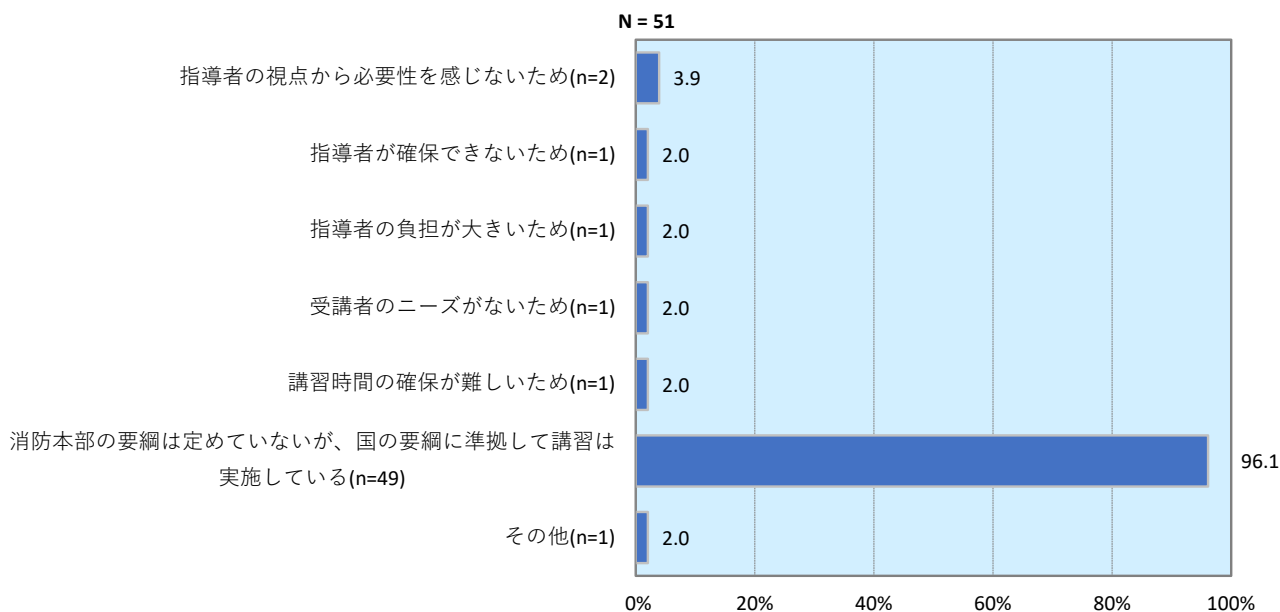
問 18（応急手当普及員講習（Ⅰ又はⅡ）） 貴本部では、「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱（平成5年3月30日付け消防救第41号）」に定める「普通救命講習Ⅰ」について、要綱等に定めていますか。1つ選んでください。

問18 応急手当普及員講習（Ⅰ又はⅡ）の講習内容について、要綱等に定めているか<単数回答>



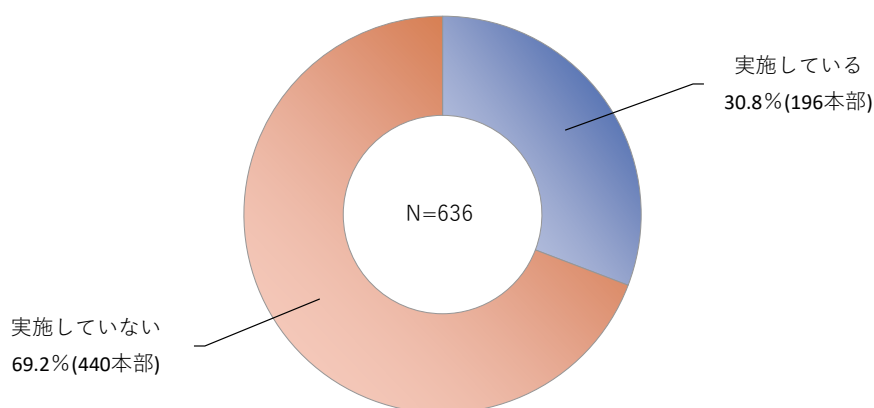
問 18-01 問 18（普通救命講習Ⅰ）で「2. 定めていない」を選択した方にお聞きします。定めていない理由として、該当するものをすべて選んでください。

問18-01 普通救命講習Ⅰについて、要綱等に定めていない理由<複数回答>



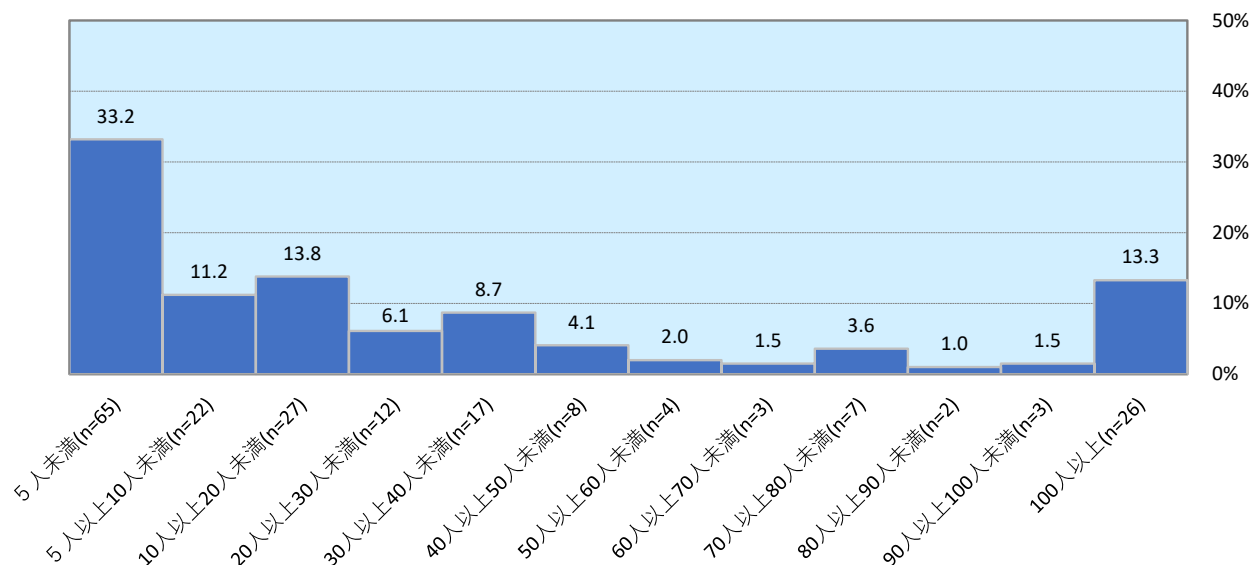
問 18-02 問 18（応急手当普及員講習（Ⅰ又はⅡ））で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。現に教員職にある者に対して、応急手当普及員講習を実施していますか。1つ選んでください。

問18-02 現に教員職にある者に対して、応急手当普及員講習を実施しているか<単数回答>



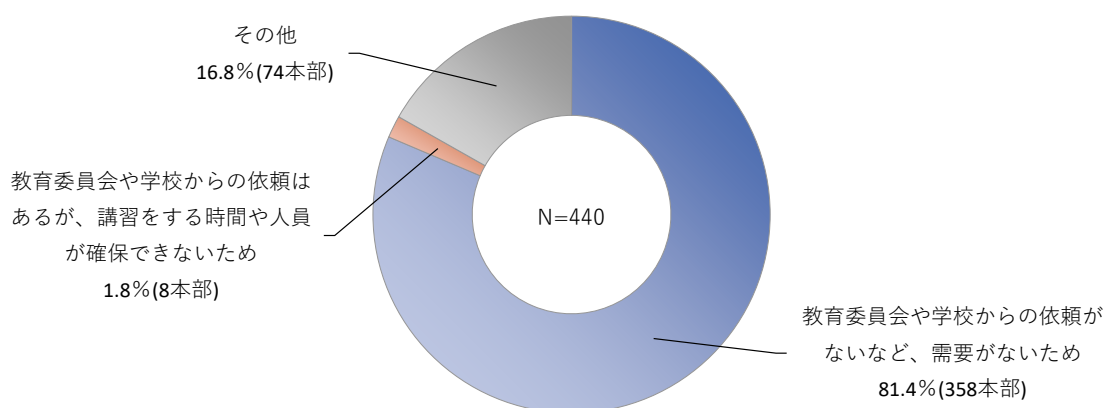
問 18-03 問 18-02 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。現に教員職にある者に対する応急手当普及員講習の、直近3年間の受講人数をご記入ください。（半角数字、単位：人）※

問18-03 現に教員職にある者に対する応急手当普及員講習の、直近3年間の受講人数<数量回答>
N = 196



問 18-04 問 18-02 で「2. 実施していない」を選択した方にお聞きします。実施していない理由は何ですか。1つ選んでください。

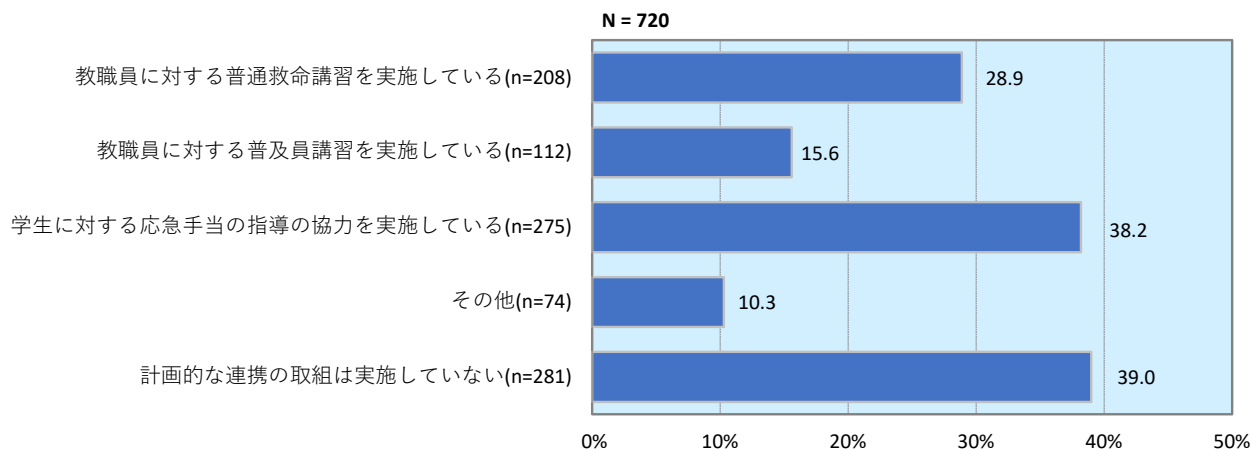
問18-04 現に教職員にある者に対する応急手当普及員講習を実施していない理由<単数回答>



※ 令和4年4月1日～令和7年3月31日の受講人数。

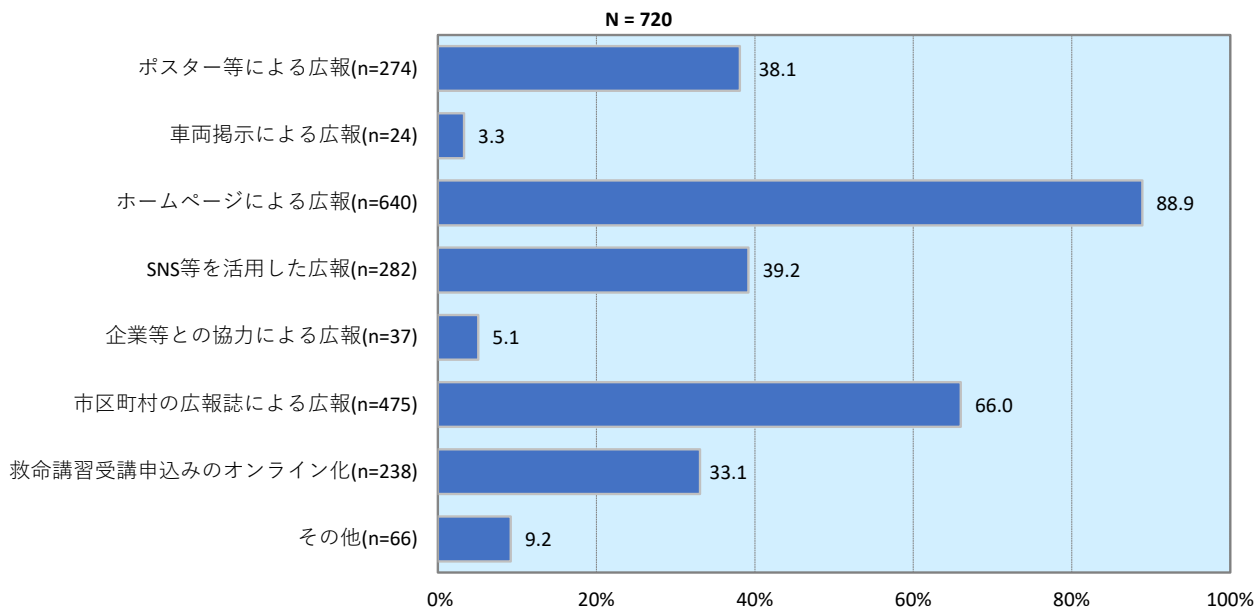
問 19 貴本部では、小・中・高等学校への応急手当の実習等に関し、消防本部と教育機関とが連携した計画的な取組を実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問19 小・中・高等学校への学習指導要領に定める応急手当の実習等に関し、消防本部と教育機関とが連携した計画的な取組を実施しているか<複数回答>



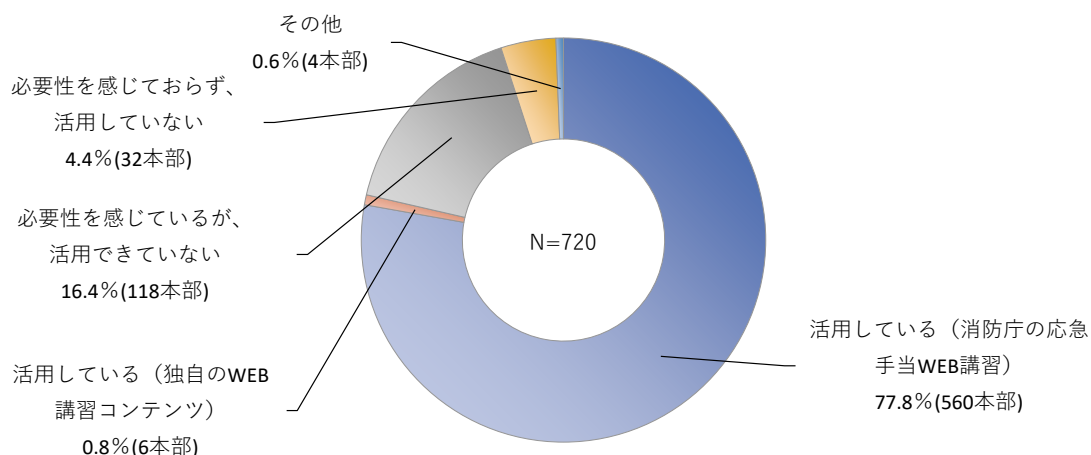
問 20 貴本部では、応急手当の受講者数を増加させるため、広報の工夫等の取組を実施していますか。実施している取組として該当するものをすべて選んでください。

問20 応急手当の受講者数を増加させるため、広報の工夫等の取組を実施しているか<複数回答>



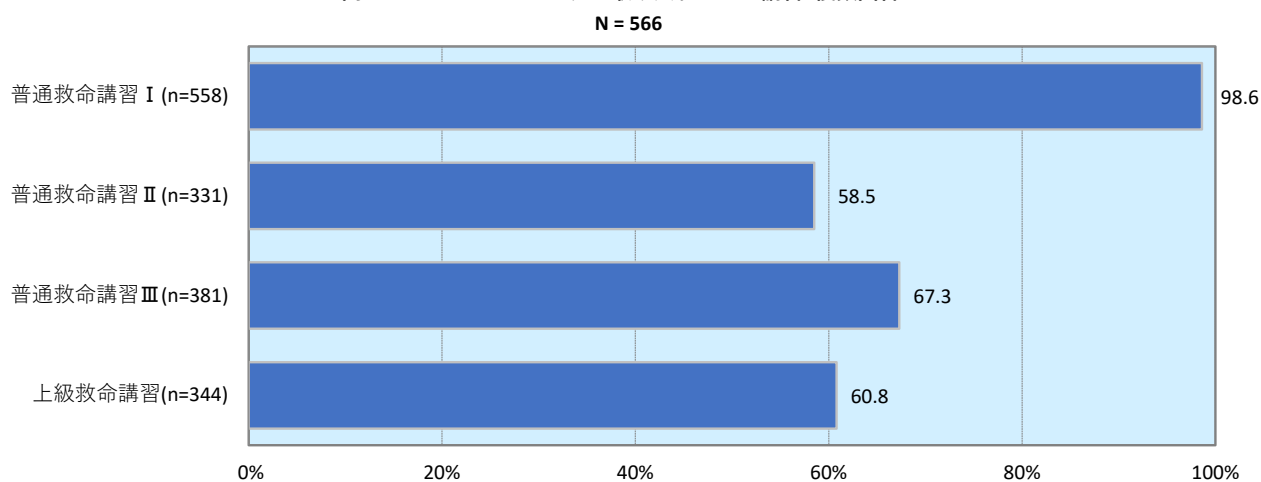
問 21 貴本部では、応急手当 WEB 講習（e-ラーニング）を活用していますか。1つ選んでください。

問21 応急手当WEB講習（e-ラーニング）を活用しているか<単数回答>



問 21-01 問 21 で「1. 活用している（消防庁の応急手当 WEB 講習）」もしくは「2. 活用している（独自の WEB 講習コンテンツ）」を選択した方にお聞きします。貴本部において、e-ラーニングを取り入れている講習として、該当するものをすべて選んでください。

問21-01 e-ラーニングを取り入れている講習<複数回答>

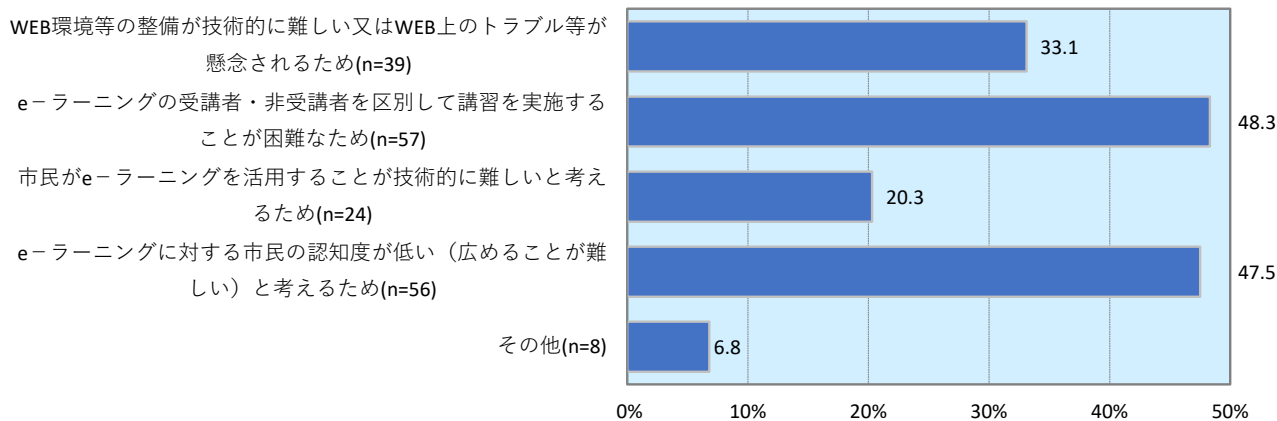


問 21-02 問 21 で「3. 必要性を感じているが、活用できていない」を選択した方にお聞きします。理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

問21-02 応急手当WEB講習（e-ラーニング）に対して必要性を感じているが、活用できていない理由

<複数回答>

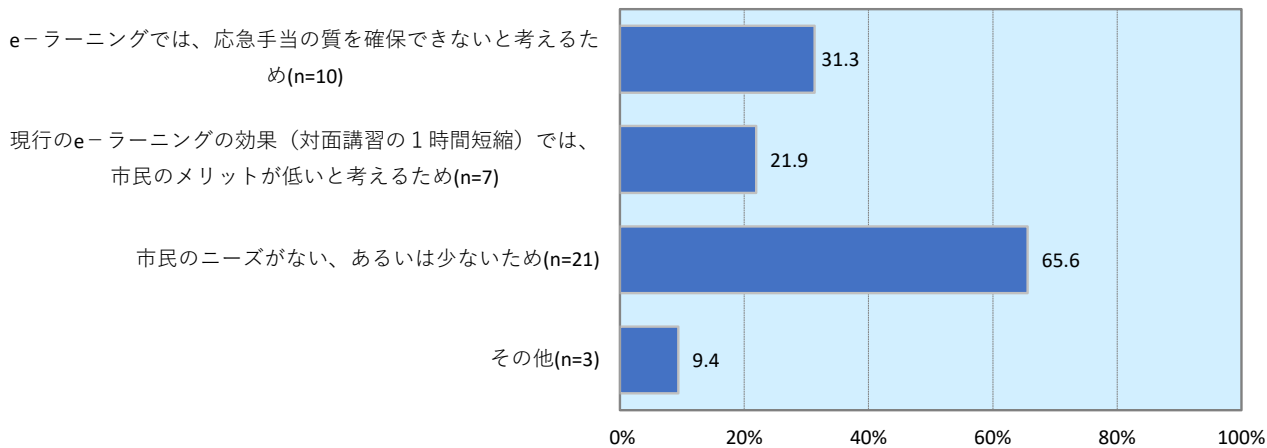
N = 118



問 21-03 問 21 で「4. 必要性を感じておらず、活用していない」を選択した方にお聞きします。理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

問21-03 応急手当WEB講習（e-ラーニング）を活用していない理由<複数回答>

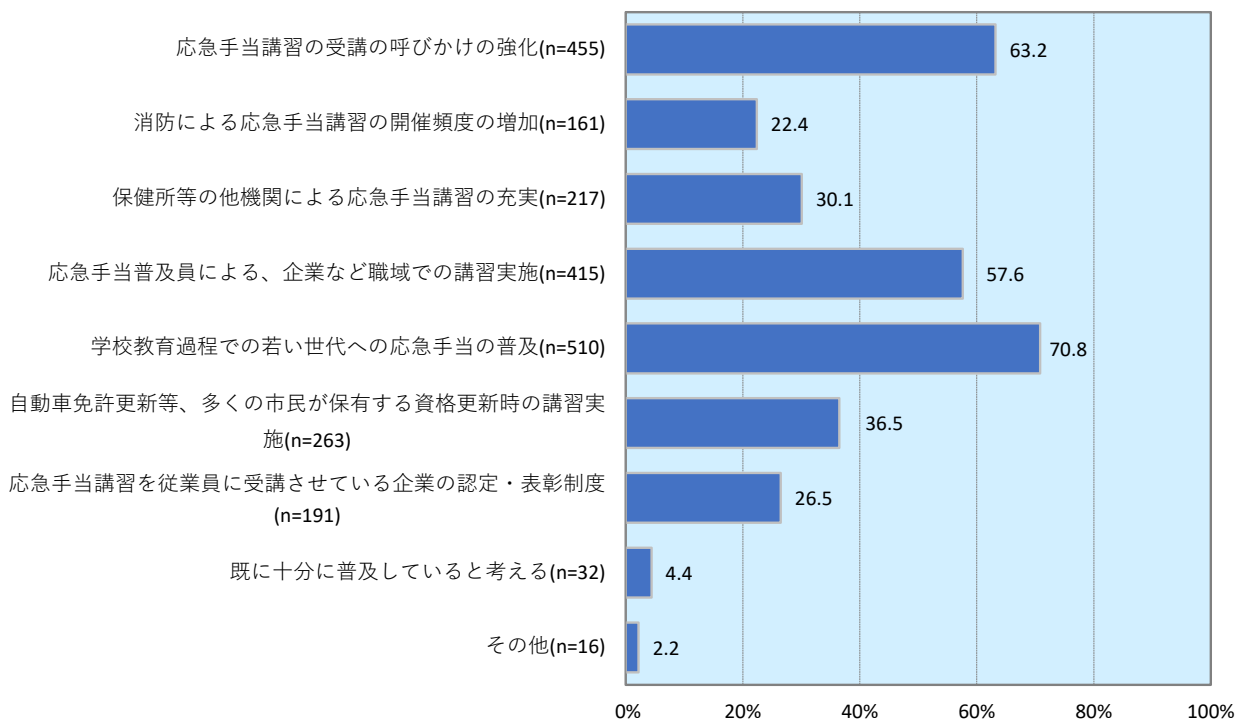
N = 32



問 22 応急手当の更なる普及には、何が重要であると考えますか。該当するものをすべて選んでください。

問22 応急手当の更なる普及には、何が重要であると考えるか<複数回答>

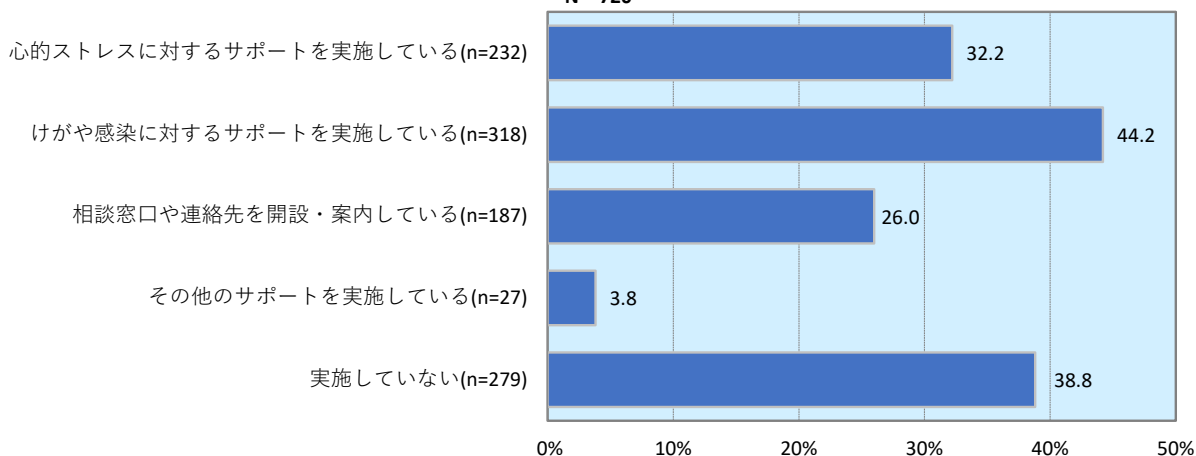
N = 720



問 23 貴本部では、バイスタンダーに向けてどのようなサポートを実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問23 バイスタンダーに向けてどのようなサポートを実施しているか<複数回答>

N = 720

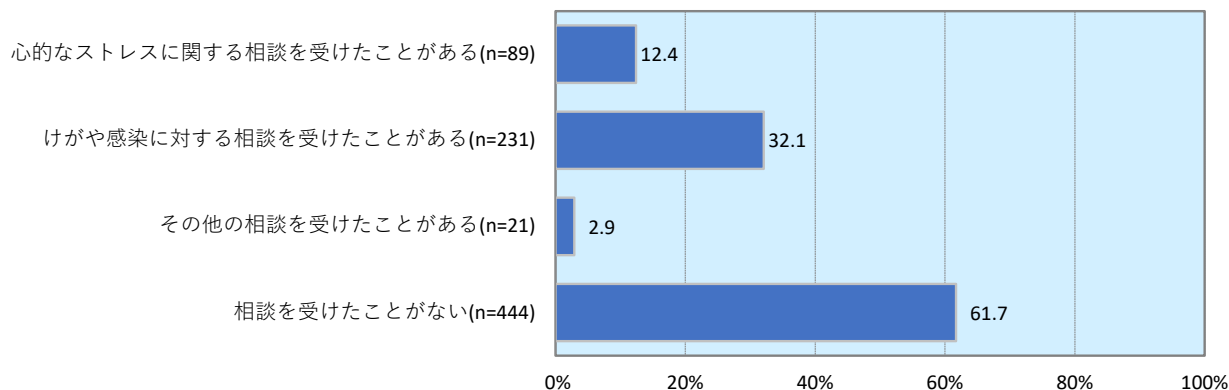


問 24 貴本部では、バイスタンダーから応急手当の実施に関してどのような相談を受けたことがありますか。該当するものをすべて選んでください。

問24 バイスタンダーから応急手当の実施に関してどのような相談を受けたことがあるか

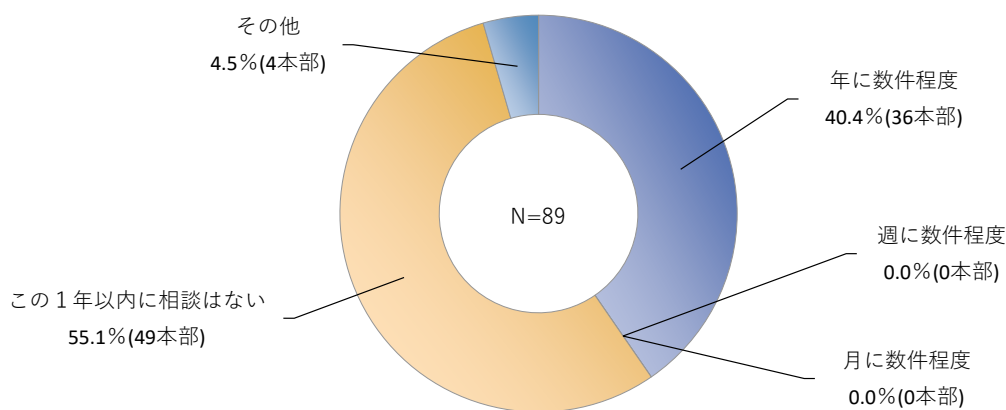
<複数回答>

N = 720



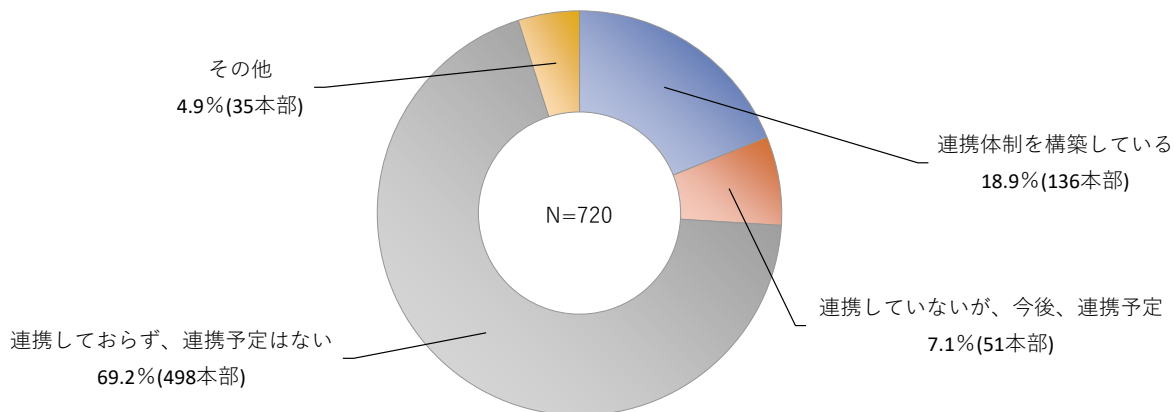
問 24-01 問 24 で「1. 心的なストレスに関する相談を受けたことがある」を選択した方にお聞きします。心的なストレスの相談を受ける頻度はどれくらいですか。1つ選んでください。

問24-01 心的なストレスの相談を受ける頻度はどれくらいか<単数回答>



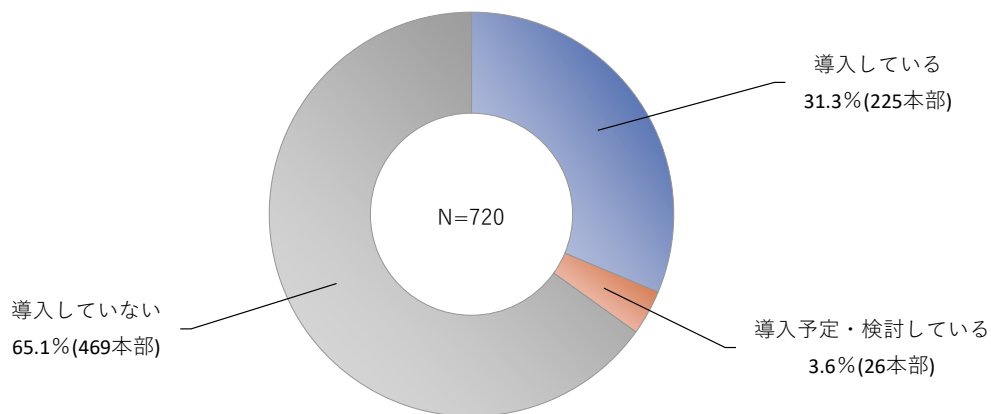
問 25 心的なストレスに関する相談について、保健所や精神保健福祉センターといった専門機関への紹介体制など、専門機関との連携体制を構築していますか。該当するものを1つ選んでください。

問25 保健所や精神保健福祉センターといった専門機関への紹介体制など、専門機関との連携体制を構築しているか<単数回答>



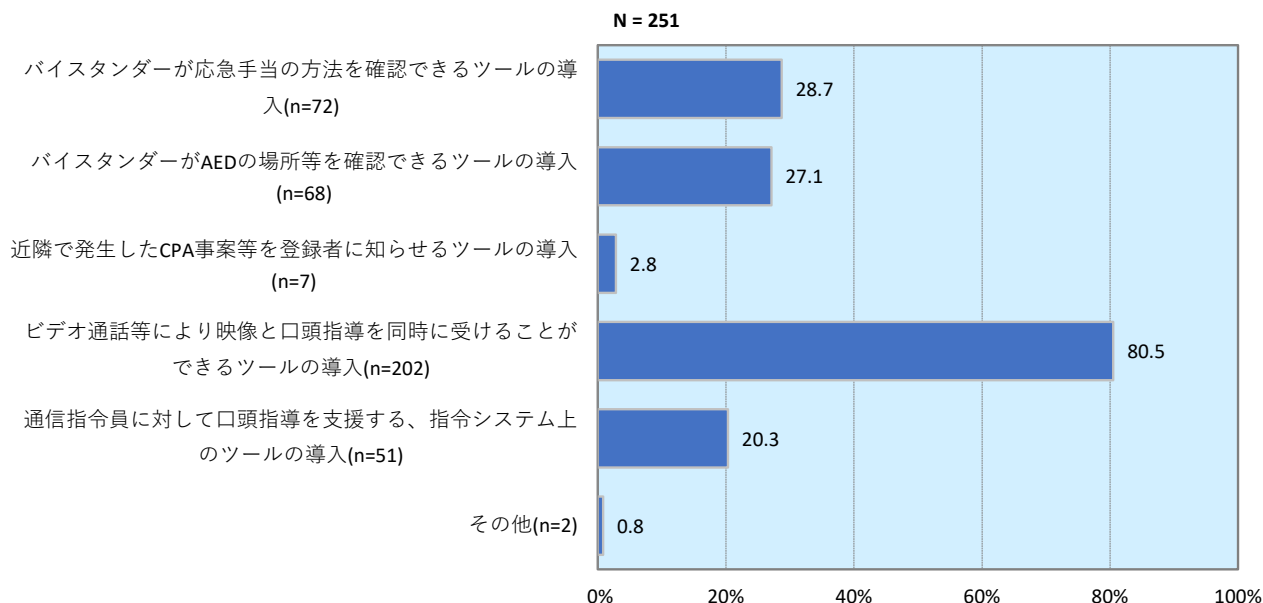
問 26 貴本部では、応急手当の実施率を増加させるためのツール（アプリ等）を導入していますか。1つ選んでください。

問26 応急手当の実施率を増加させるためのツール（アプリ等）を導入しているか<単数回答>



問 26-01 問 26 で「1. 導入している」もしくは「2. 導入予定・検討している」を選択した方にお聞きします。該当するものをすべて選んでください。

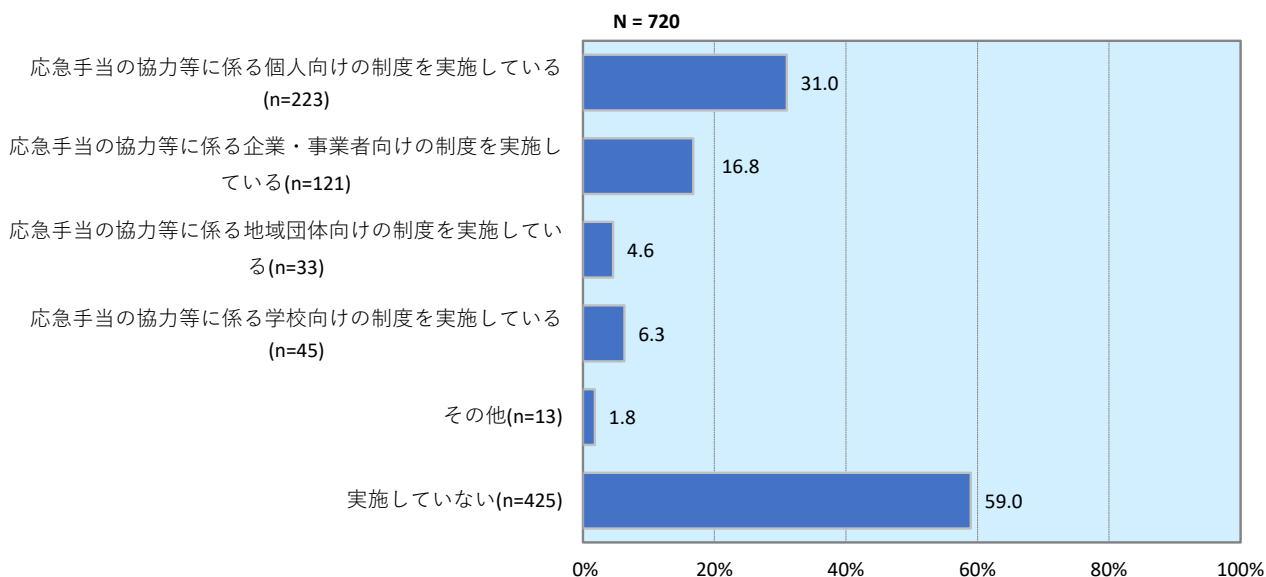
問26-01 応急手当の実施率を増加させるためのツール（アプリ等）<複数回答>



問 27 貴本部では、講習受講者の増加や、応急手当の実施率の向上につながる、市民向けの制度を実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問27 講習受講者の増加や、応急手当の実施率の向上につながる、市民向けの制度を実施しているか

<複数回答>



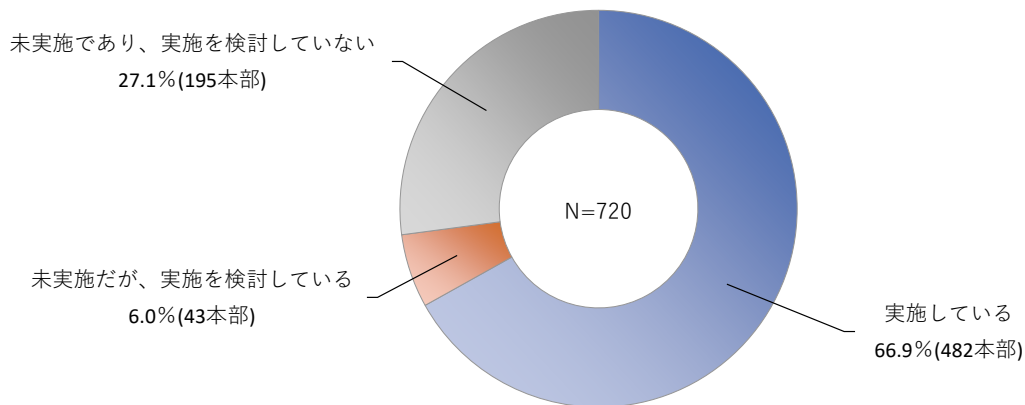
08. 緊急度判定体系の普及のための取組について

問 28 119番通報時の緊急度判定についてお聞きします。貴本部では、119番通報時に緊急度判定を実施していますか。1つ選んでください。

(例) 以下の取組を実施している場合は「1. 実施している」を選択してください。

- ・ 入電順ではなく、119番通報内容により出場指令の順番を入れ替えたことがある。
- ・ 現場からの距離順ではなく、119番通報内容により出場させる救急隊を選択したことがある。
- ・ 119番通報内容により緊急度が高いと判断した場合に救急隊以外の部隊を増強している。

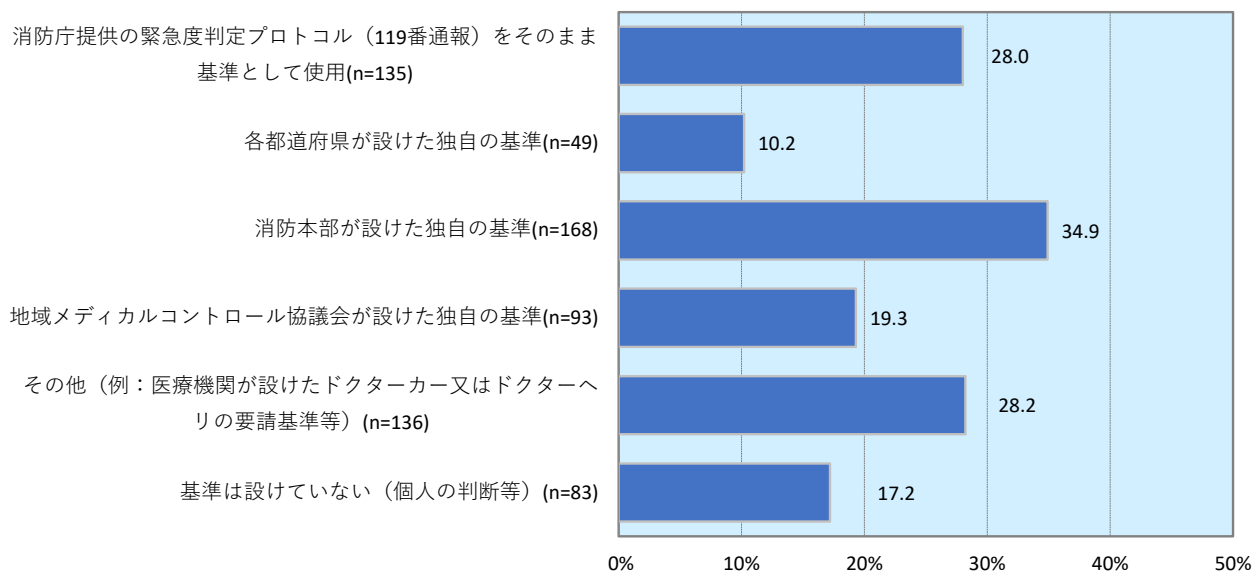
問28 119番通報時に緊急度判定を実施しているか<単数回答>



問 28-01 問 28 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。119 番通報時の緊急度判定について、貴本部においてどのような基準の周知を図っていますか。該当するものをすべて選んでください。

問28-01 消防本部においてどのような基準の周知を図っているか<複数回答>

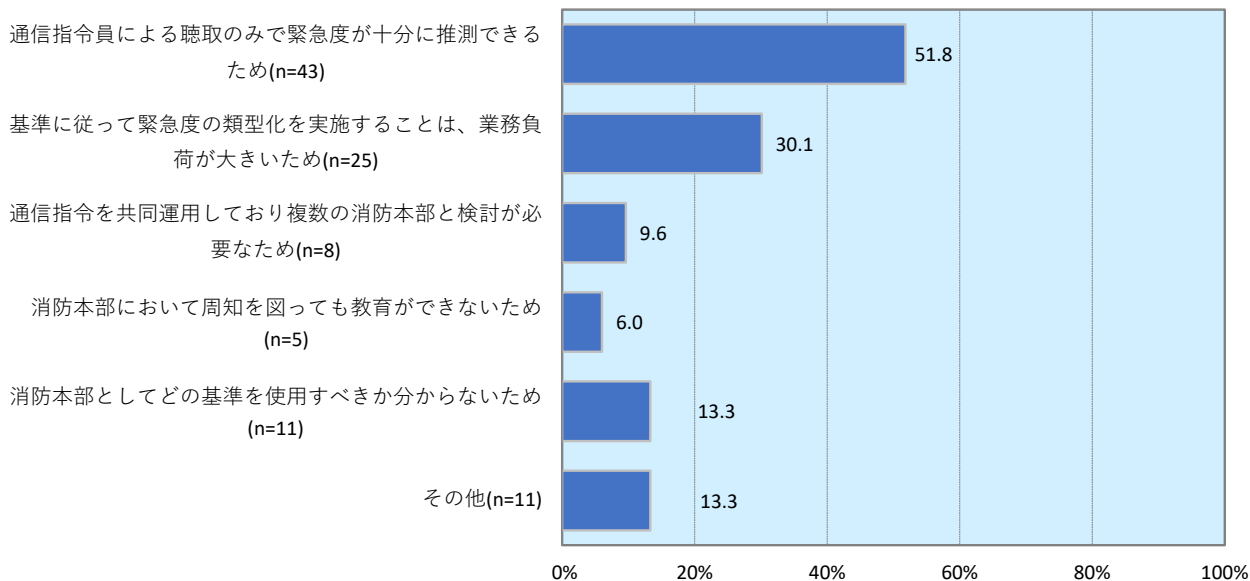
N = 482



問 28-02 問 28-01 で「5. 基準は設けていない（個人の判断等）」を選択した方にお聞きします。その理由について、該当するものをすべて選んでください。

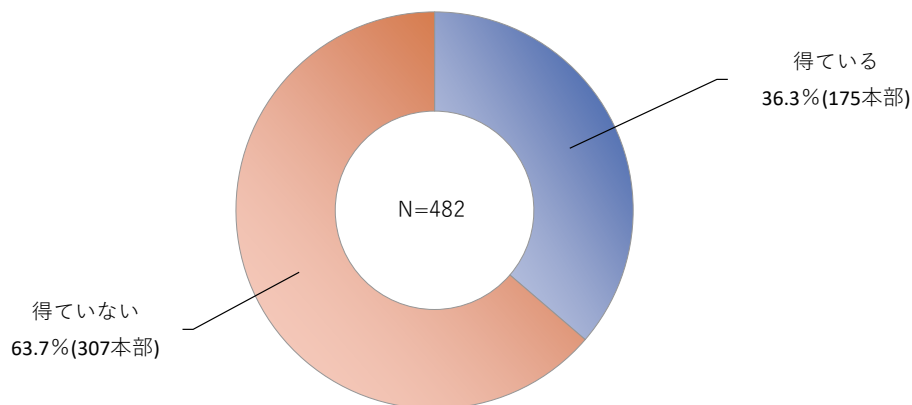
問28-02 緊急度判定の基準を設けていない理由<複数回答>

N = 83



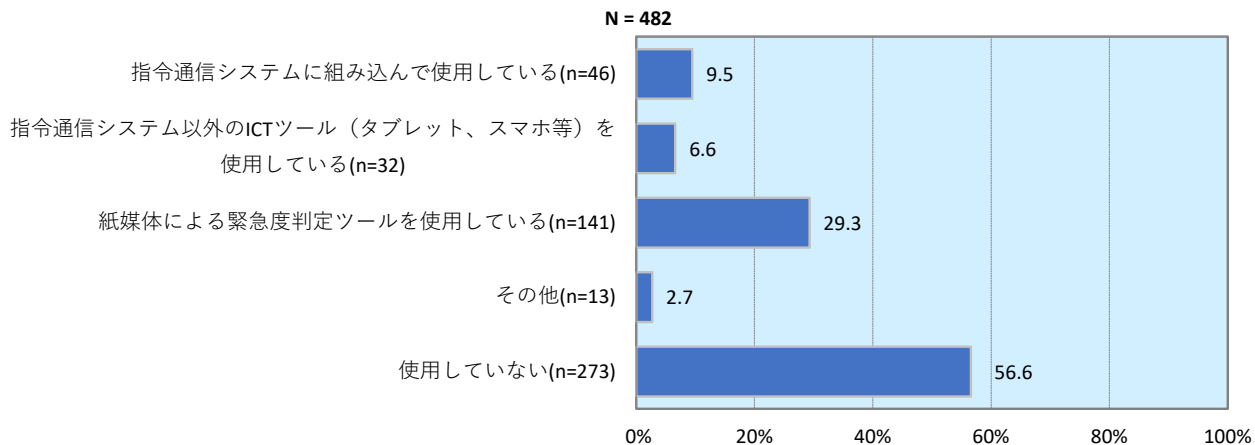
問 28-03 問 28 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。緊急度判定を消防本部で実施するにあたり、実施方法について地域メディカルコントロール協議会の承認を得ていますか。1つ選んでください。

問28-03 緊急度判定を消防本部で実施するにあたり、実施方法について地域メディカルコントロール協議会の承認を得ているか<単数回答>



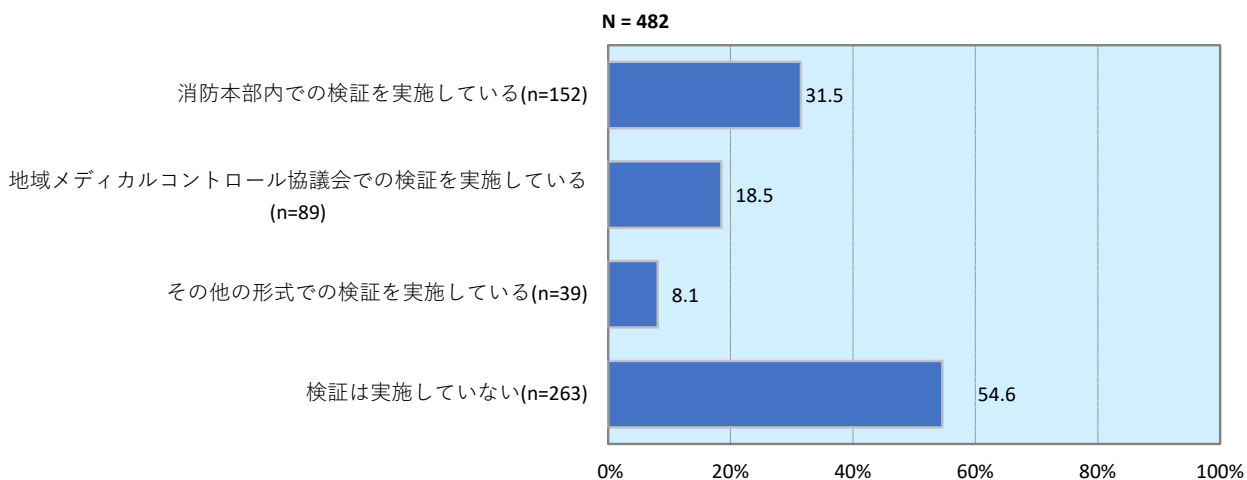
問 28-04 問 28 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。通信指令室において、119番通報時の緊急度判定時に ICT 等を活用した緊急度判定ツールを使用していますか。該当するものをすべて選んでください。

問28-04 通信指令室において、119番通報時の緊急度判定時にICT等を活用した緊急度判定ツールを使用しているか<複数回答>



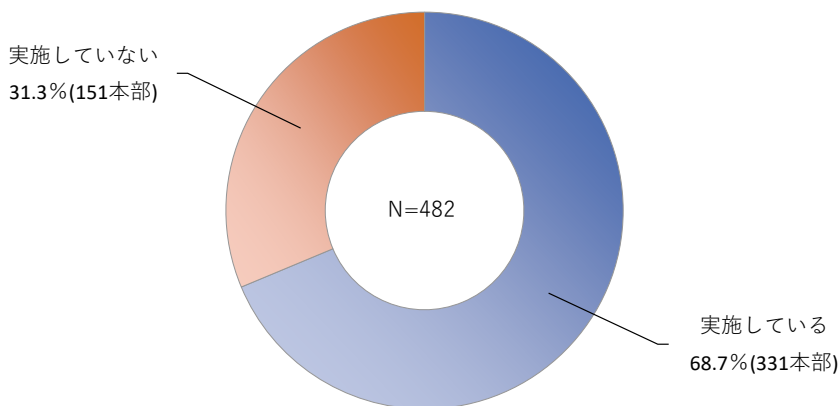
問 28-05 問 28 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。119 番通報時の緊急度判定結果を検証していますか。該当するものをすべて選んでください。

問28-05 119番通報時の緊急度判定結果を検証しているか<複数回答>



問 28-06 問 28 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。119 番通報時の緊急度判定に関する教育を実施していますか。1つ選んでください。

問28-06 119番通報時の緊急度判定に関する教育を実施しているか<単数回答>

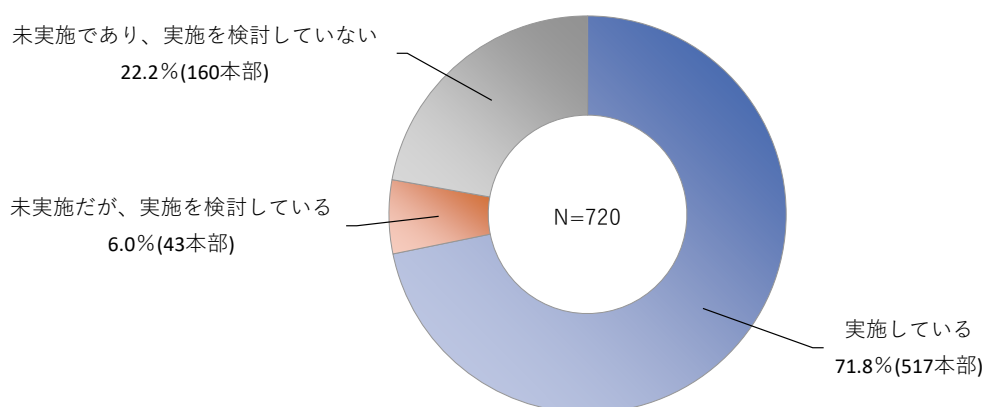


問 29 救急現場における緊急度判定についてお聞きします。貴本部では、救急現場で緊急度判定を実施していますか。1つ選んでください。

(例) 以下の取組を実施している場合は「1. 実施している」を選択してください。

・傷病者観察結果により緊急度を押し測り、活動方針、選定医療機関、消防機関以外の社会的資源の活用（電話相談窓口、民間救急等）等を決定している。

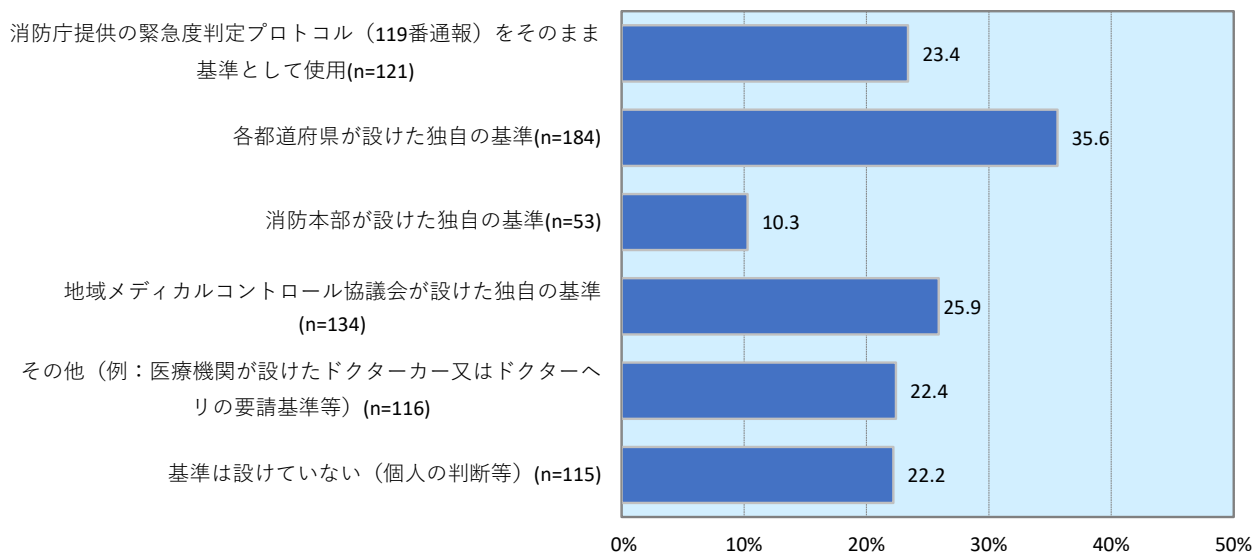
問29 救急現場で緊急度判定を実施しているか<単数回答>



問 29-01 問 29 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。救急現場の緊急度判定について、消防本部においてどのような基準の周知を図っていますか。該当するものをすべて選んでください。

問29-01 救急現場の緊急度判定について、消防本部において
どのような基準の周知を図っているか<複数回答>

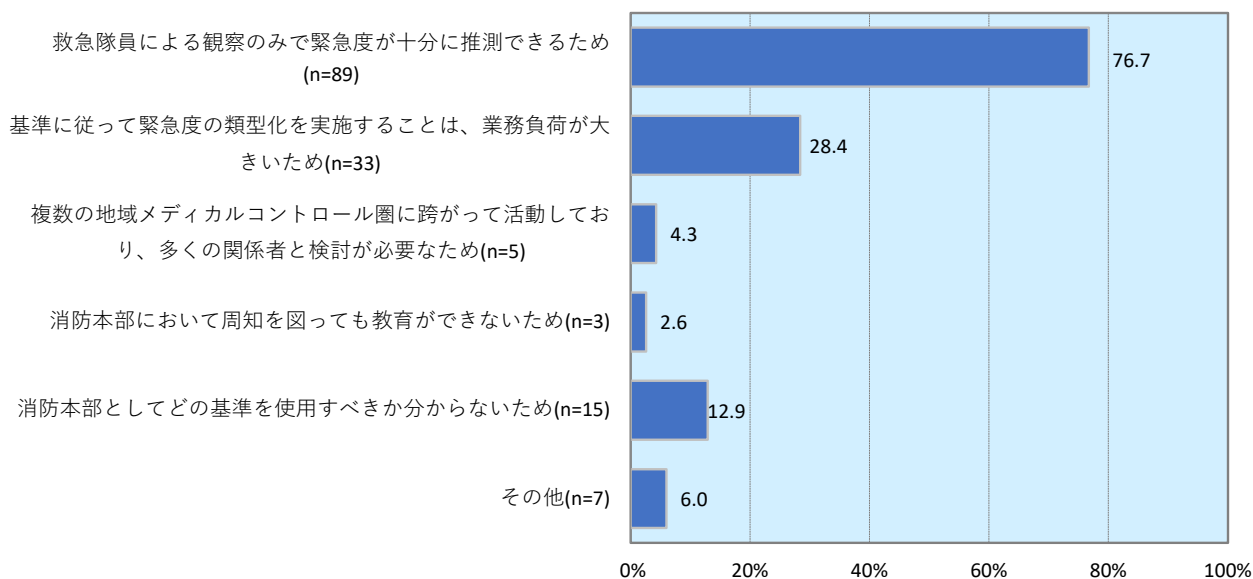
N = 517



問 29-02 問 29-01 で「5. 基準は設けていない（個人の判断等）」を選択した方にお聞きします。その理由について、該当するものをすべて選んでください。

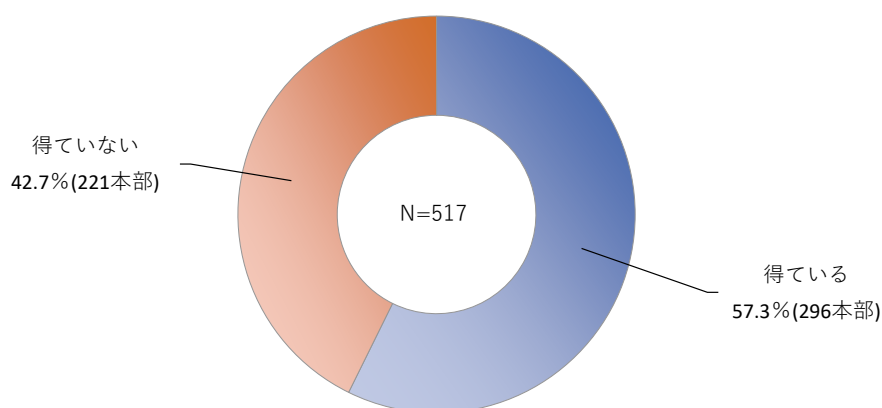
問29-02 緊急度判定の基準を設けていない理由<複数回答>

N = 116



問 29-03 問 29 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。緊急度判定を消防本部で実施するにあたり、実施方法や運用方法について地域メディカルコントロール協議会の確認を得ていますか。1つ選んでください。

問29-03 緊急度判定を消防本部で実施するにあたり、実施方法や運用方法について地域メディカルコントロール協議会の確認を得ているか<単数回答>

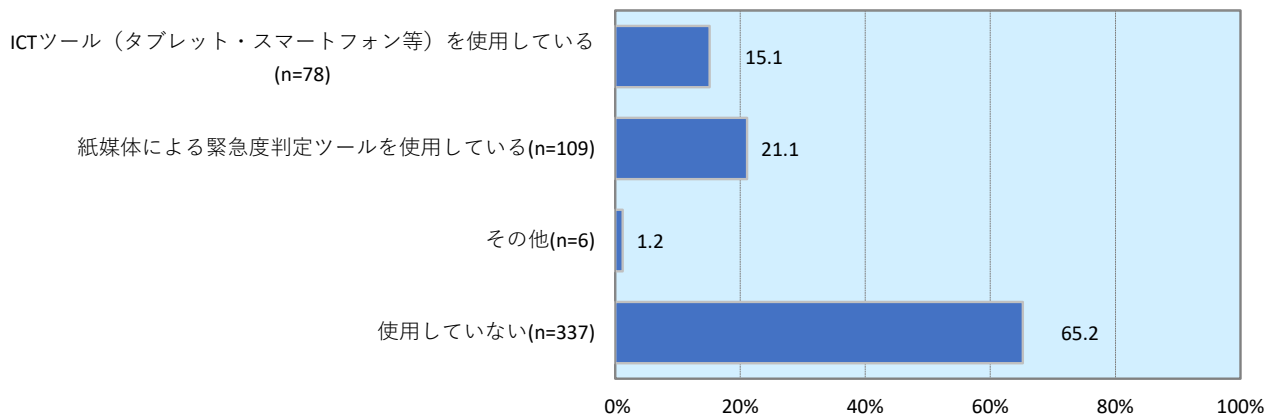


問 29-04 問 29 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。救急現場の緊急度判定時に ICT 等を活用した緊急度判定ツールを使用していますか。該当するものをすべて選んでください。

問29-04 救急現場の緊急度判定時にICT等を活用した緊急度判定ツールを使用しているか

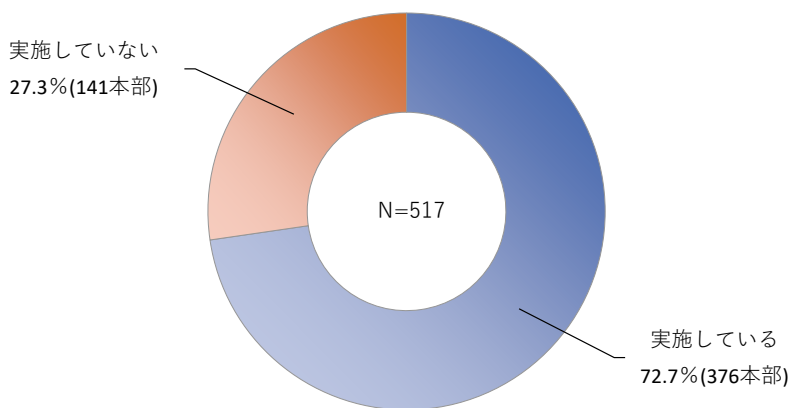
<複数回答>

N = 517



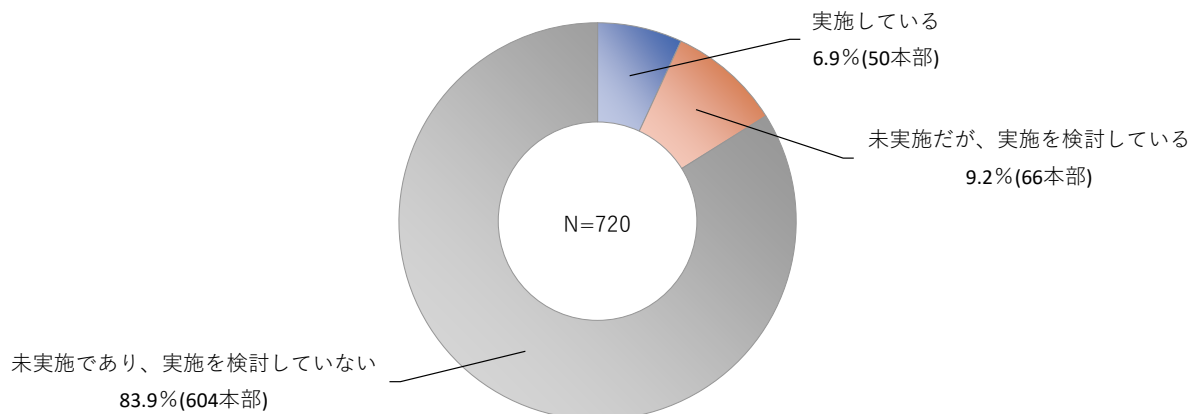
問 29-05 問 29 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。救急現場の緊急度判定に関する教育を実施していますか。1つ選んでください。

問29-05 救急現場の緊急度判定に関する教育を実施しているか<単数回答>



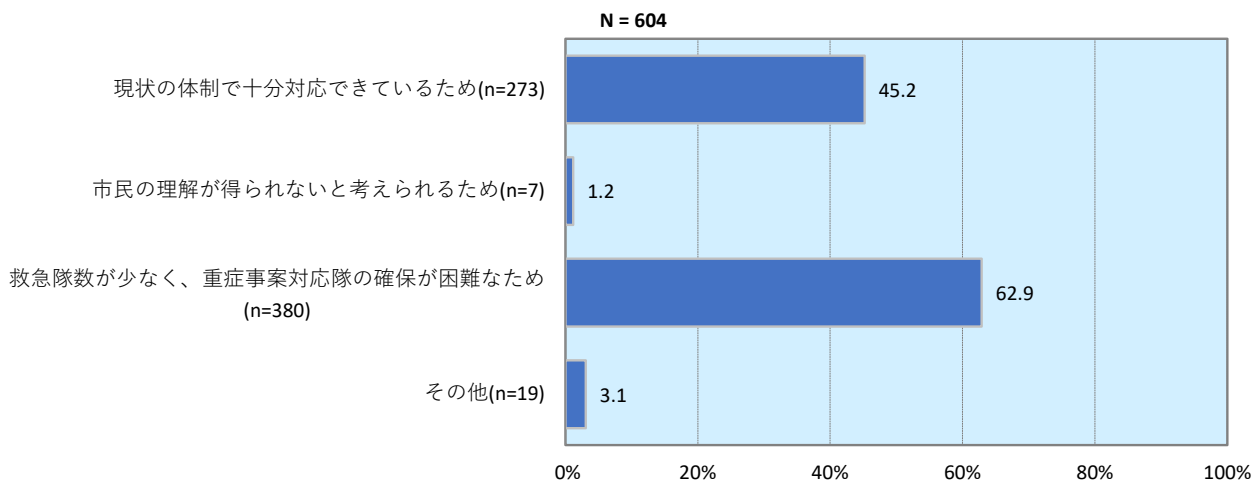
問 30 貴本部では、「重症事案対応隊の確保及び救急隊員の労務管理について（令和6年4月3日付消防救第106号消防庁救急企画室長通知）」において示したように、重症事案対応隊の確保を実施していますか。1つ選んでください。

問30 重症事案対応隊の確保を実施しているか<単数回答>



問 30-01 問 30 で「3. 未実施であり、実施を検討していない」を選択した方にお聞きします。重症事案対応隊の確保の実施を検討していない理由として該当するものをすべて選んでください。

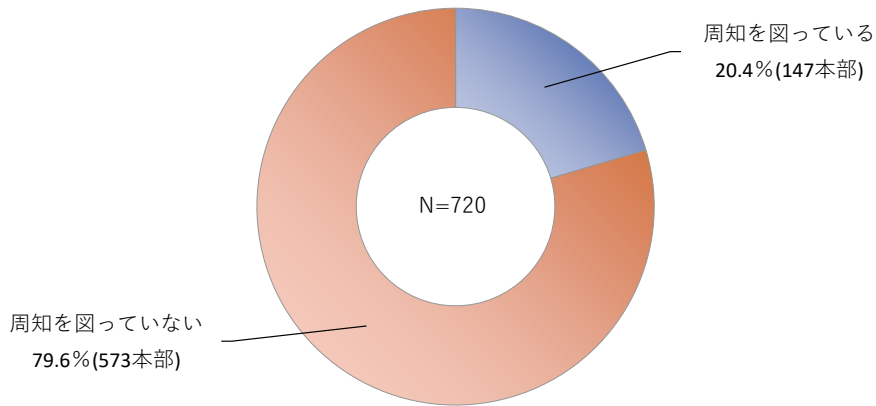
問30-01 重症事案対応隊の確保の実施を検討していない理由<複数回答>



09. 外国人傷病者への対応について

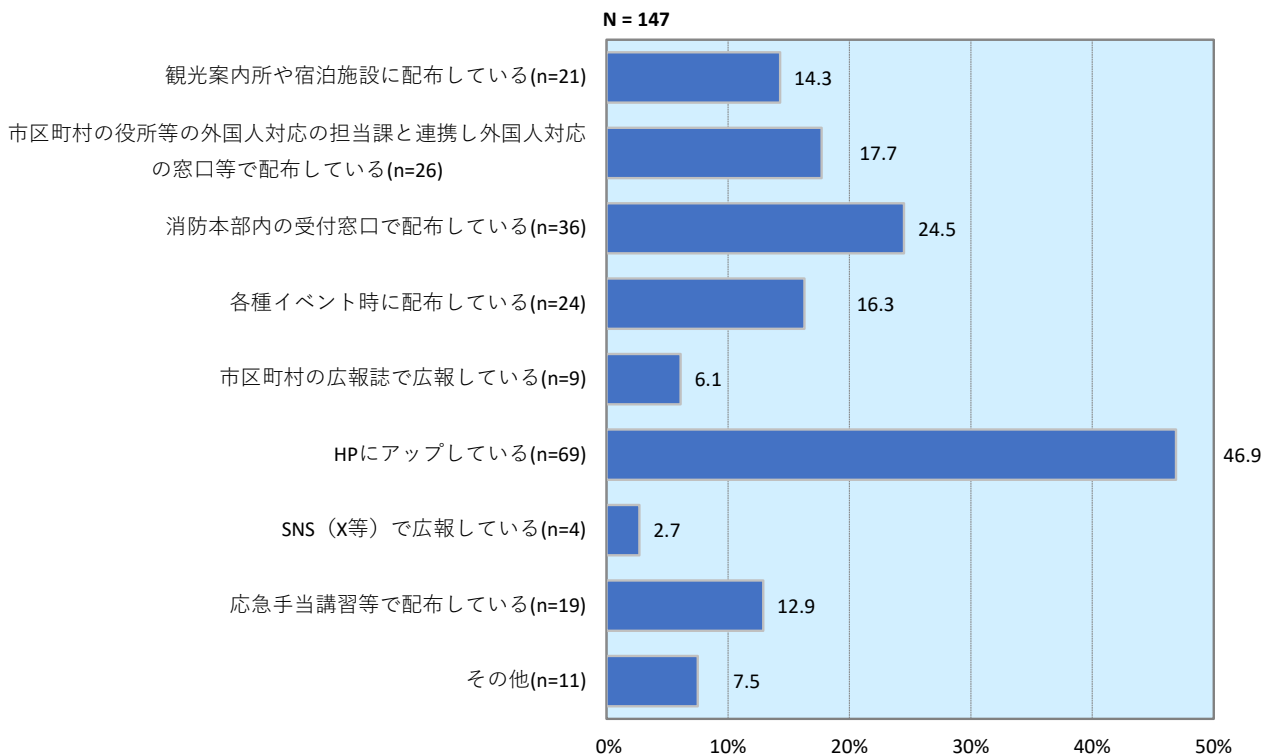
問 31 訪日外国人のための救急車利用ガイドについてお聞きします。貴本部では、救急車利用ガイドについて、周知を図っていますか。1つ選んでください。

問31 訪日外国人のための救急車利用ガイドについて、周知を図っているか<単数回答>



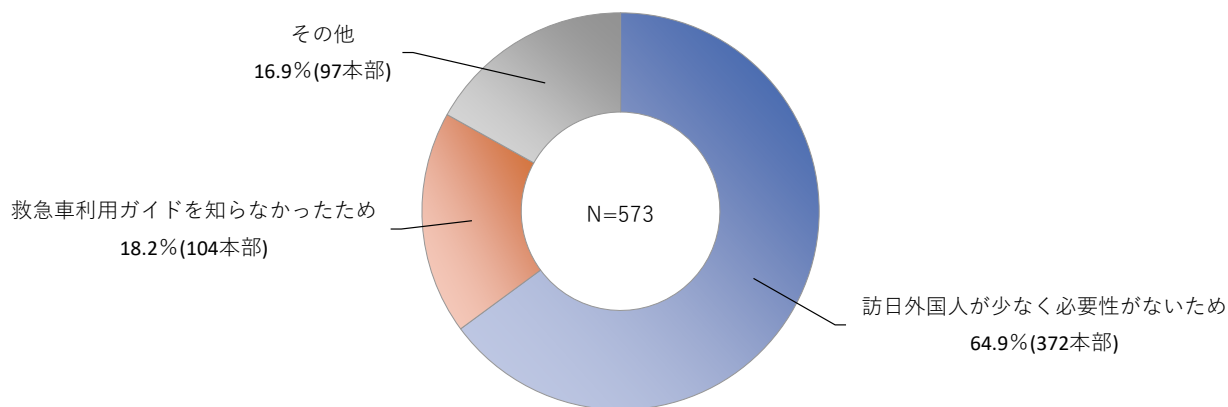
問 31-01 問 31 で「1. 周知を図っている」を選択した方にお聞きします。周知方法について該当するものをすべて選んでください。

問31-01 訪日外国人のための救急車利用ガイドの周知方法<複数回答>



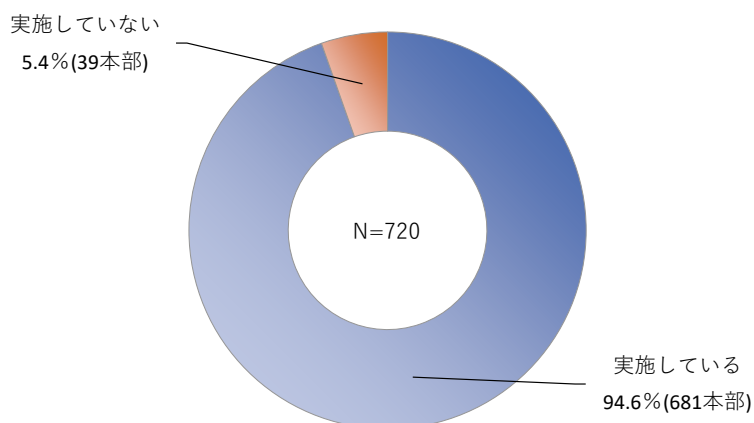
問 31-02 問 31 で「2. 周知を図っていない」を選択した方にお聞きします。周知を図っていない理由を1つ選んでください。

問31-02 救急車利用ガイドの周知を図っていない理由<単数回答>



問 32 救急隊の外国語対応についてお聞きします。貴本部では、傷病者と外国語での円滑なコミュニケーションを図るための取組を実施していますか。1つ選んでください。

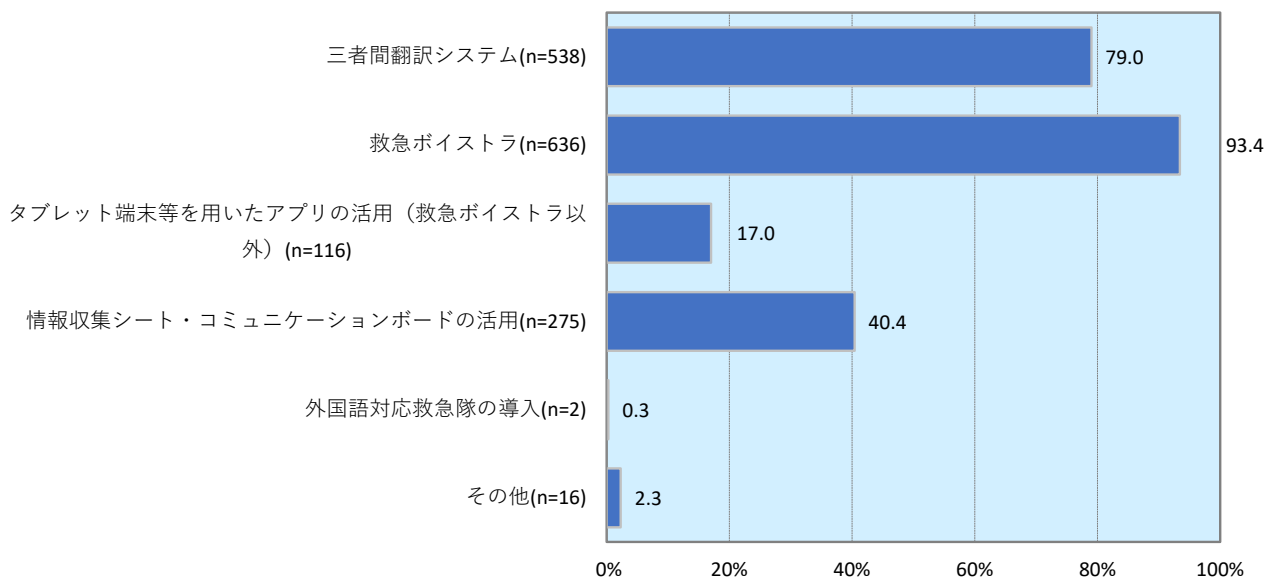
問32 傷病者と外国語での円滑なコミュニケーションを図るための取組を実施しているか<単数回答>



問 32-01 問 32 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。貴本部では、どのような取組を実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

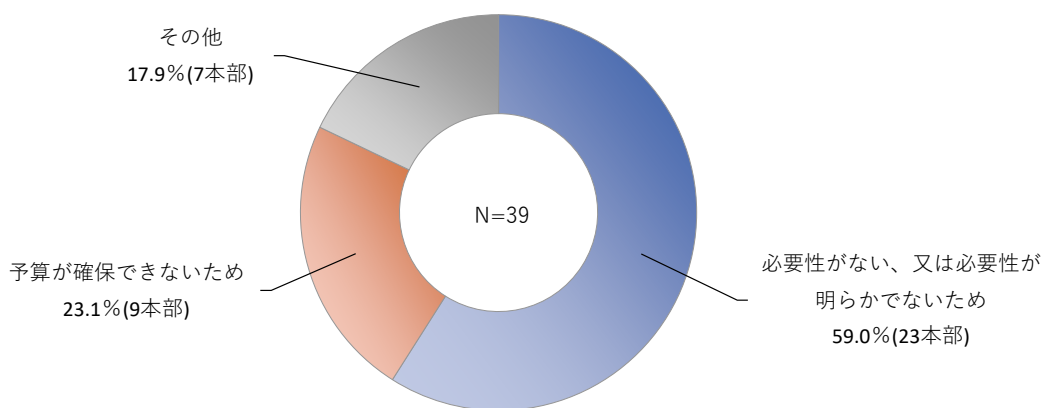
問32-01 傷病者と外国語での円滑なコミュニケーションを図るための取組内容<複数回答>

N = 681



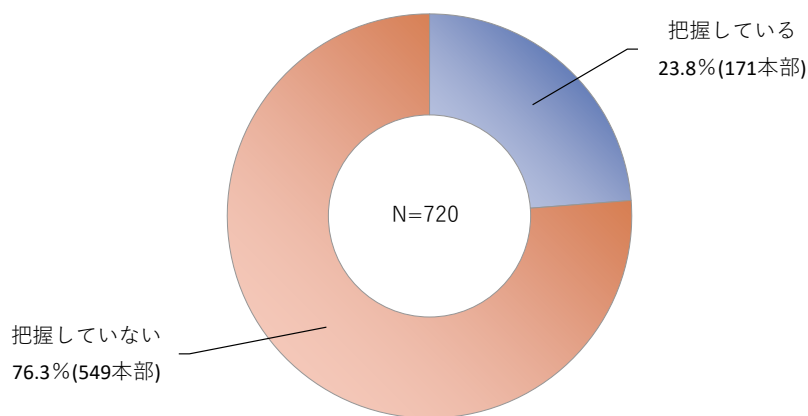
問 32-02 問 32 で「2. 実施していない」を選択した方にお聞きします。実施していない理由を1つ選んでください。

問32-02 実施していない理由<単数回答>



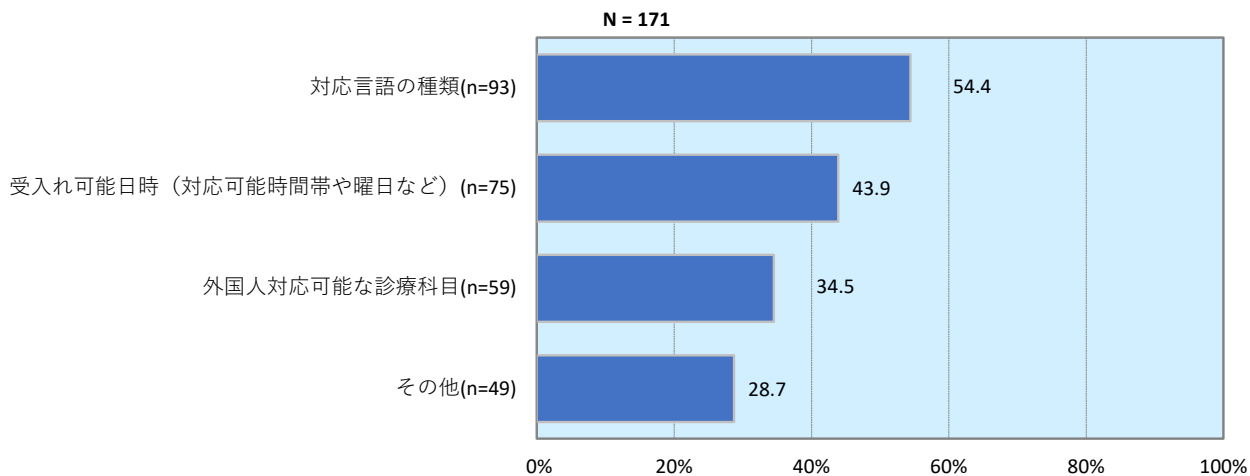
問 33 貴本部では、外国人傷病者の対応が可能な医療機関を把握していますか。1つ選んでください。

問33 外国人傷病者の対応が可能な医療機関を把握しているか<単数回答>



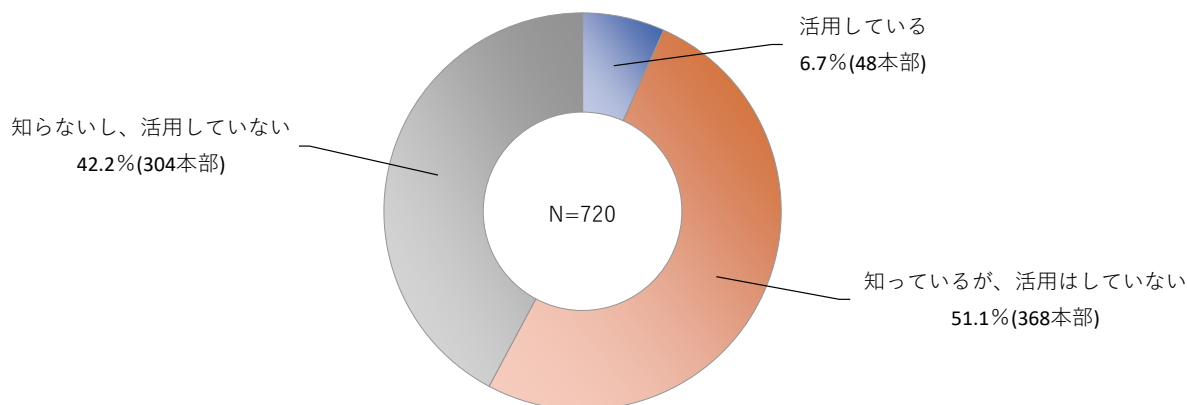
問 33-01 問 33 で「1. 把握している」を選択した方にお聞きします。具体的に把握している内容をすべて選んでください。

問33-01 具体的に把握している内容<複数回答>



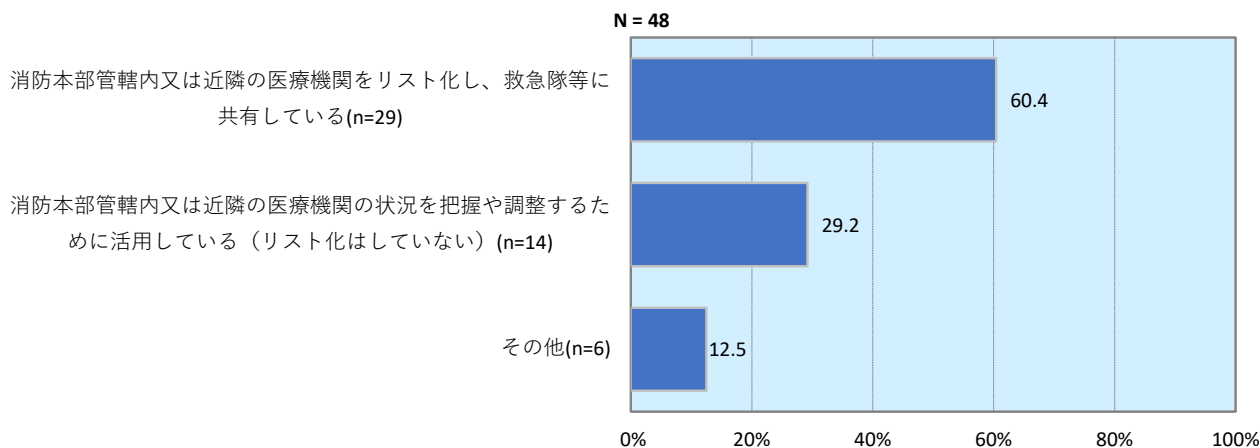
問 34 貴本部では、外国人患者を受け入れる医療機関の情報を取りまとめたリスト※を活用していますか。1つ選んでください。

問34 外国人患者を受け入れる医療機関の情報を取りまとめたリストを活用しているか<単数回答>



問 34-01 問 34 で「1. 活用している」を選択した方にお聞きします。活用方法について、該当するものをすべて選んでください。

問34-01 外国人患者を受け入れる医療機関の情報を取りまとめたリストの活用方法
<複数回答>

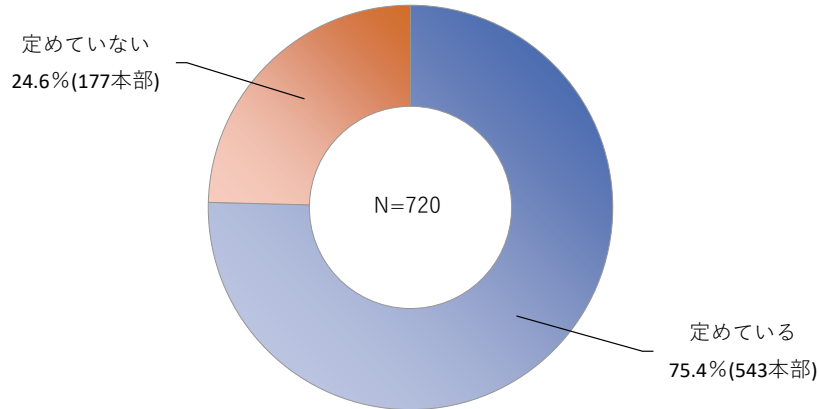


※外国人傷病者に円滑に対応するための消防機関における取組の推進について（令和2年3月27日付消防庁救急企画室）通知を发出し、各消防機関に対し、厚生労働省と観光庁により作成された「外国人患者を受け入れる医療機関の情報を取りまとめたリスト」を参考に、あらかじめ救急現場で活用可能な医療機関リストを作成することや外国人傷病者への対応が可能な医療機関とのコミュニケーションを図ること等について、地域の実情に応じた十分な検討を行い、円滑な医療機関選定及び救急搬送につなげる取組を図るようお願いしているところです。

10. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について

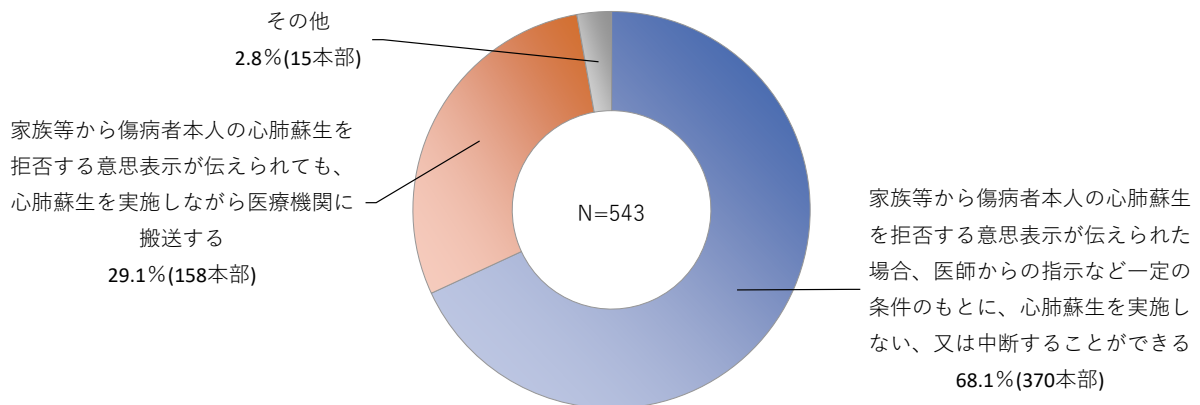
問 35 傷病者は心肺停止状態であるが、家族等の関係者から傷病者本人が心肺蘇生を望んでいないとの意思を示された場合について、何らかの対応方針を定めていますか。1つ選んでください。※

問35 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について、対応方針を定めているか
<単数回答>



問 35-01 問 35 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。その内容はどのようなものですか。1つ選んでください。

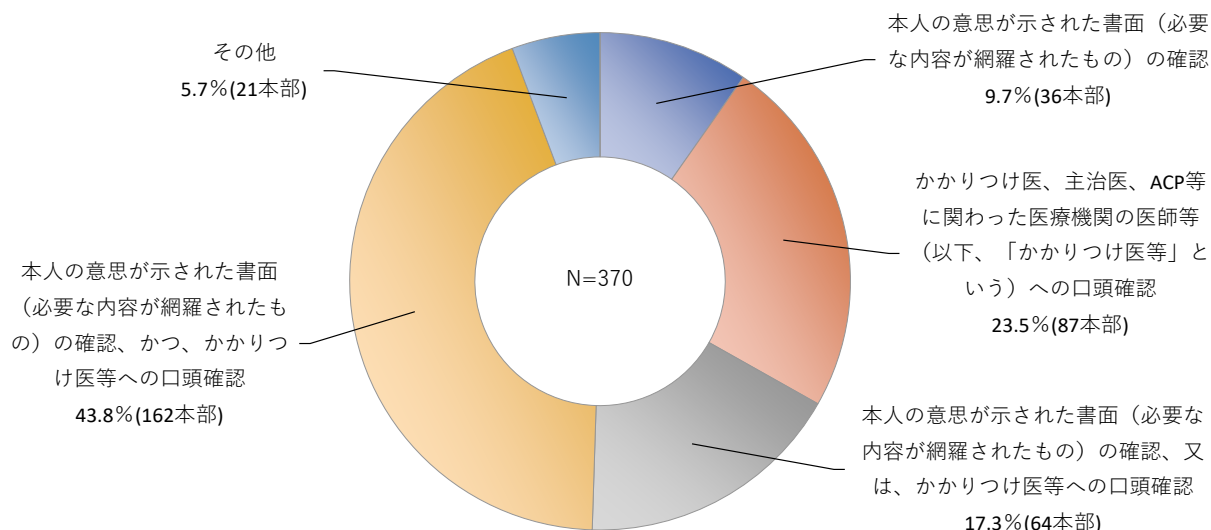
問35-01 対応方針の内容<単数回答>



※対応方針が文書化されていなくても、消防本部としての見解が統一されている場合は、「1. 定めている」を選択。

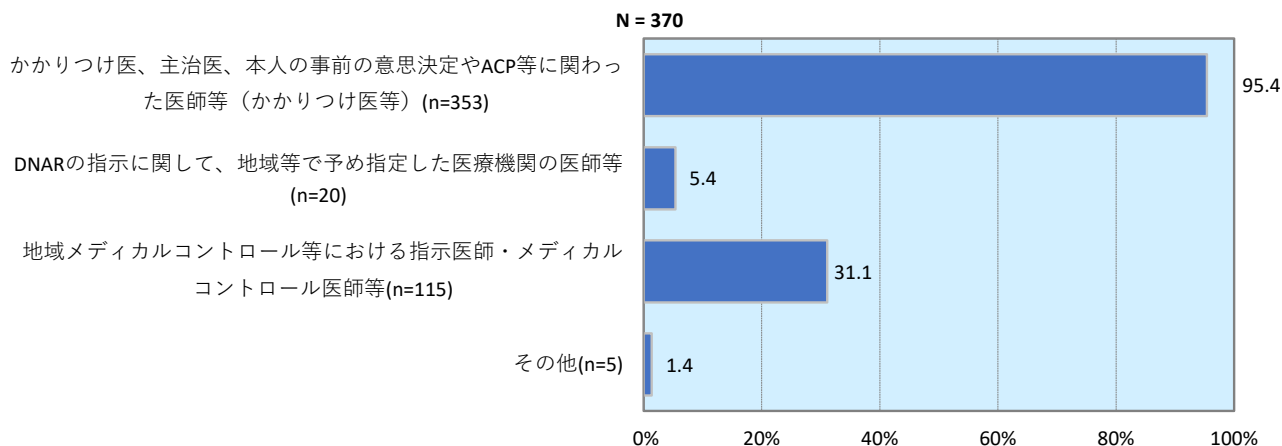
問 35-02 問 35-01 で「1. 家族等から傷病者本人の心肺蘇生を拒否する意思表示が伝えられた場合、医師からの指示など一定の条件のもとに、心肺蘇生を実施しない、又は中断することができる」を選択した方にお聞きします。心肺蘇生を望まないことが本人の意思であると判断するため（蘇生中止の判断は除く）に、何を確認することとしていますか。対応方針で定めている内容として最も当てはまるものを、1つ選んでください。

問35-02 心肺蘇生を望まないことが本人の意思であると判断するため（蘇生中止の判断は除く）に、何を確認することとしているか<単数回答>

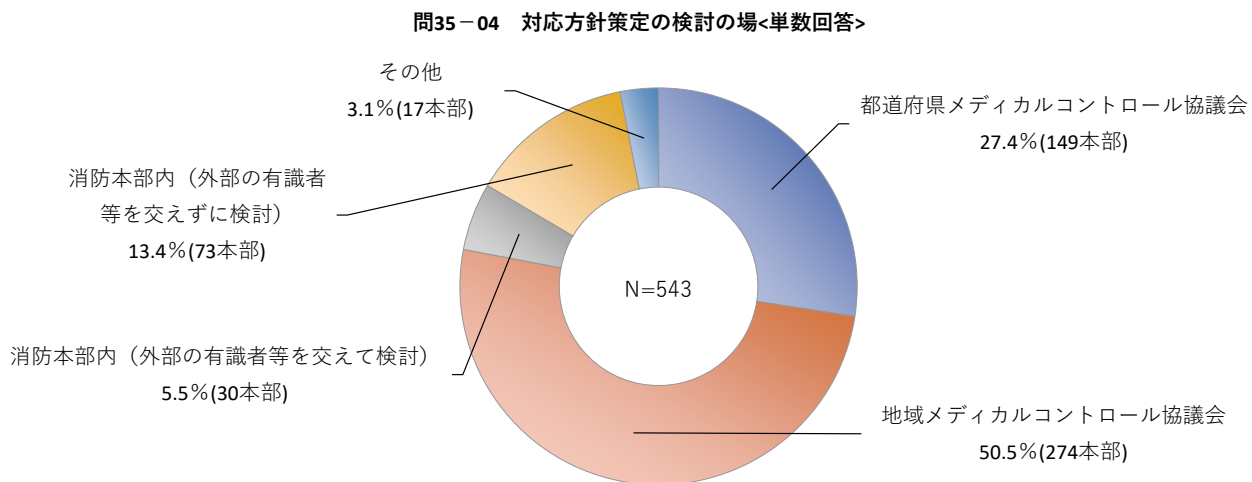


問 35-03 問 35-01 で「1. 家族等から傷病者本人の心肺蘇生を拒否する意思表示が伝えられた場合、医師からの指示など一定の条件のもとに、心肺蘇生を実施しない、又は中断することができる」を選択した方にお聞きします。心肺蘇生の中断等を判断するための指示要請先として、貴本部の対応方針の中で想定されている要請先として該当するものを選択肢からすべて選んでください。

問35-03 心肺蘇生の中断等を判断するための指示要請先として、対応方針の中で想定されている要請先<複数回答>



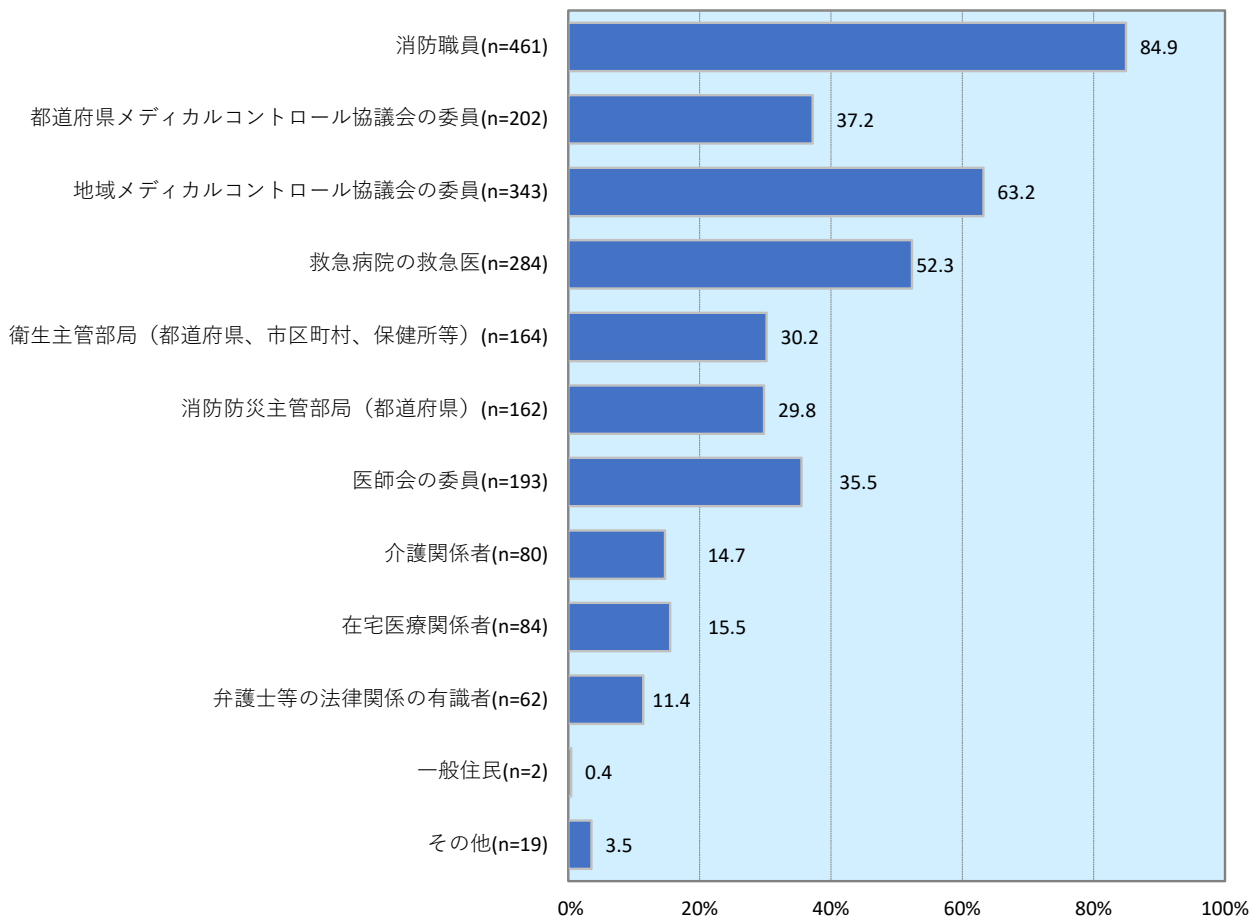
問 35-04 問 35 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。策定の検討はどのような場（会議体）で実施されましたか。1つ選んでください。



問 35-05 問 35 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。対応方針の検討の場に参加したのはどのような職種の方ですか。会議体の構成員について該当するものをすべて選んでください。

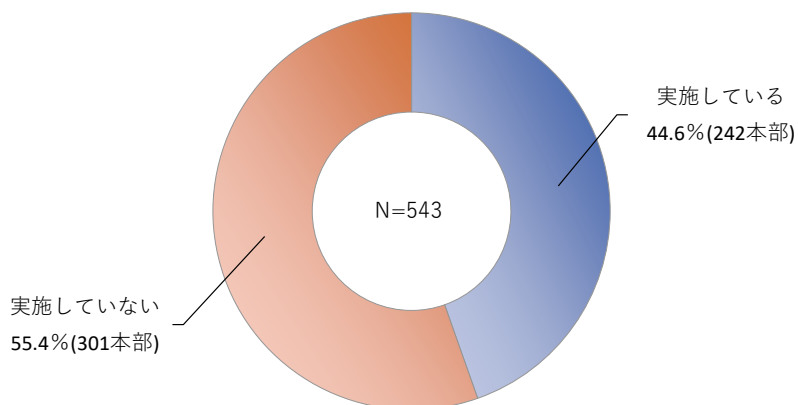
問35-05 対応方針の検討の場に参加した人の職種等<複数回答>

N = 543



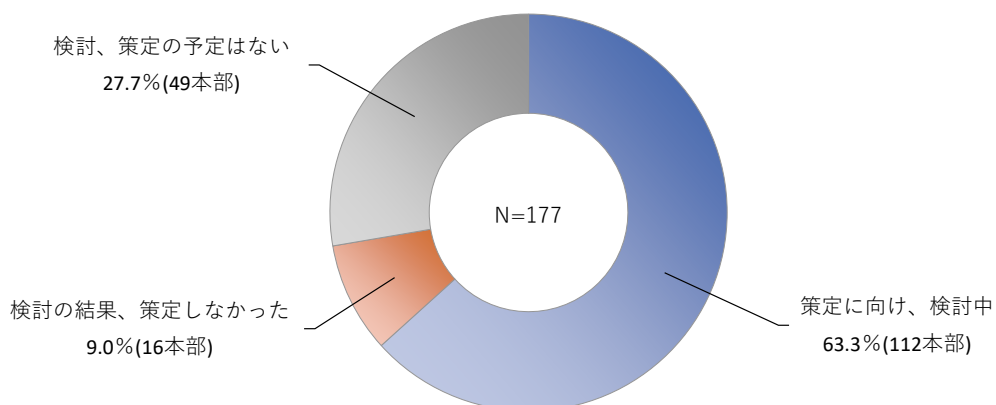
問 35-06 問 35 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。対応方針の見直しは実施していますか。1つ選んでください。

問35-06 対応方針の見直しを実施しているか<単数回答>

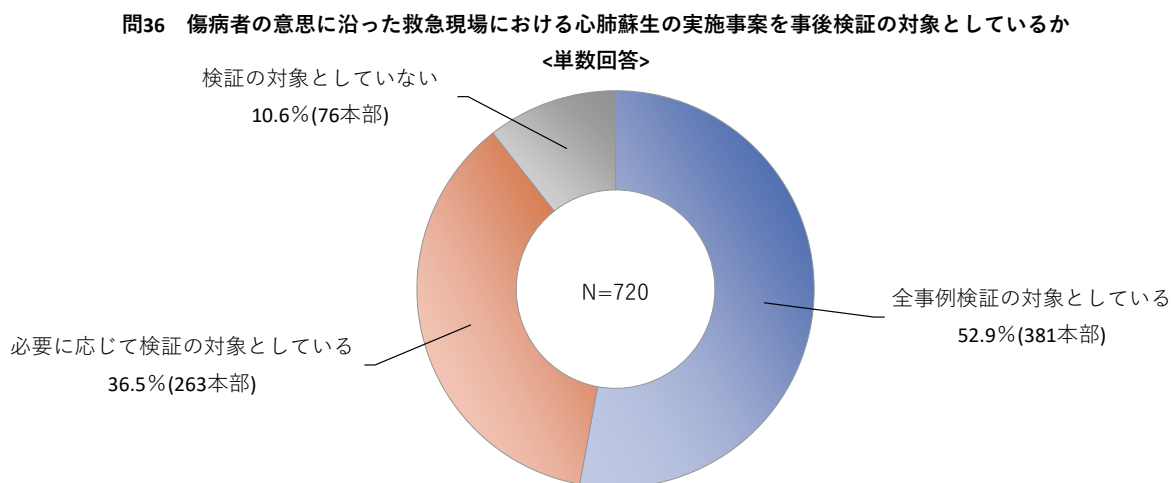


問 35-07 問 35 で「2. 定めていない」を選択した方にお聞きします。今後、方針策定の予定はありますか。1つ選んでください。

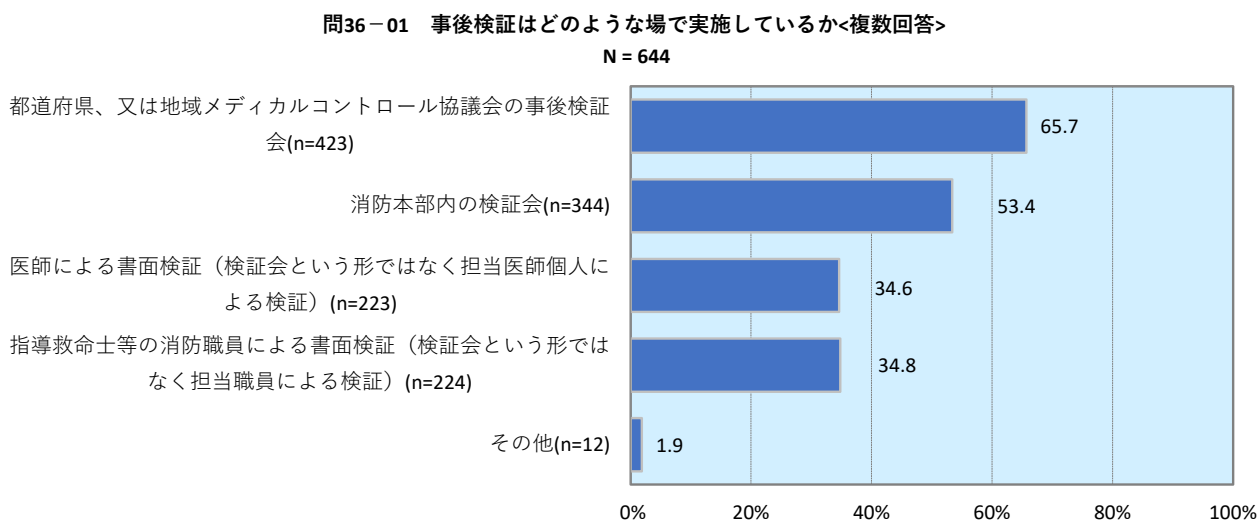
問35-07 今後、方針策定の予定はあるか<単数回答>



問 36 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施に関する事案を事後検証の対象としていますか。1つ選んでください。



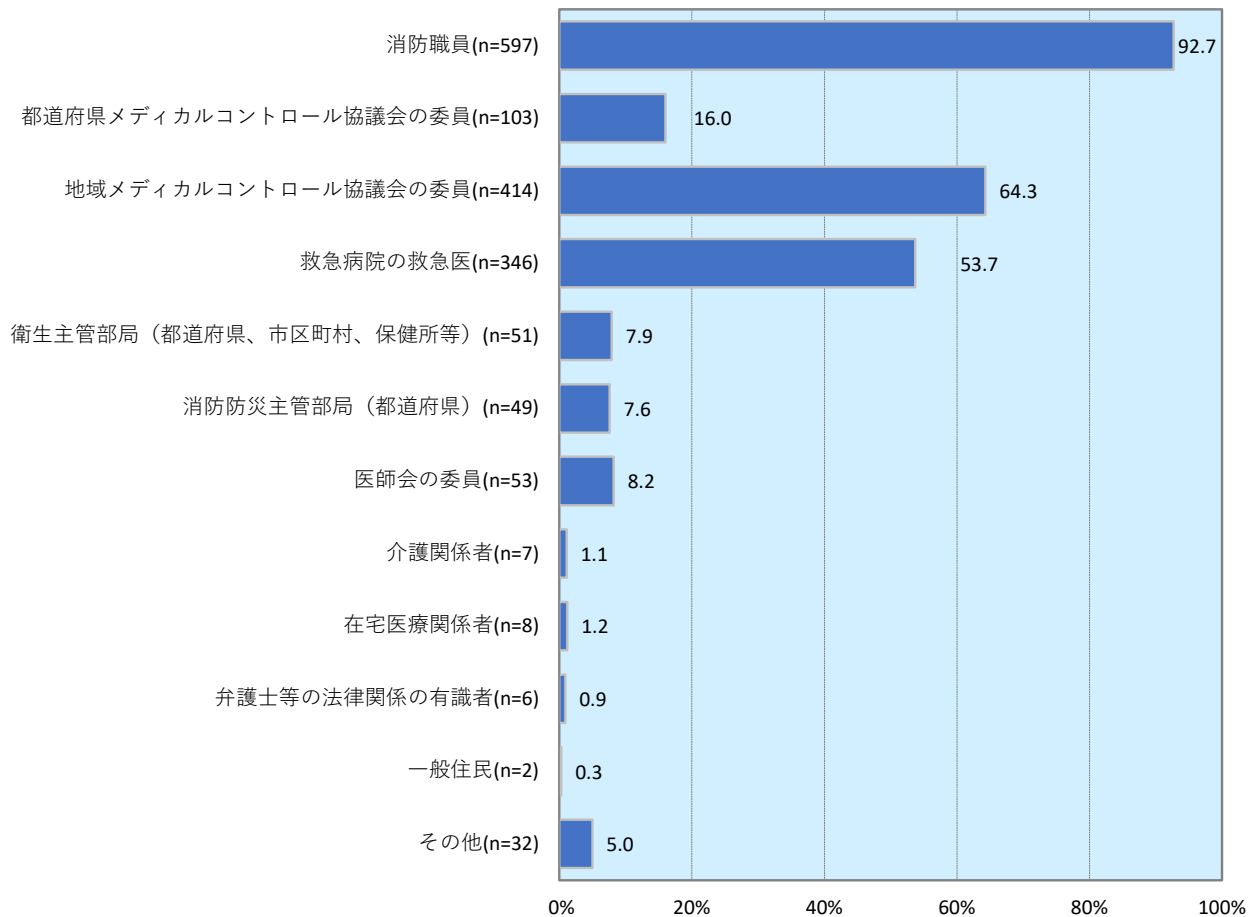
問 36-01 問 36 で「1. 全事例検証の対象としている」もしくは「2. 必要に応じて検証の対象としている」を選択した方にお聞きします。事後検証はどのような場で実施していますか。該当するものをすべて選んでください。



問 36-02 問 36 で「1. 全事例検証の対象としている」もしくは「2. 必要に応じて検証の対象としている」を選択した方にお聞きします。検証の場に参加したのはどのような職種の方ですか。該当するものをすべて選んでください。

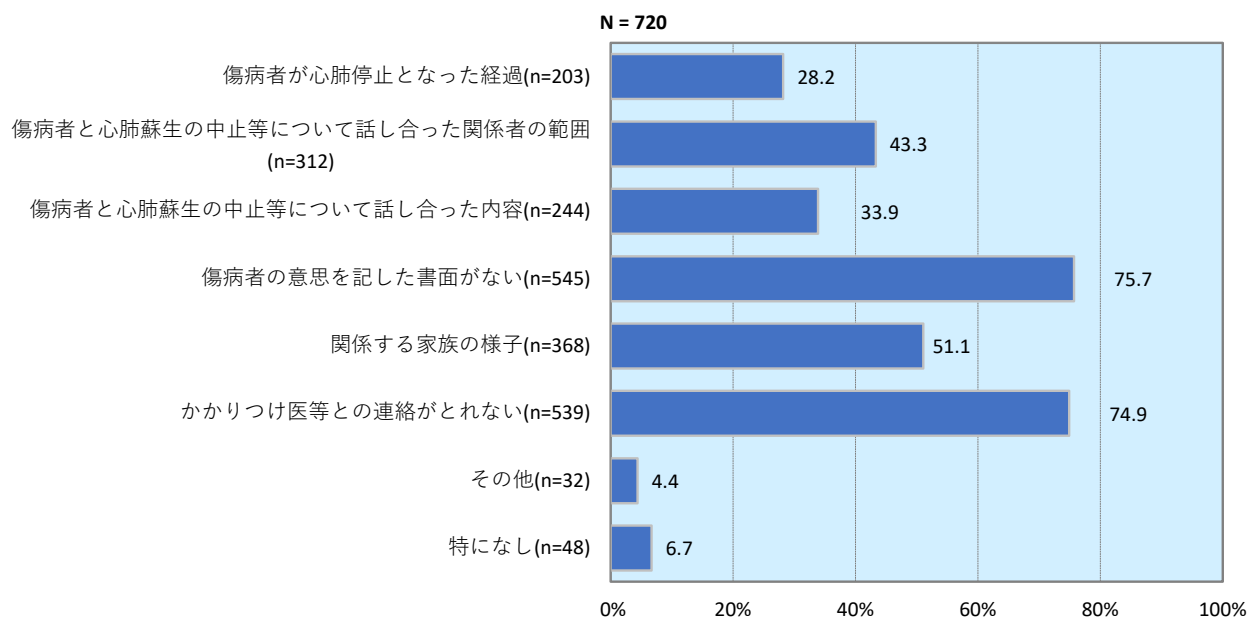
問36-02 事後検証の場に参加した人の職種等<複数回答>

N = 644



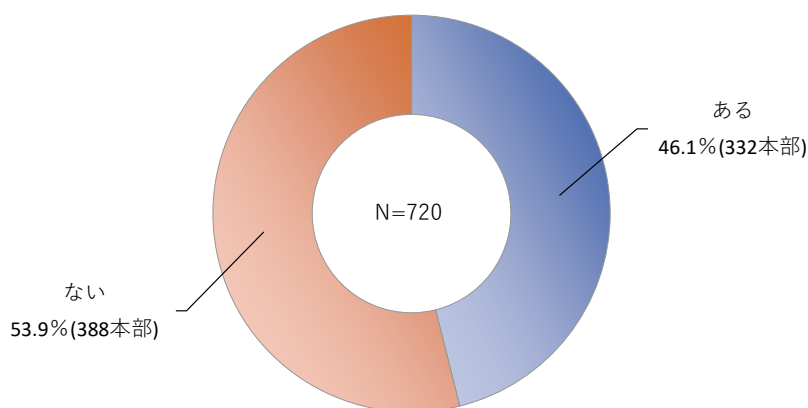
問 37 救急隊の対応について、傷病者の心肺蘇生の中止等の意思が救急隊に伝わる過程で困った内容はどのようなものですか。該当するものをすべて選んでください。

問37 傷病者の心肺蘇生の中止等の意思が救急隊に伝わる過程で困った内容<複数回答>



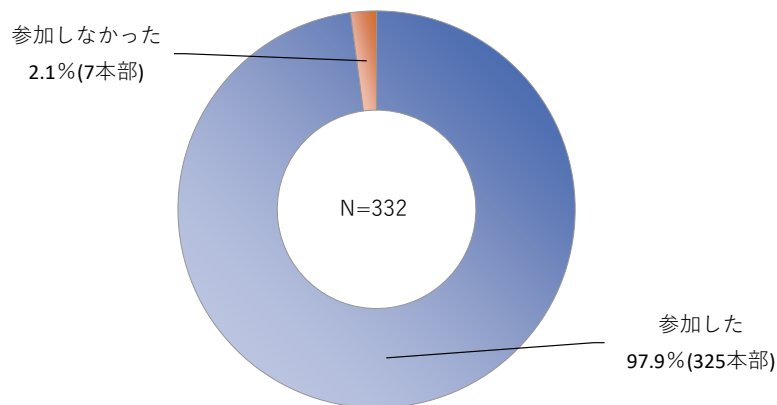
問 38 市区町村（衛生主管部局、福祉部局等）からの ACP、地域包括ケアへシステムの議論の場への参加の求めがありますか。1つ選んでください。

問38 市区町村（衛生主管部局・福祉部局等）からのACP、地域包括ケアシステムの議論の場への参加の求めがあるか<単数回答>



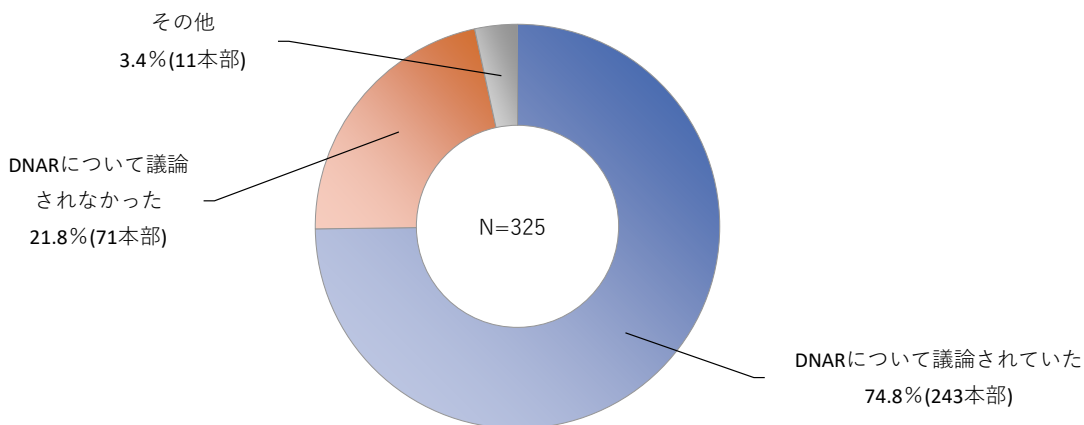
問 38-01 問 38 で「1. ある」を選択した方にお聞きします。ACP、地域包括ケアシステムへの議論の場に参加されましたか。1つ選んでください。

問38-01 ACP、地域包括ケアシステムへの議論の場に参加したか<単数回答>



問 38-02 問 38-01 で「1. 参加した」を選択した方にお聞きします。DNARについて議論されていましたか。1つ選んでください。

問38-02 DNARについて議論されていたか<単数回答>

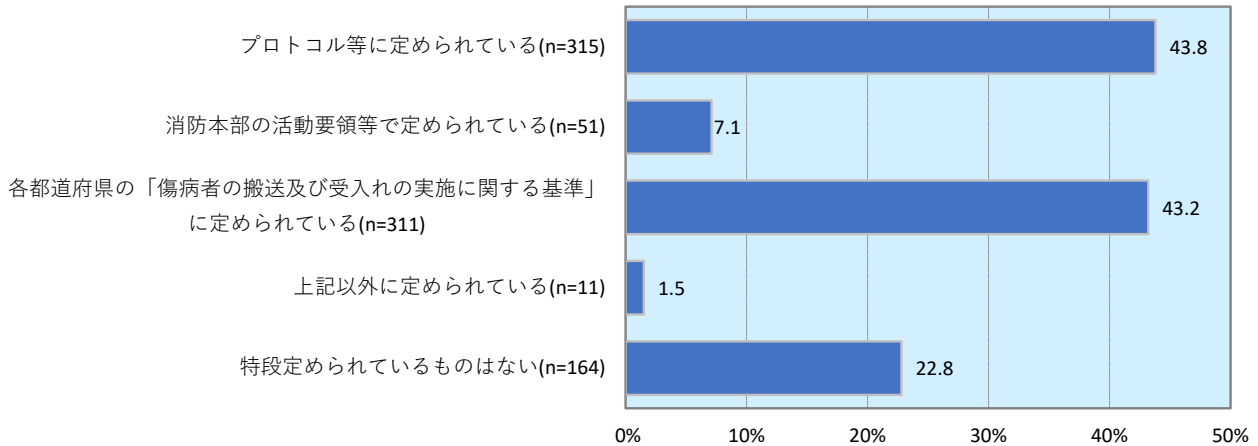


11. 脳卒中・循環器疾患に対する対応について

問 39 貴本部では、心臓病を疑う傷病者に対する観察項目等について何らかに定められていますか。該当するものをすべて選んでください。

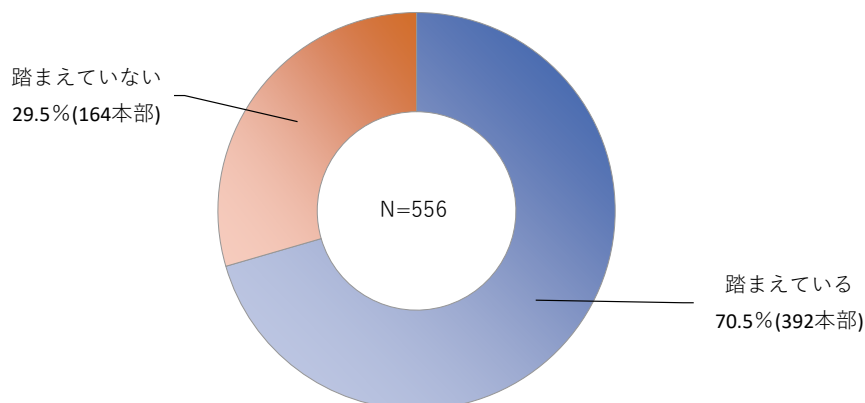
問39 心臓病を疑う傷病者に対する観察項目等について何らかに定めているか<複数回答>

N = 720



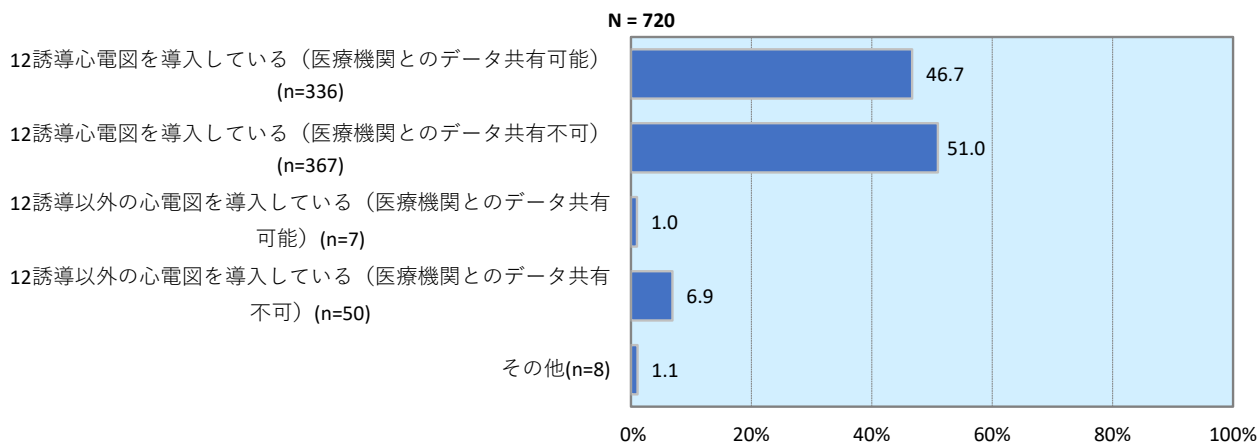
問 39-01 問 39 で「1. プロトコル等に定められている」、「2. 消防本部の活動要領等で定められている」、「3. 各都道府県の『傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準』に定められている」、「4. 上記以外に定められている」のいずれかを選択した方にお聞きします。定められている内容については、令和2年3月27日付け消防救第83号消防庁救急企画室長通知の内容も踏まえていますか（頸静脈怒張、起座呼吸等）。1つ選んでください。

問39-01 定められている内容については、令和2年3月27日付け消防救第83号消防庁救急企画室長通知の内容も踏まえているか<単数回答>



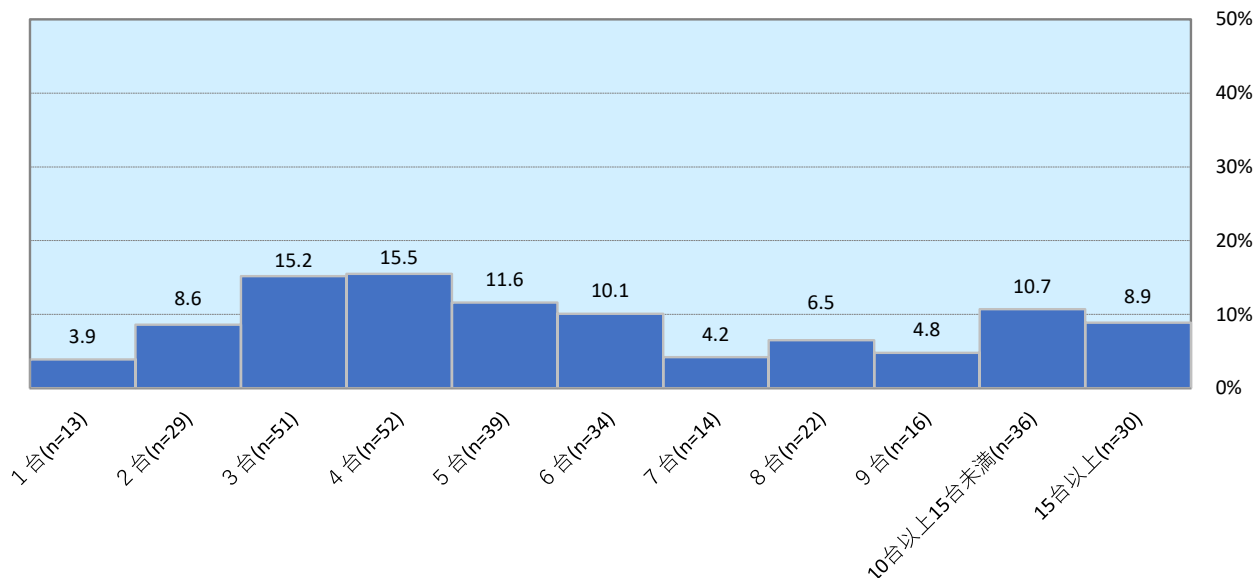
問 40 貴本部では、12 誘導心電図を導入していますか。また現場において心電図データを医療機関と共有するシステムを活用していますか。該当するものをすべて選んでください。

問40 12誘導心電図を導入しているか、また現場において心電図データを医療機関と共有するシステムを活用しているか<複数回答>



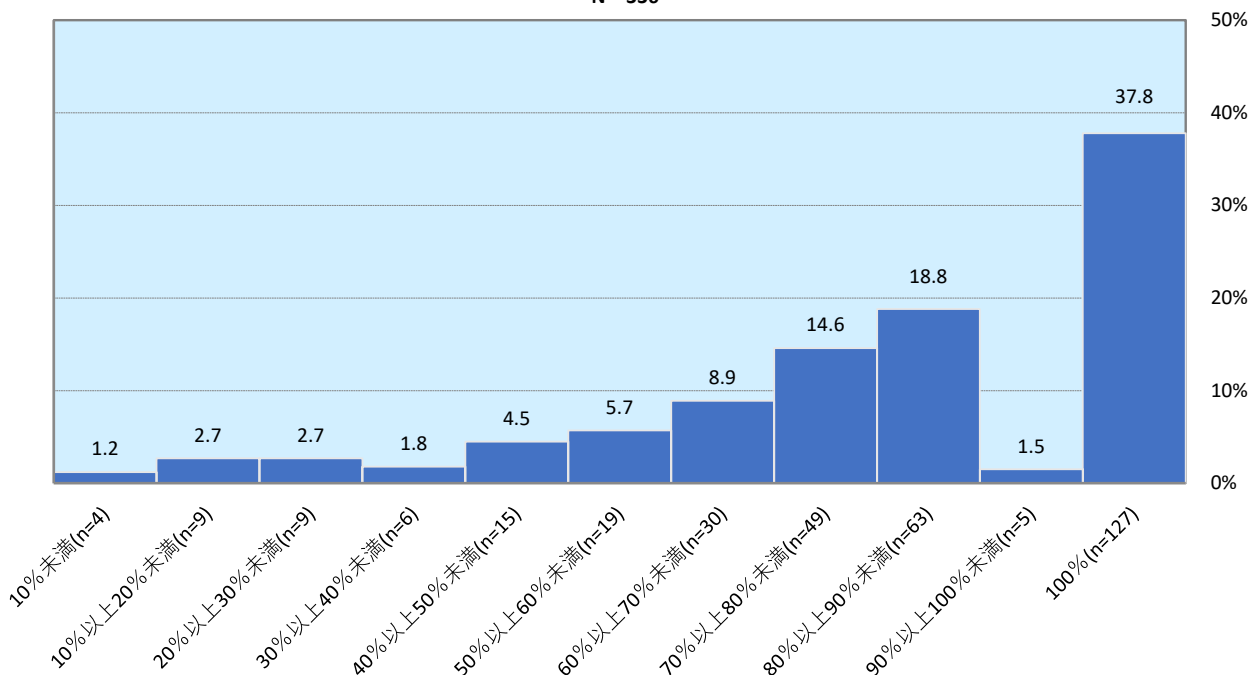
問 40（1） 問 40 で「1. 12 誘導心電図を導入している（医療機関とのデータ共有可能）」を選択した方にお聞きします。導入している救急車の台数をご記入ください。（半角数字、単位：台）

問40（1） 医療機関とのデータ共有可能である12誘導心電図を導入している救急車の台数<数量回答>
N = 336



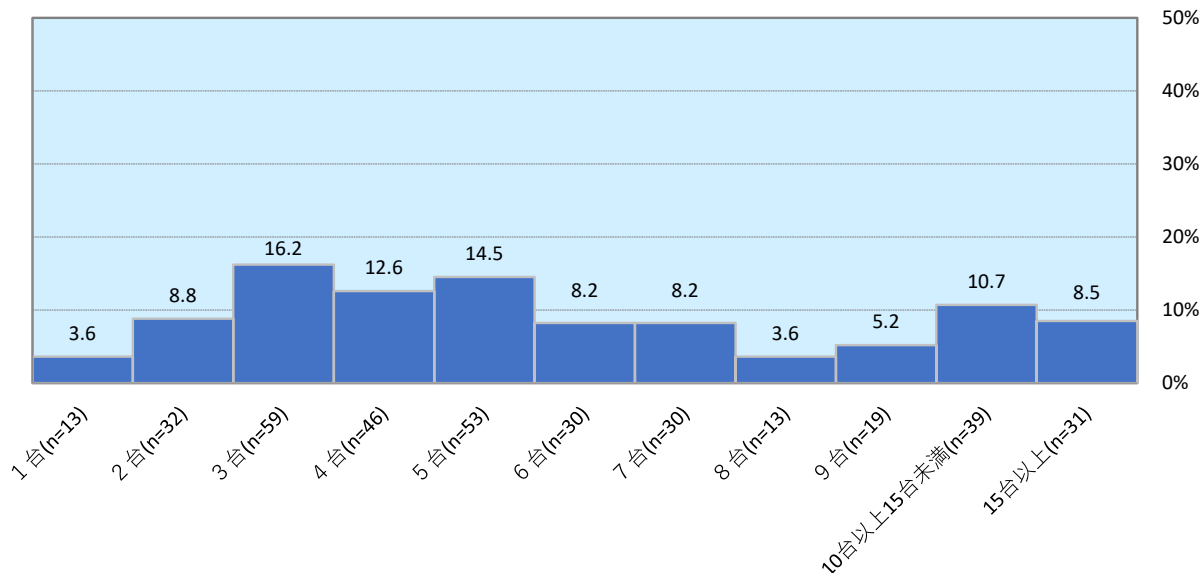
※各消防本部における常用救急車及び非常用救急車の合計台数に占める割合 (%)

問40（1） 医療機関とのデータ共有可能である12誘導心電図を導入している救急車が、常用救急車及び非常用救急車の合計に占める割合<数量回答>
N = 336



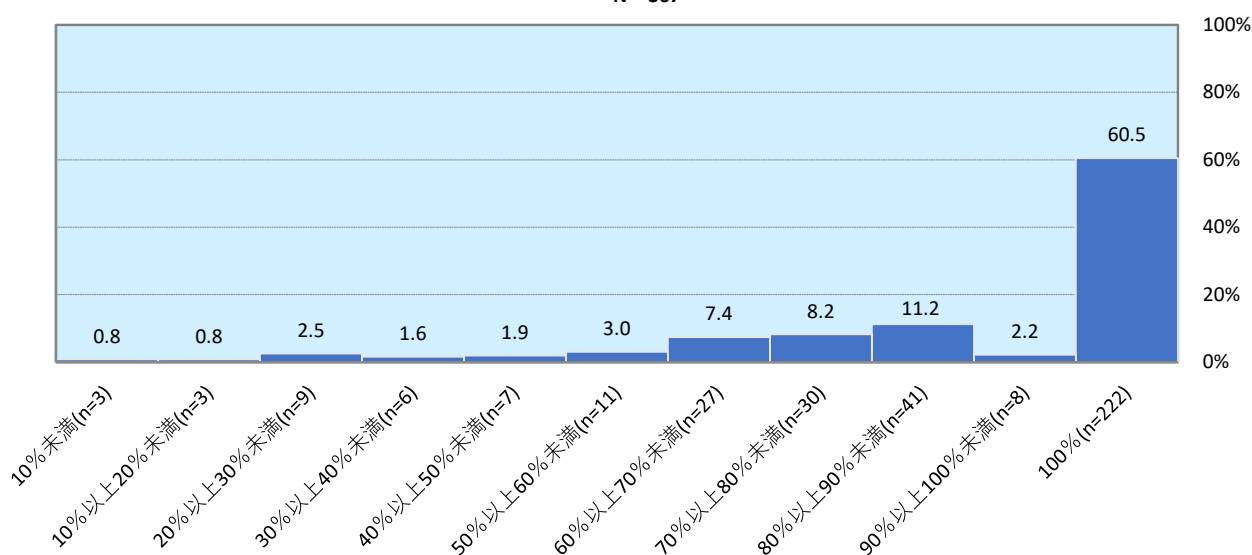
問 40（2） 問 40 で「2. 12 誘導心電図を導入している（医療機関とのデータ共有不可）」を選択した方にお聞きします。導入している救急車の台数をご記入ください。（半角数字、単位：台）

問40（2） 医療機関とのデータ共有不可である12誘導心電図を導入している救急車の台数<数量回答>
N = 365



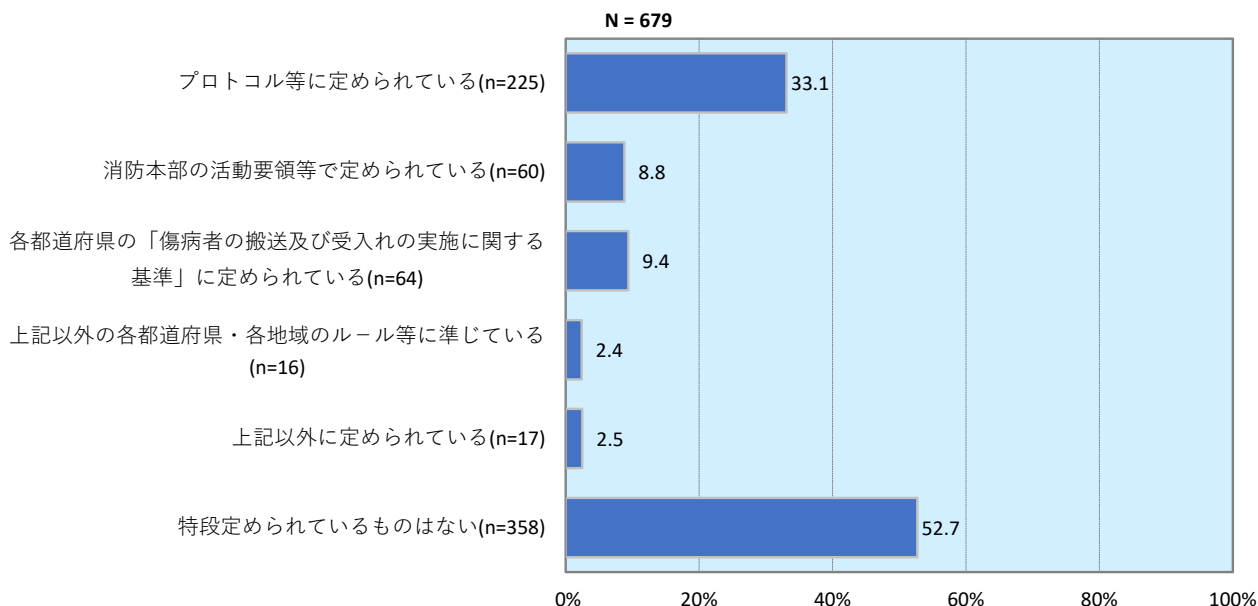
※各消防本部における常用救急車及び非常用救急車の合計台数に占める割合 (%)

問40（2） 医療機関とのデータ共有不可である12誘導心電図を導入している救急車が、常用救急車及び非常用救急車の合計に占める割合<数量回答>
N = 367



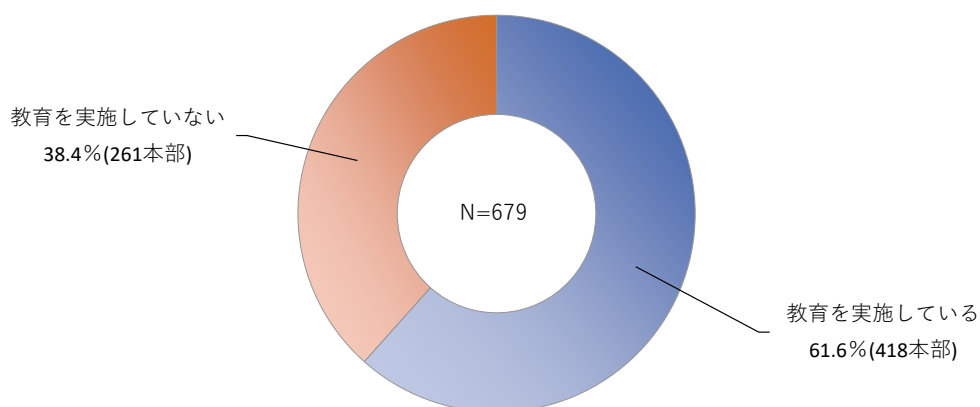
問 40-01 問 40 で、「1. 12 誘導心電図を導入している（医療機関とのデータ共有可能）」もしくは「2. 12 誘導心電図を導入している（医療機関とのデータ共有不可）」を選択した方にお聞きします。貴本部では、12 誘導心電図測定を行う場合の基準を定めていますか。該当するものをすべて選んでください。

問40-01 心電図測定を行う場合の基準を定めているか<複数回答>

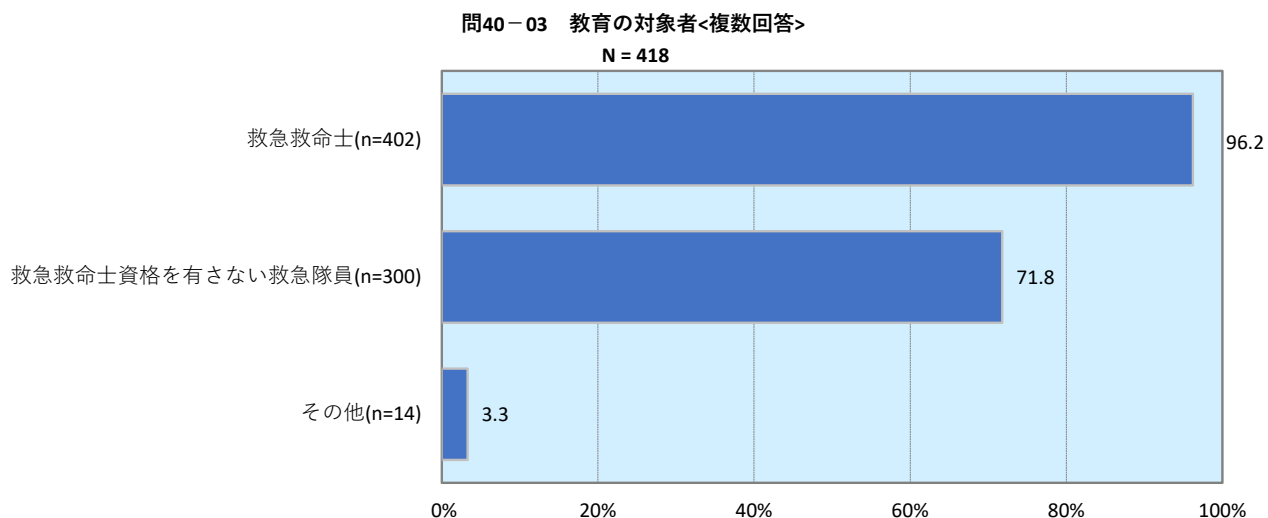


問 40-02 問 40 で「1. 12 誘導心電図を導入している（医療機関とのデータ共有可能）」もしくは「2. 12 誘導心電図を導入している（医療機関とのデータ共有不可）」を選択した方にお聞きします。12 誘導心電図の測定及び評価にあたっての教育を実施していますか。1 つ選んでください。

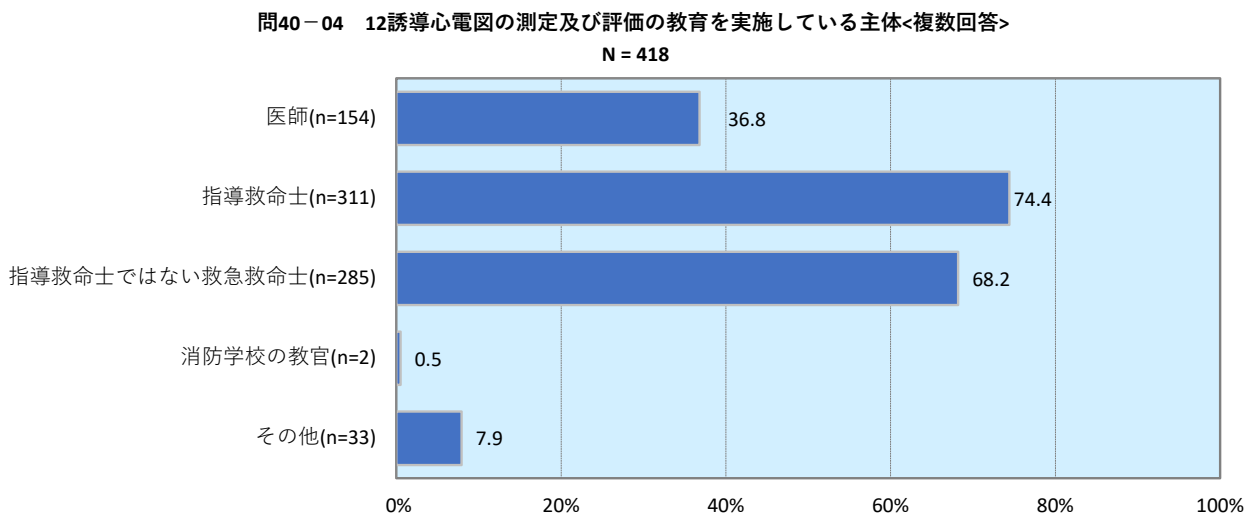
問40-02 12誘導心電図の測定及び評価にあたっての教育を実施しているか<単数回答>



問 40-03 問 40-02 で「1. 教育を実施している」を選択した方にお聞きします。教育の対象者として、該当するものをすべて選んでください。

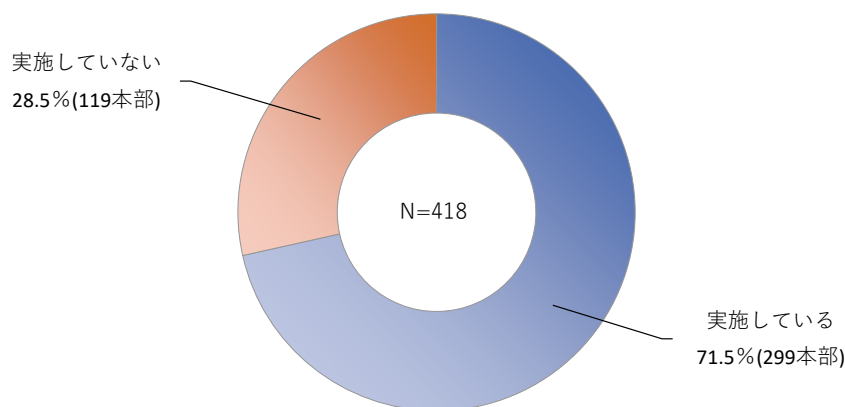


問 40-04 問 40-02 で「1. 教育を実施している」を選択した方にお聞きします。12誘導心電図の測定及び評価の教育を実施している主体として、該当するものをすべて選んでください。



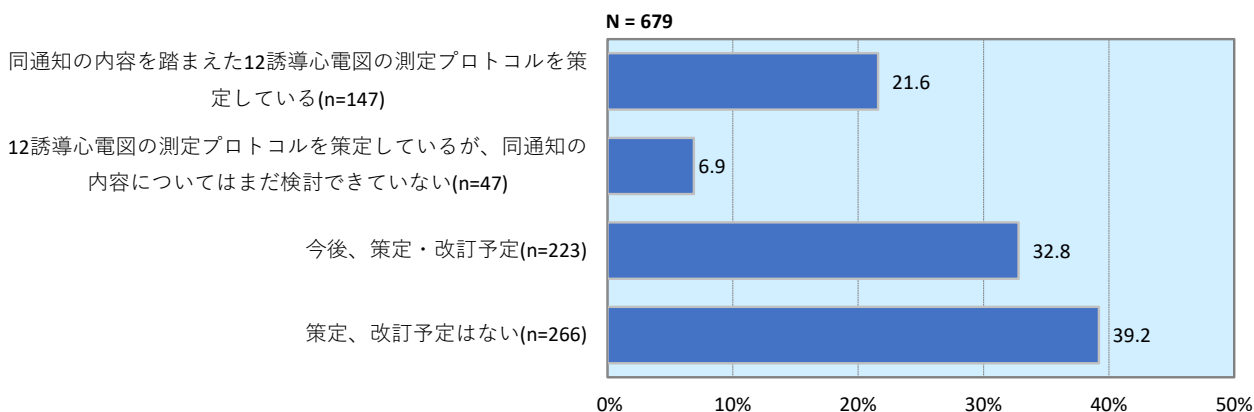
問 40-05 問 40-02 で「教育を実施している」を選択した方にお聞きします。救急救命士の病院実習では、12誘導心電図の測定及び評価について、実習を実施していますか。1つ選んでください。

問40-05 救急救命士の病院実習で、12誘導心電図の測定及び評価の実習を実施しているか<単数回答>



問 40-06 問 40 で「1. 12誘導心電図を導入している（医療機関とのデータ共有可能）」もしくは「2. 12誘導心電図を導入している（医療機関とのデータ共有不可）」を選択した方にお聞きします。貴本部では、「12誘導心電図の測定プロトコルについて（通知）」（令和6年3月28日付け消防庁救急企画室長通知）で示された12誘導心電図の測定プロトコルの内容を踏まえたプロトコル策定・改訂等を実施していますか。該当するものをすべて選んでください。

問40-06 令和6年3月28日付け消防庁救急企画室長通知
「12誘導心電図の測定プロトコルについて（通知）」で示された12誘導心電図の測定プロトコルの内容を踏まえたプロトコル策定・改訂等を実施しているか<複数回答>

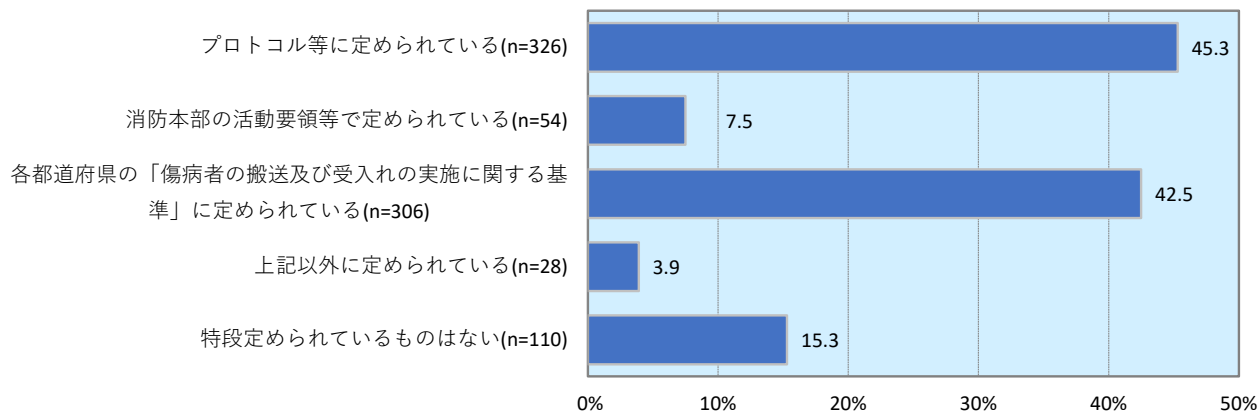


問 41 貴本部では、脳卒中を疑う傷病者に対する観察項目等について何らかに定められていますか。該当するものをすべて選んでください。

問41 脳卒中を疑う傷病者に対する観察項目等について何らかに定められているか

<複数回答>

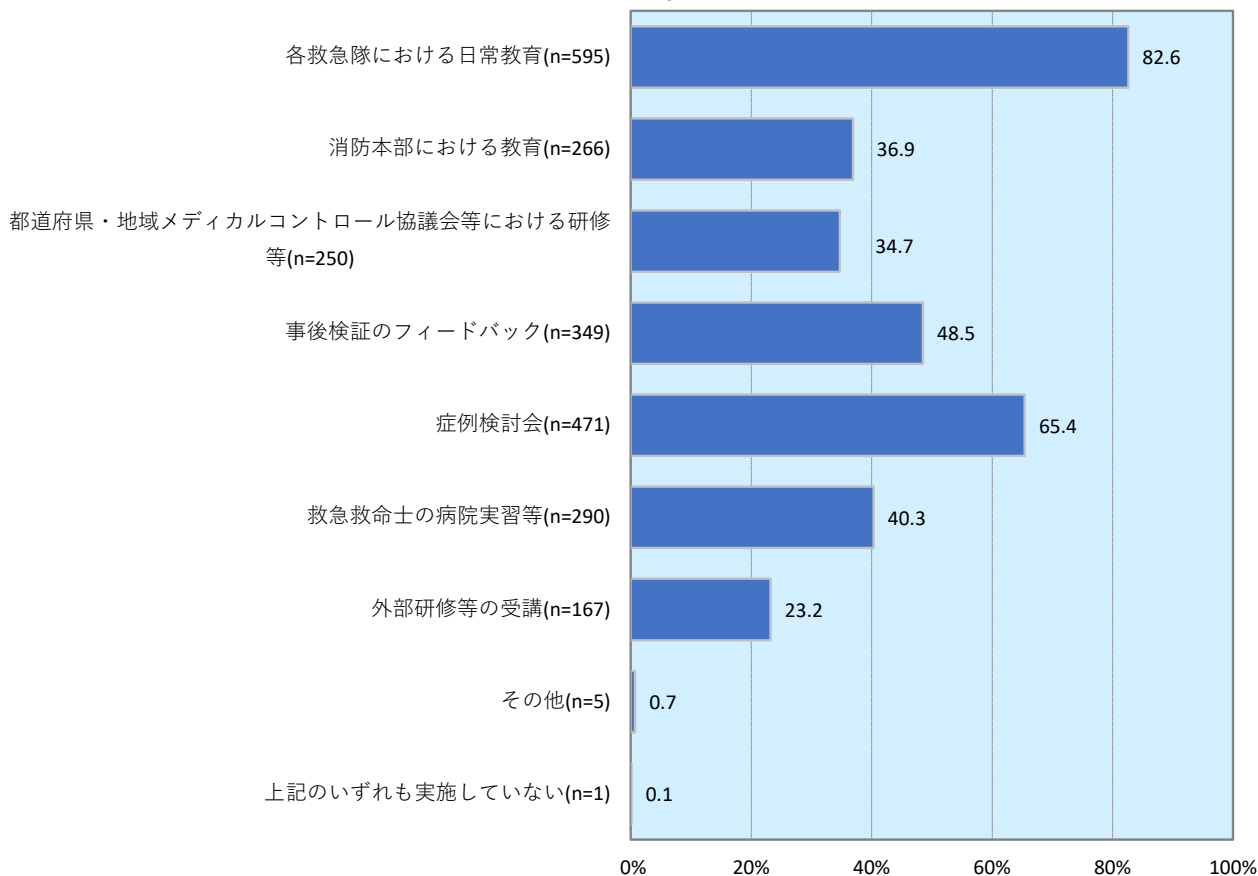
N = 720



問 42 貴本部では、救急隊員への脳疾患の観察・処置に関する教育について、どのような機会を通じて実施していますか。主な機会について3つまで選んでください。

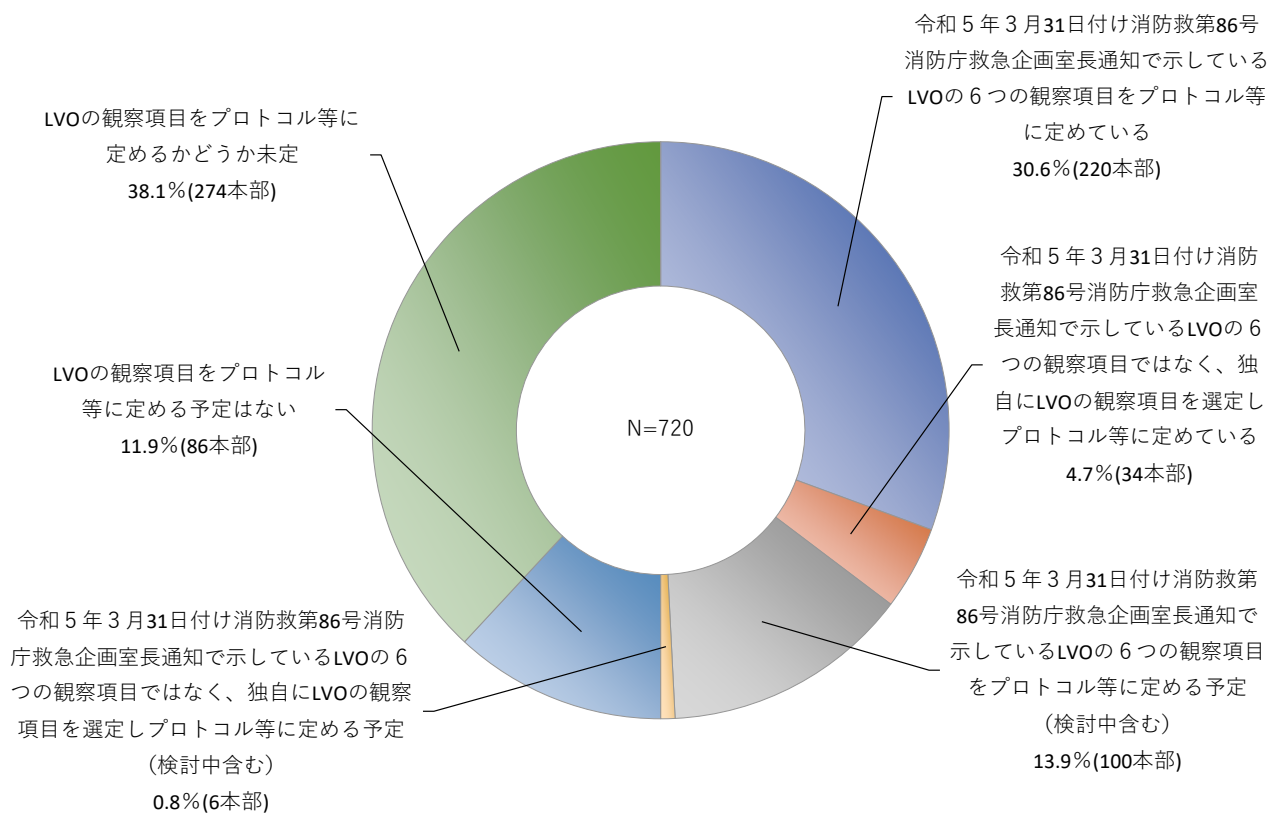
問42 救急隊員への脳疾患の観察・処置に関する教育について、どのような機会を通じて実施しているか（3つまで）<複数回答>

N = 720



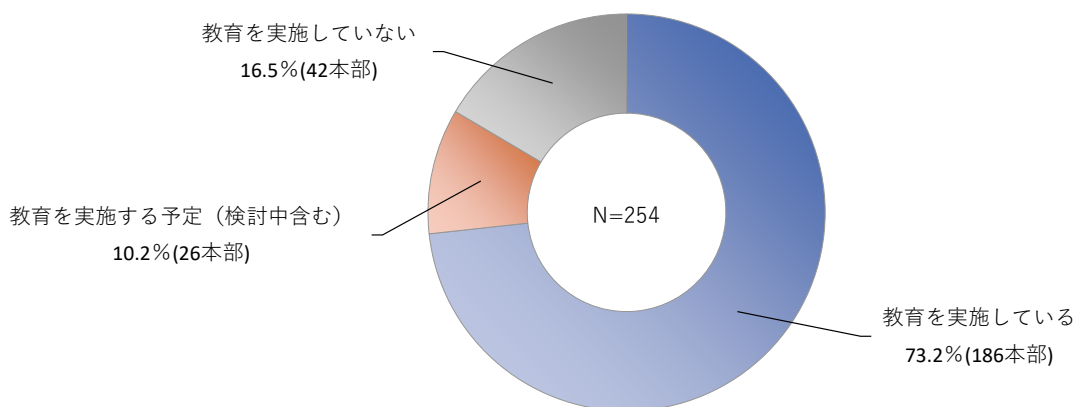
問 43 令和5年3月31日付け消防救第86号消防庁救急企画室長通知を踏まえた対応について、該当するものを1つ選んでください。(LVOの観察項目について)

問43 令和5年3月31日付け消防救第86号消防庁救急企画室長通知を踏まえた対応<単数回答>



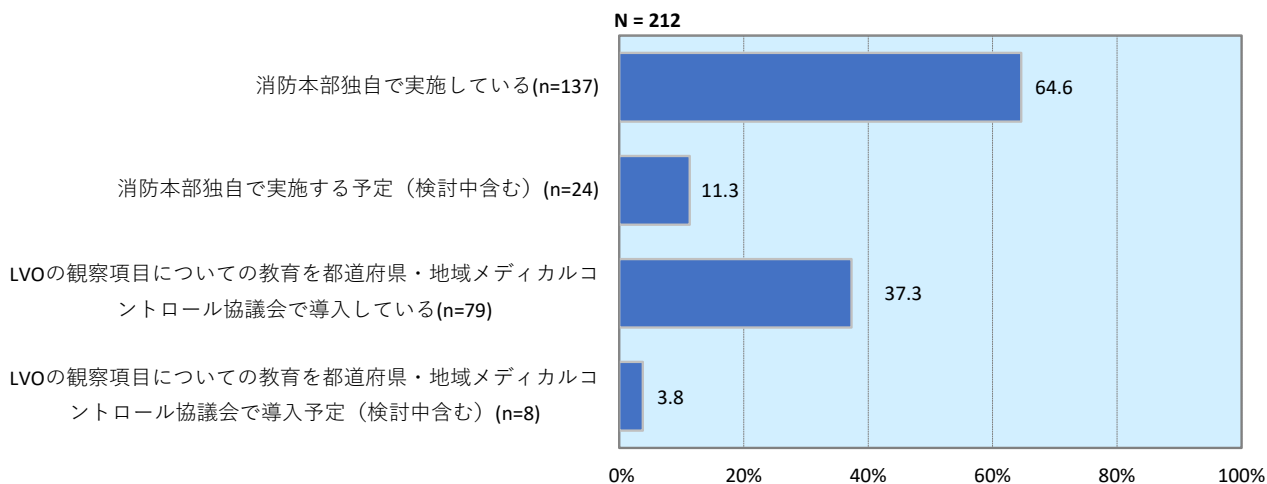
問 43-01 問 43 で「1. 令和 5 年 3 月 31 日付け消防救第 86 号消防庁救急企画室長通知で示されている LV0 の 6 つの観察項目について定めている」もしくは「2. 令和 5 年 3 月 31 日付け消防救第 86 号消防庁救急企画室長通知で示されている観察項目とは異なるが、LV0 の観察項目について定めている」を選択した方にお聞きします。LV0 の観察項目についての教育を実施していますか。1 つ選んでください。

問43-01 LV0の観察項目についての教育を実施しているか<単数回答>



問 43-02 問 43-01 で「1. 教育を実施している」もしくは「2. 教育を実施する予定（検討中含む）」を選択した方にお聞きします。LV0 の教育実施主体について、該当するものをすべて選んでください。

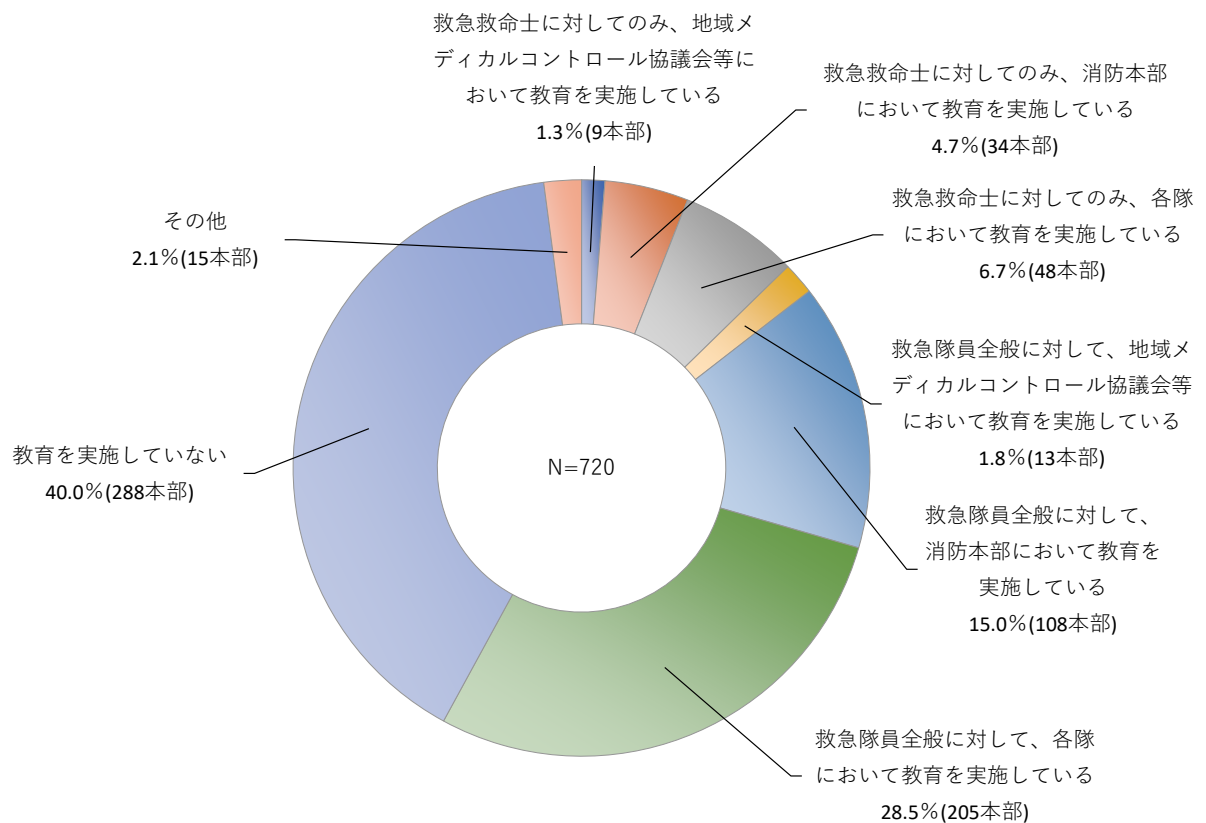
問43-02 LV0の教育実施主体<複数回答>



12. 救急資器材について

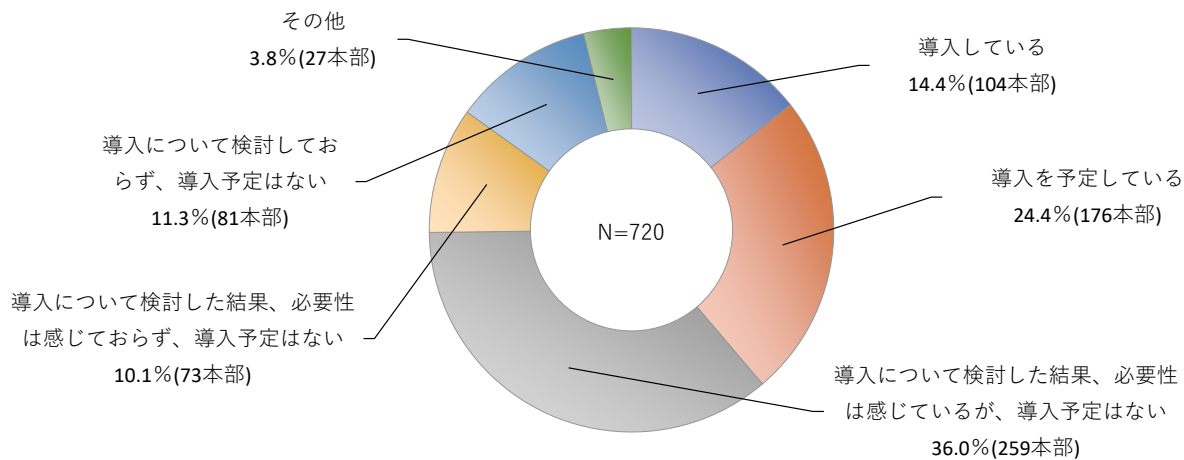
問 44 自動式人工呼吸器を用いた人工呼吸の適用や方法について、令和5年3月31日付け消防救第86号消防庁救急企画室長通知を踏まえた教育を実施していますか。1つ選んでください。

問44 自動式人工呼吸器を用いた人工呼吸の適用や方法について、
令和5年3月31日付け消防救第86号消防庁救急企画室長通知を踏まえた教育を実施しているか<単数回答>



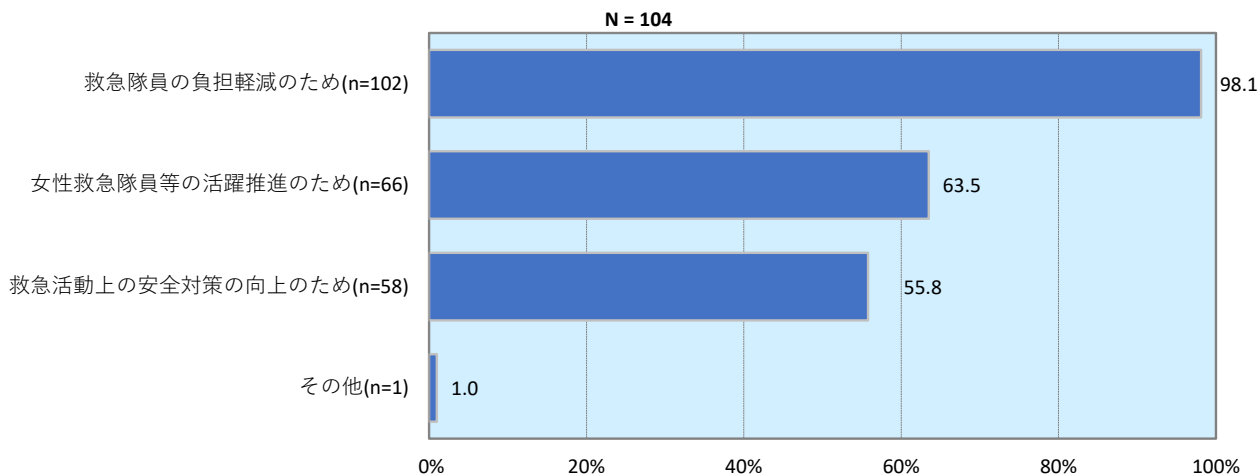
問 45 貴本部の電動ストレッチャー導入状況について、1つ選んでください。

問45 電動ストレッチャー導入状況<単数回答>



問 45-01 問 45 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。実際に運用を開始して、電動ストレッチャーが有用と考えられる理由として、該当するものをすべて選んでください。

問45-01 電動ストレッチャーが有用と考えられる理由<複数回答>



問 45-01 (1) 問 45-01 で「1. 救急隊員の負担軽減のため」を選択した方にお聞きします。手動ストレッチャーに比べて電動ストレッチャーが活用できる場面や運用方法等を具体的にご記入ください。

N=102

- ・ ストレッチャーを上げたり下げたりする動作において負担が軽減される。
- ・ 持ち上げ時、荷重による隊員の負担軽減
- ・ 大柄な傷病者の車内収容等の隊員の負担の軽減
- ・ 全ての救急現場で活用している。
- ・ 外国人対応が多く、大柄な体格の傷病者に有効である。
- ・ 高重量の傷病者を容易にストレッチャーの上げ下げが実施できた。
- ・ 傷病者の体格が大きかった場合、容易に昇降することができる。
- ・ 患者の移送
- ・ 坂道などの搬入
- ・ 四輪駆動による水平移動が安全である。
- ・ 手動ストレッチャーと同様の活用だが腰への負担が軽減された。
- ・ 高さ調整が自由（無段階）でよい。
- ・ 通常の活動で使用するほか、傷病者が大柄であり手動式ストレッチャーで対応が困難であることが予測される場合、電動ストレッチャー積載の救急車を出動させることを考慮している。
- ・ 女性や再任用職員の配置された隊
- ・ 隊員の腰痛予防
- ・ 積載車両を主として運用している。
- ・ 傷病者の上げ下ろし、病院内搬送時、院内のベッドに高さを合わせるひと手間など、処々での負担軽減
- ・ 活用の際の上げ下げに力を入れることなく、傷病者を安全に、安定を保ちストレッチャーを上昇させられる。
- ・ 電動ストレッチャーの場合、座位にしたときには全長を短縮できるため、エレベーターを使用する現場において、これまでのストレッチャーでは入らなかったエレベーターでも電動ストレッチャーだと入れることができるケースが増えた。その結果、サブストレッチャーの使用頻度が減り、救急隊員の身体的負担軽減につながっている。
- ・ 出動件数の多い隊への配置
- ・ 地面が凍結している現場での操作時

他

(重複等を一部要約)

問 45-01 (2) 問 45-01 で「2. 女性救急隊員等の活躍推進のため」を選択した方にお聞きします。手動ストレッチャーに比べて電動ストレッチャーが活用できる場面や運用方法等を具体的にご記入ください。

N=66

- ・ ストレッチャーの持ち上げ下げ、乗車、降車の際に力を要しない。
- ・ 持ち上げ時、荷重による隊員の負担軽減
- ・ 手動では収容できなかった傷病者の搬送
- ・ 体格が小さい隊員でも、傷病者の体格を気にせず活動できる。
- ・ 女性隊員の体格に合わせて高さ調節ができる。
- ・ 傷病者の体重によって男性隊員とストレッチャー操作を変わらなくても活動可能
- ・ 活用の際の上げ下げに力を入れることなく、傷病者を安全に、安定を保ちストレッチャーを上昇させられる。
- ・ 女性や再任用職員の配置された隊
- ・ ストレッチャー操作をメインで行う機関員に女性隊員を充てられる。
- ・ 身長が低い隊員が操作する場面
- ・ 手動ストレッチャーで体重の重い傷病者を昇降する際は、男性2人で頭側と足側に入り、女性は間に入らなければ難しいケースが多かったが、電動ストレッチャーの導入により、女性隊員でも簡易に昇降や移動をできるようになった。女性隊員が救急隊員として選任されている所属に導入し、運用している。

他

(重複等を一部要約)

問 45-01 (3) 問 45-01 で「3. 救急活動上の安全対策の向上のため」を選択した方にお聞きします。手動ストレッチャーに比べて電動ストレッチャーが活用できる場面や運用方法等を具体的にご記入ください。

N=58

- ・ 手動ストレッチャーに比べて転倒の危険が少ない。
- ・ 上げ下げの際に手を滑らせて急な落下等の危険がない。
- ・ 体重過多の傷病者のストレッチャー操作時の安全性が向上された。
- ・ 操作時、ストレッチャーの足部分（エクステンジ）が出ないなどの不具合がない。
- ・ ストレッチャーの高さを変更する際の安定性の向上、足場の悪い場所での車内収容時に安定性向上
- ・ CPR ポジションを自由な位置にできる。
- ・ 体重の重い傷病者でも安全に操作ができる。
- ・ 持ち上げる時や車内収容する際に、誤って転倒させるなどのリスクが軽減する。
- ・ 傷病者を乗せた状態でのストレッチャー操作時の転落防止
- ・ 電動ストレッチャーは、車内への収納・降車が自動化されているため、人力による搬送時におこりうる落下などのリスクを回避できる。これにより、傷病者の安全がより確実に確保される。さらに、高さの調節や車内への出し入れの際の振動が少ないため、搬送中の安全管理が徹底される。
- ・ 凹凸がある路面での搬送の際に安定した移動が可能である。また、小回りがきくため狭隘部分でもスムーズな移動が可能である。病院に収容する際、病院のベッドの高さに合わせることができるため、傷病者の安全に移動できる。

他

(重複等を一部要約)

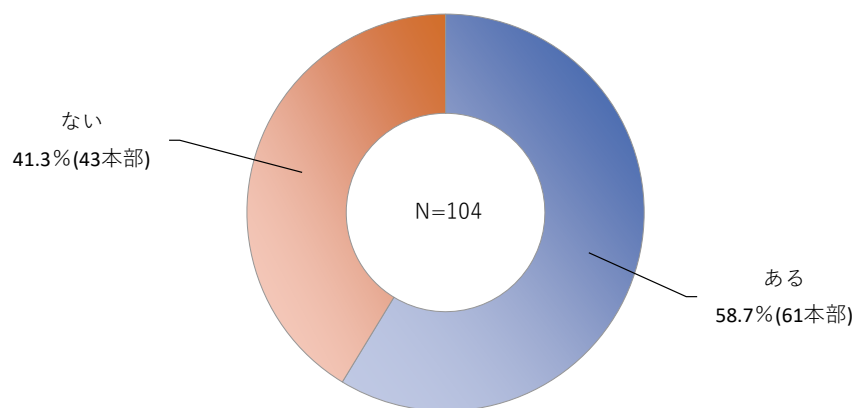
問 45-01 (4) 問 45-01 で「4. その他」を選択した方にお聞きします。その内容を、活用場面や運用方法等も含めて具体的にご記入ください。

N= 1

- ・ ボタンでの単純な操作 高齢期職員の活躍

問 45-02 問 45 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。電動ストレッチャーを用いた活動において、課題はありますか。1つ選んでください。

問45-02 電動ストレッチャーを用いた活動における課題<単数回答>



問 45-03 問 45-02 で「1. ある」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=61

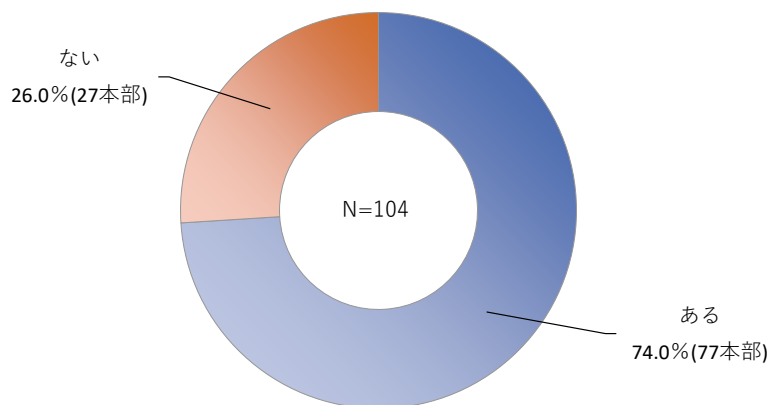
- ・ 積雪時に移動困難となることもある。
- ・ ストレッチャー自体が重いため、段差などの対応に苦慮する場面がある。
- ・ 未舗装路での移動が困難
- ・ 斜面や積雪路面での使用方法
- ・ 電動のため不具合があった際の対応
- ・ 機器の更新等が必要かどうか、メンテナンスをどのようにしたらよいか。
- ・ 故障時の対応、ストレッチャー事体が重い。
- ・ 各部の使用上の破損。雪道での携行
- ・ 狭所（エレベーター等）での搬送時、使用に制限がある。
- ・ 保育器が装着できない。
- ・ 台座がない分、ストレッチャーの高さが低く感じる。CPA 時の胸圧にストレスを感じる。
- ・ 救急車の停車場所が傾斜地（前輪が後輪より下がる）の場合、ストレッチャーのタイヤが地面に接地しない。
- ・ 重量が重すぎ、小回りがきかない。
- ・ ストレッチャーの重量が手動に比べれば重いため山道等の悪路には向かない。
- ・ 救急現場でいきなり故障した際の対応が不安視される。
- ・ ストレッチャーを出す際、傾斜によりうまく出せない時がある。
- ・ 維持費（バッテリー代及び修繕費）
- ・ 電動ストレッチャーが重く段差を越える時持ち上げられない。
- ・ 救急車内での左右の移動が出来ないため、活動に工夫が必要な場合がある。

他

（重複等を一部要約）

問 45-04 問 45 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。電動ストレッチャーの普及における課題はありますか。1つ選んでください。

問45-04 電動ストレッチャーの普及における課題<単数回答>



問 45-05 問 45-04 で「1. ある」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=77

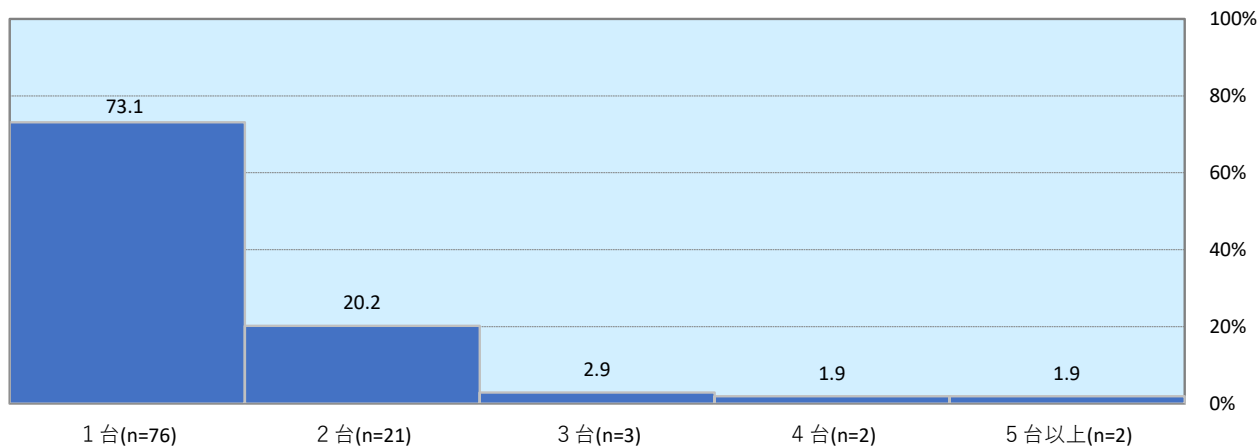
- ・ 導入コスト及びメンテナンスコストが高額
- ・ 維持費（バッテリー代及び修繕費）
- ・ 重量（ストレッチャー・ファスナー）が重い。救急車の最大積載重量がギリギリで積載資器材を選択する必要がある。
- ・ 軽量化
- ・ 保育器搬送時の対応方法の確立（医療機関への対応依頼等）
- ・ サブストレッチャーが使用できない。
- ・ 積雪時の運用
- ・ 左右スライドの導入
- ・ 故障が起きた際の対応
- ・ 救急車内での左右の移動が出来ないため、活動に工夫が必要な場合がある。

他

（重複等を一部要約）

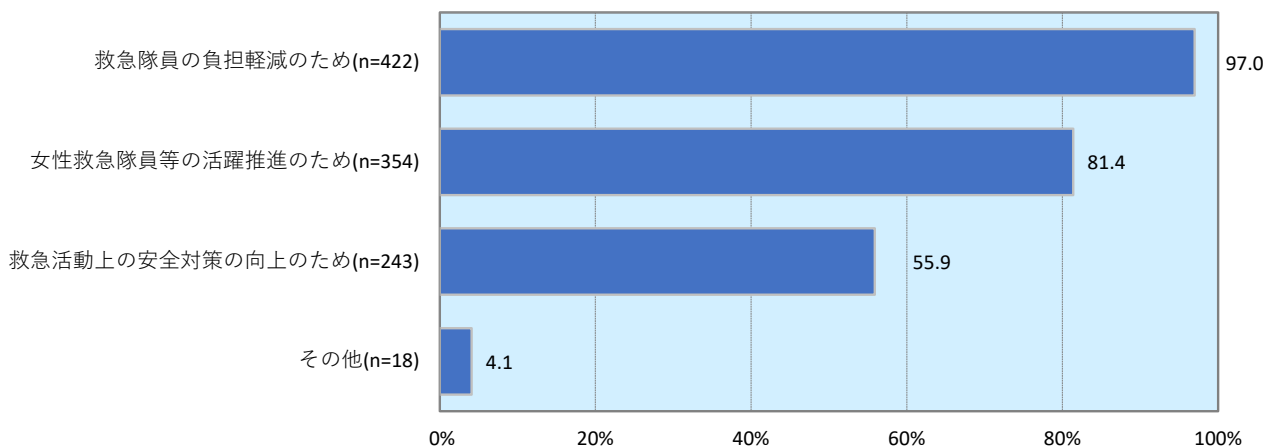
問 45-06 問 45 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。導入している救急車の台数をご記入ください。（半角数字、単位：台）

問45-06 電動ストレッチャーを導入している救急車の台数<数量回答>
N = 104



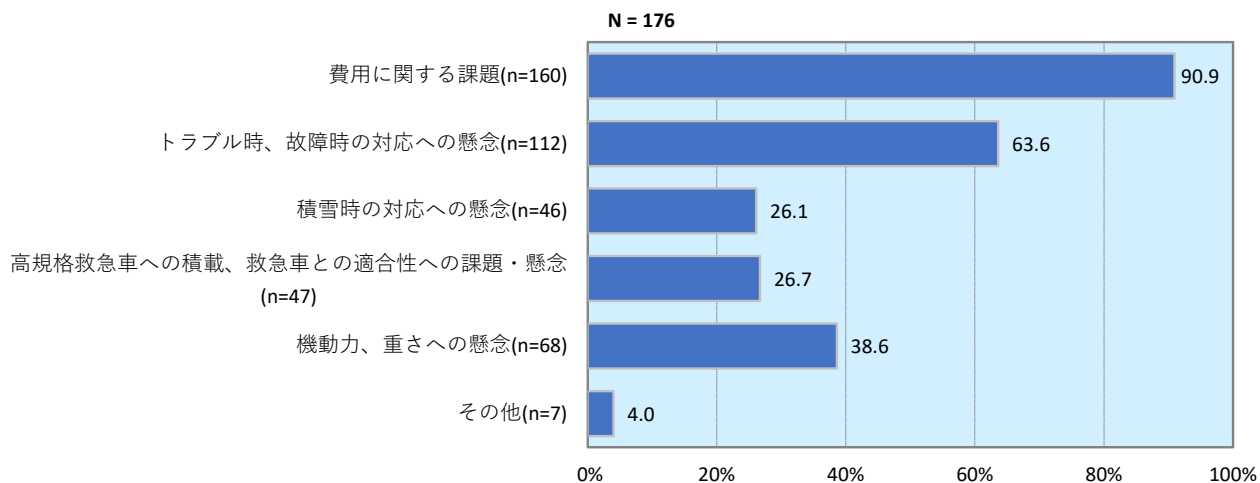
問 45-07 問 45 で「2. 導入を予定している」もしくは「3. 導入について検討した結果、必要性は感じているが、導入予定はない」を選択した方にお聞きします。理由として該当するものをすべて選んでください。

問45-07 電動ストレッチャーを必要とする理由<複数回答>
N = 435



問 45-08 問 45 で「2. 導入を予定している」を選択した方にお聞きします。貴本部における電動ストレッチャーの導入に際し、課題として考えられる点について該当するものすべてを選んでください。

問45-08 導入予定の場合、電動ストレッチャーの導入に際しての課題<複数回答>



問 45-08 (その他) 問 45-08 で「6. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N = 7

- ・ 電動ストレッチャーの重量が重く救急車の重量制限があるため、積載資機材に制限が出てくる。
- ・ 車内活動スペースの確保
- ・ 部署位置から現場まで距離がある場合不便
- ・ 勾配や傾斜のある地盤面での傷病者収容等
- ・ 全隊(車)完全移行までの取り扱い周知不足による事故やトラブルなど
- ・ 本体そのものの費用、ランニングコスト、メンテナンスコストが高すぎるため継続しての導入はできない。

他

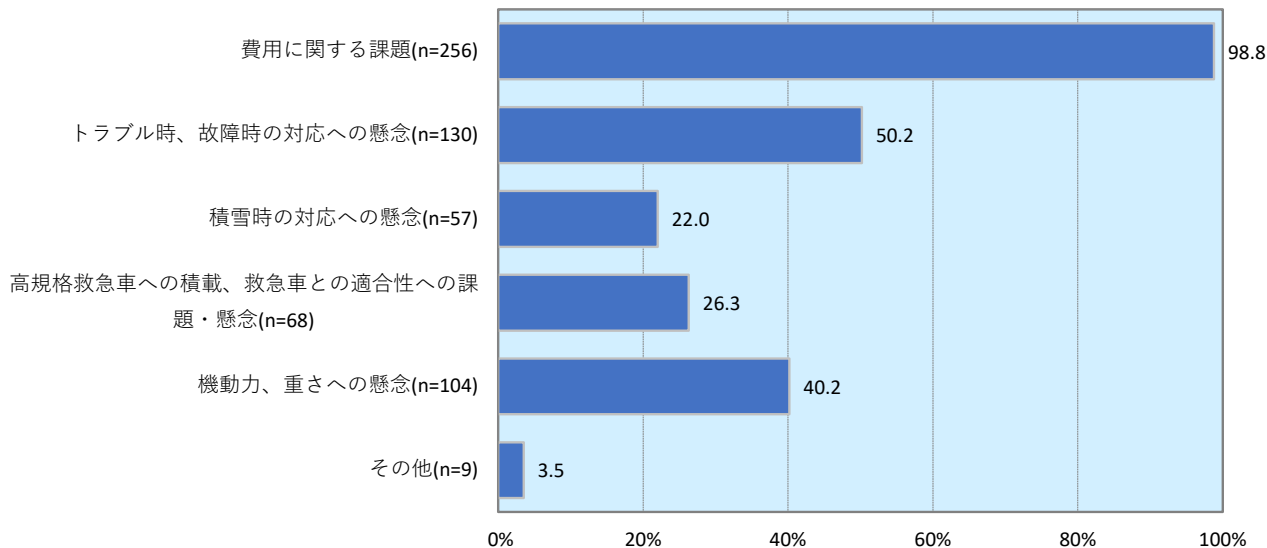
(重複等を一部要約)

問 45-09 問 45 で「3. 導入について検討した結果、必要性は感じているが、導入予定はない」を選択した方にお聞きします。貴本部における電動ストレッチャーの導入に際し、課題として考えられる点について該当するものをすべて選んでください。

問45-09 必要性を感じるが導入の予定はない場合、電動ストレッチャーの導入に際しての課題

<複数回答>

N = 259



問 45-09 (その他) 問 45-09 で「6. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

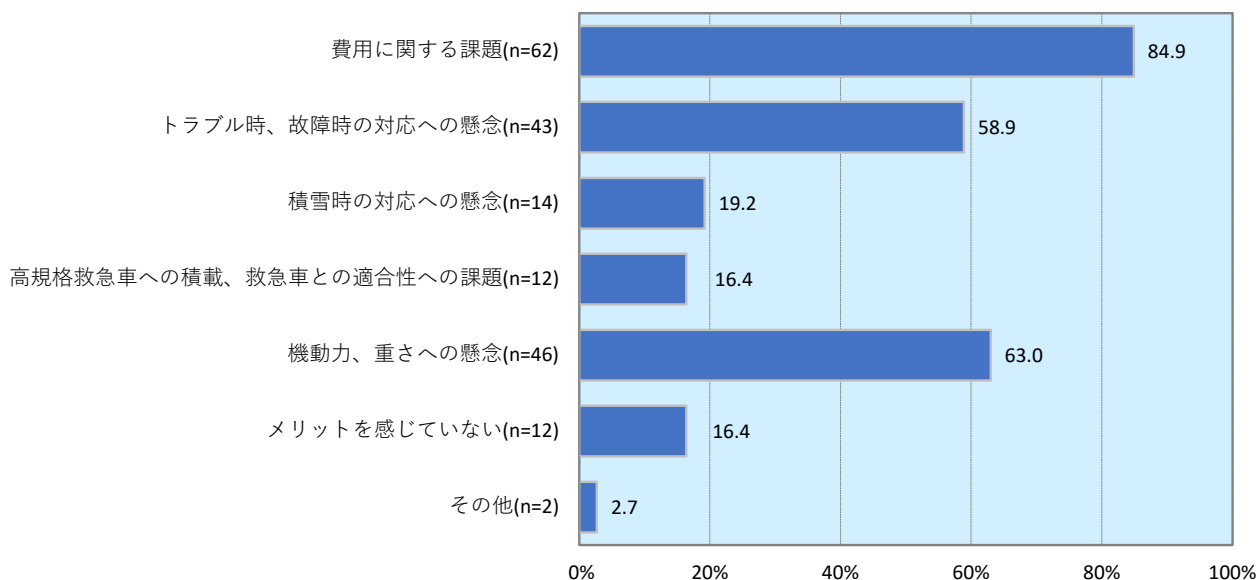
N=9

- ・ 企業努力による初期導入コストやランニングコストの削減
- ・ 地域性の特徴として狭隘な場所が多く、利用できる状況が少ないことが考えられる。
- ・ 坂道での事故が懸念される。
- ・ 資器材の統一
- ・ 道路状況が悪いところが多く、持ち上げ使用することが多いため。
- ・ 本体重量が重くサブストレッチャーがないため、担架としての搬送が困難
- ・ 整備されていない悪路での運用への懸念
- ・ 近隣消防本部で導入実績がないため、時期尚早感がある。
- ・ 必要性を感じているが、導入消防本部がまだ少なく動向を見ながら検討している。
- ・ 補助金基準額の増額 ・ 導入推進の根拠 (女性活躍推進による国の通知など)

問 45-10 問 45 で「4. 検討した結果、必要性は感じておらず、導入予定はない」を選択した方にお聞きします。必要性を感じない理由について、該当するものをすべて選んでください。

問45-10 電動ストレッチャーの必要性を感じない理由<複数回答>

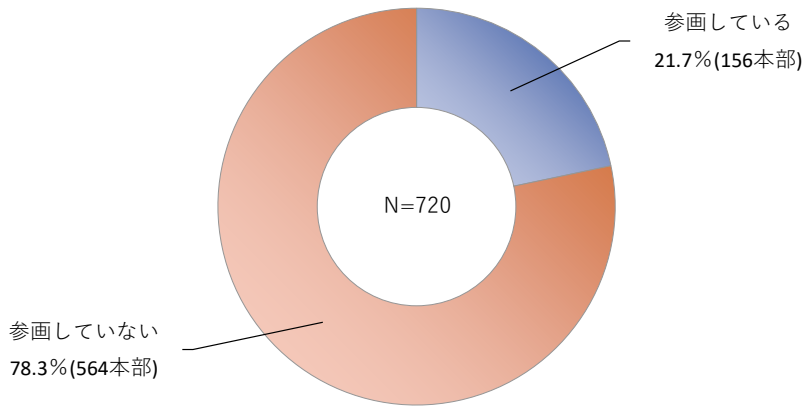
N = 73



13. 都道府県連携協議会の参画状況について

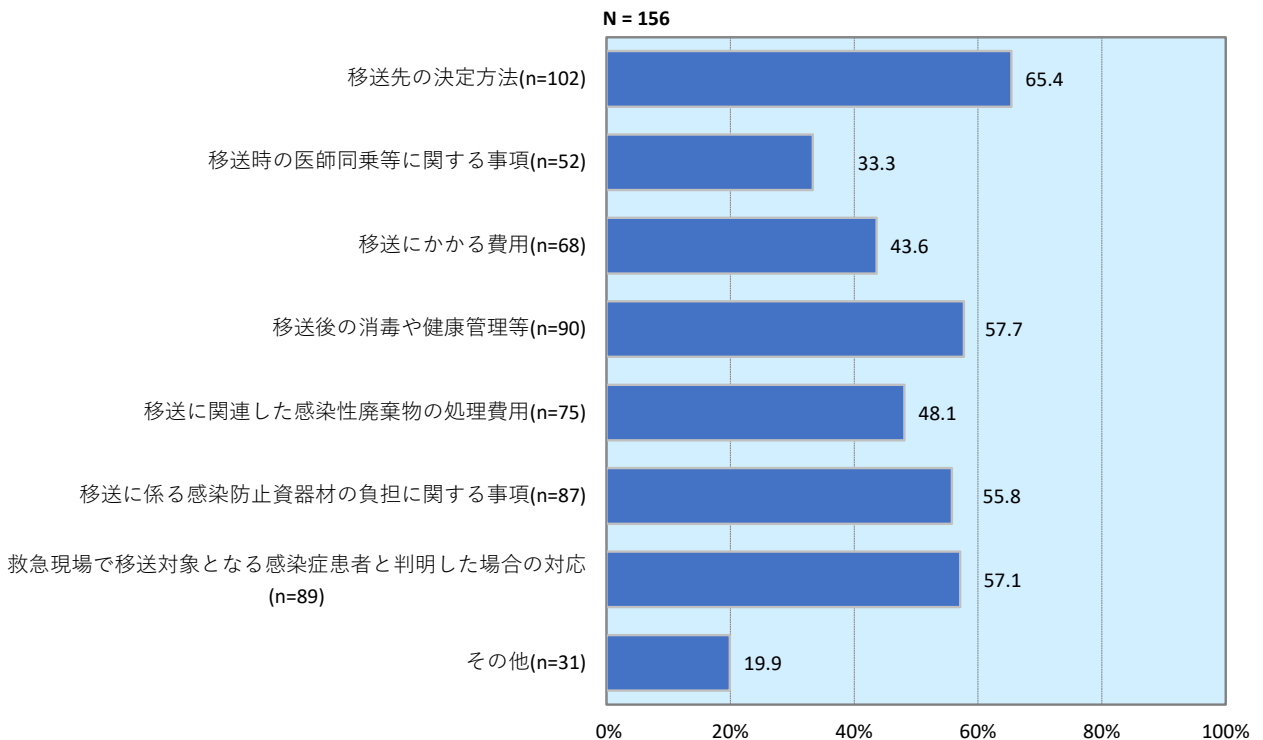
問 46 都道府県連携協議会の参画状況についてお聞きします。貴本部は参画していますか。
1つ選んでください。

問46 都道府県連携協議会への参画状況<単数回答>



問 46-01 問 46 で「1. 参画している」を選択した方にお聞きします。協議事項の内容について、該当するものをすべて選んでください。

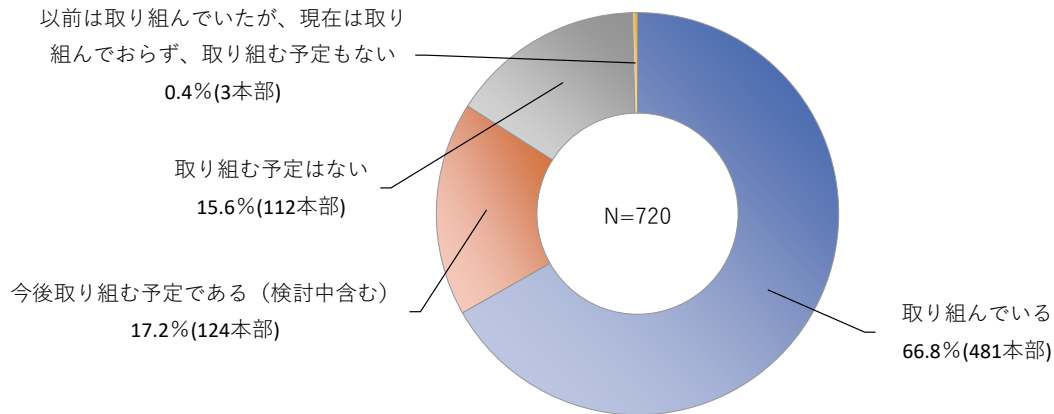
問46-01 都道府県連携協議会での協議事項<複数回答>



14. 労務管理について

問 47 近年全国的に救急件数が増加傾向となっておりますが、救急隊の労務管理について取り組んでいますか。また、現状、取り組んでいない本部は今後取り組む予定はありますか。1つ選んでください。※

問47 救急隊の労務管理についての取組を実施しているか、また取り組む予定はあるか<単数回答>

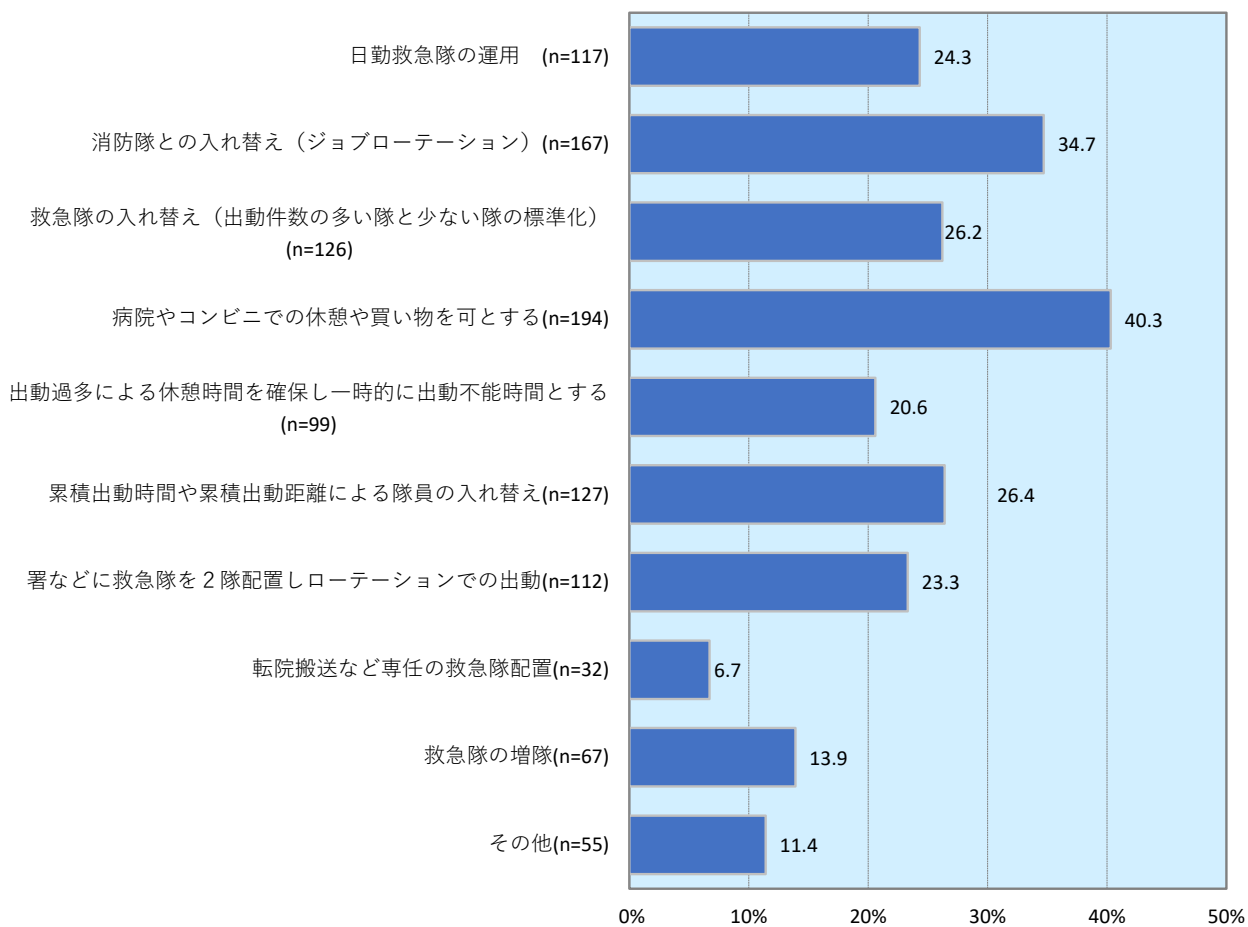


※日勤救急隊を運用している場合は、必ず「1. 取り組んでいる」を選択。

問 47-01 問 47 で「1. 取り組んでいる」を選択した方にお聞きします。どのような取組を実施していますか。取組内容について、近いものをすべて選んでください。

問47-01 救急隊の労務管理についての取組内容<複数回答>

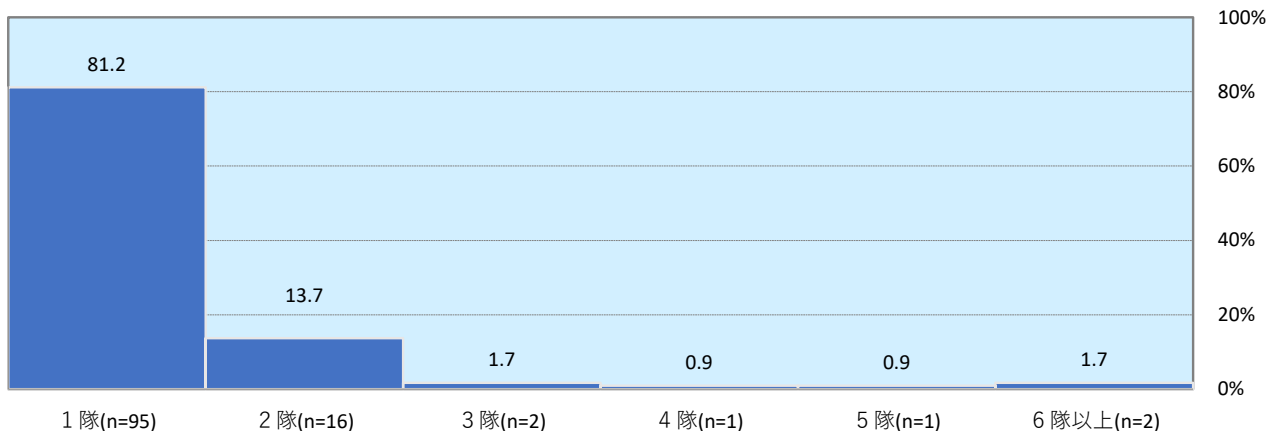
N = 481



問 47-01(1) 問 47-01 で「1. 日勤救急隊の運用」を選択した方にお聞きします。日勤救急隊の隊数をご記入ください。(半角数字、単位：隊)

問47-01(1) 日勤救急隊の隊数<数量回答>

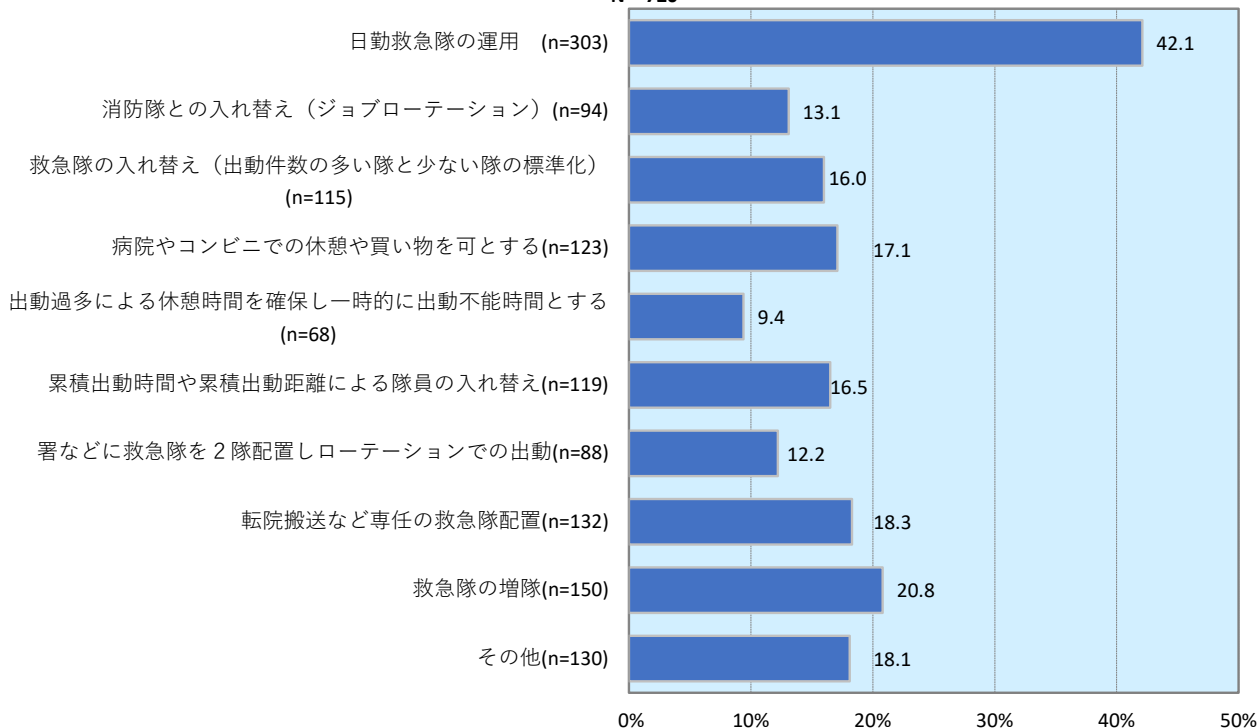
N = 117



問 48 全ての本部にお聞きします。今後、新たに取り組みたい内容について、該当するものをすべて選んでください。

問48 救急隊の労務管理について今後取り組みたい内容<複数回答>

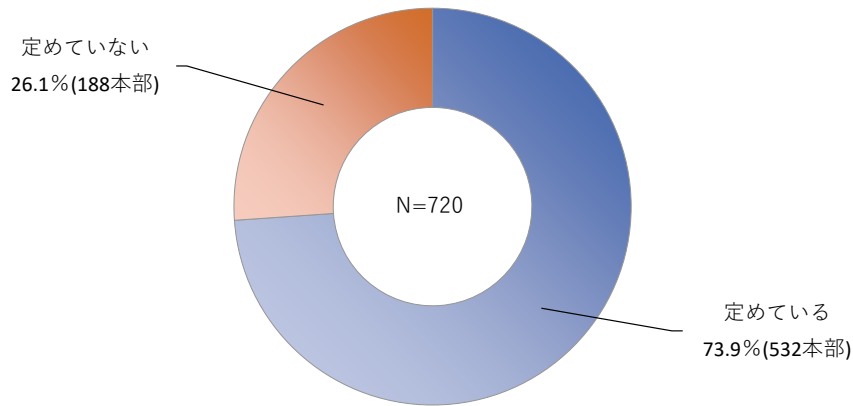
N = 720



15. 患者等搬送事業者について

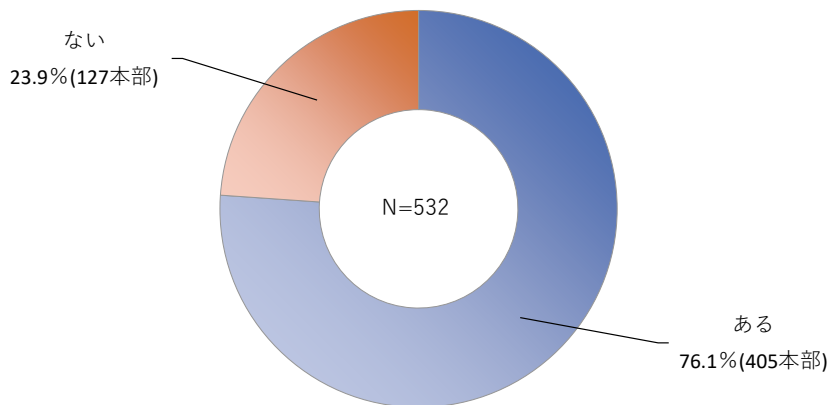
問 49 貴本部で患者等搬送事業者の認定基準（都道府県統一の基準も含む）を定めていますか。1つ選んでください。

問49 患者等搬送事業者の認定基準（都道府県統一の基準も含む）を定めているか<単数回答>



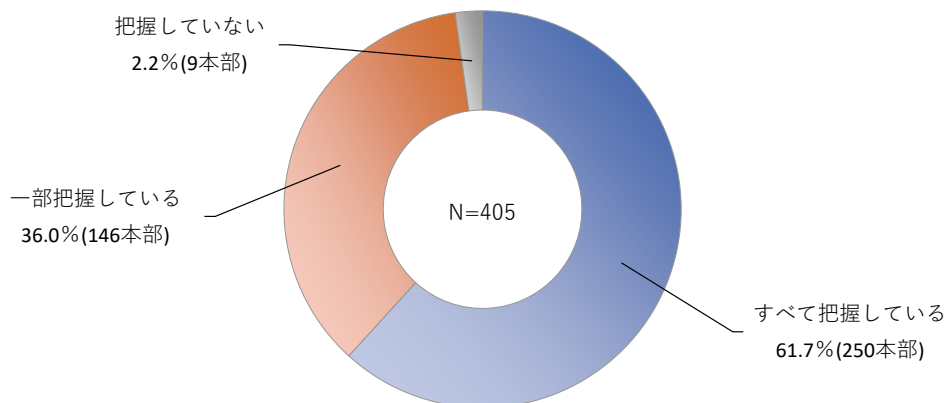
問 49-01 問 49 で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。現在認定をしている患者等搬送事業者はありますか。1つ選んでください。

問49-01 現在認定している患者等搬送事業者はあるか<単数回答>



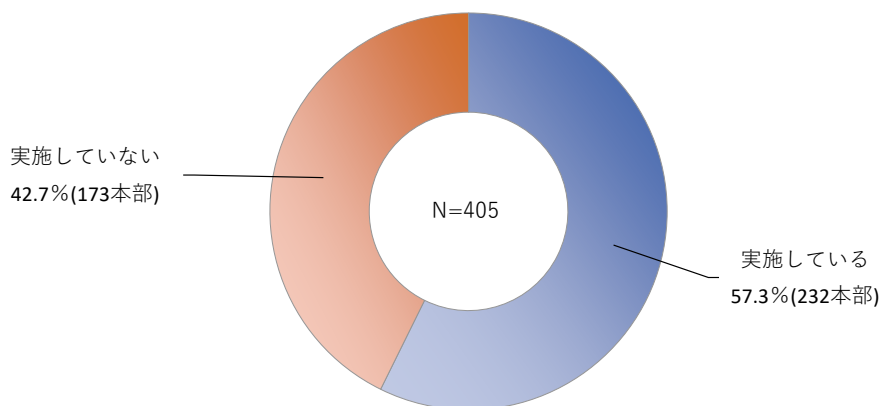
問 49-02 問 49-01 で「1. ある」を選択した方にお聞きします。認定事業者の運用実態をどの程度把握していますか。1つ選んでください。

問49-02 認定事業者の運用実態をどの程度把握しているか<単数回答>



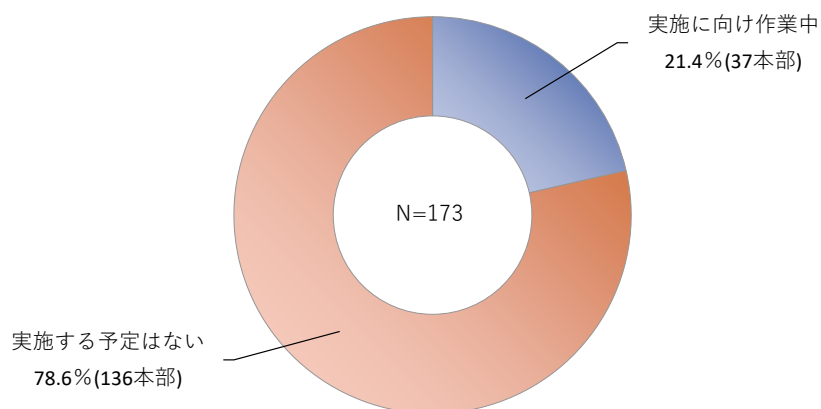
問 49-03 問 49-01 で「1. ある」を選択した方にお聞きします。認定している患者等搬送事業者について、広く住民に認知してもらうための広報（ホームページ掲載等）を実施していますか。1つ選んでください。

問49-03 認定している患者等搬送事業者について、広く住民に認知してもらうための広報（ホームページ掲載等）を実施しているか<単数回答>



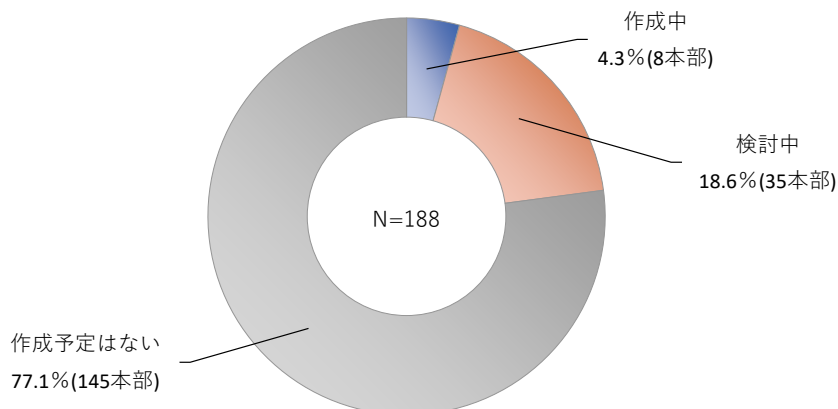
問 49-04 問 49-03 で「2. 実施していない」を選択した方にお聞きします。今後、広報を実施する予定はありますか。1つ選んでください。

問49-04 今後、認定している患者等搬送事業者の広報を実施する予定はあるか<単数回答>



問 49-05 問 49 で「2. 定めていない」を選択した方にお聞きします。今後、認定基準を作成し認定事業を実施する予定はありますか。1つ選んでください。

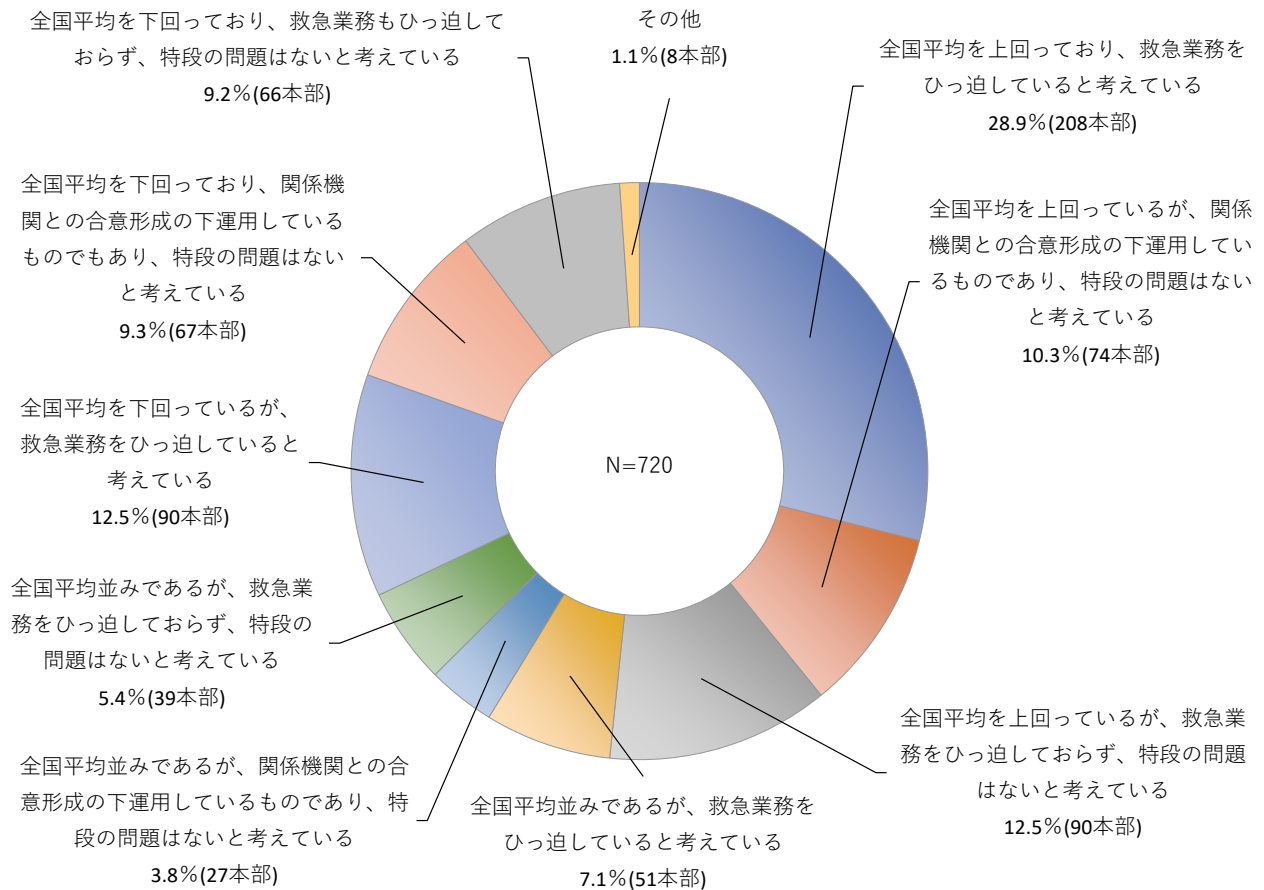
問49-05 患者等搬送事業者の認定事業を実施する予定はあるか<単数回答>



16. 転院搬送について

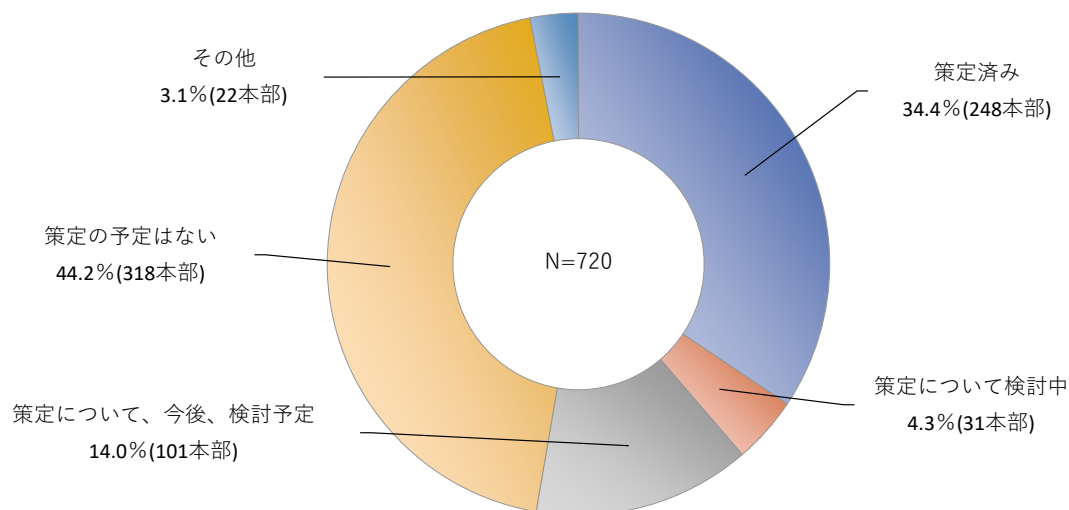
問 50 貴本部における救急出動件数に占める転院搬送の割合を踏まえ、転院搬送についての現状認識として近いものを1つ選んでください。

問50 転院搬送についての現状認識<単数回答>



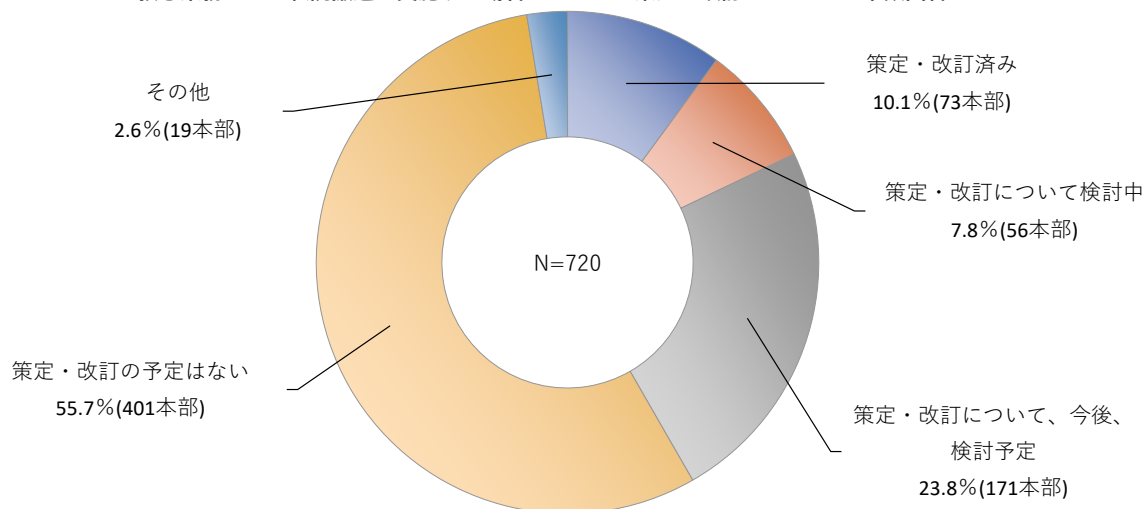
問 51 「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」（平成 28 年 3 月 31 日付け消防庁次長・厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえ、地域において、救急業務として転院搬送を実施する場合のルールを策定していますか。1つ選んでください。

問51 「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」（平成28年3月31日付け消防庁次長・厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえ、地域において、救急業務として転院搬送を実施する場合のルールを策定しているか<単数回答>



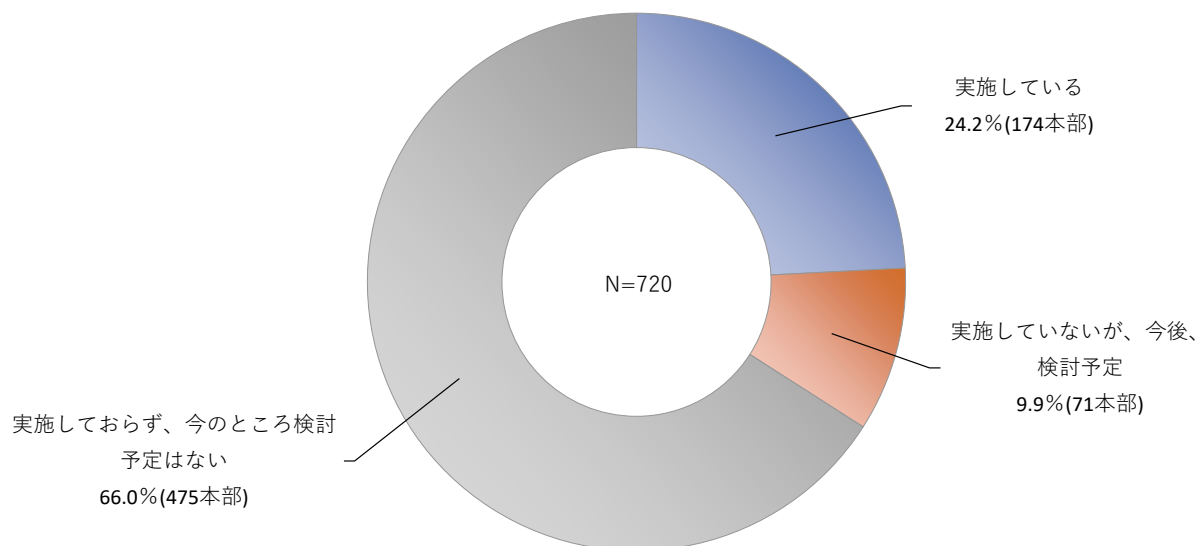
問 52 改訂された、「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」（令和 7 年 6 月 30 日付け消防庁次長・厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえ、地域において、救急業務として転院搬送を実施する場合のルールを策定・改訂していますか。1つ選んでください。

問52 改訂された、「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」（令和7年6月30日付け消防庁次長・厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえ、地域において、救急業務として転院搬送を実施する場合のルールを策定・改訂しているか<単数回答>



問 53 転院搬送に使用する病院救急車の導入及び運行体制の整備を促進するため、有償・無償にかかわらず、消防機関で使用を終えた救急車を医療機関に引き渡す取組を実施していますか。1つ選んでください。

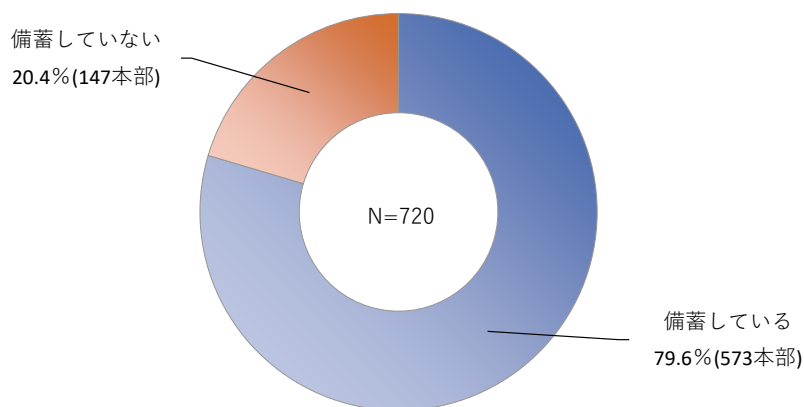
問53 転院搬送に使用する病院救急車の導入及び運行体制の整備を促進するため、有償・無償にかかわらず、消防機関で使用を終えた救急車を医療機関に引き渡す取組を実施しているか<単数回答>



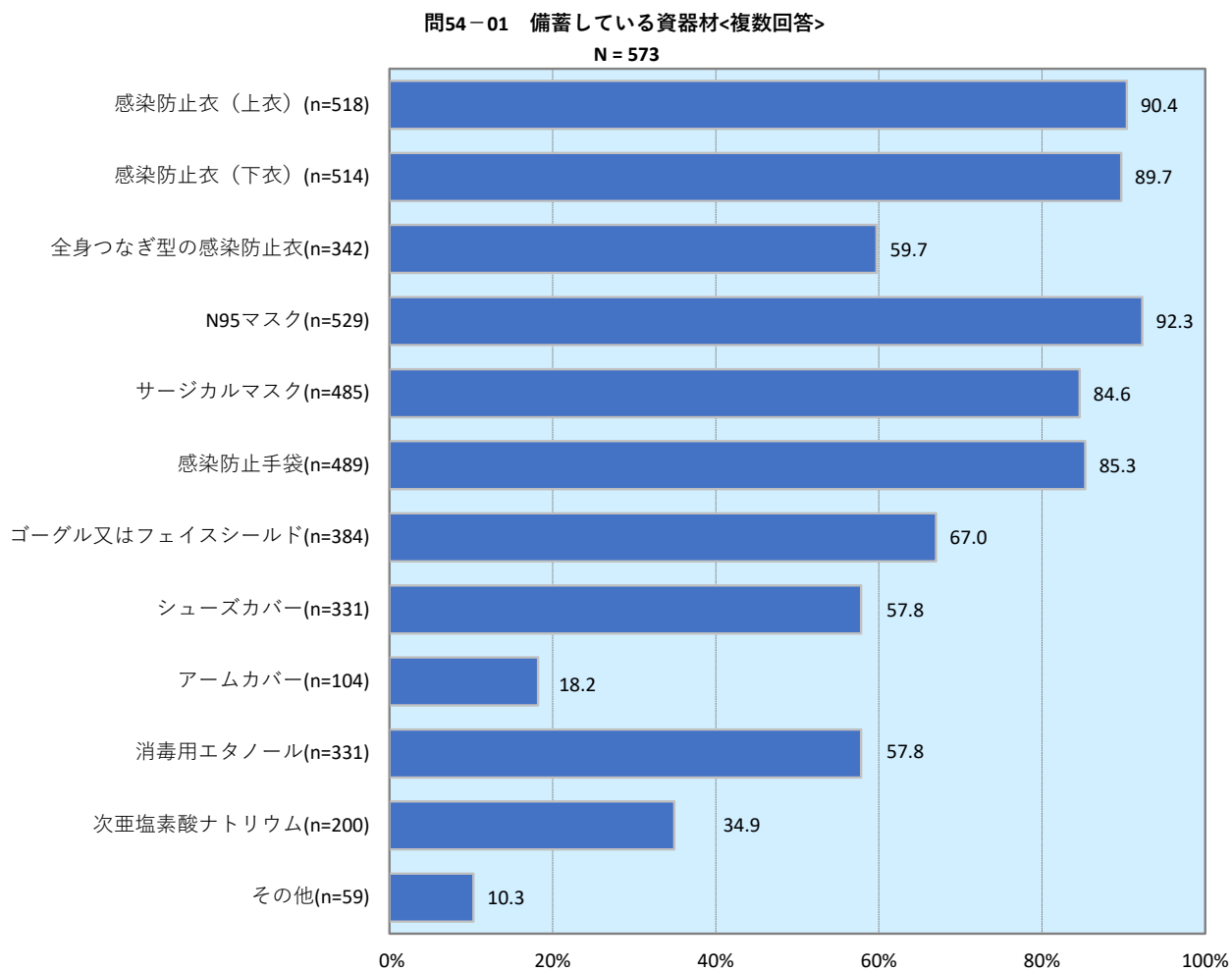
17. 感染症（感染防止対策用資器材の備蓄状況・新型インフルエンザ対応） について

問 54 感染症（新型インフルエンザ等）に備えて、感染防止対策用資器材を備蓄していますか。1つ選んでください。

問54 感染症（新型インフルエンザ等）に備えて、感染防止対策用資器材を備蓄しているか<単数回答>



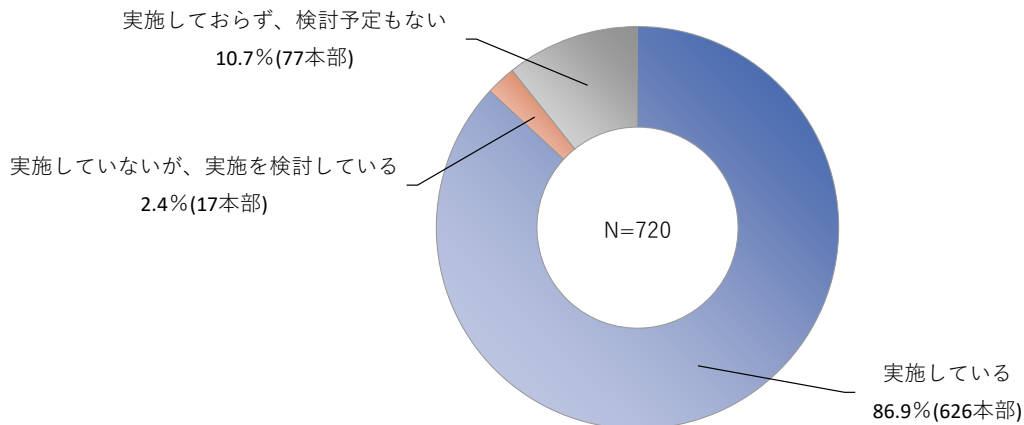
問 54-01 問 54 で「1. 備蓄している」を選択した方にお聞きします。備蓄している資器材について、該当するものをすべて選んでください。



18. 救急隊の体制について

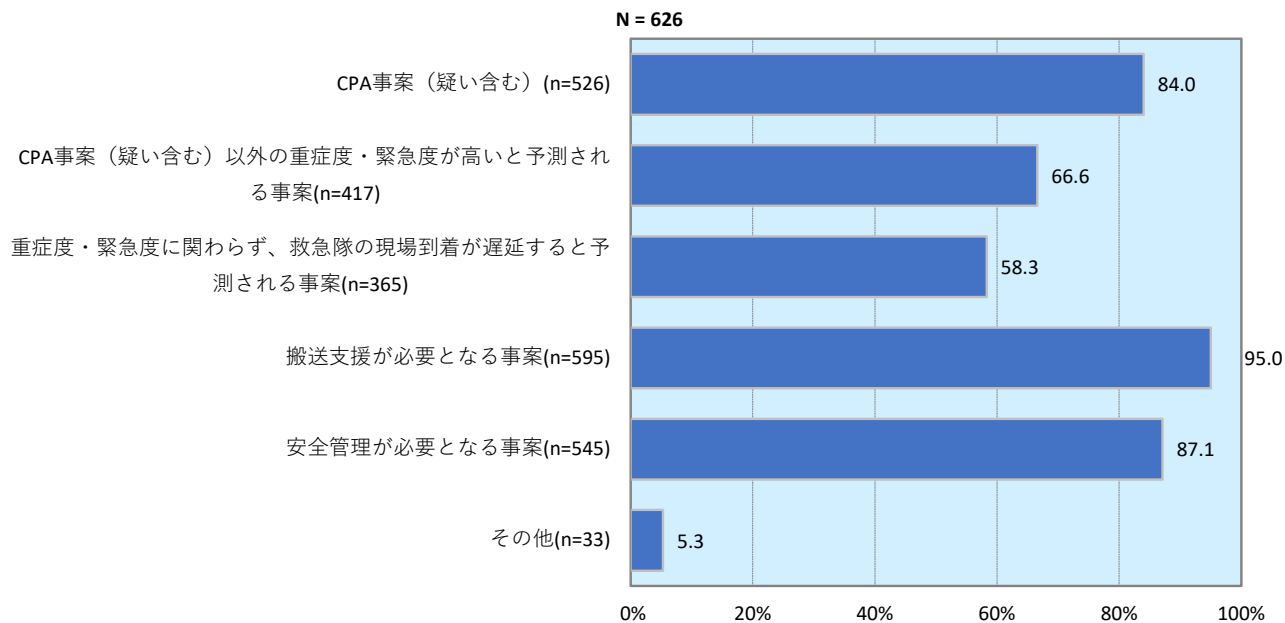
問 55 貴本部では、PA 連携を実施していますか。1つ選んでください。

問55 PA連携を実施しているか<単数回答>



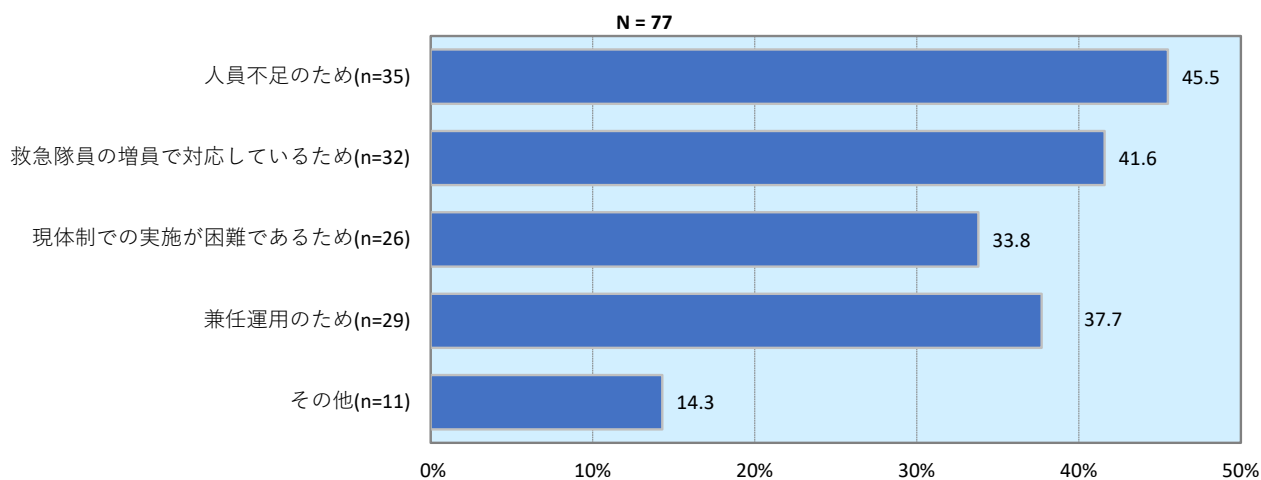
問 55-01 問 55 で「1. 実施している」を選択した方にお聞きします。PA 連携出場の要件について、該当するものをすべて選んでください。

問55-01 PA連携出場の要件<複数回答>



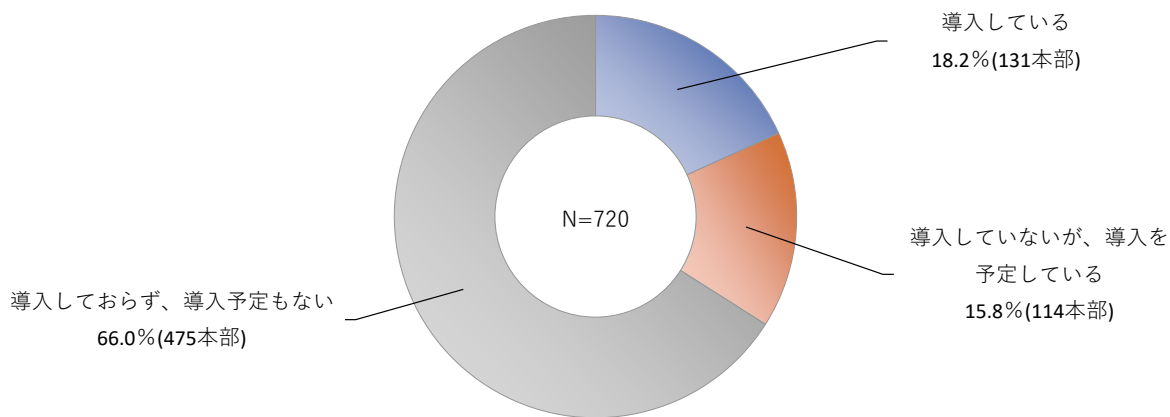
問 55-02 問 55 で「3. 実施しておらず、検討もしていない」を選択した方にお聞きします。その理由として該当するものをすべて選んでください。

問55-02 PA連携出場を実施しておらず、検討もしていない理由<複数回答>



問 56 日勤救急隊[※]を導入、又は、検討していますか。1つ選んでください。

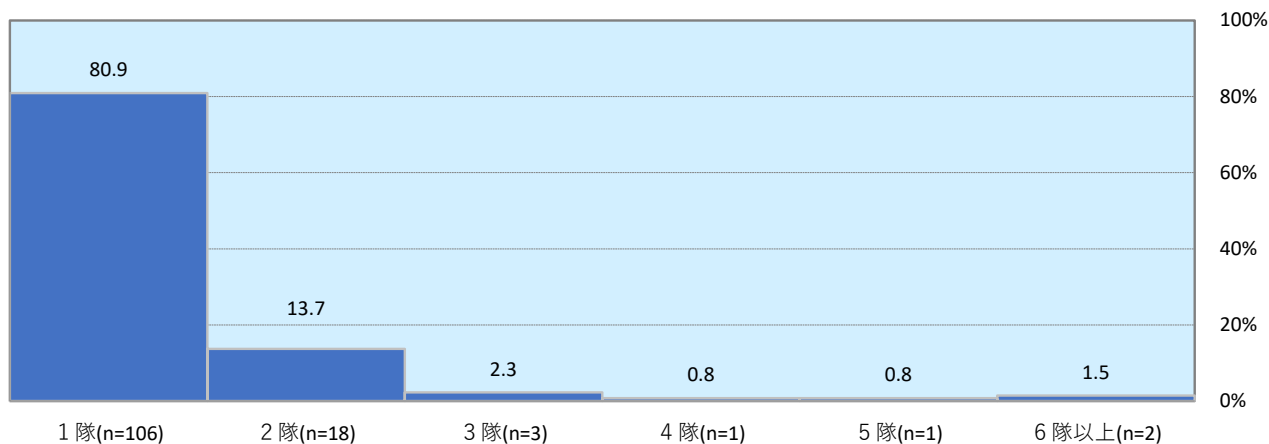
問56 日勤救急隊を導入、又は、検討しているか<単数回答>



※この設問では、日勤救急隊とは、特定の時間帯に運用する救急隊をいいます。

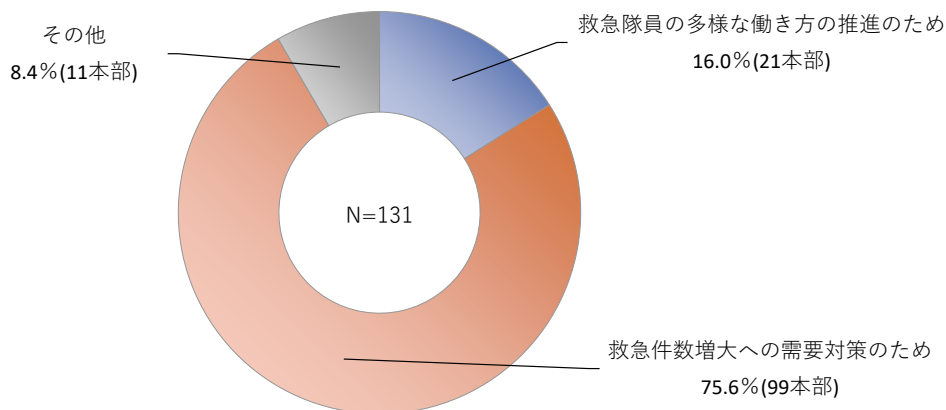
問 56-01 問 56 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。何隊導入していますか。ご記入ください。（半角数字、単位：隊）※

問56-01 日勤救急隊の隊数<数量回答>
N = 131



問 56-02 問 56 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。日勤救急隊を導入した経緯として主たる理由を1つ選んでください。

問56-02 日勤救急隊を導入した経緯として主たる理由<単数回答>



※令和7年8月1日時点。

問 56-03 問 56-02 で「2. 救急件数増大による需要対策のため」を選択した方にお聞きします。24 時間対応の救急隊ではなく、日勤救急隊を導入した理由を具体的にご記入ください。

N=99

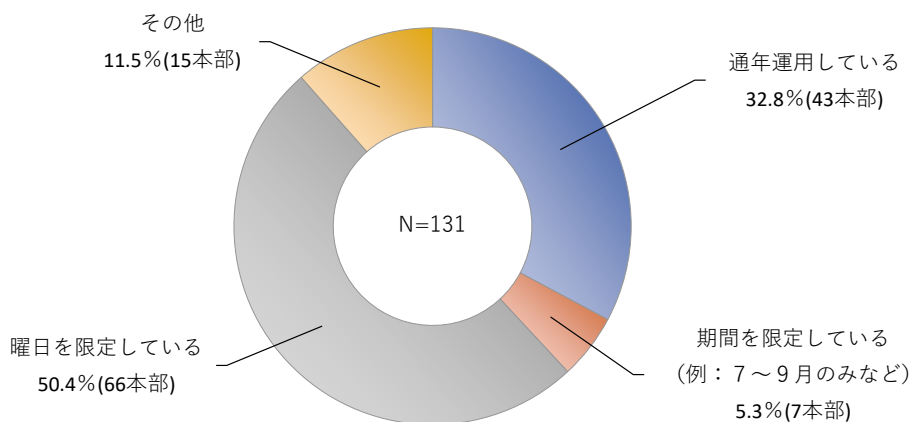
- ・ 24 時間対応の救急隊を整備した場合、人員不足及び仮眠室増設などによる経費負担増大が考えられるため。
- ・ 24 時間帯として運用する人員の確保が困難であった。
- ・ 日中時間帯の救急需要対策のため。
- ・ 対応可能な人員により運用するため。
- ・ 24 時間対応の救急隊では最低、12 名（3 交代）の人員増が生じ仮眠室などの環境整備も必要となるため。
- ・ 年間を通して救急需要が多い時間帯「デイトム」運用することにより、出動態勢を強化し、現場到着時間の短縮が期待されるため。
- ・ 救急件数の多い所属の PA 兼務隊に平日日中のみ日勤救急隊を導入することで救急需要に対応する。
- ・ 本部職員で構成しているため。
- ・ 転院搬送に特化した救急隊なので、転院搬送がある日中をカバーできる日勤救急隊とした。
- ・ 転院搬送が出動件数の 1 割を占め、転院搬送の 8 割は日勤帯に発生しているため。
- ・ 定年延長や再任用職員を編成し運用することで、日中の転院搬送隊として救急需要の対策としている。
- ・ 定年延長職員、女性職員の働き方改革のため。
- ・ フレックスタイム勤務者や再任用職員の有効活用
- ・ 救急件数の増加に伴い、令和 7 年 10 月 1 日から当直 1 隊増隊を 2 か年計画（職員採用による増員、車両の増車）を予定しており、初任教育の卒業に合わせ、令和 6 年 10 月 1 日から、当直 1 隊増隊までの経過措置として日勤救急隊を運用している。
- ・ 消防局全体の出動傾向として、夜間帯を含めた 24 時間で急激に件数が増減することがない。しかし、A 地区と B 地区に関しては、夜間帯には半分程度の出動件数と減少することから、ピークオフピーク運用を行い、日勤救急隊の導入効果を測ることが望ましいと考えた。

他

（重複等を一部要約）

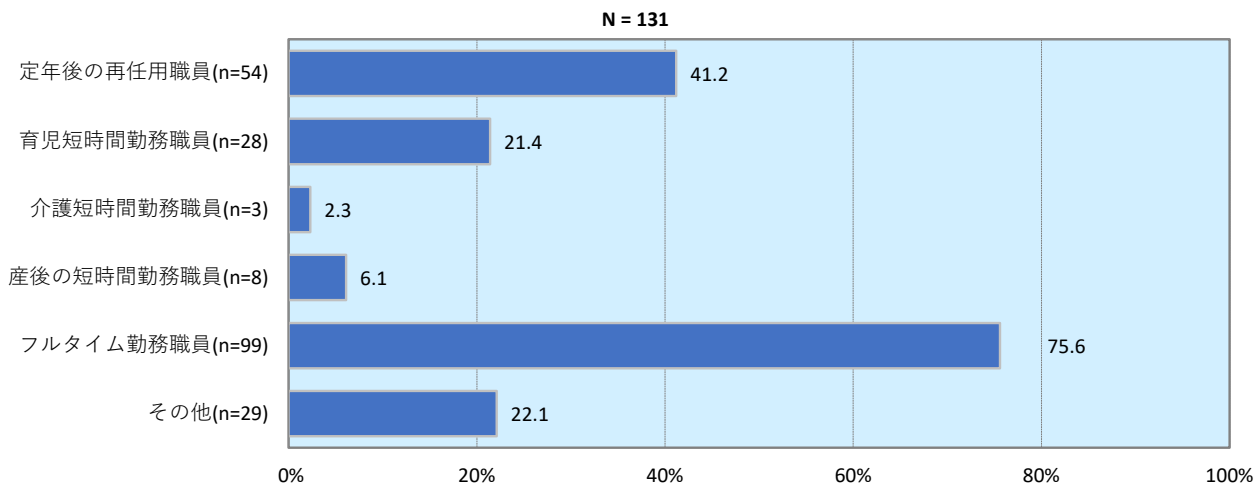
問 56-04 問 56 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。日勤救急隊の年間の運用方法を1つ選んでください。

問56-04 日勤救急隊の年間の運用方法<単数回答>



問 56-05 問 56 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。日勤救急隊の救急隊員について、どのような職員を配置していますか。該当するものをすべて選んでください。

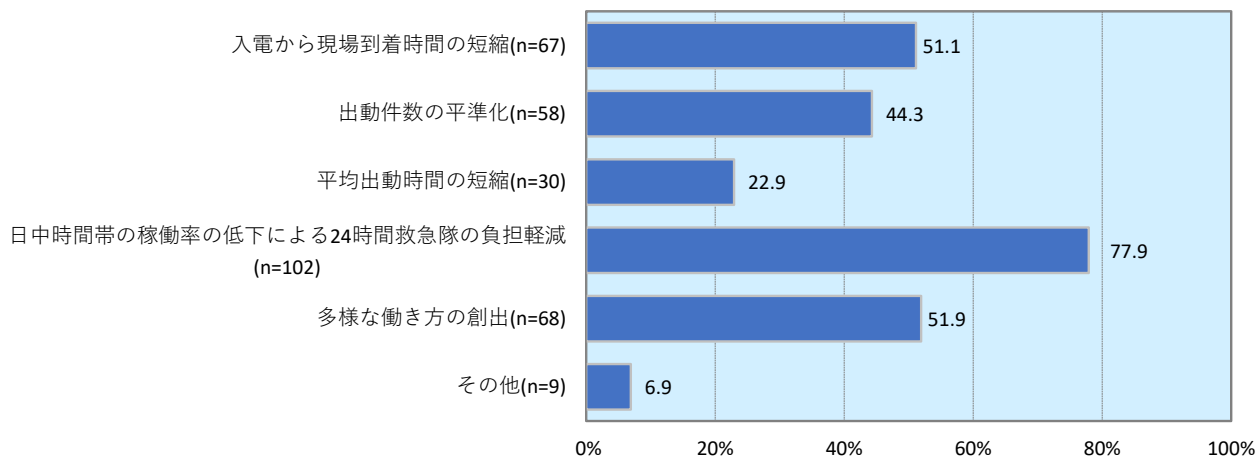
問56-05 日勤救急隊の救急隊員について、どのような職員を配置しているか<複数回答>



問 56-06 問 56 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。日勤救急隊導入による効果（変化）として該当するものをすべて選んでください。

問56-06 日勤救急隊導入による効果<複数回答>

N = 131



問 56-07 問 56 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。日勤救急隊の導入・活用について、特徴的な取組や工夫があれば、その内容について、具体的にご記入ください。（例）配備署所を時期や曜日によって需要の多い場所に機動的に変更している、消防本部管轄内であれば署所にとらわれずに出動している、退役予定だった救急車を再整備して利用している、AI を使って配備場所の検討を実施している等

N=131

- ・ 日勤救急隊の適切で効果的な配置場所について検証中であり、期間を分けて様々な署所に配置し効果を検証している。
- ・ 救急需要が増大する7～8月、12月～1月の8時45分～17時15分（平日のみ）運用している。
- ・ 1年を通じて365日運用している。
- ・ 署所への移動待機を可能としている。
- ・ 退役予定だった救急車を再整備し利用している。
- ・ 管轄を持たない救急隊として運用する。主に転院搬送に対応する。また、管轄救急隊が出動した際の2番手として出動するなど柔軟に対応している。
- ・ 出動の多い管轄をカバーできるよう配置している。
- ・ 再任用職員2名と現役の救急救命士1名で日勤救急隊を編成する。
- ・ 24時間隊が派遣型でワークステーション実習を実施し、派遣した署所に日勤救急隊を配置することで、病院実習の負担軽減、出動件数の平準化及び1隊増えることによる現場到着時間の短縮を図っている。
- ・ 救急需要の増加した11月については、日勤救急隊を週5日の稼働から、土曜日も含めた週6日の稼働を行った。また、日勤救急隊を救急車空白地域へ移動配備することで機動的な運用を行った。
- ・ 救急救命士が充実して配置されている日勤救急隊は、搬送先が決定している転院搬送には出動せず通常の救急出動に対応している。
- ・ 退役予定だった救急車を既設流用してしている。
- ・ 常用救急隊が全隊出動した場合に、事案をトリアージして重症事案に出動
- ・ 出場件数が最も多い署に配置
- ・ 育児短時間勤務を考慮
- ・ ICT を用いた需要予測に基づき、配備場所を時期や曜日によって需要が多いと予想される管内の消防署（分署）へ配備する機動日勤救急隊の運用
- ・ 管内の救急稼働率が75%かつ、市内の救急稼働率が75%で、隊員等

の編成が可能な場合

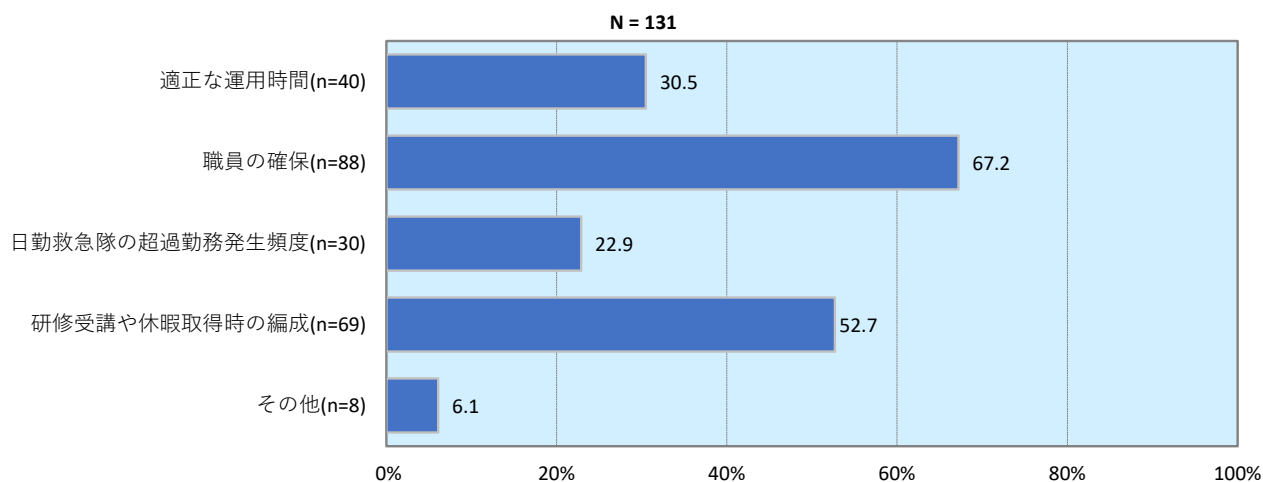
- ・ 配備署所を時期や曜日によって需要の多い場所に機動的に変更している。
- ・ 一定条件を満たした場合に空白地域となった地域への機動運用をしている。
- ・ 優先的にドクターカーのピックアップ隊として運用
- ・ 病院での救命士継続教育実習者の乗務及び日勤希望救命士の配置
- ・ 同乗実務実習の開始
- ・ 火災等で救急車待機が少ない地域に移動配備
- ・ 年間の救急出場件数が 3,000 件前後の救急隊が配置されている消防署所のうち、庁舎のスペース、周辺の救急隊の救急出場件数等を考慮の上、決定している。
- ・ 件数の多い署に配置している。

他

(重複等を一部要約)

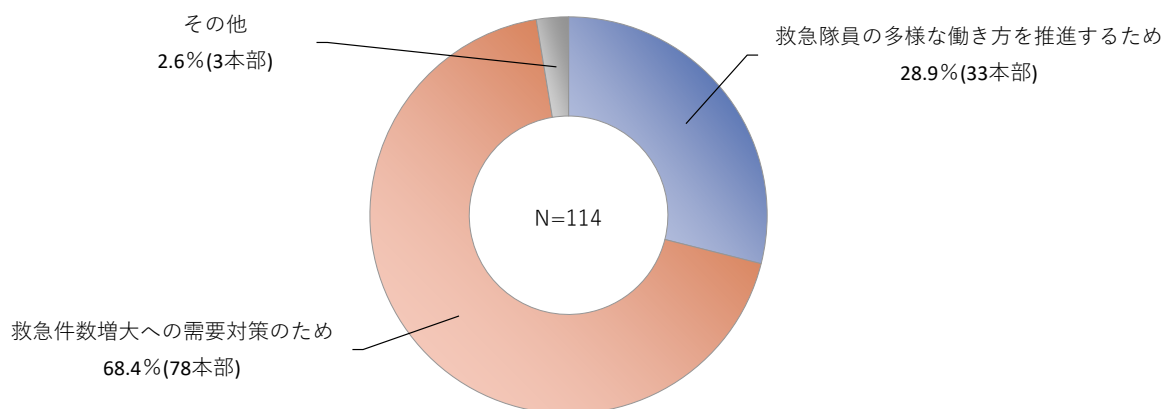
問 56-08 問 56 で「1. 導入している」を選択した方にお聞きします。日勤救急隊導入や運用に際して、貴本部における課題や懸念事項と考えるものについて、該当するものをすべて選んでください。

問56-08 日勤救急隊導入や運用に際する課題や懸念事項<複数回答>



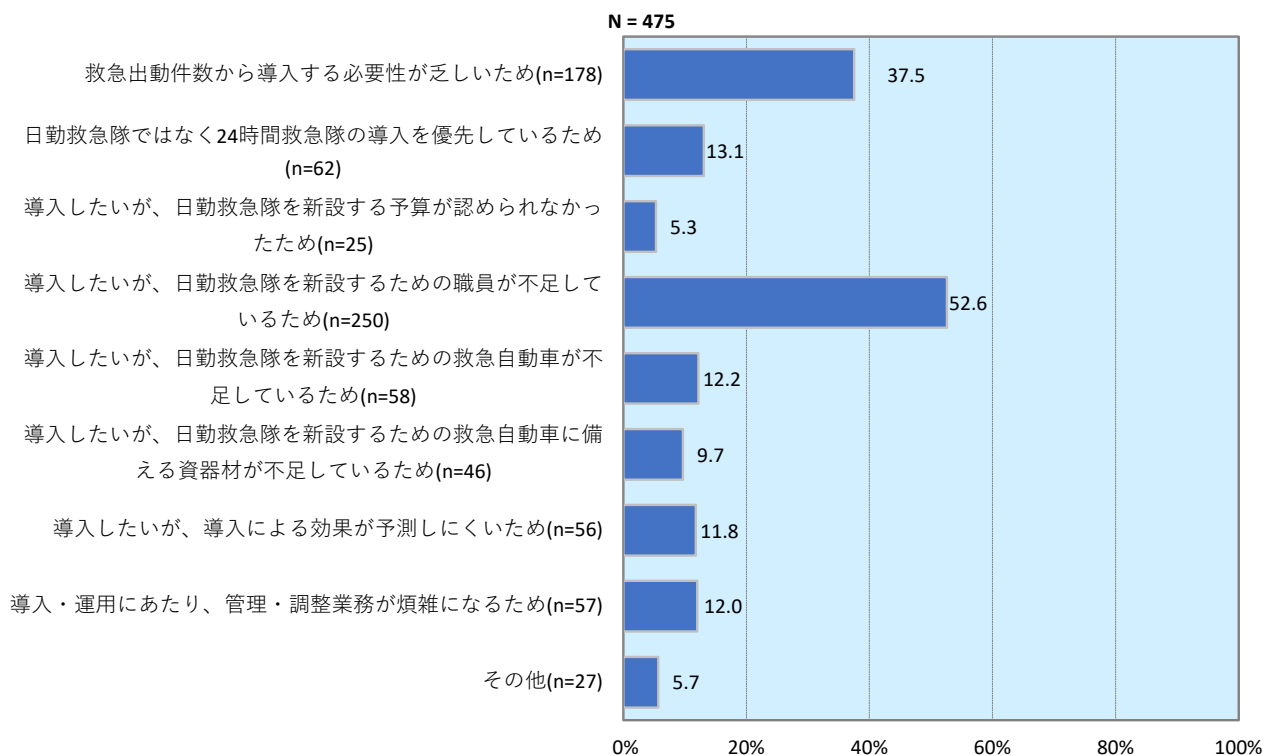
問 56-09 問 56 で「2. 導入していないが、導入を予定している」を選択した方にお聞きします。日勤救急隊の導入を検討している主な理由を1つ選んでください。

問56-09 日勤救急隊の導入を検討している理由<単数回答>

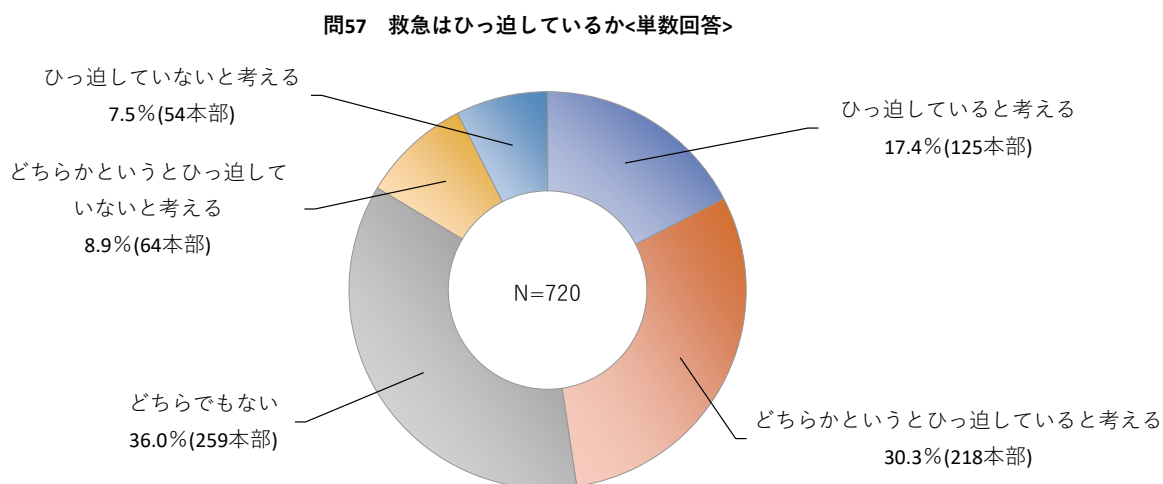


問 56-10 問 56 で「3. 導入しておらず、導入予定もない」を選択した方にお聞きします。導入しない理由について、該当するものをすべて選んでください。

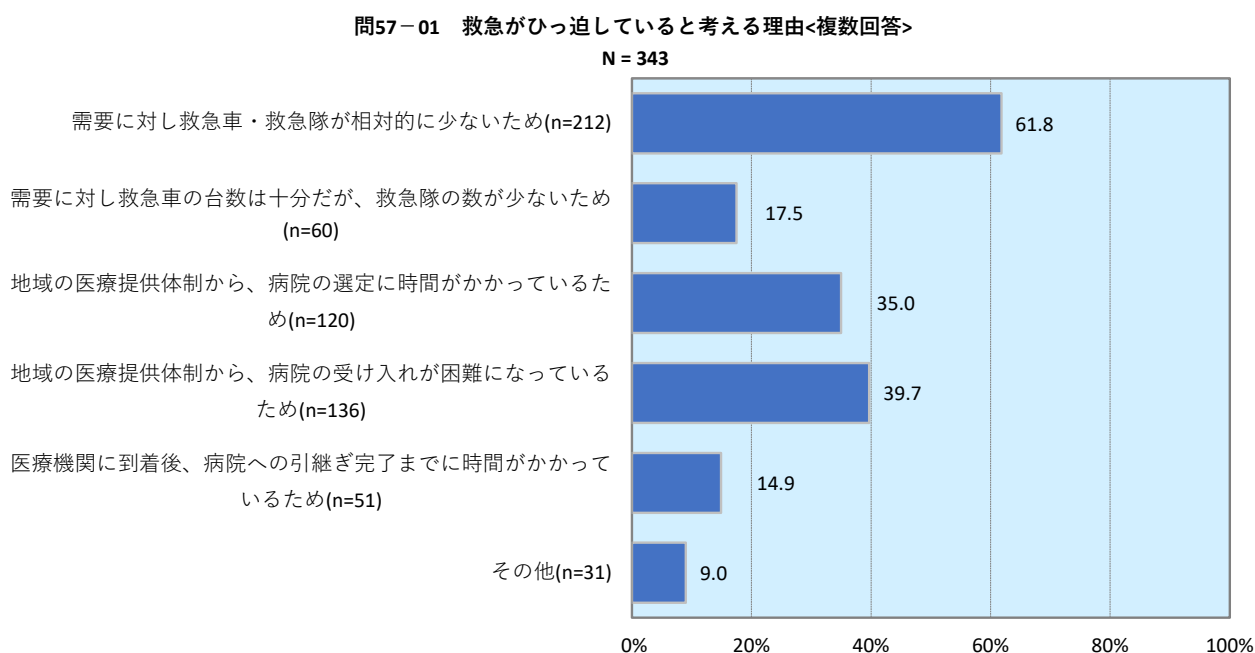
問56-10 日勤救急隊を導入しない理由<複数回答>



問 57 貴本部の管内について、救急はひっ迫していると考えますか。1つ選んでください。



問 57-01 問 57 で「1. ひっ迫していると考える」もしくは「2. どちらかというひっ迫していると考える」を選んだ方にお聞きします。その理由として該当するものをすべて選んでください。



問 57-01 (その他) 問 57-01 で「6. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=31

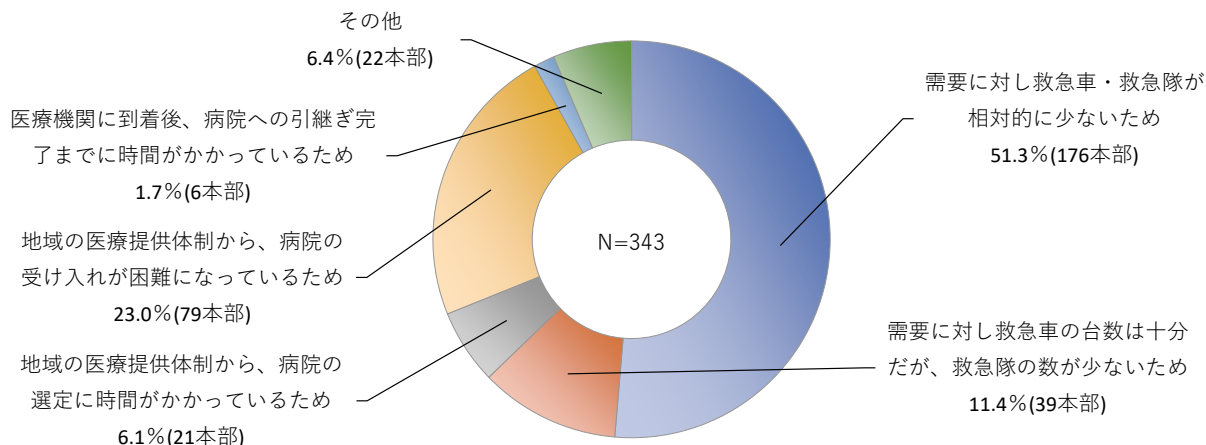
- ・ 転院搬送件数が全体の 25%を占めており、基本搬送先が遠距離となり 1 出動にかかる出動時間が長くなり、体制維持に苦慮している。
- ・ 本市の人口年齢構成（令和 6 年 12 月末）で 65 歳以上が 41.7%を占め、人口 1 万人当たりの救急出動件数が令和 5 年中は 719.9 件、令和 6 年中は 722.4 件であり、他都市と比較しても高い傾向にあるため。
- ・ 脳疾患及び整形疾患の傷病者を他市への搬送となるため、長時間の拘束
- ・ 救急隊活動記録票の記入に時間を要しているため。
- ・ 搬送先医療の殆どが管轄外にあり、搬送時間の延伸もあるため。
- ・ 遠方搬送等による救急出動可能台数の減少
- ・ 高齢者率の上昇
- ・ 医療機関自体が少ない。循環器対応できる病院がない。
- ・ 管内に手術可能な医療機関がなく結果転院搬送が多い。
- ・ 市内に救急受け入れ可能な医療機関がなく、99%市外搬送となり搬送に時間が掛かるため。
- ・ 地域の医療体制から搬送時間が長く、救急車不在な時があるため。
- ・ 長距離の搬送となりその間の救急隊の不足があるため。
- ・ 病院の受入れに偏りが生じる。
- ・ 県内管轄外や県外に搬送することも多く、管内に救急隊が不在となる時間があるため。
- ・ 管外搬送が多く 1 事案当たりの活動時間が延伸する傾向があるため。
- ・ 市街地の救急件数が多く、郊外の救急隊から補完をしてもらう状態である。
- ・ 時期によって医療機関の受け入れが困難となる。
- ・ 需要に対し台数は十分だが、管轄地域が広いため、1 事案に時間がかかる。
- ・ 救急車の台数及び救急隊の数は十分だが、出動件数が増加している。
- ・ 救急救命士 1 名乗車体制のことが多いため。

他

(重複等を一部要約)

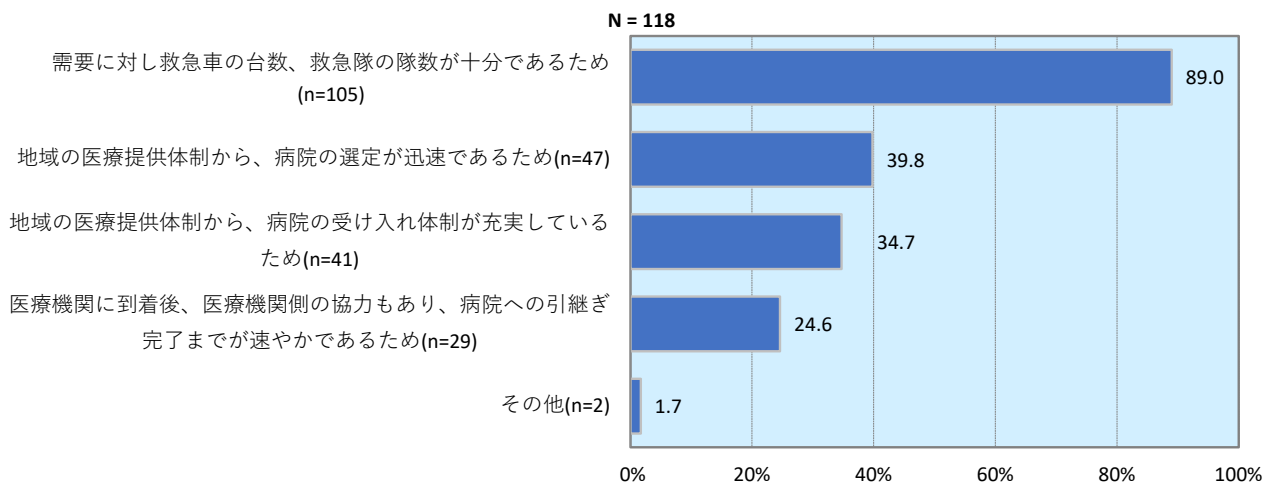
問 57-02 問 57 で「1. ひっ迫していると思う」もしくは「2. どちらかというといっ迫していると思う」を選んだ方にお聞きします。その理由として、最も大きいと思うものを1つ選んでください。

問57-02 救急がひっ迫していると思う最も大きい理由<単数回答>



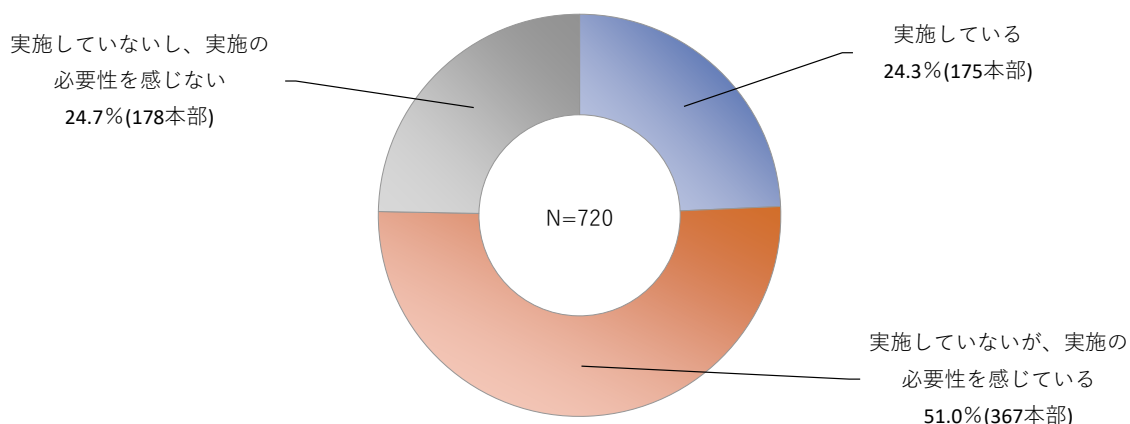
問 57-03 問 57 で「4. どちらかというといっ迫していないと思う」もしくは「5. ひっ迫していないと思う」を選択した方にお聞きします。理由として、該当するものをすべて選んでください。

問57-03 救急がひっ迫していないと思う理由<複数回答>



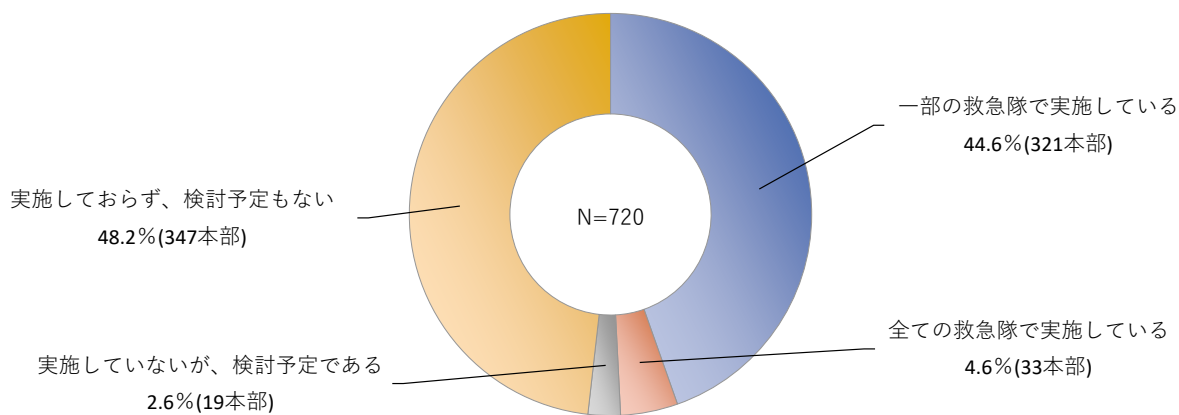
問 58 貴本部では、救急隊の隊数の検討等にあたり、救急需要の将来推計を実施していますか。1つ選んでください。

問58 救急隊の隊数の検討等にあたり、救急需要の将来推計を実施しているか<単数回答>



問 59 貴本部では、救急隊の4名編成を実施していますか。1つ選んでください。*

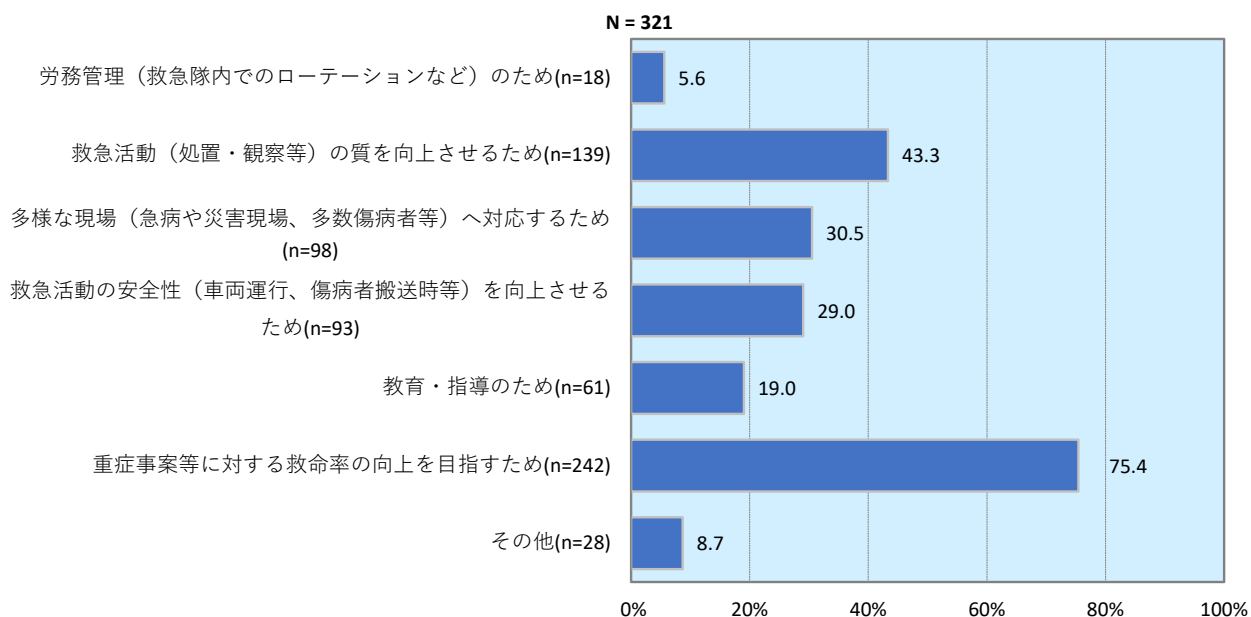
問59 救急隊の4名編成を実施しているか<単数回答>



*救急隊の編成とは、1つの救急隊として出動する人数のことを指します。

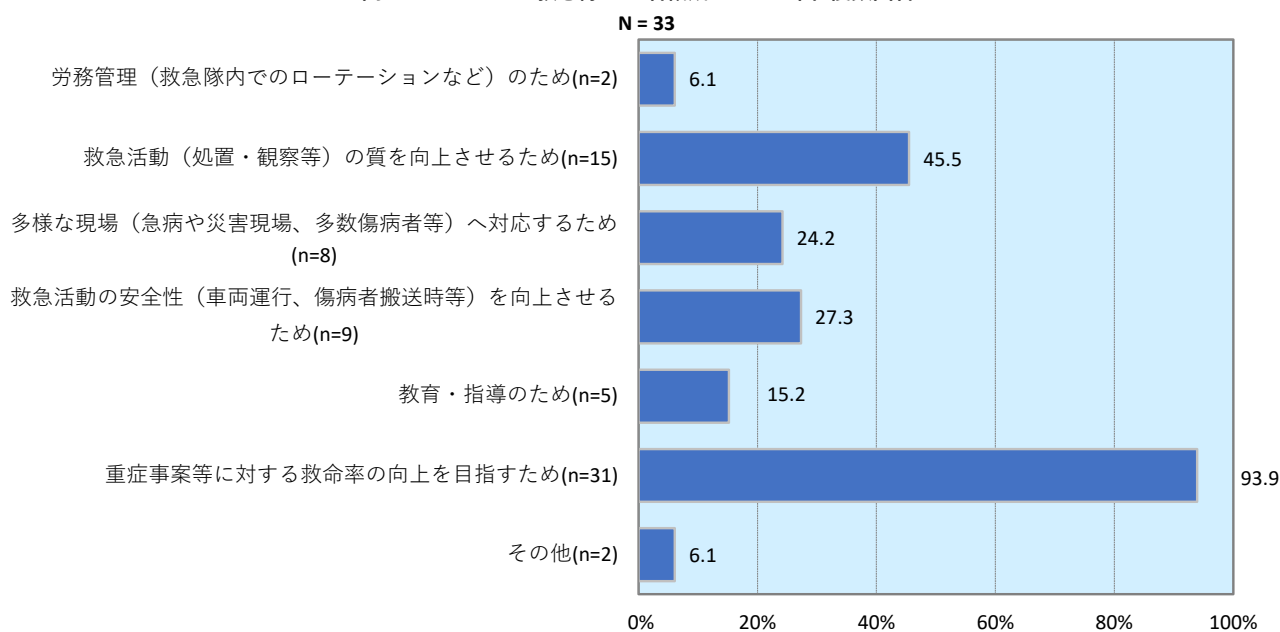
問 59-01 問 59 で「1. 一部の救急隊で実施している」を選択した方にお聞きします。4名編成とした理由について、該当するものをすべて選んでください。

問59-01 一部の救急隊で4名編成とした理由<複数回答>



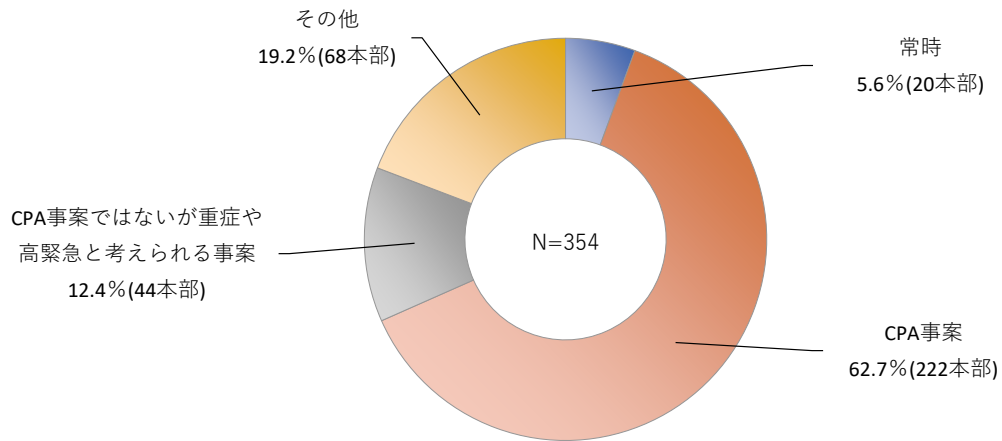
問 59-02 問 59 で「2. 全ての救急隊で実施している」を選択した方にお聞きします。4名編成とした理由について、該当するものをすべて選んでください。

問59-02 全ての救急隊で4名編成とした理由<複数回答>



問 59-03 問 59 で「1. 一部の救急隊で実施している」もしくは「2. 全ての救急隊で実施している」を選択した方にお聞きします。どのような場合に、救急隊を4名体制としていますか。1つ選んでください。

問59-03 どのような場合に、救急隊を4名体制としているか<単数回答>



問 59-03 (その他) 問 59-03 で「4. その他」を選択した方にお聞きします。具体的にご記入ください。

N=68

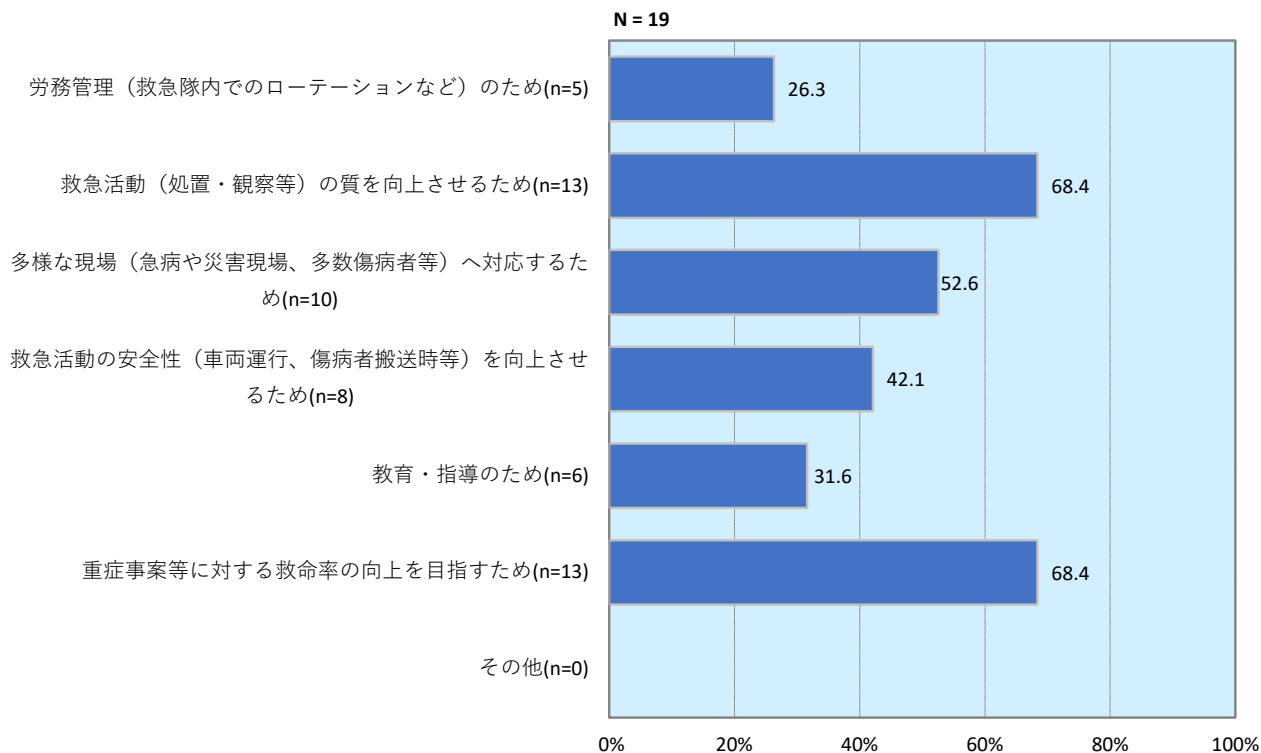
- ・ 救急救命士の就業前教育カリキュラムとして編成している。
- ・ CPA 事案、緊急度重症度が高い事案及び当直隊長が必要と判断した事案
- ・ 新人救命士の教育
- ・ CPA 事案及び CPA 事案ではないが重症や高緊急と考えられる事案
- ・ 当番人員に余裕がある場合
- ・ PA 連携が必要な事案の際に消防隊が出動不能な場合、または、搬送補助の場合は 4 名編成
- ・ 原則 4 名体制とし、乗り換え運用のため当日の勤務人員や編成状況により困難な場合は 3 名体制となる。
- ・ 指導的立場の救命士による OJT
- ・ 新採用職員の教育のため。
- ・ 山岳地帯の積雪時等で搬送時の安全性を向上させる場合
- ・ マンパワーが必要な場合で隊の判断による
- ・ 積雪時等の搬送支援、大柄な方の搬送支援
- ・ 多様な現場（急病や災害現場、多数傷病者等）へ対応するため。
- ・ 人数の問題で PA 連携としてポンプ隊が出せない時のみ
- ・ CPA 事案及び重症や高緊急が考えられる事案
- ・ 4 名乗車できる署所において CPA 等で対応している。
- ・ 兼務隊（分遣所）の勤務人数により 4 名編成になることがある。
- ・ 出張所隊が常時（4 名体制）
- ・ CPA 事案については、PA 連携を行っており、傷病者搬送時に消防隊から 1 名救急車に同乗し、4 名体制で搬送することがある。
- ・ 初任科教育を終了した職員に対し、一定期間実施している。
- ・ 3 階以上の建物
- ・ 本署では人員に余裕があれば CPA 疑いで 4 名出動。一部出張所の日勤帯においては、CPA 疑い、交通、救助事案等で 4 名出動
- ・ PA 連携が即時困難な場合や、安全管理者を要す場合
- ・ 特定の傷病者（人工呼吸器等の資機材の搬送が必要な傷病者等）に対応するため。
- ・ PA 連携ができない場合や気象条件が悪い状況での活動の安全管理強化のため。

他

(重複等を一部要約)

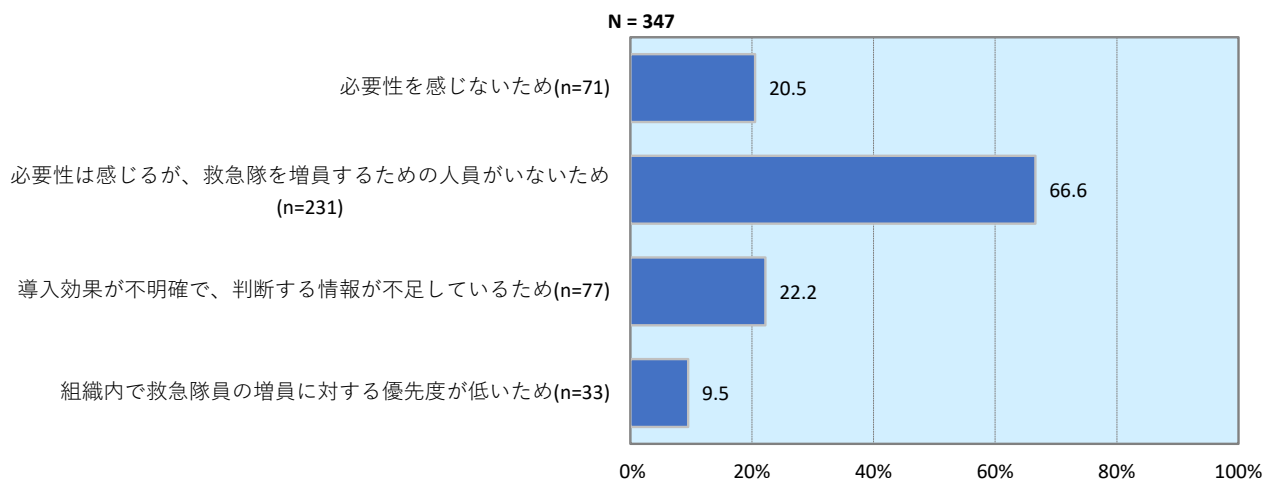
問 59-04 問 59 で「3. 実施していないが、検討予定である」を選択した方にお聞きします。4名編成を検討している理由について、該当するものをすべて選んでください。

問59-04 4名編成を検討している理由<複数回答>



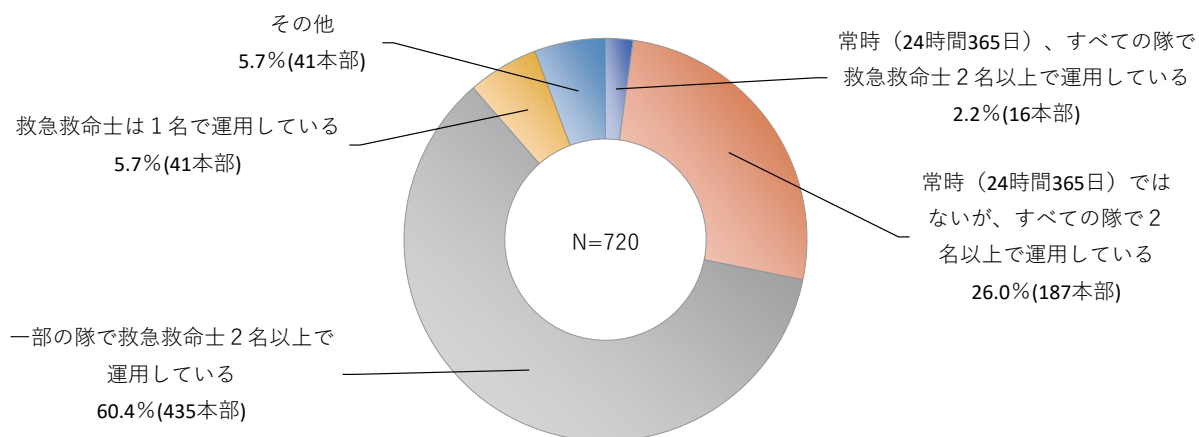
問 59-05 問 59 で「4. 実施しておらず、検討予定もない」を選択した方にお聞きします。実施していない理由について、該当するものをすべて選んでください。

問59-05 4名編成を実施していない理由<複数回答>



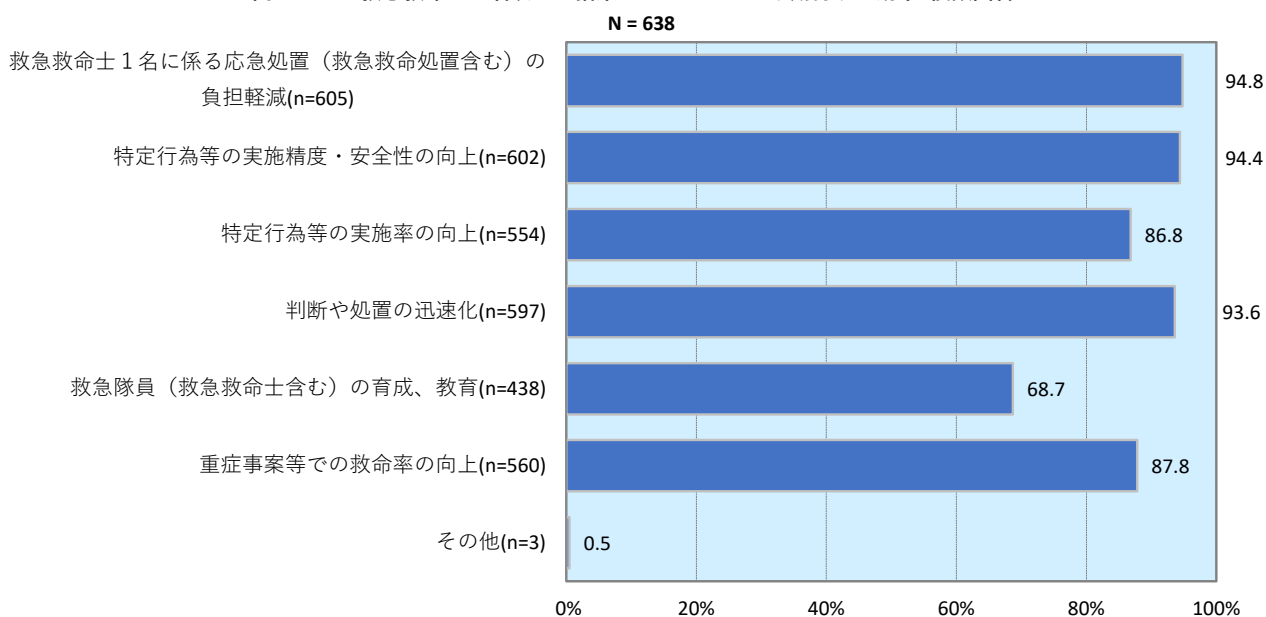
問 60 貴本部では、2名以上の救急救命士が搭乗している救急隊を運用していますか。1つ選んでください。

問60 2名以上の救急救命士が搭乗している救急隊を運用しているか<単数回答>



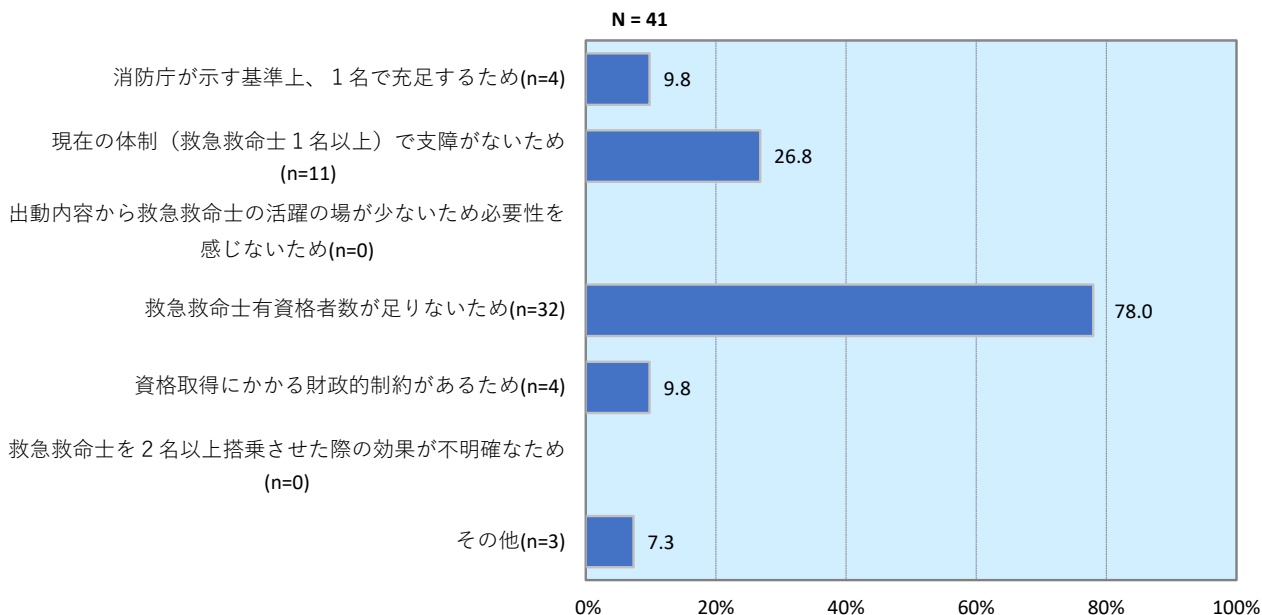
問 60-01 問 60 で「1. 常時 (24 時間 365 日) 、すべての隊で救急救命士 2 名以上で運用している」、「2. 常時 (24 時間 365 日) ではないが、すべての隊で 2 名以上で運用している」、「3. 一部の隊で救急救命士 2 名以上で運用している」のいずれかを選択した方にお聞きします。救急救命士 2 名以上を搭乗させることにより期待する効果として該当するものをすべて選択してください。

問60-01 救急救命士2名以上を搭乗させることにより期待する効果<複数回答>



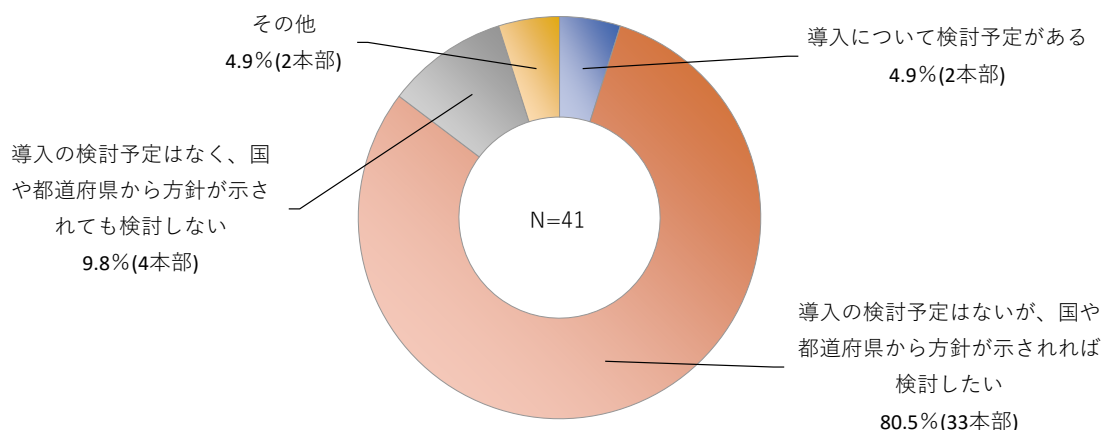
問 60-02 問 60 で「4. 救急救命士は 1 名で運用している」と選択した方にお聞きします。救急救命士 2 名以上で運用していない理由について、該当するものをすべて選んでください。

問60-02 救急救命士 2 名以上で運用していない理由<複数回答>



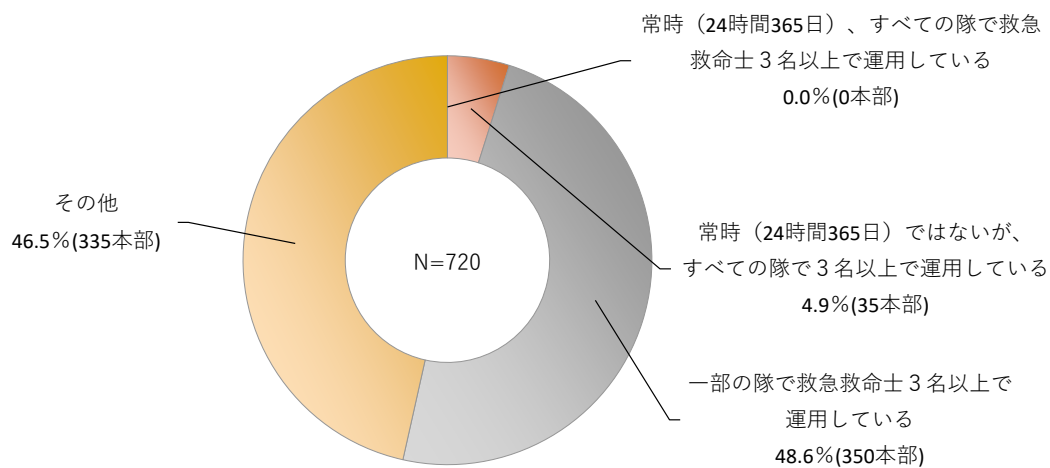
問 60-03 問 60 で「4. 救急救命士は 1 名で運用している」を選択した方にお聞きします。今後、救急救命士の 2 名以上体制の導入について検討予定はありますか。1 つ選んでください。

問60-03 今後、救急救命士の 2 名以上体制の導入について検討予定はあるか<単数回答>



問 61 貴本部では、救急救命士が3名以上搭乗している救急隊を運用していますか。1つ選んでください。

問61 貴本部では、救急救命士が3名以上搭乗している救急隊を運用しているか<単数回答>



19. 在宅医療との連携について

問 62 地域の在宅医療に関する協議の場に参加していますか。1つ選んでください。

問62 地域の在宅医療に関する協議の場に参加しているか<単数回答>

